

第8回 広島県CALS/ECC連絡協議会 次第

平成19年3月28日(水) 14:00~16:00
八丁堀シャンテ3階メープル(広島市中区上八丁堀8-28)

1 開会

2 議事

- (1) 電子入札等システムについて
 - ・ 平成18年度の実施状況
 - ・ 平成19年度の実施計画等
 - ・ 広島市の電子入札について【広島市】
- (2) 電子納品について
 - ・ 平成18年度の実施状況
 - ・ 平成19年の実施計画等
 - ・ 広島県電子納品実施要領の改訂・制定
- (3) CALS/ECCに関する研修等について
- (4) その他

3 閉会

【配布資料】

- 資料 1** 平成18年度広島県の電子入札等の実施状況について
- 資料 2** 平成19年度の情報開示及び電子入札等システムの実施計画について
- 資料 3** 広島市の電子入札について
- 資料 4** 平成18年度の電子納品の実施及びアンケート結果について
- 資料 5** 平成19年度の電子納品実施について(案)
- 資料 6** 広島県電子納品実施要領の改訂について
 - 資料 6-1** 広島県電子納品実施要領 [業務委託編]
 - 資料 6-2** 広島県電子納品実施要領 [工事編]
 - 資料 6-3** 広島県電子納品実施要領 [建築設計業務編]
 - 資料 6-4** 広島県電子納品実施要領 [営繕工事編]
- 資料 7** 電気通信・機械設備に係る電子納品について
 - 資料 7-1** 広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編]
 - 資料 7-2** 広島県電子納品実施要領 [電気通信設備編]
 - 資料 7-3** 広島県電子納品実施要領 [機械設備工事編]
- 資料 8** 広島県CALS/ECC研修会について(受注者向け)
- 資料 9** 広島県CALS/ECC連絡協議会規約
- 資料 10** 第8回 広島県CALS/ECC連絡協議会 出席者名簿・配席図

平成 18 年度広島県の電子入札等の実施状況について

平成 18 年度は、9月から実案件での電子入札を実施しており、その状況は次のとおりである。

1 対象案件

総務部、農林水産部、土木部、都市部及び空港港湾部が所管する事業で、建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務に係る入札。
案件は、各総務局、農林局、建設局及び各支局等の状況に応じて選定

区分	入札方式	実施案件	備考
建設工事	条件付一般競争入札	原則全て	災害等緊急を要する案件を除く。
	公募型指名競争入札		
	通常型指名競争入札	請負対象設計金額 5,000 万円以上の案件で、全ての選定業者が電子入札可能な案件	
測量・建設コンサルタント等業務	通常型指名競争入札	全ての選定業者が電子入札可能な案件	

※ 上記対象案件に該当しない案件についても、関係局等で調整の結果、可能なものについては実施することがある。

2 実施状況

区分	一般競争	公募型指名	通常型指名	計
建設工事	土木関係3部	1	24	35
	農林水産部		1	2
	総務部		11	1
小計	1	36	38	75
業務	土木関係3部	—	—	166
	農林水産部	—	—	7
	総務部	—	—	1
小計			174	174
総計	1	36	212	249

※ 平成 19 年 3 月 26 日現在で入札済の案件数

(参考)

○共同利用参加の県内市町の電子入札の実施状況

電子入札等システムを共同利用している市町のうち、平成 17 年 2 月に三次市を最初に、福山市、東広島市、呉市、安芸高田市、竹原市の 6 市で、実案件により電子入札を実施している。

入札参加資格審査の電子申請について

1 概要

平成16年11月から試行を開始した入札参加資格審査の電子申請については、平成18年11月に受付を行った平成19・20年度の入札参加資格審査申請において全面実施した。今回の電子申請の結果及び今後の課題等については次のとおりである。

2 電子申請の結果

- (1) 受付期間 平成18年11月8日(水)から平成18年11月17日(金)まで
- (2) 参加団体 広島県、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、熊野町、坂町、安芸太田町、大崎上島町、神石高原町(19団体)
- (3) 利用対象 電子入札等システムの利用者登録を完了した者
- (4) 申請者数(広島県に申請したもの)

区分	電子申請者数	県内業者数(A)	全申請者数(B)	比率(A/B)(%)
		県外業者数(A)		
建設工事	883	541	3,002	18.0
		342	728	47.0
コンサルタント	390	154	424	36.3
		236	383	61.6
計	1,273		4,537	28.1

申請者数は速報値のため、最終申請者数と異なる場合がある。

3 電子申請の導入効果

(1) 県外業者等の負担が大幅に軽減

今回の当初申請における電子申請者の比率は、県内業者に比べて、県外業者の比率が高く(工事:47%, コンサルタント:61%)、従来の書面による申請に比べて、人件費や交通費等の申請業務に要する負担が大幅に軽減された。

(2) 受付窓口の混雑による待ち時間が解消

書面による申請者数の減少により、受付窓口の混雑による待ち時間がほとんど発生しなかった。

(3) 県の受付事務の負担が軽減

電子申請により、受付担当者の負担が軽減されるとともに、書面申請書のデータパンチ経費等の経費が削減された。

4 今後の課題と取組の方向

(1) 共同利用団体の拡大

今回の当初申請は、県及び18市町で共同受付を行ったが、次回平成21・22年度当初受付からは独自に受付を行っている広島市を除く、県内全市町(22市町)が参加して行う予定である。

(2) 添付書類等の軽減及び審査項目の統一の徹底

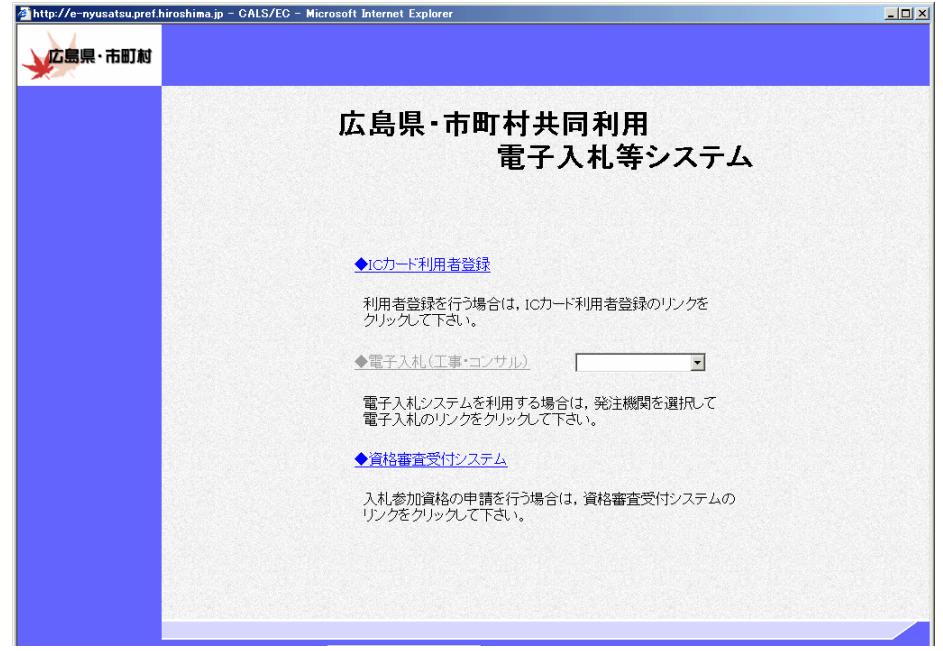
電子化の効果を拡大するためには、添付書類等の軽減が必要であるため、電子データによる確認など添付書類の削減を図っていく。また、今回の申請においても、原則として各団体の入札参加資格の審査項目を統一して行ったが、一部独自項目等が残っていたため、次回においては審査項目の統一を徹底する。

平成19年度の情報開示及び電子入札等システムの実施計画について

広島県土木部総務管理局技術指導室

1 事業の概要

情報開示システムによる公表情報の充実、電子入札等システムの普及の拡大を推進する。特に、広島県においては、10月以降、一般競争入札の拡大に合わせて、その対象案件は原則として電子入札により実施する予定としているため、県内受注者への普及促進と円滑な実施に重点を置いて取り組むこととしている。



2 実施内容

区分	実施内容	備考
調達情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> 県の調達情報のホームページの内容の一層の充実 公募案件の県・市町統合検索システム参加市町拡大 仕様書等の電子閲覧を試行 	入札公告の電子閲覧は実施済
入札参加資格の電子受付	<ul style="list-style-type: none"> H19・20 入札参加資格審査の追加受付の実施 システム共同利用市町拡大（18市町から22市町へ） 	追加受付4回予定
電子入札	<ul style="list-style-type: none"> 電子入札の対象案件の大幅拡大及び紙入札の廃止（広島県） システム共同利用市町拡大（12市町から22市町へ） 	

3 県内業者への普及促進

- (1) 広島県の入札契約制度の改正等の説明を行う「建設業関係説明会」を5月に県内5箇所で開催し、電子入札の実施計画の周知を図る。
- (2) 10月からの電子入札の拡大に対応するため、県内5箇所で「電子入札説明会」を開催する。
- (3) 電子入札システムの操作方法等を具体的に研修可能な操作研修を開催する。（広島県建設技術センター主催）

項目	4	5	6	7	8	9	備考
建設業関係説明会		↔					県内5箇所（予定）
電子入札説明会			↔				県内5箇所（予定）
システム操作研修				↔			

4 県内市町の共同利用の参加促進

電子入札等システムの県内市町との共同利用については、広島県電子自治体推進協議会の電子入札運営部会を中心に推進しており、市町毎の個別相談の実施等により全ての市町の早期参加を促進する。

CALS/ECの取組経緯と今後の計画について

【区分（類型）と経緯】

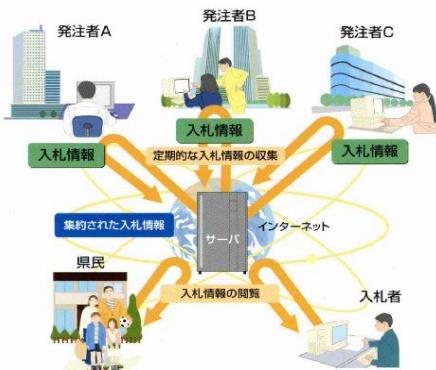
調達関連情報の インターネット公表の推進

〈サイト開設等〉

- ・H16.4～「広島県の調達情報」
- ・H16.7～「広島県のCALS/EC」
- ・H16.8～「広島県と県内市町村の入札契約手続の電子化」
- ・県内公募案件の統合検索試行開始

情報
開示

【実現イメージ】



【今後の取組計画】

・公表情報の充実推進

設計図書等の電子閲覧部分実施

・公募案件統合検索の拡充

各市町への参画要請

(呉市、尾道市、福山市、東広島市、安芸高田市が参加中)

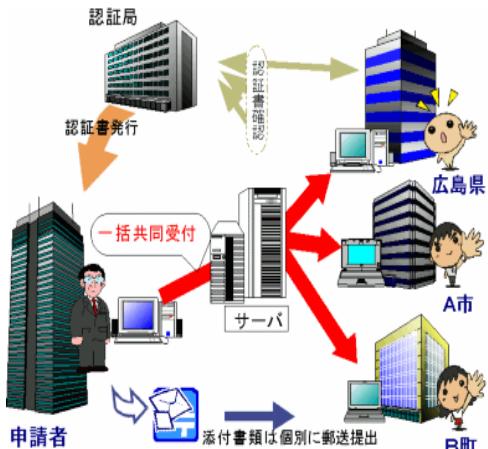
発注手続
〔市町共同運営〕

入札参加資格審査 申請の電子受付

〈共同運営体制等構築〉

- ・H15.12～ 広島県電子自治体推進協議会に電子入札運営部会を設置
- ・H16.11 試行実施
- 〈システム形態〉
- ・県・市町一括共同受付
- ・H17.12～ 受付を県内業者に拡大
- ・H18.11～ H19・20入札参加資格の審査から全面実施（18市町参加）

※電子入札等システム：使用には、まず利用開始申請が必要（19.3.20現在 2,832社が申請済）



・共同利用市町の拡大

資格システムの共同利用団体の拡大

H19：4市町が新規参加予定

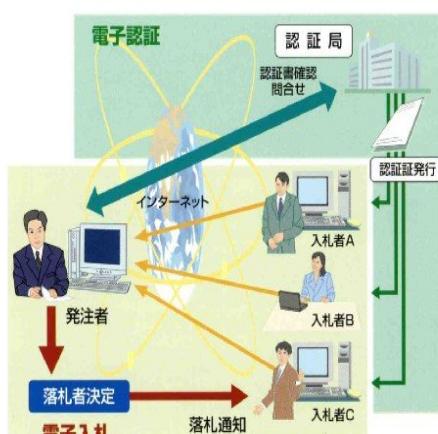
※ 平成18年度（18市町）

呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、熊野町、坂町、安芸太田町、大崎上島町、神石高原町

電子入札

〈共同運営体制等構築〉

- ・同上
- 〈基本システム〉
- ・電子入札システム採用（国・他県等と同一化）
- ・現行の全入札方式使用可
- ・H17.1～県模擬入札開始
- ・H17.11～県実案件の開始（45件）
- ・H18.9～
- 工事：1億円以上全て、5000万円以上のお一部
- 業務：指名競争入札の一部



・電子入札対象の拡大

工事：一般競争入札原則全て、指名競争入札設計金額 2500万円以上

業務：指名競争入札原則全て（工事、業務とも一部紙入札を廃止予定）

・共同利用市町の拡大

入札システムの共同利用団体の拡大

H19：10市町が新規参加予定

※ 平成18年度（12市町）

呉市、竹原市、福山市、三次市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、坂町、安芸太田町、大崎上島町、神石高原町

実施手続

電子納品・情報共有 （工事・業務成果品）

- ・H16.1～県内受発注者が集合し広島県CALS/EC連絡協議会を設置
- ・H16.7 電子納品実施要領制定
- ・H17.2～部分実施開始
- ・H17.7～事前登録開始（H16：37件、H17：105件）
- ・H18.8～電子納品実施要領（建築・營繕）制定
- ・H18.8～電子納品部分実施の拡大
土木・農林：261件
建築・營繕： 22件



・電子納品実施要領（電気通信・機械設備）制定

・電子納品部分実施の拡大

業務：設計金額 700万円以上
工事：5億円以上（上半期）
1億円以上（下半期）
その他

・情報共有等システムの実証実験

・電子納品保管・管理システムの検討

電子入札の実施対象の拡大について（案）

1 趣 旨

平成19年度の入札契約制度の改正に伴う一般競争入札の大幅な拡大に合わせ、電子入札の実施対象を拡大する。

2 内 容

(1) 対象案件

原則として、建設工事及び測量・建設コンサルタント業務（以下「業務」という。）に係る入札

(2) 平成19年4月1日から9月30日まで

ア 建設工事については、一般競争入札による案件は原則全て、指名競争入札による案件は請負対象設計金額2,500万円の案件に対象案件を拡大する。請負対象設計金額1億円以上の案件については、原則として紙入札を廃止する。

イ 業務については、指名競争入札による案件は原則全て対象とする。設計金額500万円以上の案件については、原則として紙入札を廃止する。

区分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (原則設計金額1億円以上)	原則全て	設計金額1億円以上
	指名競争入札	設計金額2,500万円以上	—
業務	指名競争入札	原則全て	設計金額500万円以上

(3) 平成19年10月1日から

ア 建設工事については、10月1日以降に公告を行う一般競争入札による案件は原則全て対象とし、対象案件については、原則として紙入札を廃止する。

イ 業務については、平成19年4月1日から変更なし。

区分	入札方式	実施範囲	紙入札の廃止
建設工事	一般競争入札 (設計金額1,000万円以上)	原則全て	原則全て
	指名競争入札	—	—
業務	指名競争入札	原則全て	設計金額500万円以上

（対象部局：総務部、農林水産部、土木部、都市部、空港港湾部）

3 平成20年度以降の実施計画

分野	区分	入札方式	H20	H21
建設工事	実施対象	一般競争入札 指名競争入札	設計金額500万円以上	全て
	紙入札の廃止		設計金額500万円以上	全て
業務	実施対象	指名競争入札	全て	—
	紙入札の廃止		全て	—

※ 隨意契約を除く。

1 県内地域別の電子入札システムへの対応状況

◎建設工事

建設(支)局	対応業者数	全業者数	対応率
廿日市	51	86	59%
広島	495	1,389	36%
呉	100	323	31%
芸北	41	74	55%
東広島	127	219	58%
竹原	31	82	38%
尾三	112	368	30%
福山	469	602	78%
備北	104	116	90%
庄原	30	63	48%
県内計	1,560	3,322	47%
県外	490	843	58%
総計	2,050	4,165	49%

※ 県の資格者名簿のうち、平成19年2月末現在の電子入札対応業者

◎コンサルタント

建設(支)局	対応業者数	全業者数	対応率
廿日市	1	21	5%
広島	129	312	41%
呉	7	25	28%
芸北	0	0	0%
東広島	20	42	48%
竹原	2	10	20%
尾三	13	38	34%
福山	45	57	79%
備北	10	15	67%
庄原	4	8	50%
県内計	231	528	44%
県外	299	442	68%
総計	530	970	55%

2 県内業者の業種・ランク別対応状況

◎ 建設工事

業種	ランク	A			B			C			D			E			全体		
		対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率	対応業者数	全業者数	対応率
土木	30	30	100%	206	236	87%	558	885	63%	183	418	44%	140	481	29%	1,117	2,050	54%	
建築	26	30	87%	107	145	74%	189	326	58%	99	197	50%	78	222	35%	499	920	54%	
とび土工	39	42	93%	92	104	88%	322	472	68%	255	724	35%				708	1,342	53%	
法面	18	18	100%	23	24	96%	80	103	78%	66	168	39%				187	313	60%	
ほ装	45	45	100%	86	96	90%	348	456	76%	326	728	45%				805	1,325	61%	
合計	158	165	96%	514	605	85%	1,497	2,242	67%	929	2,235	42%	218	703	31%	3,316	5,950	56%	

◎コンサルタント

分野	ランク	A			B			C			全体								
		対応業者数	全業者数	対応率															
測量	35	35	100%	28	32	88%	53	98	54%	116	165	70%							
建築	22	25	88%	53	82	65%	34	91	37%	109	198	55%							
地質	18	19	95%	28	29	97%	38	52	73%	84	100	84%							
土木	39	41	95%	34	40	85%	47	89	53%	120	170	71%							
補償	24	24	100%	42	42	100%	34	65	52%	100	131	76%							
その他											75	242	31%						
合計	138	144	96%	185	225	82%	206	395	52%	604	1006	60%							

※ 1 県の資格者名簿における平成19年2月末現在の電子入札対応状況

2 建設工事は、主要5業種を抜粋している。

平成19年3月28日
広島市財政局契約部

広島市の電子入札について

1 電子入札の対象範囲

広島市では、平成17年4月から契約部が所管する建設工事や物品購入等の入札案件（一般競争入札案件など）で電子入札を実施し、平成18年度からは、建設コンサルタント業務等及び役務の提供（業務委託）の一部においても電子入札を開始しましたが、平成19年4月からは以下の案件についても、電子入札の対象案件を拡大します。

区分	H17 (2005)年度	H18 (2006)年度	H19 (2007)年度	H20 (2008)年度
建設工事	契約部が所管する5,000万円以上の入札案件			
	契約部が所管する250万円超5,000万円未満の入札案件			
	区役所が所管する250万円超5,000万円未満の入札案件			
物品購入・ 製造の請負	契約部が所管する160万円を超える入札案件			
	契約部が所管する100万円超160万円以下の見積り案件			
	契約部が所管する50万円超100万円以下の見積り案件			
	契約部が所管する10万円以上50万円以下の見積り案件			
	契約部が所管する10万円未満の見積り案件			
建設コンサル タント業務等	本庁の課が所管する100万円を超える入札案件			
	区役所が所管する100万円を超える入札案件			
役務の提供 (業務委託)	年間を通じて行う100万円を超える施設維持管理業務の入札案件			
	年間を通じて行う100万円を超えるその他の役務の入札案件			
	100万円を超えるその他業務（単発・臨時的業務）の入札案件			
リース	本庁の課が所管する80万円を超える入札案件			
	区役所が所管する80万円を超える入札案件			

製造の請負については、「160万円」は「250万円」となります。

建設コンサルタント業務等とは、工事等に関する設計、監理、調査などの業務です。

区役所等とは、区役所（区政振興課）及び本庁の出先機関等（市立大学など）です。

施設維持管理業務とは、建築物清掃、常駐警備、冷暖房設備等の運転管理（常駐）自家用電気工作物の保守点検、電話交換、建物付属設備・機械設備の保守点検・運転管理業務などです。

年間を通じて行うその他の役務とは、施設維持管理業務を除く、毎年度の当初から年間を通じて継続的に行う役務の提供（委託業務）です。

なお、電子入札への移行時期等については、電子入札の実施状況等により、変更する場合があります。

（1）建設工事

- ア 契約部所管分については、電子入札限定で実施します（紙での入札は、廃止します。）
- イ 電子入札の実施を開始する区役所所管分については、半年間に限り紙入札も認めます。

（2）建設コンサルタント業務等

- ア 本庁の課が所管する100万円を超える入札案件については、電子入札限定で実施します。
- イ 電子入札の実施を開始する区役所所管分についても、拡大当初から、電子入札限定で実施します。

建設コンサルタント業務等では、紙での入札は廃止となります。

2 システムへのアクセス

広島市ホームページ(<http://www.city.hiroshima.jp>)の右欄「電子行政サービス」内の『電子入札・登録』をクリックし、表示される『広島市電子調達システムポータルサイト』から各システムへアクセスできます。

3 これから電子入札を開始される方へ

電子入札はインターネットを使用します。まず、インターネットへの接続環境を整備してください。すでにインターネットへの接続環境が整わっている場合は、『広島市電子調達システムポータルサイト』(<http://www.keiyaku.city.hiroshima.lg.jp/WDESK/index.html>)へアクセスしていただき、「電子入札システム」の表示右側の『利用者登録の前にこちらの事前準備を行ってください』をクリックすることで表示される1から5までの事前準備をおこなっていただければ、電子入札に参加できます。

また、電子入札を実施する契約部及び各区役所区政振興課において、これから電子入札に参加される方を対象として作成した『- 初めて電子入札に参加される方へ -』を配布していますので、必要とされる方はご利用ください。

4 その他

平成19年度は、広島市の平成20・21・22年広島市競争入札参加資格審査申請「物品の売買、修繕及び製造の請負」・「物品の借り入れ」・「施設維持管理を除く役務」及び「施設維持管理業務」(一斉更新)の受付を実施します。

具体的な日程等については、市ホームページ及び市広報紙「市民と市政」に掲載するほか、広島市競争入札参加資格の有資格者に対し、平成19年7月頃に葉書でお知らせする予定です。

また、本申請も広島業者登録受付システムを使用しての電子手続きとなります。なお、平成19年7月には説明会を開催する予定です。これについても開催場所等が決定次第、有資格者に対し、お知らせする予定です。

5 お問い合わせ先

(1) システム操作に関すること

広島市電子調達ヘルプデスク

電話：082-848-4115

FAX：082-848-9501

E-mail：help@keiyaku.city.hiroshima.jp

(2) システム全般について

広島市財政局契約部契約制度改善担当

電話：082-504-2620

FAX：082-504-2612

E-mail：keiyaku-kai@city.hiroshima.jp

(3) 本庁における電子入札の実施について

広島市財政局契約部工事担当

電話：082-504-2280

FAX：082-504-2612

E-mail：keiyaku-koji@city.hiroshima.jp

(4) 競争入札参加資格審査申請（物品等）に関すること

広島市財政局契約部物品担当

電話：082-504-2083

FAX：082-504-2612

E-mail：keiyaku-bup@city.hiroshima.jp

(5) 水道局における電子入札の実施について

広島市水道局財務課契約係

電話：082-511-6826

FAX：082-221-2101

E-mail：keiyaku@water.city.hiroshima.jp

平成18年度の電子納品の実施及びアンケート結果について

広島県土木部総務管理局技術指導室
広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室

1 平成18年度の電子納品実施件数

	土木・都市・空港港湾部	農林水産部	総務部	合計
業務委託	154 件	24 件	12 件	190 件
工事	58 件	25 件	10 件	93 件
合計	212 件	49 件	22 件	283 件

2 成果品（CD）の集約数・率（土木・都市・空港港湾部：3月9日集計，農林水産部：3月20日集計）

	土木・都市・空港港湾部		農林水産部	
業務委託	21 件	14%	10 件	42%
工事	8 件	14%	11 件	44%
合計	29 件	14%	21 件	43%

3 アンケート集約数・率（土木・都市・空港港湾部：3月9日集計，農林水産部：3月20日集計）

	土木・都市・空港港湾部				農林水産部			
	受注者		発注者		発注者		発注者	
業務委託	26 件	17%	23 件	15%	12 件	50%	11 件	46%
工事	10 件	17%	10 件	17%	11 件	44%	9 件	36%
合計	36 件	17%	33 件	16%	23 件	47%	20 件	41%

4 平成18年度の成果品CDのチェック結果

各発注機関へ提出されたCDについて、副1部を本庁に集約し、電子納品の要となる管理ファイル等について電子納品チェックソフトでチェックを実施した。

エラーの割合は、業務委託のほうが少なく、エラー内容も比較的問題が少ない。

工事については、エラーの割合及びエラー内容も多く、問題が多い傾向にある。

エラーの内訳は次のとおり。

区分	業務委託		工事		備考
CD関係	・ルート上にデータなし ・CDケースの誤記 ・CD表面の誤記	4 件 9 件 6 件	・ルート上にデータなし ・CDケースの誤記 ・CD表面の誤記	1 件 3 件 7 件	
管理ファイル	・要領基準年月の誤り ・測量細区分名の誤記 ・図面ファイルがない ・必須項目が未記入 ・緯度経度未記入	1 件 2 件 1 件 8 件 1 件	・要領基準年月の誤り ・必須項目が未記入 ・コード誤記入 ・緯度経度未記入	2 件 12 件 2 件 2 件	

5 電子納品の今後の進め方（受注者アンケート結果より）

受注者へ電子納品の今後の進め方等について、アンケートを行った結果は次のとおり。

(1) 業務委託

取り組みを進めるべき項目

- ・ 押印書類のスキャン電子化
 - ・ 早期（1～2年）な全案件の電子納品対象化
- 取り組みを回避すべき項目
- ・ S X F と他の主要な C A D ファイル形式との二重納品
 - ・ 図面の C A D 製図基準（案）等への適合検査の厳格化
 - ・ 早期（1～2年）な全案件の電子納品対象化

(2) 工事

取り組みを進めるべき項目

- ・ 情報共有システム 導入による押印書類の電子化（電子決裁）
- ・ 電子化容易な書類（写真、表計算、文書等）のみの電子化限定

取り組みを回避すべき項目

- ・ 紙と電子の二重提出
- ・ 図面の C A D 製図基準（案）等への適合検査の厳格化
- ・ S X F と他の主要な C A D ファイル形式との二重納品
- ・ 早期全面電子データ化（スキャン等の利用）

(3) その他の意見

- ・ 電子納品チェックソフトの公開
- ・ 発注担当者への電子納品に関する基準等の徹底
- ・ C A D ファイル形式の統一

6 電子納品結果評価及び検討を進めるべき事項

要領基準年月及び管理項目の誤りはあったが、全体的には検査・閲覧に際しては支障のない程度のものであった。しかし、基本的な事項であることから、今後も、講習会及び研修による周知及び実務を重ねることにより改善（解決）を図ることとする。

また、次に掲げる電子納品を進めるうえで必要が高いと考えられる事項については、平成 19 年度に調整・検討等を進めていくこととする。

電子納品チェックシステムの公開

公開に向けた調整実施

システムを利用した押印書類の電子化及び事務の効率化

情報共有等システムの実証実験の実施及び導入検討

平成19年度の電子納品実施について（案）

土木部 総務管理局 技術指導室
 都市部 都市事業局 下水道室
 農林水産部 農林整備局 農林整備管理室
 総務部 財務局 財産管理室

1 要旨

広島県電子納品実施要領（平成19年度）を制定し、部門・案件数の拡大を行うとともに、電子納品関連システムの実証実験を行う。また、平成20年度以降の実施計画を制定・公表する。

2 平成19年度の具体実施内容

(1) 平成18年度の検証結果等を踏まえ、既存の実施要領を改定（資料6参照）

広島県電子納品実施要領 [業務委託編] , [工事編] , [建築設計業務編] , [営繕工事編]

(2) 平成19年度からの新たな取組として、3つの実施要領を制定（資料7参照）

広島県電子納品実施要領 [電気通信・機械設備業務委託編] , [電気通信設備編] , [機械設備工事編]

(3) 事前登録の継続受付（別紙1参照）

平成17年7月から受付を開始した電子納品事前登録を継続し、隨時受け付けを行う。また、新たに取組を開始する電気通信・機械設備についても適用し、これまでと同様の運用を行うこととする。

(4) 部分的・段階的な実施

選定は、各発注機関が案件概要や受注者対応状況等を勘案し行い、新規発注案件からの選定を基本とする。ただし、事前登録の状況によっては、契約後の電子納品対象への切り替えも可能とするが、受注者に無理のない対応を行う。

（目標）

土木・都市・空港港湾部	H 17	全体 93 件 (建設局等 各係1件程度)	H 18	全体 212 件 (各担当者 1件程度)	H 19	全体約 500 件 ・業務委託: 7百万円以上
		全体 12 件(業 務委託)(各農 林局2件程度)		全体 49 件 (農林局等各係 1件程度)		・工事: 上半期 5 億円以上 下半期 1 億円以上 ・その他(1)
農林水産部			H 18	全体 12 件	H 19	全体約 30 件
				全体 10 件		全体約 30 件
建築設計業務			H 18	全体約 2 件	H 19	全体約 2 件
						全体約 2 件
営繕工事					H 19	
電気通信					H 19	
機械設備					H 19	

(1) 業務委託・工事の発注案件において、前のプロセスが電子納品であった場合は、原則電子納品対象とする。

原則発注案件以外でも、個別状況により電子納品対象（特記仕様書に明記）とすることがある。

(5) 情報共有等システムの実証実験

国土交通省で取組まれている情報共有等システムについて、一部の案件（各事務所数件程度）により検証を行う。

システム利用による受発注者への効果、必要性及びその構築形態等を検討する。

(6) 電子納品保管管理システムの検討

電子納品保管管理システムの調達に向けた、システムの基本設計を行う。

(7) 電子閲覧の実施

部分実施（業務委託：各担当 1 件程度、工事：各課 1 件程度）により検証を行う。

受発注者への効果、必要性及びその構築形態等を検討する。

- 3 平成 20 年度以降の電子納品実施計画（別紙 2 参照）
 平成 20 年度以降の円滑かつ本格導入のため、設計金額の区分による年次計画を策定し、早期の公表・周知を図り、更なる推進を図ることとする。

4 平成 19 年度のスケジュール（予定）

	～H19.3	4	5	6	7～9	10～12	1～3	H20.4～
電子納品実施要領	実施結果反映 ・改訂作業	平成 19 年度	実施要領制定・公表			実施結果反映 ・改訂作業		
事前登録受付						事前登録受付(随时受付)		
電子納品実施 H20 以降計画公表					平成 19 年度 案件選定・発注・実施			
情報共有等 システム 実証実験		利用システムの選定	平成 20 年度以降の実施計画公表	案件選定	実施・検証	結果検証		結果 取りまとめ 次年度反映
電子納品保管管理 システム検討		システム検討業務委託発注		発注・研修		予算要求		結果 取りまとめ 次年度反映
電子閲覧 部分実施		システム準備		案件選定	システム検討	実施		結果 取りまとめ 次年度反映

5 平成 19 年度における普及啓発その他周知手法

各種講習会の機会を捉え、説明等を行うとともに、広島県 CALS/EC ホームページ、業界紙及び関係業者団体の長への通知等により情報提供を行っていく。

普及促進支援団体である財団法人広島県建設技術センターが受注者向けに CALS/EC 研修（資料 8 参照）を開催する予定である。

電子納品事前登録について

土木部総務管理局技術指導室

1 要旨

平成 17 年 7 月から受付を開始している電子納品事前登録を継続し、隨時受け付けを行う。また、新たに取組を開始する電気通信・機械設備についても適用し、これまでと同様の運用を行うこととする。

2 目的

- 事前登録は、次の事項を目的に電子納品の全面導入まで実施する。
- ・ 受注者側における電子納品対応状況の把握（導入展開検討資料）
 - ・ 電子納品実施案件の確実な履行確保（結果のフィードバック）
 - ・ 発注事務の円滑化（実施案件の指名等基礎資料）

3 事前登録の具体内容

(1) 登録の資格

県発注の建設工事、測量及び建設コンサルタント等業務の入札参加資格を有し、最終成果物を広島県電子納品実施要領に従い「電子納品」ができる者

(2) 登録単位

建設工事…建設業許可番号単位

業務委託…測量及び建設コンサルタント業者登録番号単位（8で始まる8桁の県独自の登録番号）

本店・支店単位や業種業務単位の登録は行わない。

(3) 登録窓口及び受付期間等について

項目	内容
申請先(受付窓口)	土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ
登録申請様式	広島県 CALS / EC のページからダウンロード 事前登録申請書…様式第 1 号
申請締切	登録受付開始から隨時受け付け
登録の変更	変更は登録の取下げ（削除）のみとします。 申：広島県 CALS / EC のページからダウンロード 請：事前登録取下げ申請書…様式第 2 号 書：登録後の状況変化により、電子納品履行が不可能となった場合に登録を削除するための申請書
登録の有効期間	入札参加資格を有する機関において、登録申請を受領し登録を完了した日から電子納品が全面導入（事前登録を廃止）或いは登録の取下げを申請するまで。

注：事前登録は電子納品実施案件の指名等を確約するものではありません。

(4) 登録の確認

事前登録申請者が登録の有無を確認できるよう広島県 CALS / EC のホームページへ登録者の一覧を掲載する。ただし、掲載は建設業許可番号と測量及び建設コンサルタント業者登録番号（8で始まる8桁の県独自の登録番号）で行う。

4 電子納品対象案件発注における留意事項

電子納品対象案件の発注に際しては次のとおり取り扱うこととなるので、十分検討のうえ、事前登録及び電子納品対象案件の受注を行う必要がある。

取り組みを開始する電気通信・機械設備についても事前登録を適用し、同様の運用を行うこととする。

履行の確保（履行の義務化）	契約書類である特記仕様書へ記載し、契約上の義務とする。（不履行は契約違反）
業者の選定 (履行の確実化)	指名形式…事前登録業者リストから指名選考する。 公募・一般競争形式…入札公告へ「電子納品対象案件」である旨を記載。 事前登録の有無は問わない。

5 その他

- ・ 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行により、事前登録も受注者の技術的能力を確認することとし、申請書へ電子納品への対応状況（予定）の記載欄を設け、状況確認を行う事とした。その記載内容により、対応が未整備（無計画）と考えられる申請があれば問い合わせを行い、登録の可否を判断する。
- ・ 事前登録の様式及び広島県電子納品実施要領等は、広島県 CALS / EC のホームページに掲載中。
(URL : <https://chotatsu.pref.hiroshima.jp/cals/>)

平成20年度以降の電子納品実施計画について（案）

広島県土木部総務管理局技術指導室
広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
広島県総務部財務局財産管理室

1 要旨

電子納品の円滑かつ計画的な導入を推進するため、平成20年度以降の計画を策定する。

なお、電気通信・機械設備に係る電子納品は平成19年度より取り組みを開始するため、本計画の対象外とする。

2 実施計画の基本的な考え方

- (1) 設計金額による段階的な実施計画
- (2) 電子納品事前登録状況等を勘案した実施計画
- (3) これまでに実施状況を勘案した実施計画

3 実施計画

(1) 電子納品実施計画について

平成20年度以降の実施計画は次のとおりとする。

平成22年度以降の実施計画については、実施状況及び電子納品事前登録状況等を勘案し平成19年度以降に決定し、公表する。

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度以降
業務委託	設計金額 300万円以上		原則全件実施
建設工事	請負対象設計金額 5,000万円以上	請負対象設計金額 2,500万円以上	
建築設計業務	部分導入 (規模に応じ義務化)	部分導入 (規模に応じ義務化)	
営繕工事	試行 (段階的に拡大)	部分導入 (規模に応じ義務化)	段階的に 全件対象へ 拡大を行う

ただし、次の案件は、設計金額区分に該当しない場合でも電子納品を実施する。

発注者があらかじめ電子納品対象案件に指定する案件

受注者から電子納品の申し出があり、受発注者双方の合意により電子納品対象とする案件

(2) 実施件数（想定）

平成17年度の発注件数を基礎とした平成20・21年度の電子納品実施件数は次のとおり。

分類	平成20年度	平成21年度
業務委託	840件	1,880件
建設工事	470件	1,000件
合計	1,310件	2,880件

4 電子納品対象案件の入札方法

(1) 通常型指名競争入札

電子納品対象とする場合は、原則、事前登録業者から指名を行うこととする。

(2) 一般競争・公募型指名競争入札

電子納品対象とする場合は、公告文へ電子納品対象案件（電子納品が条件）であることを明記し参加希望者を募ることとする。

（参考：電子納品実施状況）

段階的に実施件数の拡大を図り、受発注者双方の習熟及び普及・啓発を行いながら推進している。

（計画目標）

土木・都市・空港港湾部	H 17	全体93件 (建設局等各係1件程度)	H 18	全体212件 (各担当者1件程度)	H 19	全体約500件 ・業務委託：原則7百万円以上 ・工事：上半期原則5億円以上 下半期原則1億円以上 ・その他(1)
農林水産部		全体12件(業務委託)(各農林局2件程度)		全体49件 (農林局等各係1件程度)		全体約30件
総務部 (建築設計業務)				全体12件		全体約30件
総務部 (営繕工事)				全体10件		

(1) 業務委託・工事の発注案件において、前のプロセスが電子納品であった場合は、原則電子納品対象とする。

原則発注案件以外でも、個別状況により電子納品対象（特記仕様書に明記）とすることがある。

広島県電子納品実施要領 [業務委託編] [工事編] の改訂について

広島県土木部総務管理局技術指導室
広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室

1 要旨

国土交通省のガイドラインの一部改定及び、平成18年度の電子納品実施結果等を踏まえて、「広島県電子納品実施要領」を改訂する。

2 国土交通省の改訂内容

改定前の要領等名称	内 容	改訂後の要領等名称
現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)【地質・土質調査編】平成15年1月	改訂	電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】平成18年9月
現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)【測量編】平成15年9月	改訂	電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】平成18年9月

3 広島県電子納品実施要領の改訂概要

今回の改訂では、国土交通省等の要領・基準・ガイドラインに大幅な改訂等がなかったことから、平成18年度の電子納品の実施結果等を踏まえ、受発注者の理解促進等を図るための記載の変更等を行った。

なお、電子納品対象書類の範囲等の基本的な運用に関しては、特段の改訂は行わない。(別紙1参照)
主な改訂内容は次のとおり。

項目	改定の主な内容	業務委託	工事
表2.1電子納品関連ガイドライン	・中国地方整備局の手引きを追加した	P4	P4
広島県の運用	・下水道事業の取扱いについて追記した。	P4	P4
事前協議	・打合せ簿により協議することを義務付けた。	P8	P8
デジタル写真による写真撮影	・写真によりCD-R枚数が増えないよう追記した。	P9	P9
CAD図面のファイル形式	・SXF(SFC)形式について具体的な説明を追記した。	P9	P9
電子媒体の表記規則	・電子媒体及びCD-Rケースの背表紙への表記項目を変更した。	P23	P21
業務管理項目 設計書コードの広島県摘要欄	・記載方法の変更	P28	P27
参考資料3 納品時チェックシート	・新規に追加	P39	P40

広島県電子納品実施要領の基本事項について

1 平成19年度版電子納品実施要領の基本構成について

広島県電子納品実施要領の基本的な考え方及び構成は次のとおりであり、変更はない。

(1) 基本的な考え方

電子化範囲の明確化	国土交通省の基準類で電子化対象である事項について、県レベル(県担当、受注業者)でそぐわないものについて電子化対象を再検討
県の実態反映	国土交通省と県との事務実態の差等により、国土交通省基準に追加・補足して取決めるべき事項がある場合には明記
担当者の理解促進	関係する基準の量(頁)が多い上に、実務に携わる担当者は多岐に渡るため、電子納品に対する理解を促進するため、内容説明を追記

(2) 基本的な構成

広島県電子納品実施要領 H19(業務委託編)		(個別の国基準・要領～準拠)
・電子納品の定義等	・電子納品実施項目	CAD 製図基準(案) H16.6
・フォルダ構成	・ファイル形式,命名	デジタル写真管理情報基準(案) H18.1
・電子媒体	・検査実施	測量成果電子納品要領(案) H16.6
・参考:フロー, チェックリスト		地質・土質調査成果電子納品要領(案) H16.6
広島県電子納品実施要領 H19(工事編)		CAD 図面作成要領(案) H17.3
・電子納品の定義等	・電子納品実施項目	電子化図面データの作成要領(案) H17.4
・フォルダ構成	・ファイル形式,命名	
・電子媒体	・検査実施	
・参考:フロー, チェックリスト		国 の電子納品要領(案), 電子納品運用ガイドライン(案)に相当する内容をまとめて記述

2 平成19年度広島県電子納品実施要領の基本運用（土木・都市・空港港湾・農林水産部共通）

区分	基本運用	考え方
(1)要領の取扱い	電子納品の実施における受発注者の基本的な対応を明記	電子納品の実施で、心構えとして必要な事項を明記。
(2)CADフォーマット (業務委託・工事)	SXF(SFC)とする	標準形式である SXF のうち、ファイルサイズが小さく取扱が比較的容易で、SXF(P21)との互換性が保たれている。
(3)オリジナルファイル (業務委託・工事)	CAD以外のオリジナルファイル作成ソフトは、ワード・エクセルを基本とする。 * 対象データ 業務：報告書オリジナルファイル 工事：打合せ簿・履行報告等・各オリジナルファイル	県の使用ソフトであり、データ活用が可能となるため。(比較的汎用的なソフトでもある)
(4)PDF (業務委託・工事)	国と同様に作成(必要な設定等も準拠)。 基本的には、オリジナルファイルから PDF ファイルを作成する。 管理資料等作成ソフトに PDF 出力機能があれば、県標準ファイルと同様に電子納品を認める。	検索機能を活用及び過度な負担を避けるため、スキャナによる PDF 化は行わない。
(5)電子媒体 (業務委託・工事)	・再度書き込みが不可能な方法で書き込める CD - R で納品する。 ・部数については、正1部副2部(計3部)	・電子納品物の原本性を担保する措置。 ・正副：各発注機関、副：技術指導室(県内電子納品データの総括管理用)
(6)納品形態 (検査)	・業務委託 簡易製本による紙媒体を一部提出。受注者に対する過度の負担を避けるため、図面については縮小版とする。 ・工事 写真ダイジェスト版は従来どおり紙で提出する。	検査は、全体を俯瞰する作業を紙で、詳細部分を電子データにより確認する方法を想定。検査事務等円滑化のための当面の措置

広島県電子納品実施要領 [建築設計業務編] [営繕工事編] の改訂について

総務部財務局財産管理室

1 要旨

平成18年度の試行事業の実施状況から電子納品実施要領を改訂する。

2 広島県電子納品実施要領の改訂について

今回の改訂では、国土交通省等の要領・基準・ガイドラインに大幅な改訂等がなかったことから、平成18年度の試行事業の実施状況、及び各担当者の意見等を踏まえ、受発注者の理解促進、内容の充実及び円滑な導入等を図るため、記載の変更等を行った。

主な改訂内容は次のとおり

項目	改訂の主な内容	建築設計業務	営繕工事
図面ファイル形式	CAD形式をSXF(SFC)、JW-CADのみとし、DXFは認めないこととした。 (DXFは中間ファイルという位置づけで認めていたが、同じ中間ファイルのSXF(SFC)があるため、それに一本化する。)	P8	P8
工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	積極的な電子化の取組みを促進させるため、必須項目以外は全て協議とした。 (必須項目の追加はない。) 施工図については、CAD化が難しいものがあるため、必須から条件付必須とし、主要なものを対象とした。	-	P9
レイヤーリストファイル	広島県のCAD図面作成要領によるものとして不要としていたが、CAD図面作成要領に記載されていない例外的なもの等にも柔軟に対応させるため、必須とする。	P12	P16
図面以外のファイル名	原則として参考例によりファイル名を命名するとなっていたが、参考例に従うと、場合により非常に扱い難いものになるため、当面の対応として図面以外のファイル名は協議により決定することとした。	P17	P22
事前協議及び検査前チェックシート	協議を円滑に進められるよう、対象書類の詳細なチェック項目を追加した。	P26～29	P33～38

電気通信・機械設備に係る電子納品について

広島県土木部総務管理局技術指導室
広島県都市部都市事業局下水道室

1 要旨

広島県の電子納品は、国土交通省等が策定した要領・基準等への準拠を基本とし、平成16年度から土木部、平成17年度から農林水産部、平成18年度からは総務部が取組みを開始し、段階的に分野の拡大を図っている。

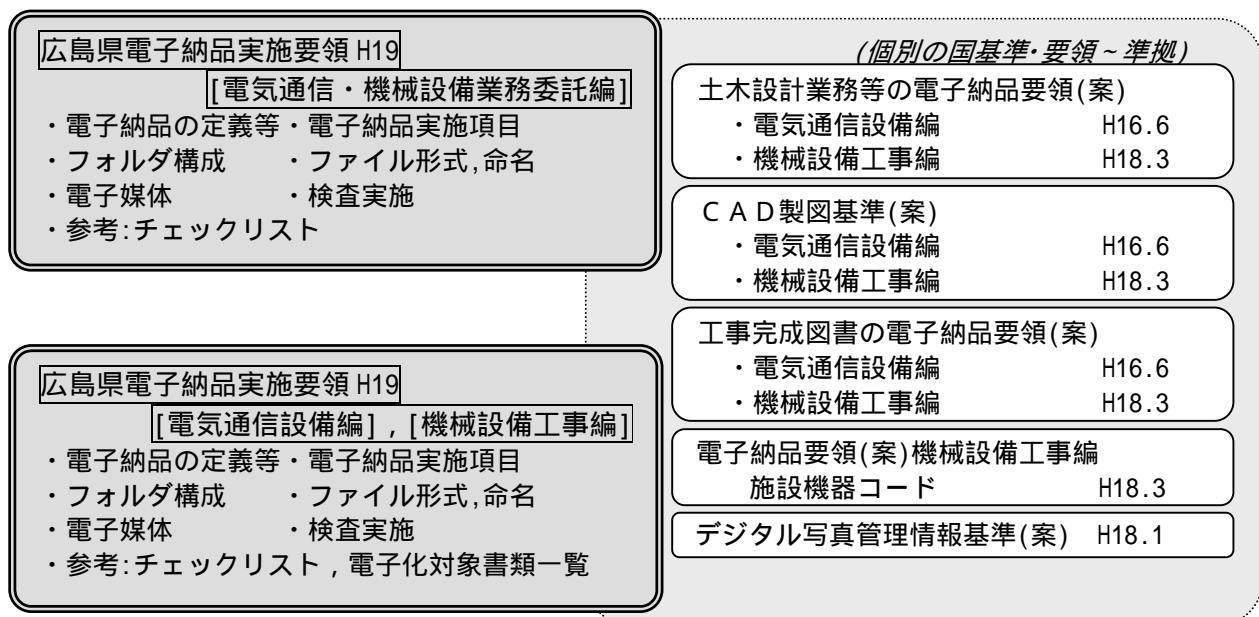
平成19年度からは新たに電気通信・機械設備への取組みを開始することとし、今年度電気通信・機械設備に係る広島県版の電子納品実施要領の検討、策定を行い、来年度一部の案件による電子納品を開始する。

2 策定における基本的な考え方

電子化範囲の明確化	国土交通省の基準類で電子化対象である事項について、県レベル(県担当、受注業者)でそぐわないものについて電子化対象を再検討
県の実態反映	国土交通省と県との事務実態の差等により、国土交通省基準に追加・補足して取決めるべき事項がある場合には明記
担当者の理解促進	関係する基準の量(頁)が多い上に、実務に携わる担当者は多岐に渡るため、電子納品に対する理解を促進するため、内容説明を追記

3 基本的な構成

国土交通省等の基準・要領等のうち個別分野に関するものをベースとし、電子納品全般の基本事項について明記する。特に取組開始にあたり、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を目的に追記を行う。



* 国の電子納品要領(案)及び電子納品運用ガイドライン(案)等に相当する内容をまとめて記述

4 電子納品実施要領の概要

(1) 電子納品の対象範囲

取組みの初年度となることから、円滑なスタートを目的として、電子納品対象の範囲を限定する。平成20年度以降、順次可能な範囲で電子化対象を段階的に拡大する。

1) 設計業務

項目	作成者	フォルダ	平成19年度対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
報告書	受注者・発注者	REPORT	必須
図面	受注者	DRAWING	必須
写真	受注者	PHOTO	必須
測量データ	受注者	SURVEY	必須
地質データ	受注者	BORING	必須

必 須 : 電子納品を必須とする書類

協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、受注者からの申出及び受発注者間で協議が整った場合に対象とする書類

2) 工事

項目	作成者	フォルダ		平成19年度対象
		電気	機械	
管理ファイル	請負者	-	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS		条件付必須
打合せ簿	発注者・請負者	MEET		協議
施工計画書	請負者	PLAN		協議
完成図	請負者	DRAWINGF	-	条件付必須
施工図面・完成図	請負者	-	DRAWINGF	条件付必須
	請負者	-	K_BOOK	必須
B 実施仕様書	請負者	-	B_SPC	必須
B 計算書	請負者	-	B_CHECK	必須
B 施工図面	請負者	-	B_INST	必須
B 機器図	請負者	-	B_DEVICE	必須
B 施工管理記録書	請負者	-	B_EXAM	必須
B 取扱説明書	請負者	-	B_MANUAL	必須
写真	請負者	PHOTO		必須
その他の 図書	期間別工事工程計 画書	OTHRS	OTHRS	協議
	段階確認書		-	協議
	その他資料		-	協議
	設備図書		-	協議
台帳	請負者	FACILTY	K_LDR	必須

必 須 : 電子納品を必須とする書類

協 議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、請負者からの申出及び請負・発注者間で協議が整った場合に対象とする書類

× 対象外 : 従来どおり押印された書類を紙納品する書類

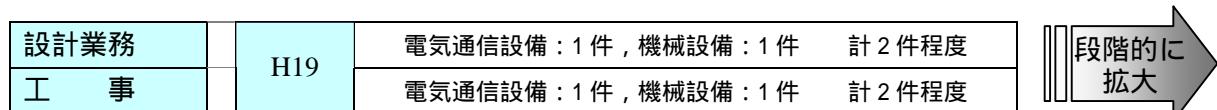
(2) 広島県の電子納品の取扱い(国土交通省との差異)

分類	項目	内 容	
		国土交通省	広島県
共通	CAD ファイルの形式	原則として , SXF (P21)	原則として SXF (SFC)
	オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則 , 次の形式による Word・Excel・JPEG・PDF
	CAD ファイル命名規則の整理番号	受発注者間で協議し決定	原則として , 県の基準による
	レイヤリストファイル	要	不要 (県の基準による)
	図面オルガナイザーフォルダ	要	要
	電子媒体納品書	要	要 (広島県様式)
管理ファイルの記載内容		各要領の「成果品の管理項目」記載例参照	
設計業務	納品物	CD-R 2 部	CD-R 3 部 (正:1 部・副:2 部) 原図 1 部 ほか特記仕様書による
	電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「業務場所」を追加
工事	納品物	CD-R 2 部	CD-R 3 部 (正:1 部・副:2 部) ほか特記仕様書による
	工事写真	CD-R 1 部	工事写真帳 (紙) ほか特記仕様書による
	電子媒体等の表記	8 項目について記載	10 項目について記載 「正・副表記」「工事場所」を追加

5 電子納品実施展開

平成 19 年度は、次の案件数を目標とし電子納品の該当案件を選定し実施する。

なお、平成 20 年度以降は、順次対象件数を拡大する。現段階の展開イメージはつきのとおり。



展開イメージ

取組内容	H19	H20	H21	H22	H23 以降
設計業務	試行 (案件特定)	試行 (内容拡大)	部分導入(規模に応じ義務化) 順次拡大		
工事	試行 (案件特定)	試行 (案件特定)	試行 (内容拡大)	部分導入(規模に応じ義務化) 順次拡大	

6 下水道施設の電子納品 (CAD 製図基準) について

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業への適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

[参考 : CAD 製図基準 (案) 処理施設編 (H17.3) (財) 全国上下水道コンサルタント協会]

広島県CALS/EC研修会について(受注者向け)

財団法人広島県建設技術センター

1 平成18年度の実施状況

(1) 広島県CALS/EC研修会(基礎編)

開催日等 平成18年6月19日(西部会場;広島県立総合体育館中会議室)

平成18年6月22日(北部会場;広島県立三次公園視聴覚室)

参加人数 130名(コンサルタント27名,建設業者103名)

研修内容

・「広島県CALS/EC」について概要説明

・「広島県電子納品実施要領」の解説

(2) 広島県CALS/EC研修会(専門編)

開催日等 平成18年6月26日～30日(広島ソフトウェアセンター)

参加人数 111名(コンサルタント41名,建設業者70名)

研修内容

・「広島県電子納品実施要領」の解説

・「電子納品の元データ作成時の注意点」解説

・「デジタル写真データの作成」演習

・「CADデータの作成について」演習

・「電子納品(成果品)の作成について」演習

・「電子納品(成果品)の検査時の操作」演習

(3) 広島県CALS/EC研修会(建築・営繕関係)

開催日等 平成18年9月11・12日(広島県立総合体育館中会議室)

参加人数 152名(コンサルタント41名,建設業者111名)

研修内容

・「広島県CALS/EC」について概要説明

・「広島県電子納品実施要領」の解説

2 平成19年度の研修計画(予定)

(1) 広島県CALS/EC研修会(基礎編)

概要 広島県が進める電子納品について、電子納品未経験者を対象とした基礎的な内容の研修を継続的に開催するとともに、入札制度改正に伴い拡大実施される電子入札へ対応するために、電子入札システムの実務的な研修会を開催する。

開催期間

電子入札システム操作研修会 平成19年6～7月頃 7日間

電子納品講習会(土木関係、建築・営繕関係) 平成18年6～7月頃 4日間

対象者

電子入札システム操作研修会

・広島県入札参加資格登録業者

電子納品講習会(土木関係、建築・営繕関係)

・業務委託編:コンサルタント(土木関係)

・工事編:建設業者(土木関係)

・建築設計業務編:コンサルタント(建築関係)

・営繕工事編:建設業者(建築関係)

研修内容

電子入札システム操作研修会

・電子入札システムを利用して電子入札の実務研修

電子納品講習会(土木関係、建築・営繕関係)

・「広島県CALS/EC」について概要説明

・「広島県電子納品実施要領」解説

(2) 広島県CALS/EC研修会(専門編)

概要 広島県電子納品実施要領に基づき、電子納品が円滑に行えるよう、電子納品データ作成におけるデジタル写真の取扱い、CADデータ作成等の実務を含めた研修を行う

開催期間 平成19年7～9月頃 5日間

対象者

・業務委託編:コンサルタント(土木関係)

・工事編:建設業者(土木関係)

研修内容

・「広島県電子納品実施要領」の解説

・「電子納品の元データ作成時の注意点」解説

・「デジタル写真データの作成」演習

・「CADデータの作成について」演習

・「電子納品(成果品)の作成について」演習

・「電子納品(成果品)の検査時の操作」演習

平成19年度電子納品研修について（県職員向け）

広島県土木部総務管理局技術指導室

1 要旨

平成19年度は電子納品の対象案件がさらに増えることから、電子納品の実施に即した研修等を電子納品の担当者（県職員）向けに開催する。

2 電子納品に必要となる研修項目（県職員）

(1) 電子納品の基礎（広島県電子納品実施要領及びその運用）

広島県における電子納品実施の基本ルールである。国の基準・要領類に準拠しながら、県独自の段階的取扱いや理解促進のためのメモ等を記載したもの。

(2) 電子納品関連ツール（基準適合検査・閲覧ツール「Ism」及び電子図面閲覧・修正ソフト「DynaCAD」）

Ismは受注者から提出される電子納品物の内容について、各種基準・要領類に適合し作成されていることの確認検査を自動処理し、更にその内容の閲覧等の作業を効率的に実施するソフトであり、事務量の大幅な軽減を図ることが可能なソフト。CADは電子化された図面データを閲覧し、或いは加工・修正するソフト。

3 研修実施の基本スタンス

(1) 講習会による受講機会の確保・・・多くの受講を可能とするため、地方機関でも開催する。

(2) ツール研修の発展 基礎・応用編開催の継続と、実務編を多く開催する。

(3) ツール研修の反復受講 反復の受講希望を認める。

(4) 地方機関優先受講 基本的には本庁・地方機関の区分は無いが希望が多い場合は、電子納品実施を行う地方機関を優先する。

(5) 定期開催 実施案件数の増加に伴い、定期開催を行う。

4 具体の研修計画

(1) 全関係職員の受講への取組み

9月までに、多くの研修を開催し、早期習熟を図る。基礎・応用編の未受講者への対応と実務編を数多く開催することによる電子納品実務上のスキル向上を推進する。

		H17	H18	H19(予定)	備考
電子納品 講習会	人数	全技術職員対象	全技術職員対象	全技術職員対象	国の基準改定及び段階的な取組み等について、年度毎の周知を行う。
	回数	11回	16回	12回	
ツール研修	人数	367名	368名	約520名	基礎・応用編を引き続き開催するとともに、実務編を多く開催する。
	回数	15回	26回	26回	
検査監 研修	人数	15名	15名	検査監+希望者	検査監及び課長等の検査執行者のための研修。(必要に応じ追加開催)
	回数	1回	1回	1回	

(2) 平成19年度の研修開催予定

平成19年度は、次の研修内容・回数を予定している。

実務編を多く開催し、実務上のスキルのアップを図る。

		内 容	回数	開催予定時期
電子納品講習会		電子納品実施に必要な知識・実務作業の習得	11回 1回	5月～6月(巡回) 6月(本庁)
ツール研修	基礎編	ツールの基礎操作の習得	4回	6・7月
	応用編	ツールの応用操作の習得	3回	6・7月
	実務編	ツールの実務での利用手法の習得	14回	7～9月
検査監研修		ツール操作及び検査手法の習得	1回	5月(状況に応じ追加開催)

5 その他

(1) 研修の企画・運営等

技術指導室が企画・運営等を行うが、講師についてはCALS/EC普及促進支援団体である（財）広島県建設技術センター及びツール開発会社へ依頼し、効果・効率的な研修実施に努める。

(2) アンケートの実施

研修内容及び電子納品に対する意見等を広く募り、今後に反映する。

広島県CALS/ECC連絡協議会規約

(名称)

第1条 本会は、広島県CALS/ECC連絡協議会と称する。

(目的)

第2条 本県において、公共事業執行のIT化であるCALS/ECCを受発注者一体となって推進するため、意見交換や必要な調整を行いながら、それぞれの取組の方向性や内容について整合を図るとともに、CALS/ECCの着実な浸透を目指した普及促進活動を行う。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)本県におけるCALS/ECCに関する受発注者の意見交換及び連絡調整
- (2)本県におけるCALS/ECCの普及促進

(会員)

第4条 会員は別表1のとおりとする。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 1名

(役員の選任)

第6条 会長は、広島県土木部技監をもって充てる。

2 副会長は、財団法人広島県建設技術センター理事長をもって充てる。

(役員の職務)

第7条 会長は、本会を代表して会務を統轄する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

(会議)

第8条 会議は、必要に応じ会長が召集する。

(電子納品分科会)

第9条 本会の電子納品に関連した業務について、より詳細な調整を行うため、電子納品分科会を置く。

2 電子納品分科会は別表2の機関から、各機関の長が推薦した者により構成する。

3 分科会に、会を統轄する班長を置く。

(事務局)

第10条 本会及び分科会の事務局は広島県土木部総務管理局技術指導室に置く。

附 則

この規約は、平成16年 1月20日から施行する

附 則

この規約は、平成16年 7月 8日から施行する

附 則

この規約は、平成17年 6月16日から施行する

附 則

この規約は、平成18年 4月 1日から施行する

附 則

この規約は、平成18年11月 7日から施行する

別表 1

広島県C A L S / E C 連絡協議会会員

会長	広島県土木部技監
副会長	財団法人広島県建設技術センター理事長
会員（県）	広島県総務部財務局営繕室長
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室長
	広島県土木部総務管理局建設産業室長
	広島県都市部都市事業局下水道室長
会員（市町）	広島市都市整備局指導部技術管理課長
	呉市土木建設部土木課長
	福山市建設局建設管理部技術検査課長
	坂町産業建設課長
	北広島町建設課長
会員（外郭）	広島県道路公社建設課長
	広島高速道路公社企画調査部技術管理課長
会員（受注者）	社団法人広島県建設工業協会情報化担当役員
	広島県建設業協会連合会情報化担当役員
	社団法人広島県管工事業協会情報化担当役員
	社団法人広島県造園建設業協会情報化担当役員
	社団法人広島県法面協会情報化担当役員
	社団法人広島県リフォーム建設協会情報化担当役員
	社団法人広島県浄化槽協会情報化担当役員
	社団法人広島電業協会情報化担当役員
	広島県土地改良事業団体連合会情報化担当役員
	社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部情報化担当役員
	社団法人広島県測量設計業協会情報化担当役員
	社団法人中国地質調査業協会広島県支部情報化担当役員
	社団法人広島県建築士事務所協会情報化担当役員
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部情報化担当役員
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部情報化担当役員
会員（アドバイザー）	国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課課長補佐
	財団法人日本建設情報総合センター中国地方センター長
事務局	広島県土木部総務管理局技術指導室長

別表 2

電子納品分科会構成員 所属機関

班長	広島県土木部総務管理局技術指導室
	広島県都市部都市事業局下水道室
	広島県総務部財務局営繕室
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
	財団法人広島県建設技術センター
	呉市土木建設部
	社団法人広島県建設工業協会
	広島県建設業協会連合会
	社団法人広島県管工事業協会
	社団法人広島電業協会
	広島県土地改良事業団体連合会
	社団法人広島県測量設計業協会
	社団法人広島県建築士事務所協会
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国四国支部
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部

第8回 広島県CALS/EC連絡協議会 出席者名簿

区分	所属	職名	会員名	出席者	備考
県関係	広島県土木部	技監	岡崎 修嗣	岡崎 修嗣	
	広島県土木部総務管理局建設産業室	室長	延藤 照章	延藤 照章	
	広島県都市部都市整備局下水道室長	室長	栗栖 繁	栗栖 繁	
	広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室	室長	原 和生	原 和生	同席 三浦 岳宏
	広島県総務部財務局営繕室	室長	桝 謙二	代理出席 宮地 正人	
市町関係	広島市都市整備局指導部技術管理課	課長	大上 幸治	代理出席 竹林 俊明 相良 達哉	
	呉市土木建設部土木課	課長	福井 利彦	福井 利彦	
	福山市建設局建設管理部技術検査課	課長	松浦 昭夫	欠席	
	坂町産業建設課	課長	三登 英生	三登 英生	
	北広島町建設課	課長	山本 哲男	山本 哲男	
外郭関係	財団法人広島県建設技術センター	理事長	高野 匠裕	代理出席 畠山 和憲	
	広島県道路公社事業部建設課	事業部長	松田 博行	松田 博行	
	広島高速道路公社企画調査部技術管理課	課長	松永 悟	欠席	
受注者関係	社団法人広島県建設工業協会	情報化担当役員	柴田 修三	柴田 修三	
	広島県建設業協会連合会	情報化担当役員	田村 安孝	田村 安孝	
	社団法人広島県管工事業協会	情報化担当役員	斎藤 全	斎藤 全	
	社団法人広島県造園建設業協会	情報化担当役員	正本 大	正本 大	
	社団法人広島県法面協会	情報化担当役員	藤本 哲朗	欠席	
	社団法人広島県リフォーム建設協会	情報化担当役員	池田 武	池田 武	
	社団法人広島県浄化槽協会	情報化担当役員	児玉 義昭	児玉 義昭	
	社団法人広島電業協会	情報化担当役員	井上 正信	代理出席 村上 誠	
	広島県土地改良事業団体連合会	情報化担当役員	小笠原 繁哉	小笠原 繁哉	
	社団法人建設コンサルタント協会中国支部	情報化担当役員	大田 一夫	代理出席 亀田 雄二	
	社団法人広島県測量設計業協会	情報化担当役員	縫部 勝彌	縫部 勝彌	
	社団法人中国地質調査業協会広島県支部	情報化担当役員	北田 憲嗣	北田 憲嗣	
	社団法人広島県建築土事務所協会	情報化担当役員	池田 宏	池田 宏	
	社団法人全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部	情報化担当役員	鳥越 敏文	鳥越 敏文	
	社団法人日本下水道施設業協会中国支部	情報化担当役員	中島 浩	代理出席 田口 均	
アドバイサー 関係	国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課	課長補佐	榎井 芳樹	欠席	
	財団法人日本建設情報総合センター中国地方センター	中国地方センター長	矢田 光夫	代理出席 小田嶋 知行	
事務局	広島県土木部総務管理局技術指導室	室長	甲斐 雅和	甲斐 雅和	

第8回 広島県CALS/EC連絡協議会

配 席 図

技監
広島県土木部
岡崎
修嗣
理事長
財団法人広島県建設技術センター
高野 匡裕

社団法人広島県建設工業協会
情報化担当役員 柴田 修三

広島県建設業協会連合会
情報化担当役員 田村 安孝

社団法人広島県管工事業協会
情報化担当役員 斎藤 全

社団法人広島県造園建設業協会
情報化担当役員 正本 大

社団法人広島県法面協会
情報化担当役員 藤本 哲郎

社団法人広島県リフォーム建設協会
情報化担当役員 池田 武

社団法人広島県浄化槽協会
情報化担当役員 駿玉 義昭

社団法人広島電業協会
情報化担当役員 井上 正信

広島県土地改良事業団体連合会
情報化担当役員 小笠原 繁哉

社団法人建設コンサルタント協会中国支部
情報化担当役員 大田 一夫

社団法人広島県測量設計業協会
情報化担当役員 縫部 勝彌

社団法人中国地質調査業協会広島県支部
情報化担当役員 北田 恵嗣

社団法人広島県建築土事務所協会
情報化担当役員 池田 宏

社団法人全国上下水道コンサルタント協会
中国・四国支部
情報化担当役員 鳥越 敏文

社団法人日本下水道施設業協会中国支部
情報化担当役員 中島 浩

広島県農林水産部農林整備局農林整備管理室
室長 原 和生

広島県土木部総務管理局建設産業室
室長 延藤 照章

広島県都市部都市事業局下水道室
室長 栗栖 繁

広島県総務部財務局営繕室
室長 柳 謙二

広島市都市整備局指導部技術管理課
課長 大上 幸治

呉市土木建設部土木課
課長 福井 利彦

福山市建設局建設管理部技術検査課
課長 松浦 昭夫

坂町産業建設課
課長 三登 英生

北広島町建設課
課長 山本 哲男

広島県道路公社事業部建設課
課長 松田 博行

広島高速道路公社企画調査部技術管理課
課長 松永 悟

国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課
課長補佐 横井 芳樹

財団法人日本建設情報総合センター中国地方センター
中国地方センター長 矢田 光夫

広島県土木部総務管理局技術指導室
室長 甲斐 雅和

(事務局)

報道関係者

入口

広島県電子納品実施要領 [業務委託編] (案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[業務委託編]の位置付け.....	1
1.1 はじめに.....	1
1.2 適用	1
1.3 国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い	1
1.4 問合せ	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義.....	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	6
3.1 機器及びソフトウェア	6
3.2 発注時の特記仕様書への記載.....	6
4 電子納品の手順・事前協議	7
4.1 電子納品手順.....	7
4.2 事前協議	8
5 電子成果品の作成	9
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	9
5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類.....	10
5.3 データの管理	10
5.4 広島県の標準ファイル形式	11
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	12
5.6 ファイルの命名規則	17
5.7 CAD ファイルに関する運用	21
5.8 電子媒体	22
6 完了検査	26
6.1 完了検査	26
7 成果品の管理項目	27
7.1 業務管理項目	28
7.2 報告書管理項目	30
7.3 図面管理項目	31
 参考資料 1 着手前協議チェックシート	33
参考資料 2 検査前協議チェックシート	38
参考資料 3 納品時チェックシート	39
参考資料 4 境界座標の記入	41
参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置	42

1 広島県電子納品実施要領[業務委託編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[業務委託編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、受発注者間において協議するものとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
測量業務共通仕様書 広島県	
地質及び土質調査共通仕様書 広島県	
設計業務委託共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省等が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・CAD 製図基準(案) ・CAD 図面作成要領(案)	・CAD 製図基準(案) ・CAD 図面作成要領(案) ・電子化図面データの作成要領(案)	2.3
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(6)
測量成果の図面ファイル以外の取り扱い	報告書フォルダと測量データフォルダにそれぞれに格納する。	報告書フォルダに格納し、測量データフォルダには格納しない。	5.2

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.4
CAD ファイル命名規則の整理番号	受発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数の数値を記入 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は整理番号を設定	5.6.5
納品物	CD-R 2部	CD-R 2部(正・副 各1部) 簡易製本版 1部	5.8.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	10 項目について記載 「路線河川名等」「業務委託場所」を追加 受発注者の署名欄は不要	5.8.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.8.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.1 ~ 7.2

1.4 問合せ

1.4.1 電子納品に関する問合せ

電子納品に関する問合せは、事前に国土交通省国土技術政策総合研究所の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。

(これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載)

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト

<http://www.nilim-ed.jp/>

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

1.4.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ

本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

土木部・都市部・空港港湾部 所管事業	農林水産部所管事業
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ TEL 082-513-3861 FAX 082-223-3593 E-mail dogishidou@pref.hiroshima.jp	農林水産部農林整備局農林整備管理室 技術管理グループ TEL 082-513-3635 FAX 082-223-3583 E-mail nouseibi@pref.hiroshima.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成16年6月	
	測量成果電子納品要領(案)	平成16年6月	
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	
図面	CAD製図基準(案)	平成16年6月	
	CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省農村振興局

国土交通省等がまとめたガイドラインを次に示す。

表 2.1 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成17年8月	国土交通省
電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	平成18年9月	
電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】	平成18年9月	
電子納品に関する手引き【業務編】 中国地方整備局	平成17年2月	国土交通省 港湾局
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成18年3月	
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成18年3月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)(業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省 農村振興局

国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。

国土交通省国土技術政策総合研究所 H P <http://www.nilim-ed.jp>

国土交通省港湾局 H P <http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm>

農林水産省 H P <http://www.nncals.jp/>

広島県の運用

国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) C A D 製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

広島県における電子納品の取組

広島県電子納品実施要領 [業務委託編]

本要領は、国土交通省等が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取組の考え方・運用を示したものである。

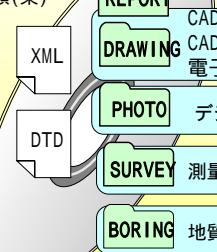
広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

電子納品の運用

電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】

電子成果品の仕様

土木設計業務等の
電子納品要領(案)



REPORT CAD制図基準(案)
DRAWING CAD画面作成要領(案)
電子化図面データの作成要領(案)

PHOTO デジタル写真管理情報基準(案)

SURVEY 測量成果電子納品要領(案)

BORING 地質・土質調査成果電子納品要領(案)

CAD製図基準に関する
運用ガイドライン(案)
電子化図面データ作成
運用ガイドライン(案)

現場における電子納品に関する事前協議
ガイドライン(測量編)

現場における電子納品に関する事前協議
ガイドライン(地質・土質調査編)

図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

国の要領・基準等の概要

(1) 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】

業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)

(2) 土木設計業務等の電子納品要領(案)

業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) CAD 製図基準(案)、CAD画面作成要領(案)、電子化図面データの作成要領(案)

CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

(4) デジタル写真管理情報基準(案)

写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

(5) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)、電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)

CAD データの取扱いについて、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応)
- ・ PDF 作成ソフト
- ・ ウイルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、100万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ・ PDF 作成ソフトのバージョンは、PDF1.2 以上(= 日本語版)とする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

参考 CAD ソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする業務委託の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

第 一 条 (電子納品)

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【業務委託編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

第 二 条 (成果品の提出)

委託成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 2 部提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

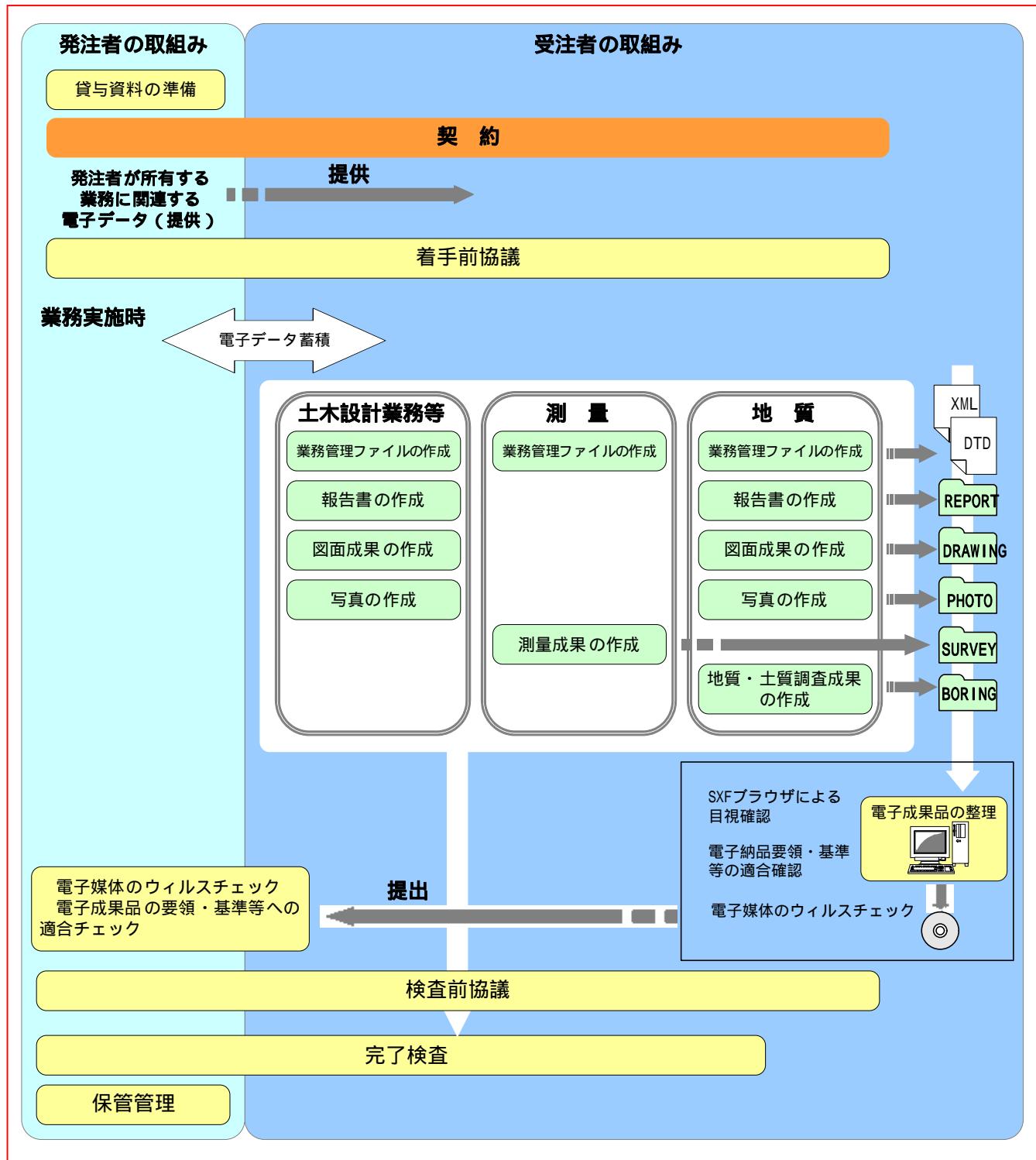
なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

業務委託の発注準備から完了検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、業務履行中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、業務履行中等に疑義が生じた場合は、隨時、受発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種
(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・受注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(3) スキャナによる電子化

スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(4) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

ただし、地質のコア写真は、200万画素以上とする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容量 / 枚	備 考	
		通常写真	地質コア写真
80万画素	1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120万画素	1280 × 960	300KB 程度	× 不可
200万画素	1600 × 1200	500KB 程度	
300万画素	2048 × 1536	800KB 程度	

(5) 特殊ソフト利用の書類の電子化

特殊アプリケーションを用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものは、PDF による提出も可とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこととする。

(6) CAD 図面のファイル形式

SXF(SFC)形式とする。

SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

委託成果品の電子化範囲は、確定測量(農林水産部所管)を除くすべてとする。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
報告書	受注者・発注者	REPORT	必須
図面	受注者	DRAWING	必須
写真	受注者	PHOTO	必須
測量	図面ファイル(SXF 形式・DM) 上記以外(TXT・PDF)	受注者	SURVEY 必須 × 対象外
地質調査	受注者	BORING	必須

補足説明

〈測量について〉

測量(SURVEY)フォルダに格納するファイルは、SXF(SFC)形式である CAD データと、

DM データの図面のみとする。

これらの図面を含め、全て報告書(REPORT)フォルダに PDF 形式で格納すること。

(例)

- ・基準点網図、線形図、縦横断面図等…SURVEY(CAD・DM)及び REPORT(PDF)に格納
- ・成果表、観測手簿、計算簿…REPORT(PDF)に格納

測量成果電子納品要領(案)によると SURVEY にも格納することとなるが、平成 19 年度は重複して格納しないこととする。

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

・ 報告書ファイル

報告書ファイルのファイル形式は、PDF 形式とする。

・ 報告書オリジナルファイル

報告書オリジナルファイルのファイル形式は、基本的に、Word ファイル・Excel ファイル、
画像ファイル(JPEG, TIFF)とする。

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式は、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

写真ファイルのファイル形式は、JPEG とする。

ただし、参考図ファイルのファイル形式は、JPEG 又は TIFF 形式とする。

地質データファイル

地質データファイルのファイル形式は、「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」に従う。

測量データファイル

測量データファイルのファイル形式は、「測量成果電子納品要領(案)」に従う。

(1) 写真ファイル等

設計業務に含まれている現地踏査等の写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外
とし、報告書としてとりまとめる。

(2) PDF ファイルの作成等

・ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

・ フォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

・ PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を報告書の目次と同じ章、節、項(見出しレベル 1~3)を基本として作成する。また、当該ファイル以外の別のファイルへのリンクとなるしおりに
関しては、大項目(章)に関してのみ作成する。

・ セキュリティの設定は行わない。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」、「PHOTO」、「SURVEY」、「BORING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。
 また「REPORT」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
 ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

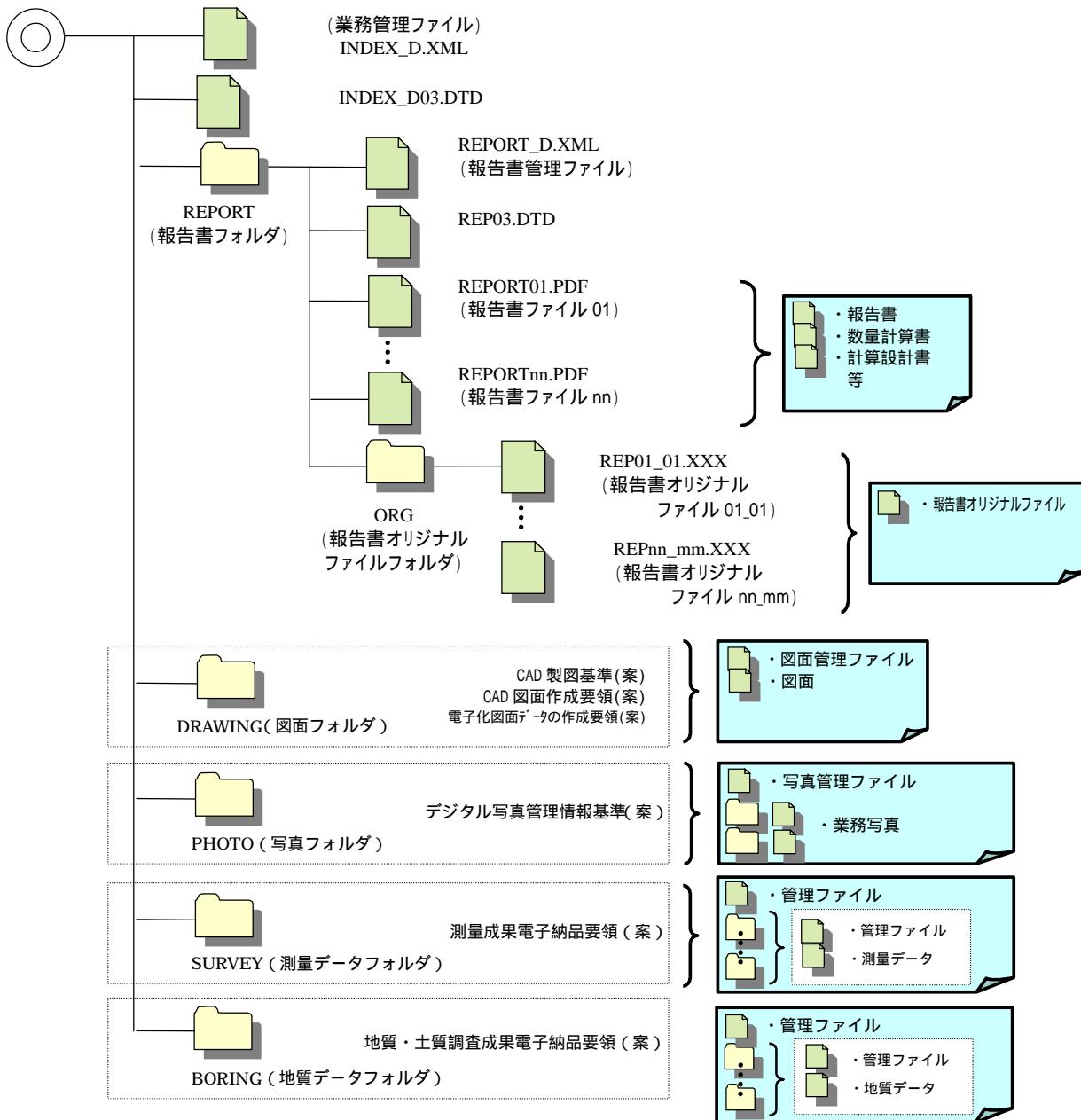


図 5.1 フォルダ構成

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等(1/3)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
{ROOT}		業務管理ファイル	XML,DTD	XML DTD INDEX.D.XML INDE_D03.DTD
報告書 (REPORT) 		報告書管理ファイル	XML,DTD	XML DTD REPORT.XML REP03.DTD
		・ 報告書	PDF	PDF PDF ファイル
	(ORG) 	・ 報告書	Word,Excel	オリジナルファイル
図面 (DRAWING) 		図面管理ファイル	XML,DTD	XML DTD DRAWING.XML DRAW03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	SXF(SFC) SXF(SFC) ファイル
写真 (PHOTO) 	(PIC) 	写真情報管理ファイル	XML,DTD	XML DTD PHOTO.XML PHOTO04.DTD
		・ 写真	JPEG	JPG JPEG ファイル
	(DRA) 	・ 参考図	JPEG,TIFF	JPEG・TIFF ファイル

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等(2/3)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
{ROOT}				
測量データ (SURVEY)		測量情報管理ファイル	XML,DTD	SURVEY.XML SURVEY02.DTD
SURVEY	(KITEN) KITEN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.KTN.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(SUIJUN) SUIJUN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.SJN.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(CHIKEI) CHIKEI	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.CHI.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(ROSEN) ROSEN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.RSN.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(KASEN) KASEN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.KSN.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(YOUTI) YOUCHI	測量成果管理ファイル	XML,DTD	SURV.YCH.XML SURV.D02.DTD
	WORK DATA OTHRS	サブフォルダを作成し、測量データファイル等を格納する。		
	(DOC) DOC	・ 特記仕様書 ・ 協議書 ・ 実施報告書	PDF Word,Excel	PDFファイル オリジナルファイル

: 測量記録を格納

: 測量成果を格納

: 各種証明書、説明書等その他データを格納

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等(3/3)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
{ROOT}				
地質データ (BORING)		地質情報管理ファイル	XML,DTD	 BORING.XML BRG0150.DTD
BORING	(DATA) DATA	ボーリング交換用 データファイル	XML , DTD	 BED0001.XML~BEDNNNN.XML BED0210.DTD
	(LOG) LOG	・ 電子柱状図	PDF	PDF ファイル
	(DRA) DRA	・ 電子簡略柱状図	SXF(SFC)	CAD(SXF(SFC)) ファイル
	(PIC) PIC	コア写真管理ファイル	XML,DTD	 COREPIC.XML CPIC0110.DTD
		・ デジタルコア写真 ・ デジタルコア写真整理結果	JPEG	画像(JPEG) ファイル
	(TEST) TEST	土質試験及び 地盤調査管理ファイル	XML,DTD	 GRNDTST.XML GTST0120.DTD
		土質試験結果一覧表 管理ファイル	XML,DTD	 STLIST.XML ST0210.DTD
		・ 電子土質試験結果一覧表	PDF	PDF ファイル
	BRGNNNNN	BRGNNNNN SITNNNN BRGNNNNN サブフォルダを作成し、土質試験及び地盤調査データを格納する。		
	(OTHRS) OTHRS	その他の地質・土質調査 成果フォルダ	XML,DTD	 OTHRFLS.XML OTHR0110.DTD

: ボーリング孔を利用した原位置試験、または、ボーリング孔を利用した資料による室内試験の電子データシート・データ交換用データを格納

: 当該調査以外のボーリング孔（既設孔）を利用した試験による電子データシート・データ交換用データを格納

: 上記以外（サイト）による電子データシート・データ交換用データを格納

5.5.3 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

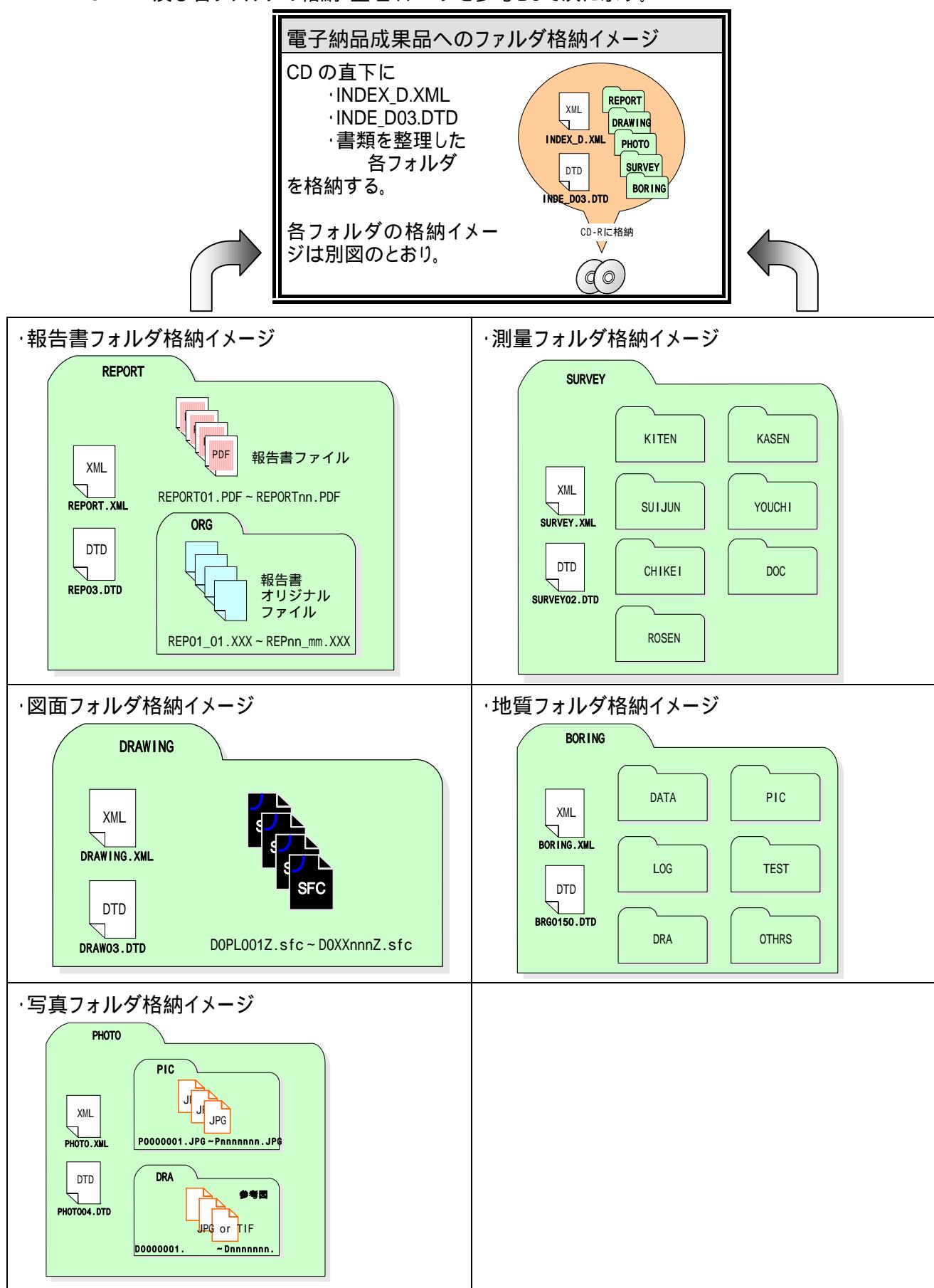


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

5.6.1 共通規則

- (1) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- (2) ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

5.6.2 管理ファイル

- (1) 業務管理ファイルは「INDEX_D.XML」とし、業務管理ファイルの DTD は「INDE_D03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (2) 報告書管理ファイルは「REPORT.XML」とし、DTD は「REP03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (3) 図面管理ファイルは「DRAWING.XML」とし、DTD は「DRAW03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (4) 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
ただし、「PHOTO04.DTD」が公開されるまでは「デジタル写真管理情報基準(案)平成 18 年 1 月」に記載される暫定的な取扱いに準じ、「PHOTO03.DTD」とする。
- (5) 測量管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、DTD は「SURVEY02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (6) 地質情報管理ファイルは「BORING.XML」とし、DTD は「BRGO150.DTD」(150 は版番号)とする。

5.6.3 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

- (1) 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイルの命名規則を次に示す。

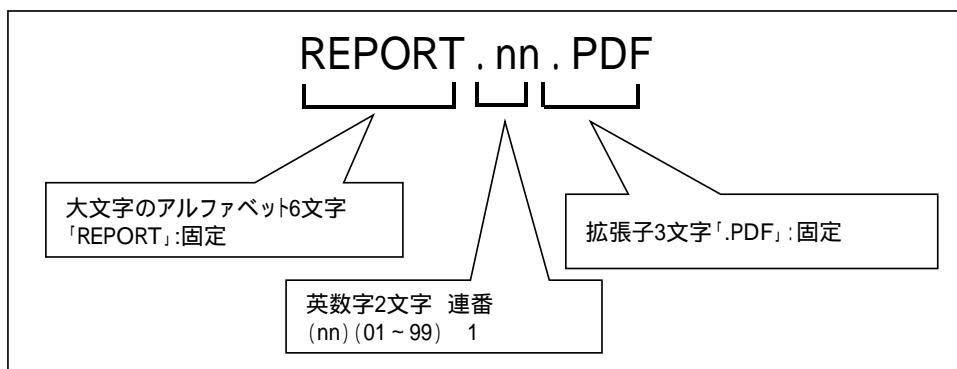


図 5.3 報告書ファイルの命名規則(土木設計業等の電子納品要領(案))

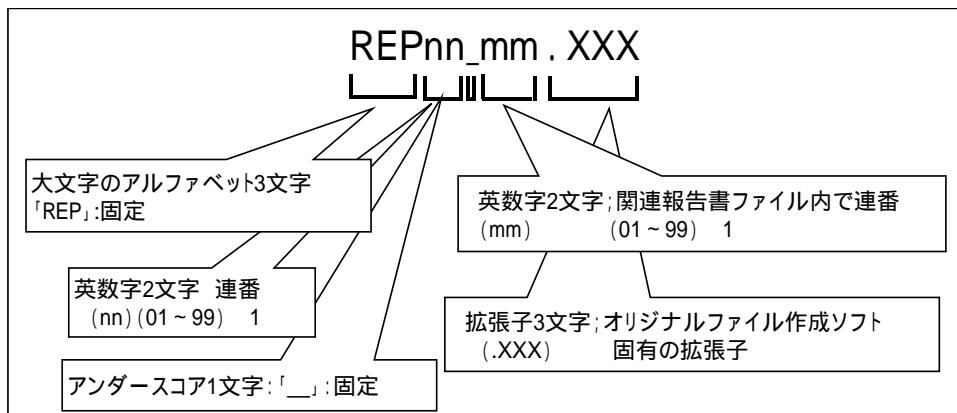


図 5.4 報告書オリジナルファイルの命名規則(土木設計業等の電子納品要領(案))

5.6.4 写真ファイル

(1) 写真ファイルの命名規則を次に示す。

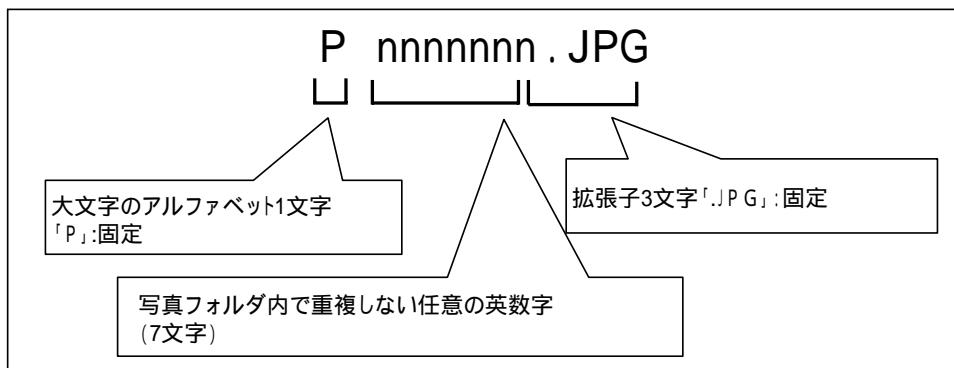


図 5.5 写真ファイルの命名規則(デジタル写真情報基準(案))

(2) 参考図ファイルの命名規則を次に示す。

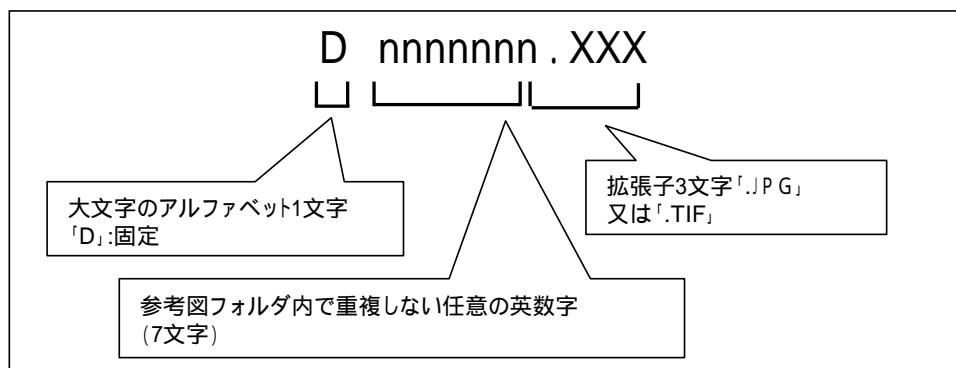


図 5.6 参考図ファイルの命名規則(デジタル写真情報基準(案))

5.6.5 CAD データファイル

(1) CAD データのファイルの命名規則を次に示す。

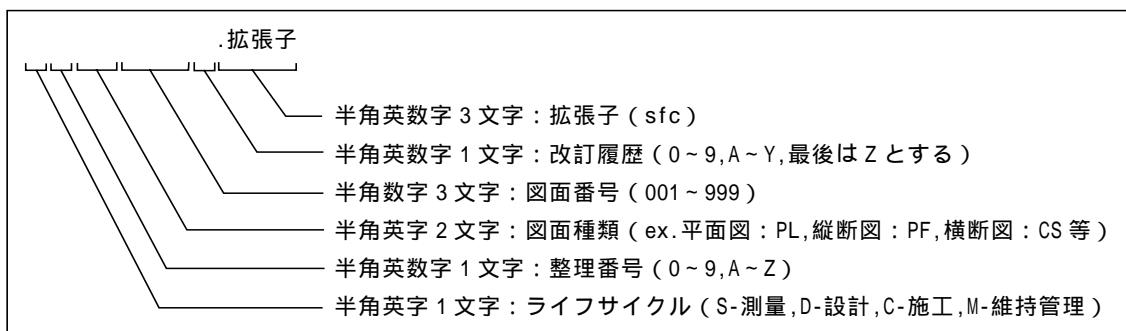


図 5.7 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))

参考 CAD ファイルの命名規則

(例) 第1回設計変更の平面図の場合

D 1 PL 003 0 .SFC
 └ 拡張子 : 原則 SFC とする
 改訂履歴 : 0 から順に履歴をつける (Z は最後を意味する)
 └ 図面番号 (表題の図面番号を記入)
 └ 図面の種類をアルファベットで記入
 └ 整理番号 (変更設計回数の数値を記入)
 └ ライフサイクル (測量 : S, 設計 : D) を記入

拡張子は、広島県のCAD図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

成果品の提出時は、最後を意味する「Z」となる。

また、受発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。

表題の図面番号を記入する。

通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。

(平面図:PL, 縦断図:PF, 横断図:CS 等)

変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

ただし、電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は別途、整理番号を規定(表5.3参照)

ライフサイクルを表す半角英字1文字を記入する。業務委託の場合は、「測量 : S」、「設計 : D」のいずれかとなる。

(2) 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合のファイル命名規則

電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合、CAD ファイルの命名規則の整理番号を次表のとおりとする。

表 5.3 電子化図面データの作成要領(案)を適用する CAD ファイル命名規則(整理番号)

番号	適用	番号	適用
0	区分の必要がない場合	C	詳細設計(実施設計)の電気工事
1	設計過程の構想設計	D	同上の 建築工事
2	同上の 基本設計	E	同上の 建築付帯設備工事
3~9	同上の 協議により区分を別途決定するもの	F	同上の 建築付帯電気工事
A	詳細設計(実施設計)の一般土木工事	G ~ Z	同上の 協議により別途区分するもの
B	同上の 機械工事		

補足説明

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、業務委託の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6.3 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) オリジナルファイル

報告書の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。

この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.4 報告書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。ただし、欠番があっても構わない。

- 例) ワープロソフトファイル:REP01_01.doc
ワープロソフトファイル:REP01_02.doc
表計算ソフトファイル :REP01_03.xls

(3) 連番の扱い (1について)

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

- 例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

5.7 CAD ファイルに関する運用

5.7.1 工種の選定

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

表 5.4 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)、 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの 作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路トンネル、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は、原則として次によることとする。

表 5.5 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
林道事業	電子化図面データの 作成要領(案)	農道、農道橋

また、下水道事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 処理施設編	下水道処理施設

5.7.2 受発注者間での CAD ファイルの交換

受発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.7 CAD ファイルの命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

表 5.7 CAD ファイル命名参考例

ファイル名	状況	ファイル名	状況
DOPL0030.SFC	当初契約発注図面	D1PL0030.SFC	第 1 回変更契約図面
DOPL0031.SFC	受注者・発注者変更図面共有(1)	...	
DOPL0032.SFC	受注者・発注者変更図面共有(2)	D4PL003Z.SFC	完成図面(第 4 回変更)

5.8 電子媒体

5.8.1 使用媒体仕様等

委託成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-R の使用を原則とする。
- ・ CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1枚のCD-R に格納する。
- ・ 複数枚のCD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン（案）【業務委託編】に従う。
- ・ 納品時には、CD-R 2部（正・副 各1部）納品するほか、CD-R に格納された書類データを紙に印刷したものを1部（簡易製本とする）併せて納品する。

- ・ 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。
- ・ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660(レベル1)とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。
- ・ 簡易製本版は市販のチューブファイル等に綴じたものとし、金文字黒表紙様式の製本は行わない。
- ・ チューブファイルの背表紙には、年度、委託名及び受注業者名を明記し、報告書等の書類は両面刷り（A4版）、図面は縮小版（A3版）を基本とする。
- ・ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、受発注者で協議するものとする。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字（A～Z, 0～9）及び、_（アンダースコア）のみと、制限が厳しくなっている。

5.8.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務名称
- ・ 路線河川名等
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルス対策ソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 路線河川名等
- ・ 委託業務名称

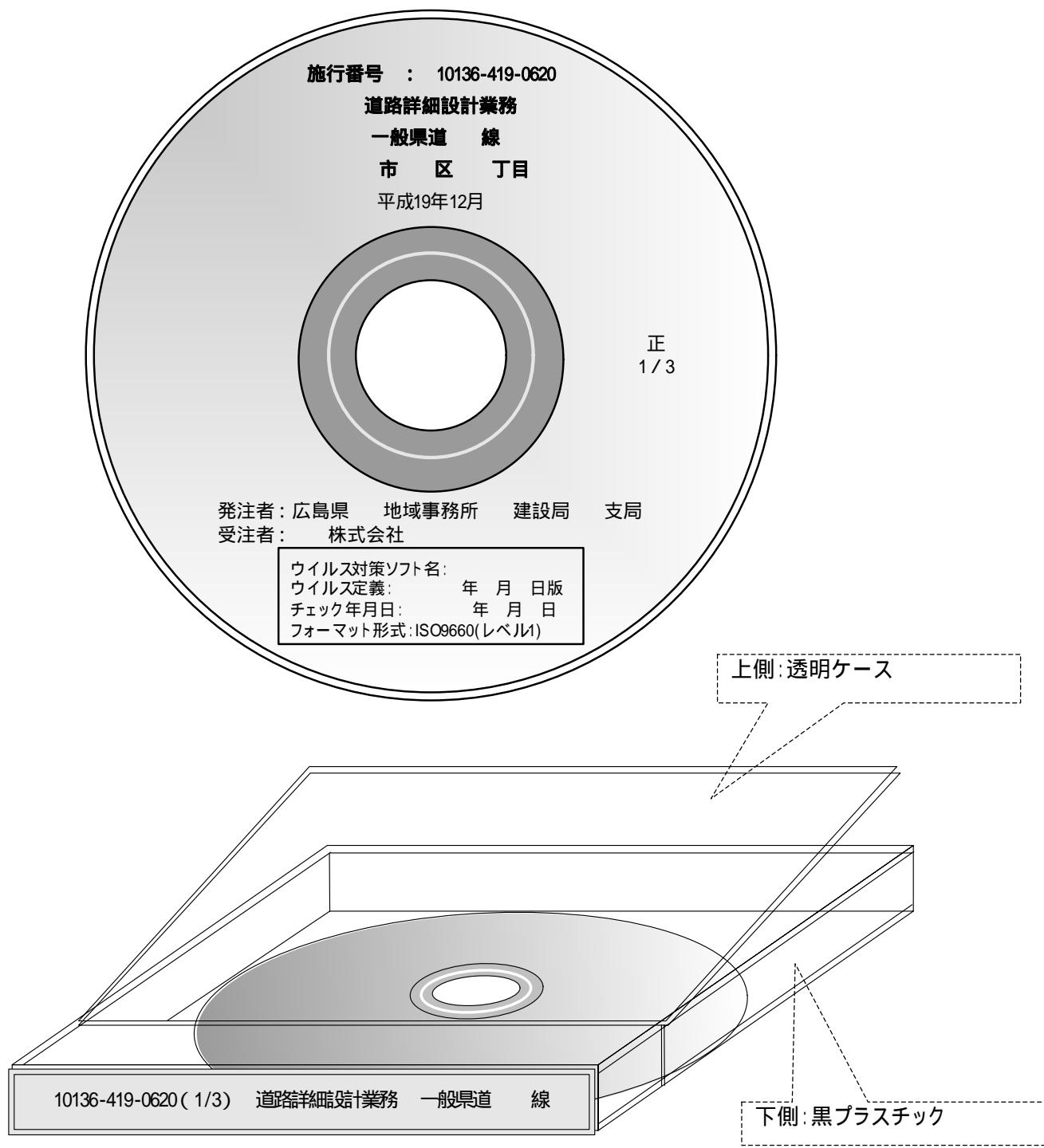
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、路線河川名等が長く書ききれないので、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「委託業務名称」 契約図書に記載されている業務委託の名称を記載
- ・ 「路線河川名等」 契約図書に記載されている路線河川名等を記載
- ・ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
- ・ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「受注者名」 受注者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	10136-419-0620 (1/3) 道路詳細設計業務 一般県道 線
(長い場合)	10136-419-0620 (1/3) 道路詳細設計業務 一般県道

図 5.8 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.8.3 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日	
電 子 媒 体 納 品 書	
地域事務所長 様	
受注者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 丁目 株式会社 印
次のとおり電子媒体を納品します。	
施行番号	10136-419-0620
委託業務の名称	道路詳細設計業務
路線河川名等 (地区名)	一般県道 線
委託業務の場所	市 区 丁目
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 2部(正・副)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : REPORT, DRAWING を格納 2/2 : PHOTO, SURVEY を格納 3/3 : BORING を格納
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。	

図 5.9 電子媒体納品書の記載(例)

6 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 完了検査

業務完了検査では、業務成果品について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 記録写真

写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 業務報告書等

図面等を検査する際には、受注者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

業務計画書、協議簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。



図 6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(基礎情報, 業務情報)を次頁以降に示す。

また、次項以降に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

[記入者] : TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目

(TECRIS 情報の記入に当たって、TECRIS の規則に従うこと)

電子媒体作成者が記入する項目

電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

[必要度] : 必須記入項目(必ず記入する)

・条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)

・任意記入項目(原則として空欄:特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、次のとおりとする。

空欄 = 国+交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島署が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

- (1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111 ······

082 - 228 - 2111 ··· x

- (2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書: 広島市中区基町 10 番 52 号……

広島市由区基町 10-52

広島市中区基町10番52号……………×

- (3) 年目日の間にハイフン()を挿入すること

(例) 2007-03-26 · · · · ·

7.1 業務管理項目

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_D.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.1 に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。		2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領基準の版('土木200406-01'で固定)を記入する。(分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(REPORTで固定)を記入する。		REPORT	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナルファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(REPORT/ORGで固定)を記入する。		REPORT/ORG	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGで固定)を記入する。		DRAWING	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。		PHOTO	同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(SURVEYで固定)を記入する。		SURVEY	同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(BORINGで固定)を記入する。		BORING	同上	127		
業務件名等	業務実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		4.0	半角数字	12		
	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は、「0」を記入する。		0123456789	半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	契約図書の施行番号 (14桁)を記入	10136-419-0620	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。		一般国道 号橋梁 詳細設計委託	全角文字 半角英数字	127		
	住所コード	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	TECRISのコード表に示される34102~34385の数字(5桁)を記入(複数入力可)	34203	半角数字	5		
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の業務場所を記入	広島県広島市中区基町1丁目	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例) 平成16年1月1日 2004-01-01		2007-10-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例) 平成16年12月3日 2004-12-03		2008-02-28	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 業務管理項目(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
水系・路線情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。		3261	同上	5		
	対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。		一般国道 線	全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。		1	半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。		0015 008 0018 005	同上	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄 原則として空欄 原則として空欄 原則として空欄		同上	3 3 3 3		
場所情報	西側境界座標経度	対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入	1323510	同上	8		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入	0342400	同上	8		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は「99999999」とする。	参考資料4により記入	0342000	同上	8		
施設情報	施設名称	施設名称を記入する。		橋	全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択して記入する。		12345678	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関・事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
受注者情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	設計株式会社	同上	127			
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない受注者は、「0」を記入する。	12345678		半角英数字	10		
業務情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」、「2.地質調査」、「3.測量」、「4.その他」より選択して記入する。	1		半角数字	1		
	業務分類コード	業務分野コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)	1234567		半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)	深基杭		全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。	本業務は、……	同上	300			
予備	特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127			
ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127			

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.2 報告書管理項目

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 報告書管理項目

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。	報告書名を記入	一般国道 号橋梁詳細設計委託	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		A1橋台設計計算書	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01.PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(A1橋台設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成 ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル名	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	報告書オリジナル ファイル日本 語名	報告書オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		一般国道 号橋梁詳細設計委託_報告書01	全角文字 半角英数字	127		
	報告書 オリジナル ファイル作成 ウェア名	報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft_Word_98	同上	127		
その他	受注者説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)	原則として空欄		同上	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)			同上	127		

1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰り返し登録する。

2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも両方に記入する。

3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.3 図面管理項目

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(DRAWING.XML)に記入する図面理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 図面管理項目

(1/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
共通情報	1	適用要領基準 'A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木2004.06.01等の記入例に従い記入する。(分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値) 'B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001~035の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値で記入する。なお、100~999の数値を記入した場合には、3,4を必ず記入する。		001	半角数字	3		
	3	追加工種 '1)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100~999の数値を記入する。			半角数字	3		
	4	追加対象工種 (概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。			半角英数字	8		
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
図面情報 '2)	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		計画平面図	全角文字 半角英数字	64		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		D1PL001Z.SFC	半角英数 大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		コンサルタント 株式会社	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。		1:100	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。		001	半角数字	3		
	13	対象工種 'B) (数値)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001~035の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値を昇順で記入する。		001	半角数字	3		
	14	追加図面種類 (略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は、認めていません。)			半角英数字	2		
	15	追加図面種類 (概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	16	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。			半角英数字	8		

(2/2)

分類	No	項目名	記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
図面情報 ^{*2)}	17	基準点情報 ^{*3)}	測地系	日本測地系(旧測地系),世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は'00',世界測地系は'01'を記入する。		01	半角数字	2	
	18		緯度 緯度 経度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	() *3)
	19		基準点情報 経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
	20		平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。			半角英数字	2	() *3)
	21		基準点情報 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。			半角英数字	11	
	22		基準点情報 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。			半角英数字	11	
	23		新規 レイヤ 名 (略語) *4)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に,基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。			半角英数字	11	
	24		新規 レイヤ (概要) *4)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。			全角文字 半角英数字	127	
	25		受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127	
	26		発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127	
	27		予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)			全角文字 半角英数字	127	
ソフトメーカー用TAG				ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)			全角文字 半角英数字	127	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す

*1)追加工種がある時は、「3 追加対象工種(数値)」、「4 追加対象工種(概要)」をセットで複数回繰り返す。

*2)図面情報は、図面の枚数分を複数回繰り返す。基準点情報の記入方法については、【解説】を参照。

*3)「位置図」、「平面図」、「一般図」の基準点情報は、17~19または17, 20~22のいずれかを必ず記入する。

*4)本基準(案)で定義していない新規レイヤを追加する時は、「23 新規レイヤ名(略語)」と「24 新規レイヤ(概要)」をセットで複数回繰り返す。

*A)本基準(案)の分類は以下の通り。

平成13年8月版 土木200108
平成14年7月版 土木200207
平成15年7月版 土木200307
平成16年6月版 土木200406-01

参考資料 1 着手前協議チェックシート

業務委託

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名		
施行番号		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
連絡先(e-mail)		

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> PDFファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> DMファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

(1/3)

	成果品	電子納品	紙	備考
業務管理ファイル				
報告書フォルダ(REPORT)				
報告書管理ファイル	XML形式			
報告書ファイル	PDF形式			
報告書オリジナルファイルフォルダ				
報告書オリジナルファイル	WORD, EXCEL その他()			
図面フォルダ(DRAWING)				
図面管理ファイル	XML形式			
図面ファイル	SXF(SFC)形式			
写真フォルダ(PHOTO)				
写真属性情報ファイル				
写真ファイル	JPEG形式			
参考図ファイル	JPEG形式, TIFF(G4)形式			
地質データフォルダ(BORING)				
地質情報管理ファイル	XML形式			
ボーリング交換用データ	XML形式			
電子柱状図	PDF形式			
電子簡略柱状図	SXF(SFC)形式			
コア写真管理ファイル	XML形式			
コア写真ファイル	JPEG形式			
土質試験及び地盤調査管理ファイル	XML形式			
土質試験結果一覧表データファイル	XML形式			
電子データシート	PDF形式			
データシート交換用データ				
測量フォルダ(SURVEY)				
測量情報管理ファイル	XML形式			
基準点測量サブフォルダ(KITEN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
成果表	PDF形式			
成果表(数値データ)	TXT形式			
基準点網図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
平均図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
観測図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
観測記録	PDF形式, TXT形式			
計算簿	PDF形式			
点の記	PDF形式			
点の記(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
精度管理表	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
埋標手簿	PDF形式			
測量標の地上写真	PDF形式			
基準点現況調査報告書	PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
GPS観測スケジュール表	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			
水準測量サブフォルダ(SUIJUN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
観測成果表	PDF形式			
観測成果表(数値データ)	TXT形式			
平均成果表	PDF形式			
平均成果表(数値データ)	TXT形式			
水準路線図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
平均図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
計算簿	PDF形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
点の記	PDF形式			
点の記(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
精度管理表	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
測量標の地上写真	PDF形式			
基準点現況調査報告書	PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
GPS観測スケジュール表	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			

着手前(変更)協議チェックシート

(2/3)

		成果品	電子納品	紙	備考
測量フォルダ(SURVEY)					
地形測量サブフォルダ(CHIKEI)					
測量成果管理ファイル	XML形式				
平板測量精度管理表	PDF形式				
TS地形測量DMデータ	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" DMデータインデックス	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" DMデータファイル説明書	PDF形式				
精度管理表	PDF形式				
空中写真測量標定点成果表	TXT形式				
" 標定点配置図・水準路線図	PDF形式				
" 空中写真測量標定点観測簿・同明細簿等	PDF形式				
" 精度管理表	PDF形式				
" 対空標識点明細票	PDF形式				
" 対空標識点一覧図	PDF形式				
" 標定図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" 撮影記録	PDF形式				
" 刺針点一覧図	PDF形式				
" 空中三角測量成果表	TXT形式				
" 空中三角測量実施一覧図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" 基準点残差表	TXT形式				
" 座標測定簿	TXT形式				
" 計算簿	TXT形式				
" 標定記録簿	PDF形式				
デジタルマッピングDMデータ	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" DMデータインデックス	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
" DMデータファイル説明書	PDF形式				
" 精度管理標	PDF形式				
測量機器検定証明書	PDF形式				
ファイル説明書	PDF形式				
路線測量サブフォルダ(ROSEN)					
測量成果管理ファイル	XML形式				
線形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
線形地形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
計算簿	PDF形式				
計算簿(数値データ)	TXT形式				
観測手簿	PDF形式				
精度管理表	PDF形式				
点の記	PDF形式				
引照点図	PDF形式				
縦・横断面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
詳細平面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
杭打図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
測量機器検定証明書	PDF形式				
点検測量簿	PDF形式				
ファイル説明書	PDF形式				
河川測量サブフォルダ(KASEN)					
測量成果管理ファイル	XML形式				
成果表	PDF形式				
成果表(数値データ)	TXT形式				
点の記	PDF形式				
距離標位置情報整理表	PDF形式				
観測手簿	PDF形式				
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)				
計算簿	PDF形式				
精度管理表	PDF形式				
業務報告書	PDF形式				
縦・横断面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
線形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
等高・等深線図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
汀線図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式				
測量機器検定証明書	PDF形式				
点検測量簿	PDF形式				
ファイル説明書	PDF形式				

着手前(変更)協議チェックシート

(3/3)

	成果品	電子納品	紙	備考
測量フォルダ(SURVEY)				
用地測量サブフォルダ(YOUCHI)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
公図等転写連続図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
土地調査表	PDF形式			
建物登記簿調査表	PDF形式			
地積測量図転写図	PDF形式			
権利者調査表	PDF形式			
復元測量箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
土地境界立会確認書	PDF形式			
成果表	PDF形式			
成果表(数値データ)	TXT形式			
計算簿	PDF形式			
基準点網図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
精度管理表	PDF形式			
精度管理図	PDF形式			
用地境界仮杭設置箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
用地境界杭設置箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
面積計算書	PDF形式			
面積計算書(数値データ)	TXT形式			
用地実測データ	SFC形式, オリジナル			
用地平面データ	SFC形式, オリジナル			
測量機器検定証明書	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			

業務委託

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。

準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領[業務委託編]	平成19年	広島県
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) (工種:)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案) (工種:)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成要領(案) (工種:)	平成17年4月	農林水産省農村振興局
写真	<input type="checkbox"/> デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 測量成果電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案)[業務編]	平成17年8月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)(地質・土質調査編)	平成15年1月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)(測量編)	平成15年9月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> 地方整備局(港湾空港関係)の設計業務における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)	平成17年4月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年9月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)(業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省農村振興局
図面			

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

業務委託

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

業務委託名	
施行番号	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
受注担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	受注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (測量成果)		
<input type="checkbox"/> 図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 基準点測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 水準測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> (地質調査資料)			<input type="checkbox"/> 地形測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ポーリング交換用データ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 路線測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子柱状図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 河川測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子簡略柱状図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 当該測量事業に関する書類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 地質平面図・断面図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> コア写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 土質試験及び地盤調査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他の地質調査資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

--

参考資料 3 納品時チェックシート

業務委託

納品時チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名		
施行番号		
履行期間	平成 年 月 日	~ 平成 年 月 日
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし 特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし 正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし 正しく作成されている 問題あり()

3 ウィルスチェック等電子媒体の確認

ウィルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウィルスチェックの結果	異常なし ウィルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし 正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし 正しく作成されている 問題あり()

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
業務管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
報告書管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
図面管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真情報管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
測量情報管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
地質情報管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
報告書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
報告書オリジナルファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量平面データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量縦横断データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
ボーリング交換用ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
電子柱状図データファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
電子簡略柱状図データファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

--

参考資料 4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

業務委託対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

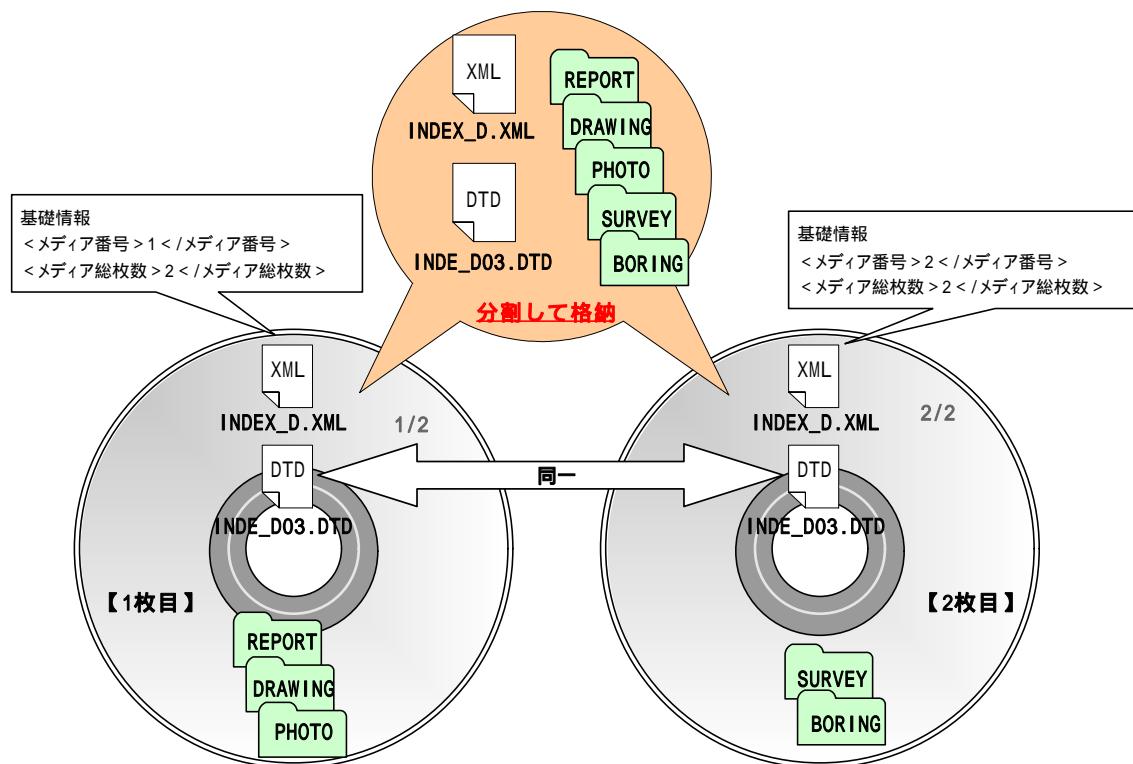
格納するデータの容量が大きく、1枚のCD-Rに納まらず複数枚になる場合は、同一の業務管理ファイル(INDEX_D.XML)を各CD-Rに格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各CD-Rに該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各CD-Rに格納する。

また、業務管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目／全体枚数と整合を図ること。

CD-Rが2枚になる場合の例を参資図3.1に示す。



参資図 3.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

広島県電子納品実施要領

[工事編]

(案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[工事編]の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 国土交通省等の要領・基準との差異とその取扱い	1
1.4 問合せ	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	6
3.1 機器及びソフトウェア	6
3.2 発注時の特記仕様書への記載	6
4 電子納品の手順・事前協議	7
4.1 電子納品手順	7
4.2 事前協議	8
5 電子成果品の作成	9
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	9
5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	10
5.3 データの管理	10
5.4 広島県の標準ファイル形式	11
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	12
5.6 ファイルの命名規則	15
5.7 CAD ファイルに関する運用	19
5.8 電子媒体	20
6 検査(中間検査・完成検査)	24
6.1 中間検査の取扱い	24
6.2 書類検査	24
6.3 現場検査	25
7 成果品の管理項目	26
7.1 工事管理項目	27
7.2 打合せ簿管理項目	29
7.3 施工計画書管理項目	30
7.4 図面管理項目	31
7.5 写真管理項目	33
7.6 その他資料管理項目	35
参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート	36
参考資料 2 検査前協議チェックシート	39
参考資料 3 納品時チェックシート	40
参考資料 4 境界座標の記入	42
参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置	43

1 広島県電子納品実施要領[工事編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[工事編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
土木工事共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省等の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省等が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・CAD 製図基準(案) ・CAD 図面作成要領(案)	・CAD 製図基準(案) ・CAD 図面作成要領(案) ・電子化図面データの作成要領(案)	2.3
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(5)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(7)
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.4

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数の数値を記入	5.6.5
納品物	CD-R 2部	CD-R 2部(正・副 各1部) 押印書類等の紙納品 1部 写真帳(ダイジェスト版) 1部	5.8.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	10 項目について記載 「路線河川名等」「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.8.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.8.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.1 ~ 7.4

1.4 問合せ

1.4.1 電子納品に関する問合せ

電子納品に関する問合せは、事前に国土交通省国土技術政策総合研究所の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
(これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載)

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト

<http://www.nilim-ed.jp/>

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

1.4.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ

本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

土木部・都市部・空港港湾部 所管事業	農林水産部所管事業
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ TEL 082-513-3861 FAX 082-223-3593 E-mail dogishidou@pref.hiroshima.jp	農林水産部農林整備局農林整備管理室 技術管理グループ TEL 082-513-3635 FAX 082-223-3583 E-mail nouseibi@pref.hiroshima.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、工事の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	
図面	CAD 製図基準(案)	平成16年6月	
	CAD 図面作成要領(案)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省農村振興局

国土交通省等がまとめたガイドラインを次に示す。

表 2.1 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)【土木工事編】	平成17年8月	国土交通省
電子納品の手引き(中国地整版)(案)【土木工事編】	平成17年2月	
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【工事編】	平成18年3月	国土交通省 港湾局
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成18年3月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)(業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省 農村振興局

国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。

国土交通省国土技術政策総合研究所 H P <http://www.nilim-ed.jp>

国土交通省港湾局 H P <http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm>

農林水産省 H P <http://www.nncals.jp/>

広島県の運用

国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂があるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD 製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

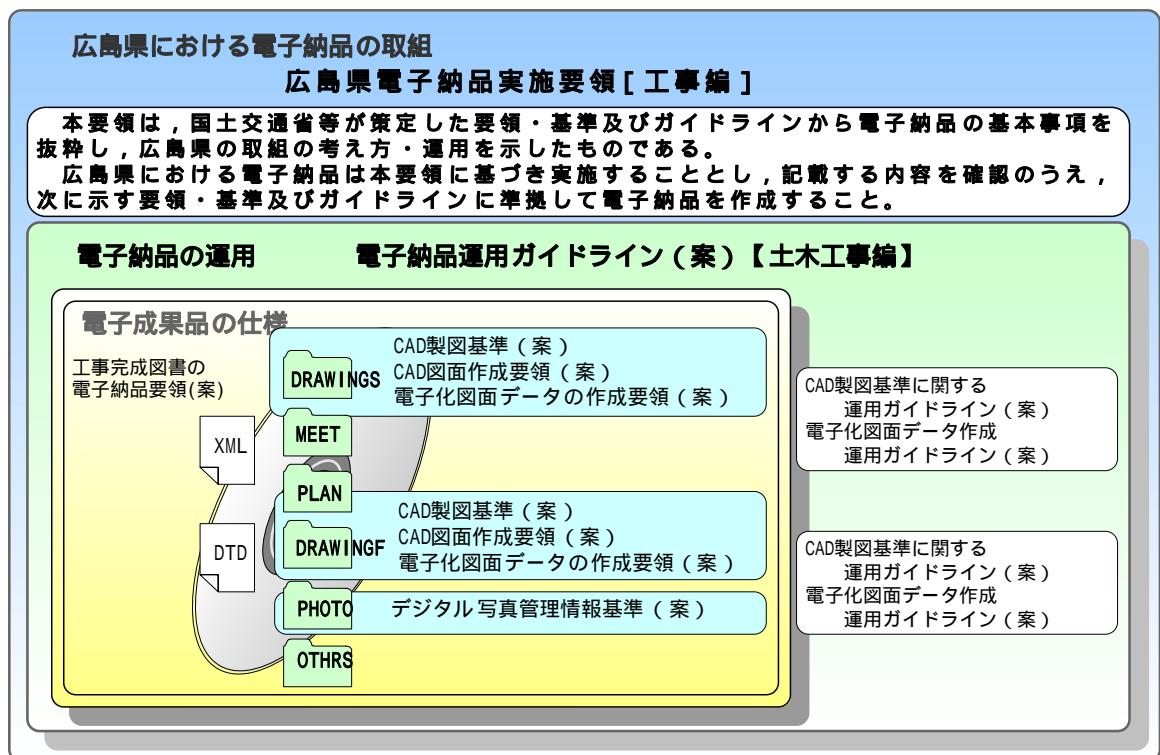


図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

国の要領・基準等の概要

(1) 電子納品運用ガイドライン(案)【土木工事編】

公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)

(2) 工事完成図書の電子納品要領(案)

工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) CAD 製図基準(案), CAD 図面作成要領(案), 電子化図面データの作成要領(案)

CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名, レイヤ名等), フォルダ構成, ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

(4) デジタル写真管理情報基準(案)

写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

(5) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)・電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)

CAD データの取扱いについて、発注者及び請負者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応)
- ・ PDF 作成ソフト
- ・ ウイルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、100万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ・ PDF 作成ソフトのバージョンは、PDF1.2 以上(= 日本語版)とする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

参考 CAD ソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

第 一 条 (電子納品)

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【工事編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

第二 条(工事完成図書の提出)

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 2 部提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

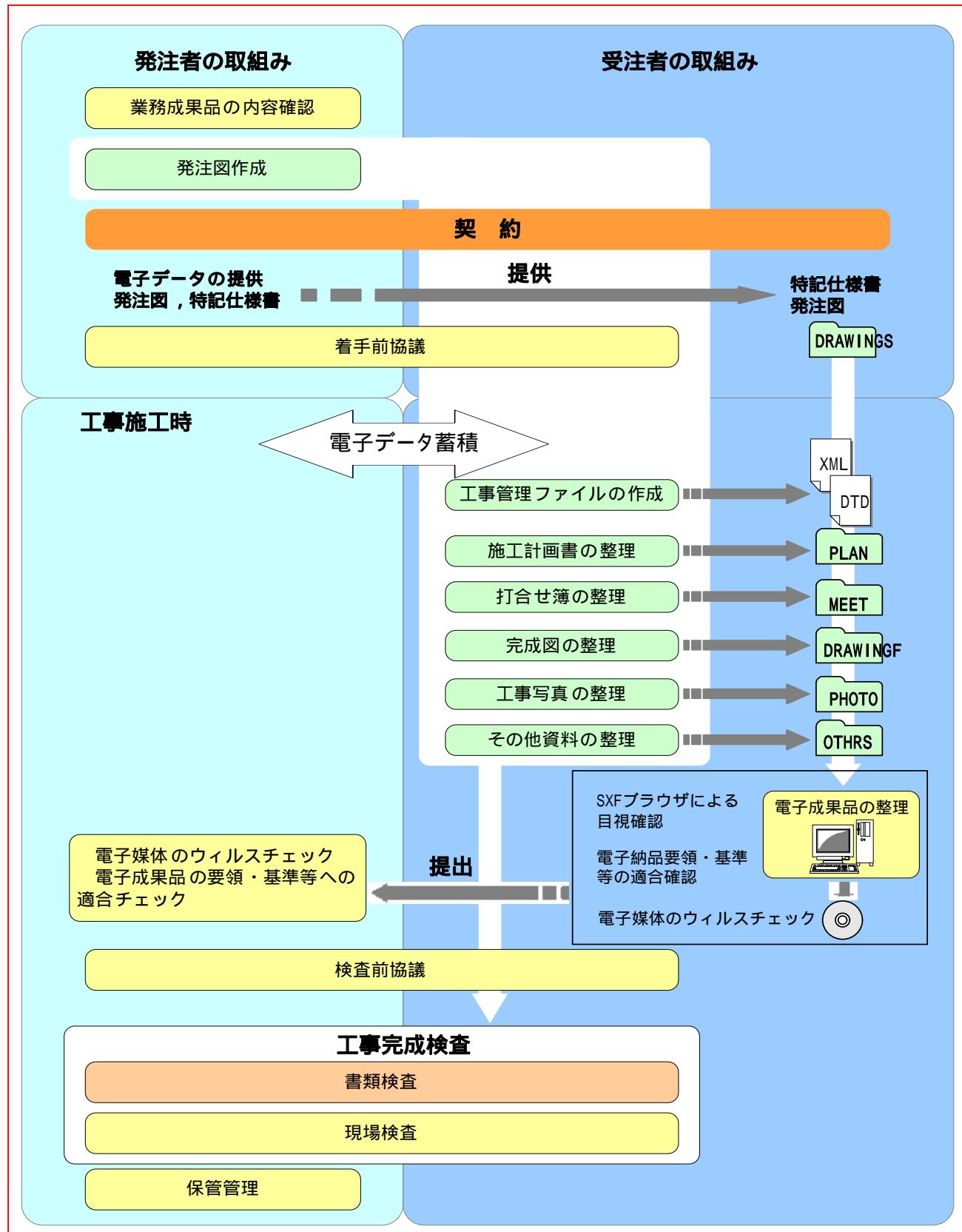
なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事発注準備から工事完成検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、施工中等に疑義が生じた場合は、隨時、請負・発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種
(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 発注者からのデータ提供の有無

- (a) 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ対象とする。
- (b) 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(3) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(4) スキャナによる電子化

スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

(5) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容 量 / 枚	備 考
80 万画素 1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

(6) 特殊ソフト利用の書類の電子化(品質管理・出来型管理資料)

品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこととする。

(7) CAD 図面のファイル形式

SXF(SFC)形式とする。

SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
品質等管理資料	請負者	MEET	協議
完成図面	請負者	DRAWINGF	条件付必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	OTHRS	協議
段階確認書	請負者	OTHRS	協議
その他	請負者	OTHRS	協議

1 ダイジェスト版は電子納品対象外(紙納品とする)

補足説明

必須 : 電子納品を必須とする書類

条件付必須 : 発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類

協議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るために、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- 打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。

- 施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF) とする。

- その他のオリジナルファイル

その他のオリジナルファイルは、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル(JPEG, TIFF)とする。

設計図／完成図ファイル

図面ファイルのファイル形式については、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

写真ファイルのファイル形式については、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

(1) PDF ファイルの作成

- 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- フォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。
- PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料については、しおりを省略してよい。
- セキュリティの設定は行わない。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「PHOTO」、「OTHRSS」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHRSS」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

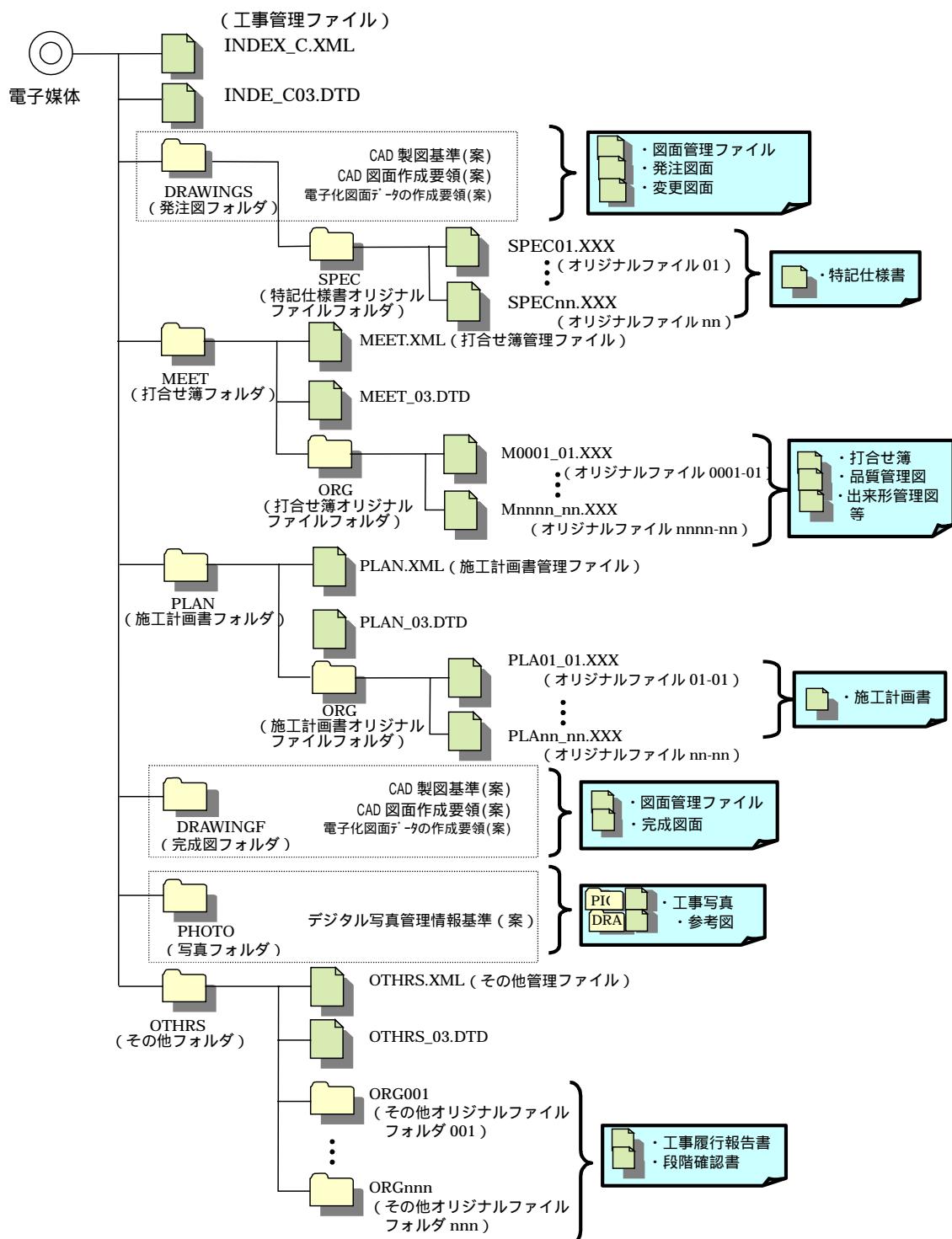


図 5.1 フォルダ構成

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
(ROOT)		工事管理ファイル	XML,DTD	 INDEX_C.XML INDE_C03.DTD
発注図 (DRAWINGS)		図面管理ファイル	XML,DTD	 DRAWINGS.XML DRAW03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
		・ 特記仕様書	Word,Excel	オリジナルファイル
打合せ簿 (MEET)		打合せ簿管理ファイル	XML,DTD	 MEET.XML MEET_03.DTD
		・ 工事打合せ簿	Word,Excel	
		・ 品質管理資料	Word,Excel PDF	
		・ 出来形管理資料	Word,Excel PDF	
		・ 安全管理資料	Word,Excel	
		・ その他の資料	Word,Excel	
施工計画書 (PLAN)		施工計画書管理ファイル	XML,DTD	 PLAN.XML PLAN_03.DTD
		・ 施工計画書	Word,Excel	オリジナルファイル
完成図 (DRAWINGF)		図面管理ファイル	XML,DTD	 DRAWINGF.XML DRAW03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML,DTD	 PHOTO.XML PHOTO04.DTD
		・ 写真	JPEG	JPEG ファイル
		・ 参考図	JPEG,TIFF	JPEG・TIFF ファイル
その他 (OTHRs)		その他管理ファイル	XML,DTD	 OTHRs.XML OTHR03.DTD
		・ 工事履行報告書	Word,Excel	
		・ 段階確認書	Word,Excel	
		・ その他の資料	Word,Excel	オリジナルファイル

5.5.3 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

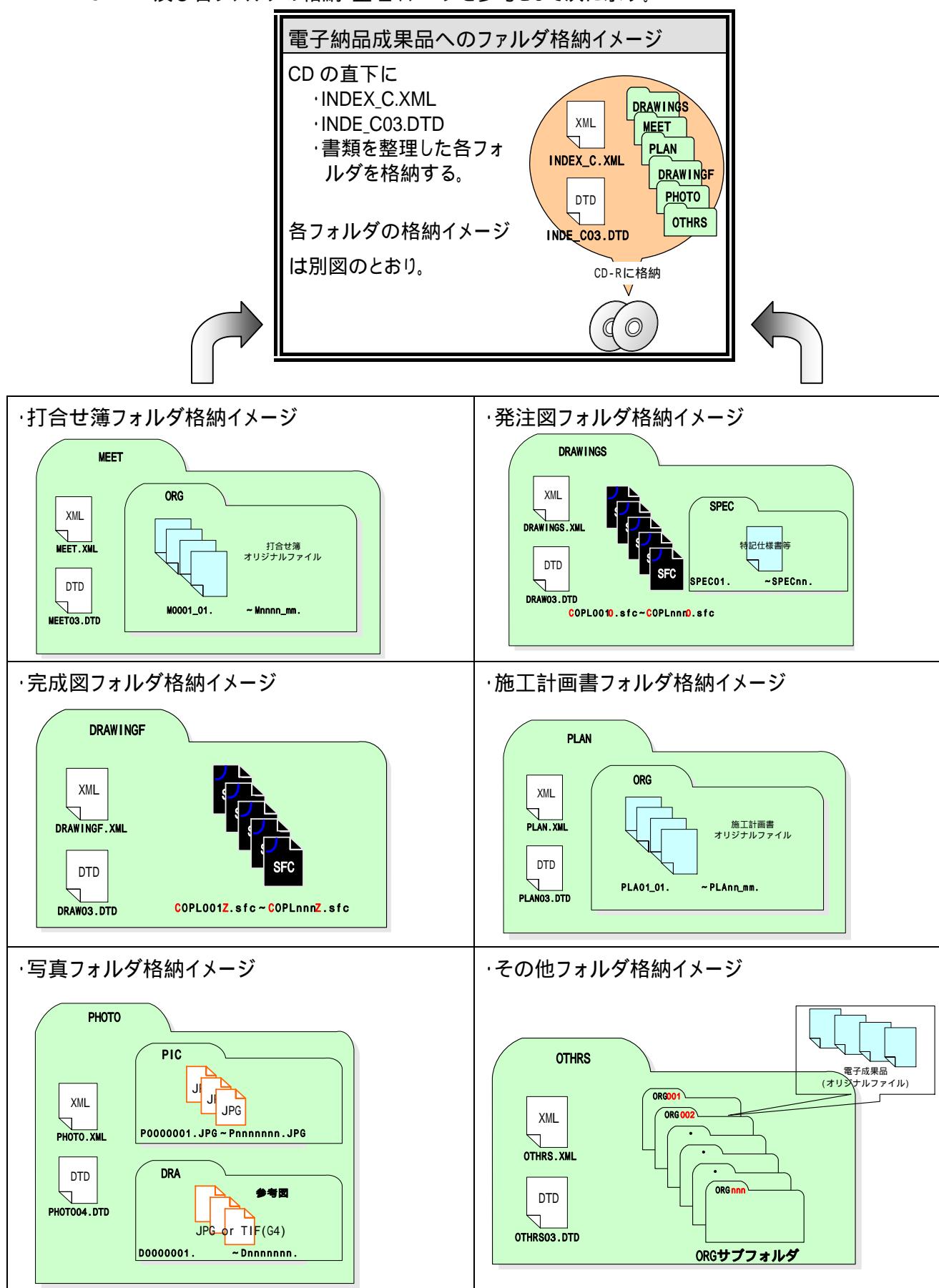


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

5.6.1 共通規則

- (1) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- (2) ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

5.6.2 管理ファイル

- (1) 工事管理ファイルは「INDEX_C.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「INDE_C03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (2) 打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (3) 施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (4) その他管理ファイルは「OTHRS.XML」とし、DTD は「OTHRS03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (5) 図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWINGF.XML」(完成図フォルダ)とし、DTD は「DRAW03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (6) 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
ただし、「PHOTO04.DTD」が公開されるまでは、「デジタル写真管理情報基準(案)平成 18 年 1 月」に記載される暫定的な取扱いに準じ、「PHOTO03.DTD」とする。
- (7) 各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。
なお、作成する場合のファイル名は、「INDE_C03.XSL」、「MEET_03.XSL」、「PLAN_03.XSL」、「OTHRS_03.XSL」、「DRAW03.XSL」、「PHOTO04.XSL」とする。

5.6.3 オリジナルファイル

- (1) 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

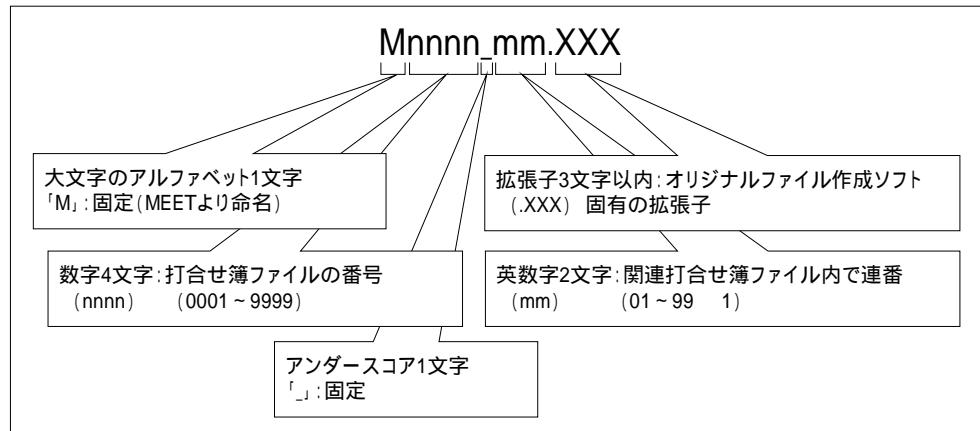


図 5.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

(2) 施工計画書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

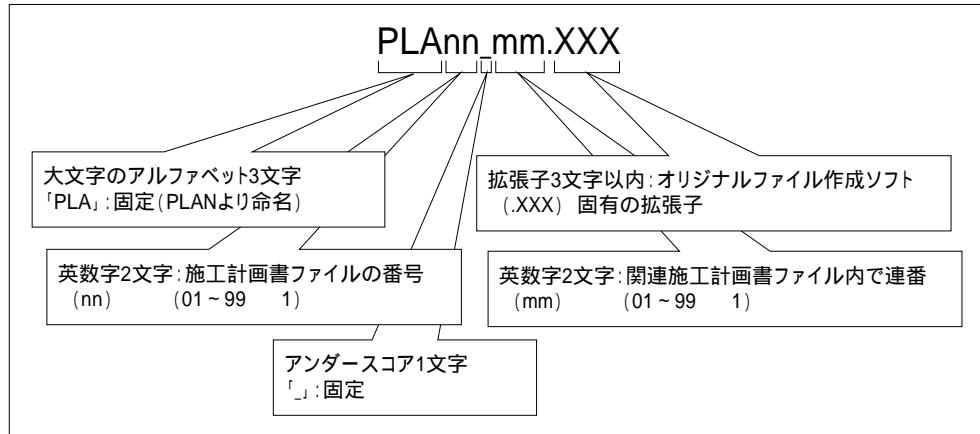


図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

(3) 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

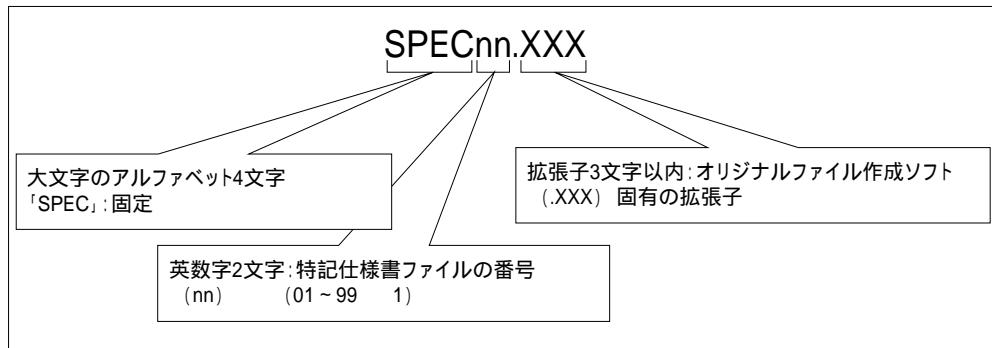


図 5.5 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則(工事完成図書の電子納品要領(案))

5.6.4 写真ファイル

(1) 写真ファイルの命名規則は次のとおり。

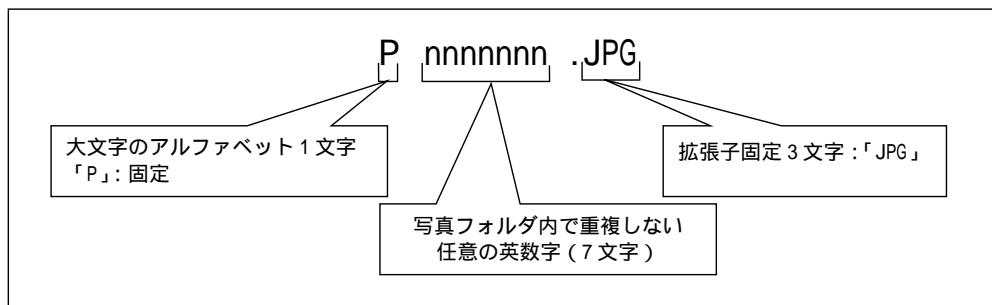


図 5.6 写真ファイルの命名規則(デジタル写真管理情報基準(案))

(2) 参考図ファイルの命名規則は次のとおり。

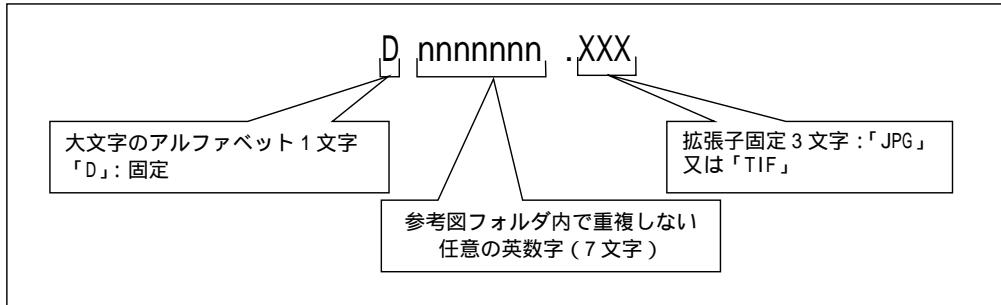


図 5.7 参考図ファイルの命名規則(デジタル写真管理情報基準(案))

5.6.5 CAD データファイル

(1) CAD データのファイルの命名規則は次によるものとする。

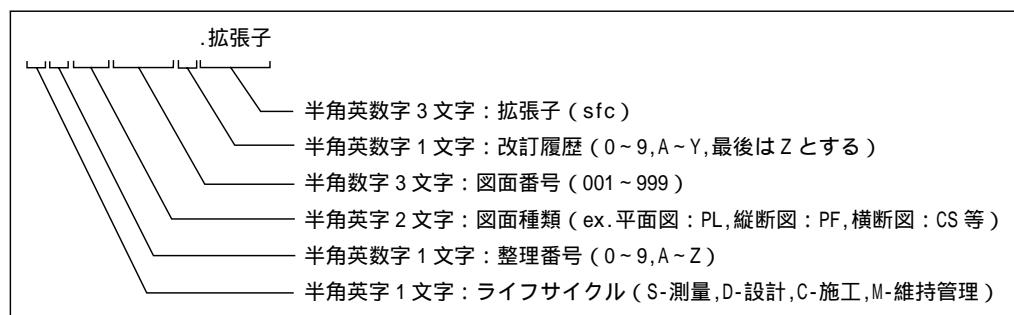


図 5.8 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))

参考 CAD ファイルの命名規則

(例) 第1回設計変更の平面図の場合

C 1 PL 003 0 .SFC

拡張子 : 原則 SFC とする

改訂履歴 : 0 から順に履歴をつける (Z は最後を意味する)

図面番号 (表題の図面番号を記入)

図面の種類をアルファベットで記入

整理番号 (変更設計回数の数値を記入)

ライフサイクル (施工 : C , 維持管理 : M) を記入

拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

完成図 (DRAWINGF フォルダ) は、最後を意味する「Z」となる。発注図 (変更設計を含む (DRAWINGS フォルダ)) 及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。

発注図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。) 通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字 3 文字「003」の記入となる。

CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字 2 文字で記入する。(平面図 : PL, 縦断図 : PF, 横断図 : CS 等)

変更設計の回数を半角英数字で 1 文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計 (第 1 回変更の場合は、「1」となる) を意味する。

ライフサイクルを表す半角英字 1 文字を記入する。工事の場合は、「施工 : C」、「維持管理 : M」のいずれかとなる。

補足説明

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。
ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、
数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6.3 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) オリジナルファイル

施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。ただし、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル: M0001_01.doc

ワープロソフトファイル: M0001_02.doc

表計算ソフトファイル : M0001_03.xls

(3) 連番の扱い（1について）

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9

120～129 の場合...C0～C9

5.7 CAD ファイルに関する運用

5.7.1 工種の選定

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

表 5.4 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)、 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの 作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路トンネル、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は表 5.5 によることとする。

表 5.5 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
林道事業	電子化図面データの 作成要領(案)	農道、農道橋

また、下水道事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 処理施設編	下水道処理施設

5.7.2 請負・発注者間での CAD ファイルの交換

請負・発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.7 CAD ファイル命名の参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

表 5.7 CAD ファイル命名 参考例

ファイル名	状況	ファイル名	状況
COPL0030.SFC	当初契約発注図面	C1PL0030.SFC	第 1 回変更契約図面
COPL0031.SFC	請負・発注者変更図面共有(1)	...	
COPL0032.SFC	請負・発注者変更図面共有(2)	C4PL003Z.SFC	完成図面(第 4 回変更)

5.8 電子媒体

5.8.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-Rの使用を原則とする。
- ・ CD-Rは、ISO9660フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・ 複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン（案）
【土木工事編】に従う。
- ・ 納品時には、CD-R 2部（正・副 各1部）納品するほか、次の書類も提出する。
 - ・ 押印書類等の紙納品 1部
 - ・ 写真帳（ダイジェスト版） 1部

- ・ 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-Rを原則とする。
- ・ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660(レベル1)とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_（アンダースコア）のみと、制限が厳しくなっている。

5.8.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 路線河川名等
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルス対策ソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名
- ・ 路線河川名等

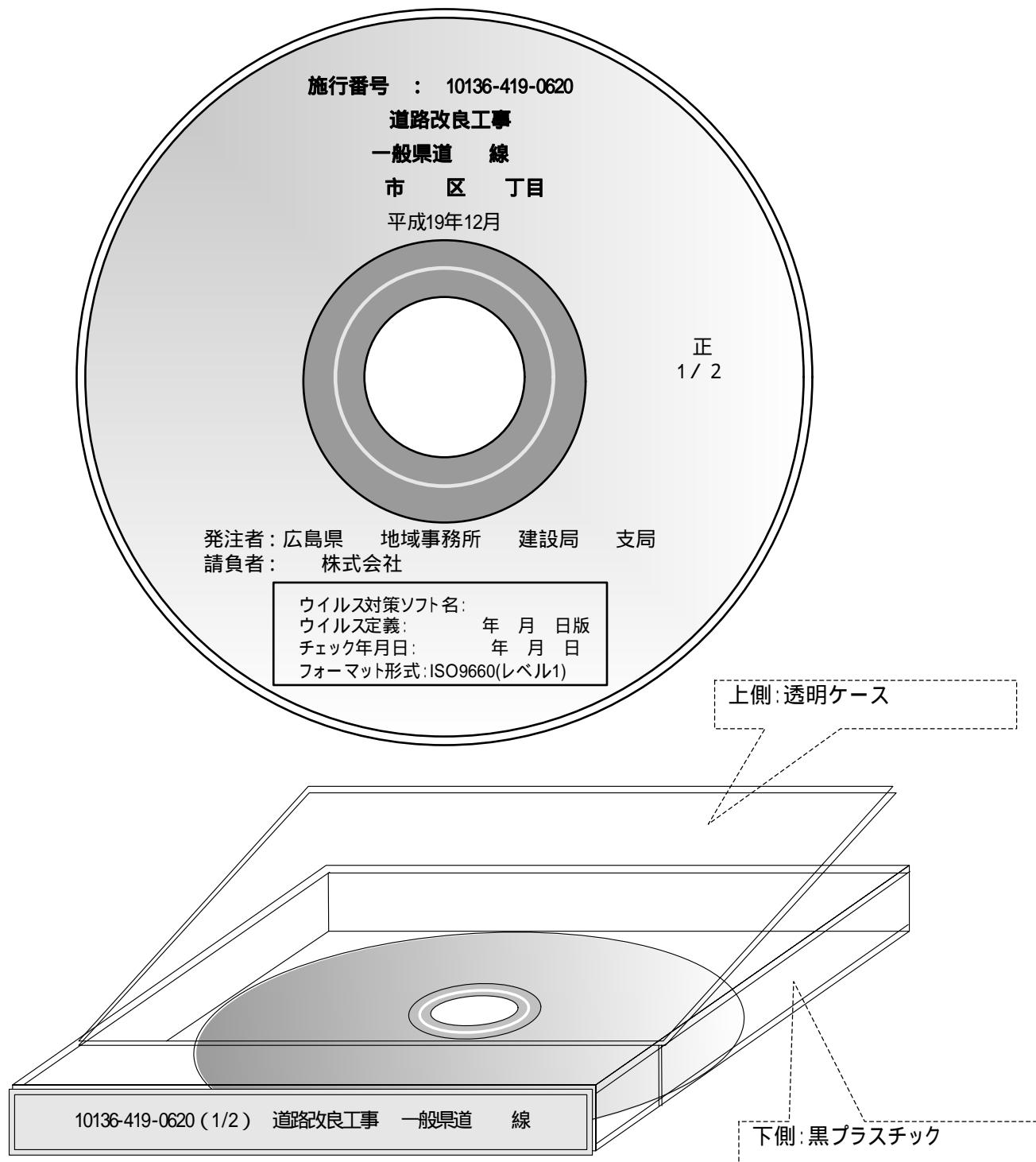
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、路線河川名等が長く書ききれないので、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載
- ・ 「路線河川名等」 契約書に記載されている路線河川名等を記載
- ・ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載
- ・ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	10136-419-0620 (1/2) 道路改良工事 一般県道 線
(長い場合)	10136-419-0620 (1/3) 道路 工事 一般県道

図 5.9 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.8.3 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日	
電 子 媒 体 納 品 書	
地域事務所長 様	
請負者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 丁目 株式会社 印
次のとおり電子媒体を納品します。	
施工番号	10136-419-0620
工事名	道路改良工事
路線河川名等 (地区名)	一般県道 線
工事場所	市 区 丁目
工期	着手 平成 年 月 日 完成 平成 年 月 日
電子媒体の全体枚数	枚 × 2部(正・副)
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET を格納 2/2 : DRAWINGF, PHOTO, OTHRS を格納
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。	

図 5.10 電子媒体納品書の記載(例)

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウイルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、管理状況について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

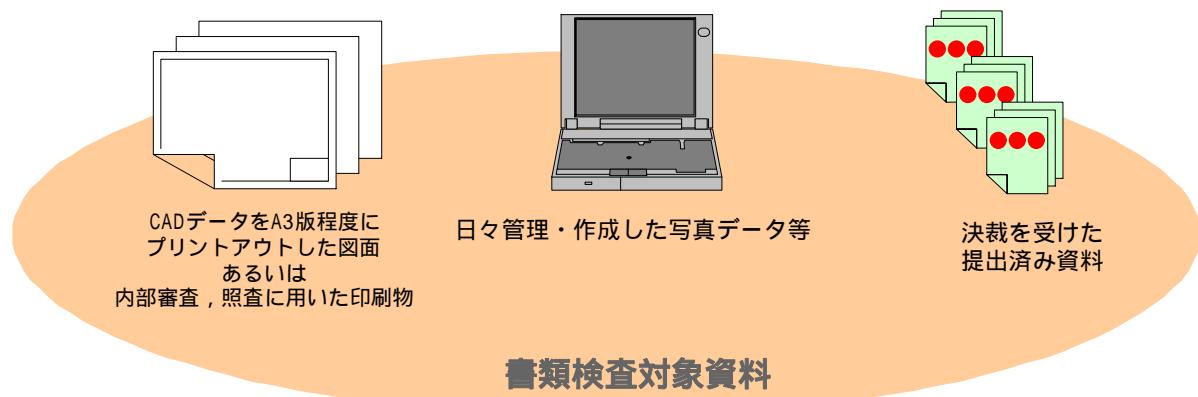


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

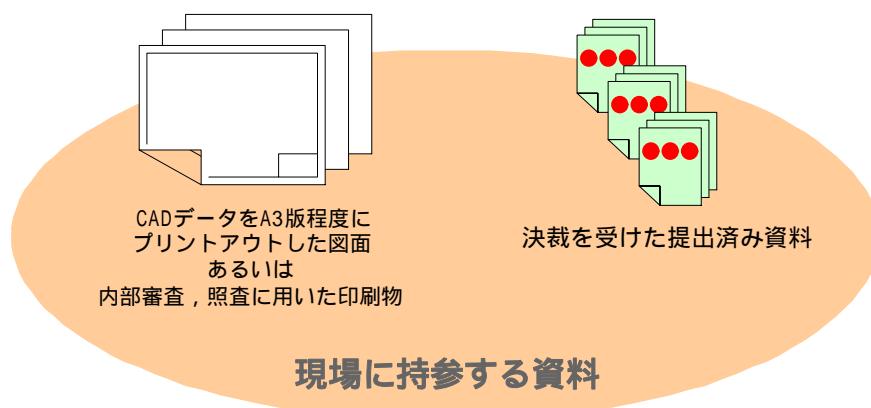


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(基礎情報,工事情報)を次頁以降に示す。

また、次項以降に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

【記入者】 : CORINS から出力される CFD ファイル

(CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット)から取り込むことが可能な項目

:電子媒体作成者が記入する項目

：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入項目(必ず記入する)

: 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)

：任意記入項目（原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する）

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、次のとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島県が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

- (1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111 ······

- (2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町 10 番 52 号……

広島市中区基町 10-52.....×

広島市中区基町10番52号.....×

- (3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2007-03-26 ······

20070326.....x

7.1 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)に記入する工事管理項目は、表7.1に示すとおりとする。

表7.1 工事管理項目(1/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200406-01」で固定)を記入する。 (分野:土木, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)	土木200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために「DRAWINGS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGSで固定)を記入する。	DRAWINGS	半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために「SPEC」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGS/SPECで固定)を記入する。	DRAWINGS/SPEC	同上	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために「MEET」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(MEETで固定)を記入する。	MEET	同上	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。	MEET/ORG	同上	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために「PLAN」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PLANで固定)を記入する。	PLAN	同上	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。	PLAN/ORG	同上	127		
	完成図フォルダ名	完成図を格納するために「DRAWINGF」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。	DRAWINGF	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。	PHOTO	同上	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために「OTHR」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(OTHRで固定)を記入する。	OTHR	同上	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHR/ORG001~nnn)を記入する(nnnは連番を示す)。その他オリジナルフォルダがある場合は必ず記入する。	OTHR/ORG001	同上	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。	構造計算書	同上	127		
工事件名等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	2007	半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号(数字8桁~14桁)を記入する。	契約図書の施行番号(14文字)を記入	10136-419-0620	同上	127	
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。	契約図書の工事名を記入	主要地方道 線 道路改良工事	全角文字 半角英数字	127	
	工事実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		5.0	半角数字	12	
	工事分野	CORINSの「工事の分類」に従って記入する。		道路	全角文字 半角英数字	16	
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。		土木一式工事	同上	16	
	工種	CORINSの「工種・工法・型式」の「工種」を記入する。(複数記入可)		歩行者系舗装工事	同上	127	
	工法	CORINSの「工種・工法・型式」の「工法・型式」を記入する(複数記入可)。		歩行者系舗装工	同上	127	
	住所コード	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	CORINSのコード表に示される34101~34605の数字(5桁)を記入(複数記入可)	34223	半角数字	5	
	住所(施工場所)	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の工事場所を記入	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127	
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年1月1日 2004-01-01		2007-10-01	半角英数字	10	
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年12月3日 2004-12-03		2007-12-20	同上	10	
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入	掘削工 5000m ³ , 舗装工 2000m ²	全角文字 半角英数字	127	

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 工事管理項目(2/2)

分類項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
場所情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系(日本測地系2000)は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。該当情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。		主要地方道 線	全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。		1	半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。		0015 008 0016 005	同上	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄		同上	3 3 3 3		
	境界座標情報	西側境界座標経度 対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。 東側境界座標経度 対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。 北側境界座標緯度 対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。 南側境界座標緯度 対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入 参考資料4により記入 参考資料4により記入 参考資料4により記入	1322710 1323510 0342400 0342000	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	8 8 8 8		
情報	施設名称	施設名称を記入する。		橋	全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者・大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の官庁名、団体名等を記入する。	「広島県」と記入	広島県	同上	16		
	発注者・中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入	地域事務所	同上	32		
	発注者・小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入	建設局	同上	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせ、8桁で取り扱う。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33405102	半角数字	8		
請負者情報	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者名の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを整備している。	建設業許可番号を記入△	34012345	半角数字	127		
予備	特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)		原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)				全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.2 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
打合せ簿情報	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。連番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中抜け(欠番)してもよい。12番目を、“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。	1		半角数字	15		
	上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	3		半角英数字	15		
	下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)	2		同上	15		
	打合せ簿種類	打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「報告」「通知」「提示」)		指示	全角文字 半角英数字	16		
	打合せ簿名称	打合せ簿の標題もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。		水路に関する打合せ	同上	127		
	管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。		施工管理	同上	127		
	関連資料	関連する図面がある場合は、図面管理項目の[図面ファイル名]を記入する。(複数記入可)	C0PL00300.sfc	半角英数大文字	12			
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目の[シリアル番号]を記入する。(複数記入可)	100	半角数字	7			
	作成者	打合せ簿の作成者を記入する。(請負者: 現場代理人、請負者:主任技術者、発注者:現場監督員など)	作成者が請負者の場合 請負者名:作成者氏名 作成者が発注者の場合 発注者名:作成者氏名	建設株式会社 :広島一郎	全角文字 半角英数字	127		
	提出先	打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	提出先が発注者の場合 事務所名 提出先が請負者の場合 請負業者名	地域事務所建設局	同上	127		
1	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例) 平成16年1月1日 2004-01-01	2007-10-01	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	10			
	受理日付	提出先担当者が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例) 平成16年4月20日 2004-04-20	2007-10-02	同上	10			
	完了日付	発注者又は請負者が処理・回答した年月日がある場合はCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例) 平成16年6月9日 2004-06-09	2007-10-05	同上	10			
	オリジナルファイル情報	打合せ簿オリジナルファイル名 打合せ簿オリジナルファイル日本語名 打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報 オリジナルファイル内容	M0001_01.DOC 打合せ簿ファイルに関する日本語名を記入する。 オリジナルファイルを作した成ソフトウェア名とバージョンを記入する。 オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。	半角英数大文字 全角文字 半角英数字 Microsoft_Word_98 工程表	12 127 127 127			
その他	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		同上	127		
	発注者説明文	発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.3 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 施工計画書管理項目

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
施工計画書情報	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった施工計画書についてユニークであれば、中抜けしてもよい。 12番目を，“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。	1	半角数字	15		
	施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。	施工計画書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	施工計画書オリジナルファイル名	PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		施工計画書オリジナルファイル日本語名	工区現場組織図	全角文字 半角英数字	127		
	1	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	Microsoft_Word 98	同上	127		
		オリジナルファイル内容	現場組織図	同上	127		
	2	請負者説明文	原則として空欄	同上	127		
		発注者説明文	原則として空欄	同上	127		
		予備		同上	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄	同上	127		

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.4 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.XML)に記入する管理項目は、表7.4に示すとおりとする。

表7.4 図面管理項目

(1/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
共通情報	1 適用要領基準 'A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木2004 06-01等の記入例に従い記入する。(分野:土木、西暦年:2004、月:06、版:01)		土木200406-01	全角文字 半角英数字	30	
	2 対象工種(数値) 'B)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値で記入する。なお、100～999の数値を記入した場合には、3、4を必ず記入する。	001	半角数字	3		
	3 追加工種 '1)	追加対象工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100～999の数値を記入する。		半角数字	3	
	4	追加対象工種(概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127	
	5 サブフォルダ	追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。		半角英数字	8	
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127	
図面情報 ²⁾	7 図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		計画平面図	全角文字 半角英数字	64	
	8 図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		C1PL001Z.SFC	半角英数 大文字	12	
	9 作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		建設株式会社	全角文字 半角英数字	32	
	10 図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64	
	11 縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	1:100	半角英数字	16		
	12 図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	001	半角数字	3		
	13 対象工種 'B) (数値)	「本基準(案)」で対象とする34工種と地質を001～035の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100～999の数値を昇順で記入する。	001	半角数字	3		
	14 追加図面種類 (略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は認めていません。)		半角英数字	2		
	15	追加図面種類(概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。		全角文字 半角英数字	127	
	16 格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。		半角英数字	8		

図面情報	分類・項目名			国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
					摘要	記入例				
*2)	17	基準点情報	測地系		日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系は'01'を記入する。	01	半角数字	2		
	18		緯度 経度	基準点情報 緯度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		('3)
	19			基準点情報 経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。	0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	20		平面直角座標 系番号	基準点情報 平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。		半角英数字	2		('3)
	21			基準点情報 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。		半角英数字	11		
	22			基準点情報 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。		半角英数字	11		
	23	その他	新規 レイヤ 名 (略語) *C)	新規 レイヤ 名 (略語) *C)	'本基準(案)で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。		半角英数字	11		
	24			新規 レイヤ 名 (概要) *4)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。		全角文字 半角英数字	127		
	25		受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	26		発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	27		予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG				ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す

*1)追加工種がある時は、「3 追加対象工種(数値)」、「4 追加対象工種(概要)」をセットで複数回繰り返す。

*2)図面情報は、図面の枚数分を複数回繰り返す。基準点情報の記入方法については、[解説]を参照。

*3)「位置図」、「平面図」、「一般図」の基準点情報は、17～19または17, 20～22のいずれかを必ず記入する。

*4)本基準(案)で定義していない新規レイヤを追加する時は、「23 新規レイヤ名(略語)」と「24 新規レイヤ(概要)」をセットで複数回繰り返す。

* A)本基準(案)の分類は以下の通り。

平成13年8月版 土木200108

平成14年7月版 土木200207

平成15年7月版 土木200307

平成16年6月版 土木200406-01

7.5 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表7.5に示すとおりとする。

表7.5 写真管理項目

(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		PHOTO/PIC	半角英大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために'DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。			半角英大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)		土木2006-01-01	全角文字 半角英数字	30		
写真情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはいけない。		1	半角数字	7		
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		P0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名簿を記入する。		土工品質管理	全角文字 半角英数字	127		
	メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て"1"となる。		1	半角数字	8		
	写真・大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真是常に「工事」と記入する。		工事	全角文字 半角英数字	8		
	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		品質管理写真	全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:」「その他:×」とする。(:記入、:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		道路土工	全角文字 半角英数字	127		
	種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:」「その他:×」とする。(:記入、:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		路体盛土工	全角文字 半角英数字	127		
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:」「その他:×」とする。(:記入、:記入可能な場合は記入、×:記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		路体(購入土)	全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。		No10 路体盛土(1層目) 出来高測定	全角文字 半角英数字	127		
	工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
写真情報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に開き、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		D0000001.JPG	半角英数 大文字	12		
	参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。		平面図	全角文字 半角英数字	127		
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に開き、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		平面図	全角文字 半角英数字	127		
	付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特殊事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		測点:1L	全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合、「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年02月26日 2006-02-06		2006-09-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
代表写真		工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。		1	半角数字	1		
施工管理値		黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。		路体盛土(1層目) 仕上厚300mm 実寸法305mm	全角文字 半角英数字	127		
請負者説明文		請負者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.6 その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHRS.XML)に記入する管理項目は、表7.4に示すとおりとする。

表7.6 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
サブフォルダ情報	その他サブフォルダ名	作成したその他サブフォルダ名(ORG001~nnn)を記入する。		ORG002	半角英数 大文字	6		
	その他サブフォルダ日本語名	格納している資料の内容がわかるようにフォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	資料名	その他サブフォルダ名に格納している資料名を記入する。		に関する段階確認書	同上	127		
	オリジナルファイル情報	シリアル番号	シリアル番号は1より開始する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった資料についてユニークであれば、中抜けしても良い。2番目を，“00002”の様に0を付けて表現してはいけない。	1	半角数字	15		
	オリジナルファイル名	オリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		CHK01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	オリジナルファイル日本語名	オリジナルファイルの日本語名を記入する。		20061109段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word_2000	同上	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくはオリジナルファイルに示されていることを記入する。		に関する段階確認書	同上	127		
	2	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		同上	127		
	その他	請負者説明文	請負者側で特記すべき事項がある場合は記入する。		同上	127		
		発注者説明文	発注者側で特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。		同上	127		
	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			同上	127		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

工事

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

工事名		
施行番号		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

		成果品	電子納品	紙	備考
<input type="checkbox"/> 工事管理情報ファイル		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
発注図面フォルダ(DRAWINGS)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 特記仕様書オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)					
<input type="checkbox"/> 打合せ簿管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 品質管理資料					
<input type="checkbox"/> 品質管理表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 測定結果総括表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 品質管理図表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 品質管理図	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 出来形管理資料					
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 出来形管理図表	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 出来形管理図	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施工計画書フォルダ(PLAN)					
<input type="checkbox"/> 施工計画書管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施工計画書オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
完成図面フォルダ(DRAWINGF)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面ファイル	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
写真フォルダ(PHOTO)					必須
<input type="checkbox"/> 写真情報管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 写真ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 参考図ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式 <input type="checkbox"/> TIFF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
その他フォルダ(OTRHS)					
<input type="checkbox"/> その他管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

他の書類は、紙媒体での納品とする。

工事

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。

準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領[工事編]	平成19年	広島県
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) (工種:)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案) (工種:)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成要領(案) (工種:)	平成17年4月	農林水産省農村振興局
写真	<input type="checkbox"/> デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 工事完成図書の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案)[土木工事編]	平成17年8月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン(案)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> 地方整備局(港湾空港関係)の現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)	平成17年4月	国土交通省港湾局
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年9月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成運用ガイドライン(案) (業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省農村振興局

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

工事

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

工事名	
施行番号	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他() 請負者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体系図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果総括表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 安全管理資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 材料確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 立会書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工事写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 施工台帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

--

参考資料 3 納品時チェックシート

納品時チェックシート

工事

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名	
施行番号	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注者	事務所名・課名
	職名
	担当者氏名
	連絡先(電話番号)
	連絡先(FAX)
	連絡先(e-mail)
受注者	会社名
	部署名
	役職名
	担当者氏名
	連絡先(電話番号)
	連絡先(FAX)
	連絡先(e-mail)

2 電子媒体の確認

電子媒体	問題なし 特記仕様書どおり 問題あり()
ラベル	問題なし 正しく作成されている 問題あり()
電子媒体納品書の受領	問題なし 正しく作成されている 問題あり()

3 ウィルスチェック等電子媒体の確認

ウィルスチェックの実施	実施できた 実施できなかった()
ウィルスチェックの結果	異常なし ウィルスは検出されなかった 異常あり()
電子納品チェックツールによる 検査結果	エラーなし エラーあり()

4 フォルダ構成/ファイル名

電子媒体内のフォルダ構成	問題なし 正しく作成されている 問題あり()
ファイル名 (命名規則に従っているか)	問題なし 正しく作成されている 問題あり()

5 管理ファイルのデータ項目内容チェック

電子納品対象項目	内容チェックの実施	内容チェックの結果
工事管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
発注図管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
打合せ簿管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
施工計画書管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
完成図管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
写真管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()
その他管理ファイル	実施できた 実施できなかった ()	正常に作成されていた 内容に問題があった ()

6 電子データ内容と印刷出力との内容照合チェック

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果
図面ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
特記仕様書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
打合せ簿ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
施工計画書ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
測量縦横断データ	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
写真ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()
その他ファイル	実施できた 実施できなかった ()	内容に相違はない 内容に相違があった ()

7 その他

--

参考資料 4 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 5 CD-R が複数枚になる場合の処置

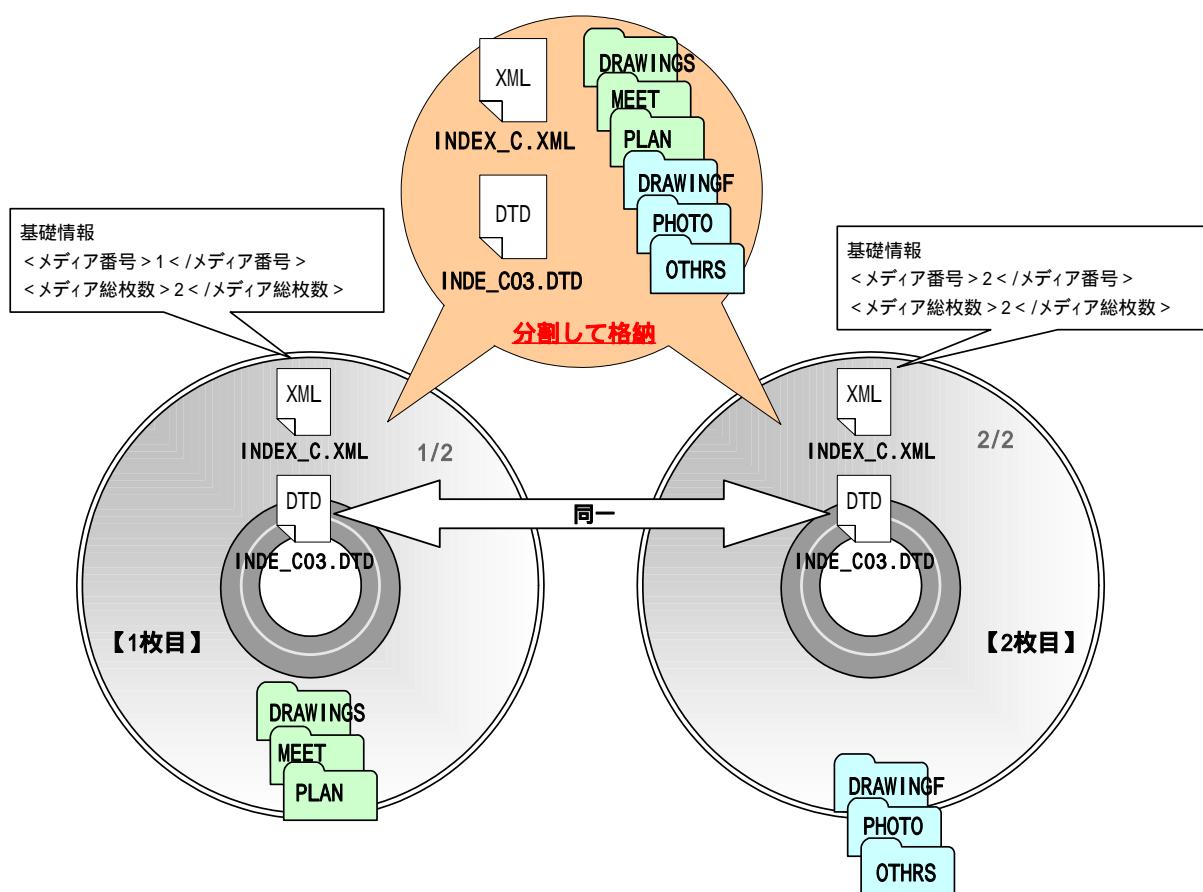
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_C.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

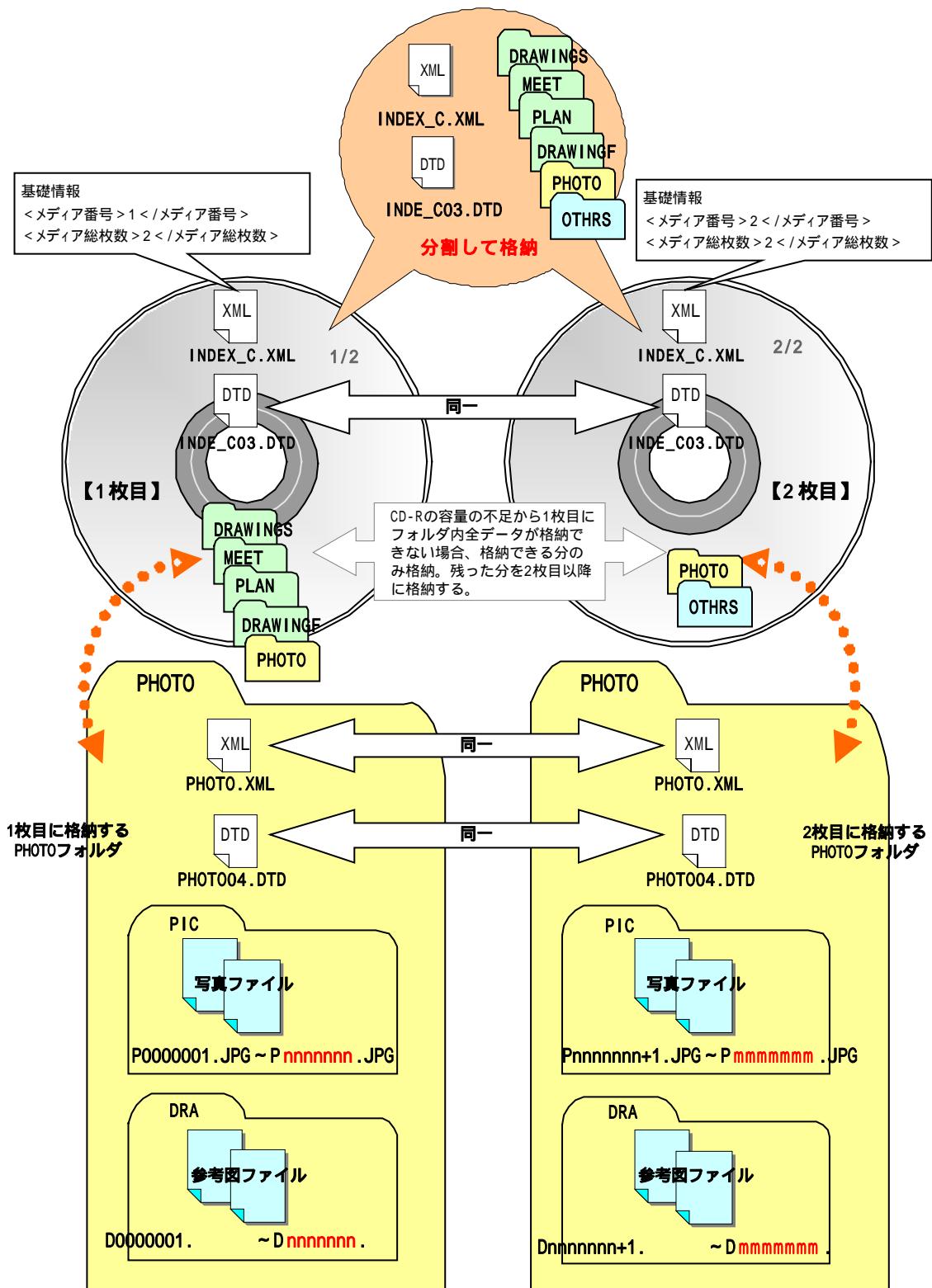
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 3.1 に示す。



参資図 3.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 3.2 CD-R が2枚になる場合の作成例 によるものとする。



参資図 3.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内も分割する必要がある場合】¹

1 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一致するものではありません。

広島県電子納品実施要領

[建築設計業務編]

(案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 問合せ	1
1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	5
3.1 機器及びソフトウェア	5
3.2 発注時の特記仕様書への記載	5
4 電子納品の手順・事前協議	6
4.1 電子納品手順	6
4.2 事前協議	7
5 電子成果品の作成	8
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	8
5.2 委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	9
5.3 データの管理	9
5.4 広島県の標準ファイル形式	10
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	11
5.6 ファイルの命名規則	13
5.7 電子媒体	18
6 完了検査	22
7 成果品の管理項目	23
7.1 業務管理項目	24
7.2 資料管理項目	25
参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート	26
参考資料 2 検査前協議チェックシート	29
参考資料 3 境界座標の記入	30

1 広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する建築設計業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、受発注者間において協議することとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとること。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称
建築設計業務委託共通仕様書
建築工事監理業務委託共通仕様書

1.3 問合せ

広島県の電子納品運用等に関する問合せ先は、次のとおり。

表 1.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

営繕関係事業
総務部財務局財産管理室 庁舎企画グループ
TEL 082-513-2311
FAX 082-224-1235
E-mail souzaisan@pref.hiroshima.jp

1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。

しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.3 国土交通省等と広島県との差異

項目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD ファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として SXF(SFC)とするが、JW-CAD も認める	5.1(6)
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・RIBC・ JPEG・PDF	5.4
レイヤリストファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
図面オリジナルファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
CAD ファイル命名規則	受注者が自由に設定してよい	原則として、県の基準による	5.6
図面以外のファイル名	受注者が自由に設定してよい	受発注者協議により決定	5.6.4
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部 ほか特記仕様書による	5.7.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「委託業務の場所」を追加	5.7.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.7.3
管理ファイルの記載内容	'7 成果品の管理項目'記載例参照		7.1 ~ 7.2

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、次に示す国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準類	策定年月	備考
全般	建築設計業務等電子納品要領(案)	平成14年11月	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン(案)	平成14年11月	
図面	建築CAD図面作成要領(案)	平成14年11月	広島県
	建築CAD図面作成要領	平成13年 4月	
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年 4月	

国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。

国土交通省大臣官房官庁営繕部HP

<http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm>

広島県の運用

国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD 製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

国の要領・基準等の概要

(1) 官庁営繕事業に係る運用ガイドライン(案)

電子納品対象工事・業務の範囲、適用基準類、電子納品の対象成果物の範囲、受発注者間協議の方法等、官庁営繕事業において電子納品を具体的に実施するにあたり、受発注者双方が留意すべき事項及び当面の措置として守るべき事項を定めたものである。

(2) 建築設計業務等電子納品要領(案)

建築設計業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) 建築 CAD 図面作成要領(案)

CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応) ¹
- ・ P D F 作成ソフト
- ・ ウィルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ 特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF ¹ 対応のものとする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

1 図面ファイル形式は、5.1(6) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

参考 CAD ソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

(1) 特記仕様書への明記

電子納品対象の業務委託であることを受発注者間で相互に認識する必要があることから、電子納品対象の業務委託であることを特記仕様書に明記する。

表 3.1 特記仕様書記載例

電子納品

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【建築設計業務編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

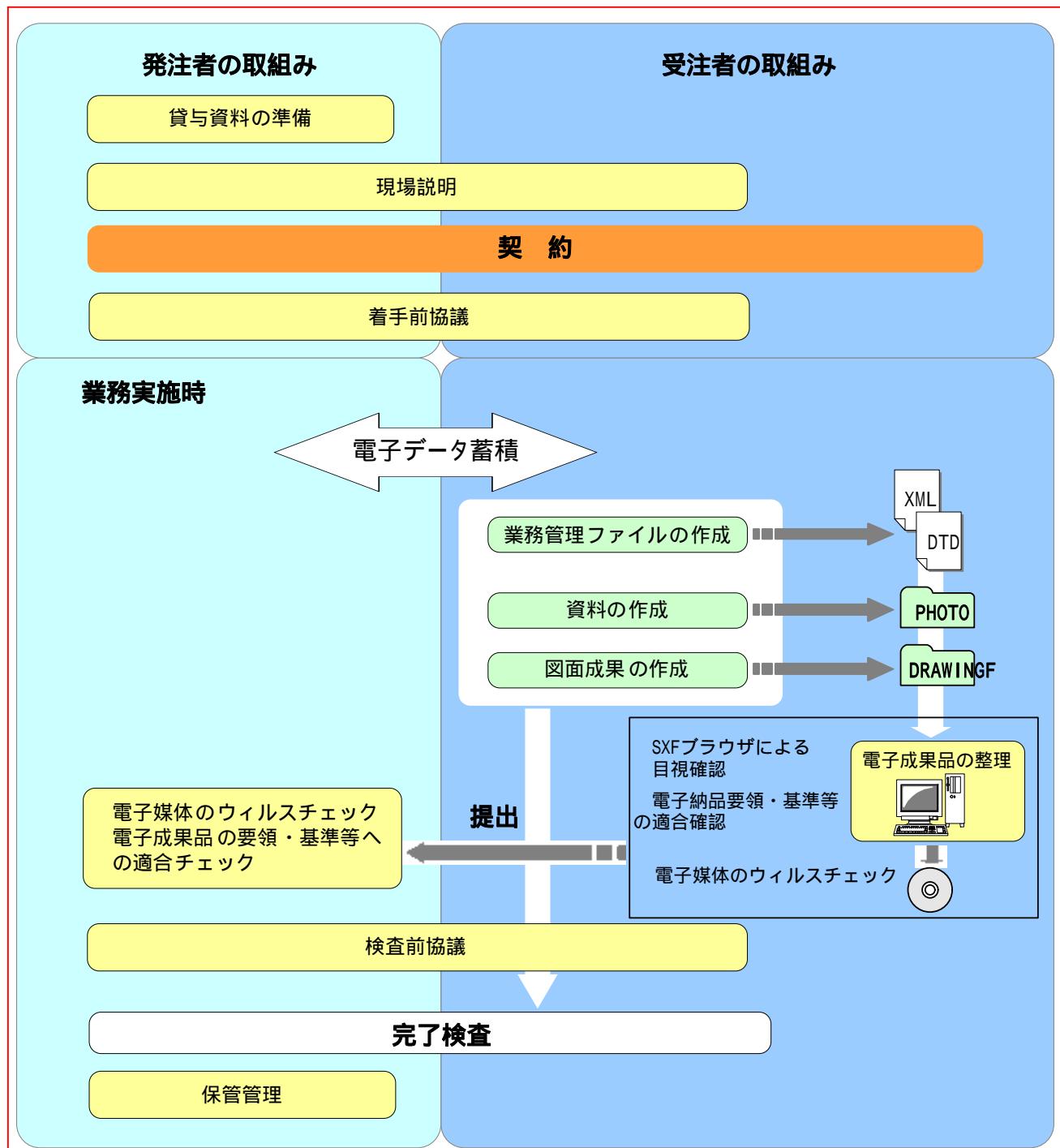
提出図書【成果品】

電子成果品(電子納品) 3部

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

業務発注から完了検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、納品前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておく(事前協議)ことが必要である。

事前協議は、委託期間中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、委託期間中等に疑義が生じた場合は、隨時、受発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 受発注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(3) スキャナによる電子化

- (a) スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。
- (b) 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(4) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画素数	容量 / 枚	備考
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

(5) 特殊ソフト利用の書類の電子化

特殊アプリケーション用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものであり、受発注者の協議が整った場合は PDF による提出も可とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこと。

(6) CAD 図面のファイル形式

CAD 図面のファイル形式の運用については、次のとおりとする。

CAD 図面ファイルの取り扱い

電子納品の図面ファイル形式は、SXF(SFC)形式を基本とする。

ただし、広島県の営繕・設備等部門では、これまで「建築図面 CAD 図面作成要領」及び「建築設備 CAD 図面作成要領」に基づき、ファイル形式を JW-CAD 形式に指定してきたことから、次の取扱いを認めることとし、段階的に SXF(SFC)形式へ移行を図ることとする。

		発注者から提供された図面ファイル形式	納品時の図面ファイル形式
営繕工事	ケース1	SXF (SFC)	SXF (SFC)
	ケース2	JW-CAD	JW-CAD
業務委託		無し	SXF (SFC), JW-CAD

5.2 委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、平成19年度は次のとおり実施する。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
資料	受注者	REPORT	協議
図面	受注者	DRAWING	必須

補足説明

必須：電子納品を必須とする書類

協議：電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、受注者からの申出及び受発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこと。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

業務管理ファイル及び資料管理ファイル

業務管理ファイル、資料管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

資料ファイル

資料ファイルのファイル形式については、PDF 形式とする。

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式については、5.1(6)CAD 図面のファイル形式によるものとする。

資料オリジナルファイル

資料オリジナルファイルは、基本的に Word ファイル・Excel ファイル、RIBC ファイル、

画像ファイル (JPEG) とする。

(1) PDF ファイル

(a) PDF ファイルの作成

- ・用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- ・印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。
- ・フォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

(b) PDF ファイルの編集

- ・しおり(ブックマーク)を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料(概ね 30 頁以下)については、しおりを省略してよい。
- ・サムネイル(ページを縮小して一覧表示したもの)を作成する。
- ・セキュリティーの設定は行わない。
- ・初期表示の設定は、次のように表示されるようにする。

最初に表紙のページが表示される。

100% の倍率で表示される。

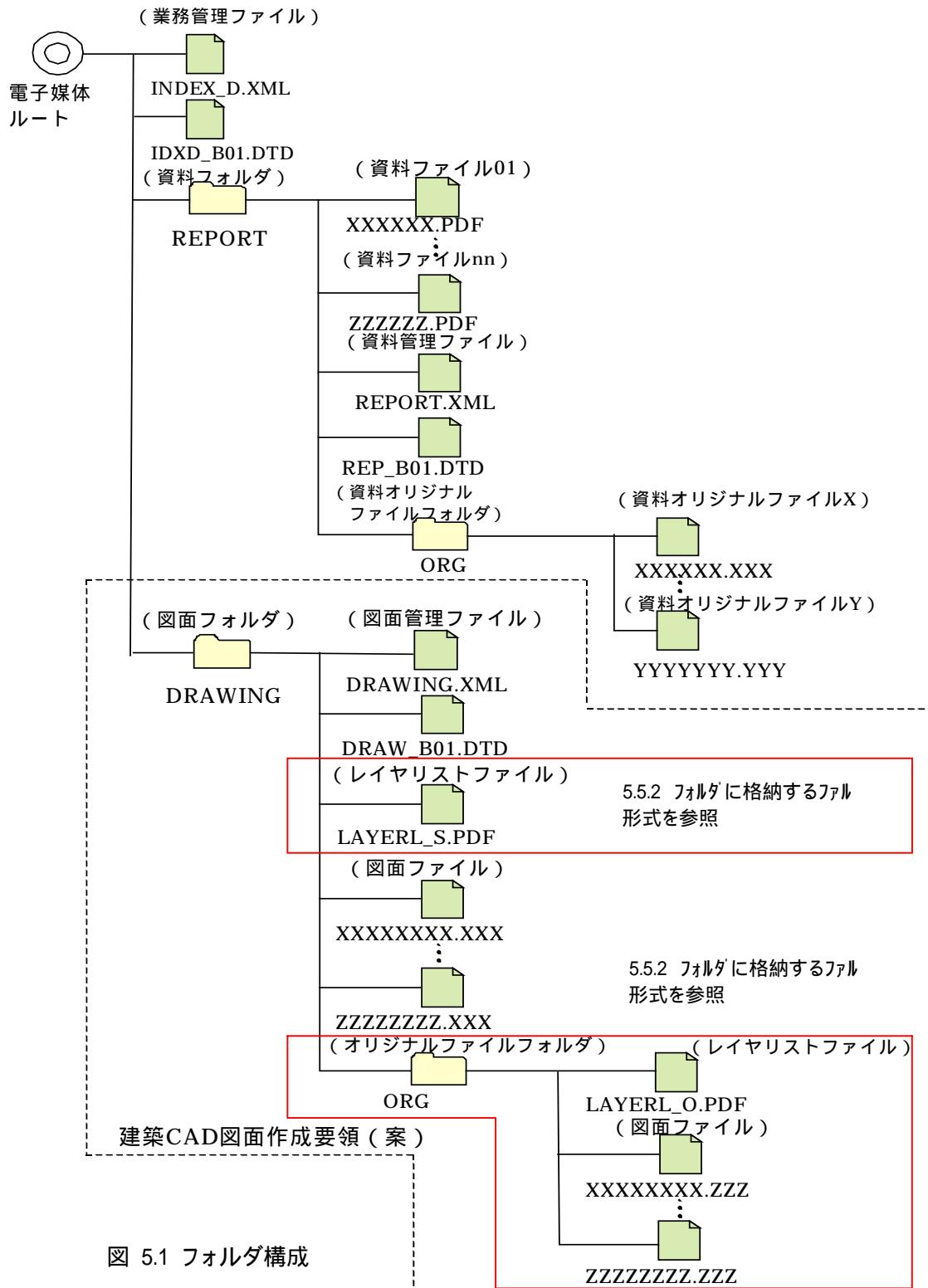
5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。また「REPORT」、「DRAWING」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。

ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。



5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

項目	フォルダ名	サブフォルダ名	ファイル名称	ファイル形式
資料	REPORT		業務管理ファイル	XML
			資料管理ファイル	XML
		ORG	資料ファイル	PDF
図面	DRAWING		資料オリジナルファイル	オリジナルファイル
			図面管理ファイル	XML
			レイヤリストファイル ¹	PDF
		ORG	図面ファイル	SXF(SFC) ²
			オリジナルファイル	オリジナルファイル ³

1 レイヤリストファイルは、国の「建築 CAD 図面作成要領(案)」に参考例として示されている。

本県の運用としては、県の 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領に基づくこととする。

2 図面ファイル形式は、5.1(6) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

3 図面フォルダ(DRAWING)に、JW-CAD を格納する場合は、オリジナルファイルの作成は不要である。

5.5.3 管理ファイルの種類

各フォルダへ格納する管理ファイル名称は次のとおりとする。

表 5.3 電子納品の各フォルダ及び格納する管理ファイル形式等

管理ファイルの種類	格納するフォルダ	管理ファイル名
業務管理ファイル		INDEX_D.XML
		IDXD_B01.DTD
資料管理ファイル	資料フォルダ (REPORT)	REPORT.XML
		REP_B01.DTD
図面管理ファイル	図面フォルダ (DRAWING)	DRAWING.XML
		DRAW_B01.DTD

5.6 ファイルの命名規則

資料ファイル及びオリジナルファイルのファイル名は、次の各項目に従うものとする。

ファイル名の文字数

ファイル名の文字数は、半角 8 文字以下とする。
(拡張子と “.” を含めて 12 文字以下)

ファイル名に使用する文字

ファイル名に使用する文字は、次に示す半角文字とする。

- ・半角大文字のアルファベット (A~Z)
- ・半角数字 (0~9)
- ・“_” (アンダーライン)

ファイル名

図面のファイル名については、5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 によることとする。

図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。

5.6.1 ファイル名等について

(1) ファイル名の文字数、ファイル名に使用する文字

5.7.1 使用媒体仕様等 で記載する CD-R のフォーマット形式 (ISO9660LEVEL1) へ準拠した規定とする。

(2) ファイル名の取扱い

CAD 図面のファイル名は、県で策定している 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 に基づくこととし、現行の基準どおりとする。

図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。

5.6.2 建築 CAD 図面作成要領

(1) 文字数等

・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。

・使用できない文字

「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「、」「。」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」

(2) 命名規則

〔A〕(建築を示す) + [図面種別(3桁)] + [同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)]

(ファイル一覧でみたときファイル名の並び順を設計図書の図面番号と同じにしたい)

例) A01001	表紙	A07002	2 階平面図
A02001	図面目録	A09001	A-A' 断面図
A05001	案内図	A09002	B-B' 断面図
A07001	1 階平面図		

(3) 種別記号(建築)

図面名称		ファイル名
意匠	表紙	A010_ _
	図面目録	A020_ _
	仕様書	A030_ _
	仕上表	A040_ _
	案内図	A050_ _
	配置図	A060_ _
	平面図	A070_ _
	立面図	A080_ _
	断面図	A090_ _
	矩計図	A100_ _
	詳細図	A110_ _
	展開図	A120_ _
構造	天井伏図	A130_ _
	建具表	A140_ _
	基礎・基礎梁伏図	A150_ _
	各階伏図	A160_ _
	軸組図	A170_ _
	断面リスト	A180_ _
	基礎配筋図	A190_ _
工作物等	各部配筋図	A200_ _
	鉄骨詳細図	A210_ _
工作物等	工作物等詳細図	A220_ _

_ _には、2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

例) A06101 . . . 敷地求積図

A06201 . . . 建物求積図

5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領

(1) 使用文字等

・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。

・使用できない文字

「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「、」「。」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」

(2) 命名規則

【E(電気設備)又はM(機械設備)】 + 【図面種別(3桁)】

+ 【同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)】

(3) 種別記号(電気設備)

	図面名称	ファイル名
共通事項	表紙、目録	E010_ _
	仕様書	E020_ _
	凡例	E030_ _
	敷地案内図	E040_ _
	配置図	E050_ _
構内設備	構内配電線路	E100_ _
	構内通信線路	E110_ _
受変電等	受変電設備図	E200_ _
	自家発電設備図	E210_ _
	蓄電池設備図	E220_ _
強電設備	強電設備幹線図・系統図	E300_ _
	分電盤回路図・姿図	E310_ _
	照明器具姿図	E320_ _
	電灯設備平面図	E330_ _
	コンセント設備平面図	E340_ _
動力設備	動力設備幹線図・系統図	E400_ _
	動力盤回路図・姿図	E410_ _
	動力設備平面図	E420_ _
弱電設備	弱電設備幹線図・系統図	E500_ _
	弱電設備機器姿図	E510_ _
	電話・テレビ共聴・インターホン設備平面図	E520_ _
	電気時計・放送設備配置図	E530_ _
自火報	自動火災報知設備幹線図・系統図	E600_ _
	自動火災報知設備平面図	E610_ _
その他弱電設備	出退表示設備幹線図・系統図	E700_ _
	出退表示設備平面図	E710_ _
	建物情報通信網(LAN)設備幹線図・系統図	E720_ _
	構内情報通信網(LAN)設備平面図	E730_ _
監視設備	中央監視設備	E800_ _
避雷設備	避雷針設備	E900_ _

(4) 種別記号(機械設備)

図面名称		ファイル名
共 通	表紙, 目録	M010_ _
	仕様書	M020_ _
	工事区分表	M030_ _
	敷地案内図	M040_ _
	配置図	M050_ _
	矩形図	M060_ _
衛 生	系統図	M100_ _
	器具リスト	M110_ _
	平面図	M120_ _
	詳細図	M130_ _
	桟リスト	M140_ _
	勾配図	M150_ _
	自動制御図	M160_ _
	機器, 工作物等図	M170_ _
空 調	系統図	M200_ _
	器具リスト	M210_ _
	平面図	M220_ _
	詳細図	M230_ _
	自動制御図	M240_ _
	機器, 工作物等図	M250_ _
淨 化 槽		M300_ _

_には、2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

例) E01001 … 表紙

E03001 … 凡例

E33001 … 1階電灯設備平面図

E33002 … 2階電灯設備平面図

M01001 … 表紙

M11001 … 器具リスト(衛生)

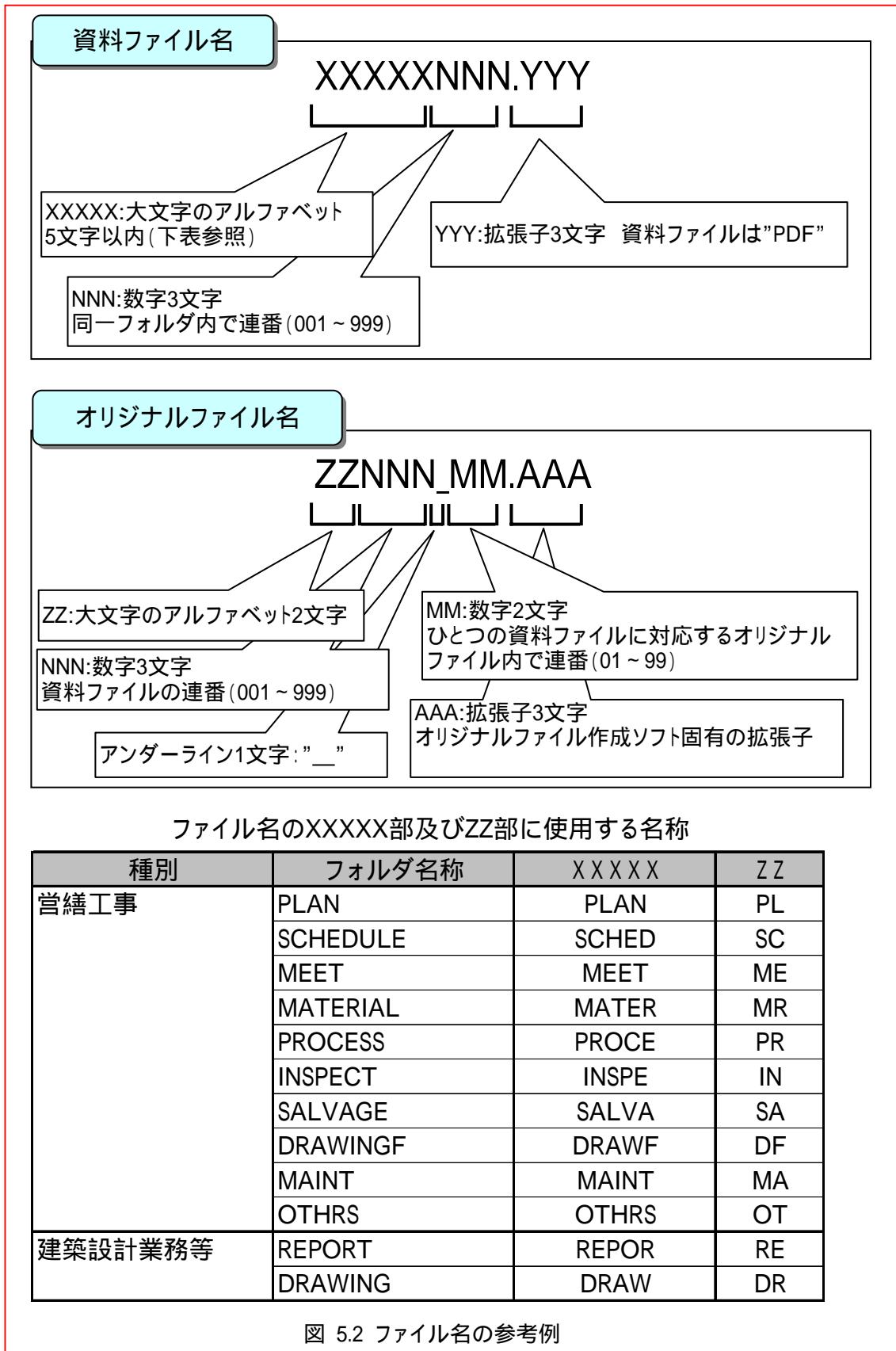
M12001 … 1階平面図(衛生)

M12002 … 2階平面図(衛生)

5.6.4 図面以外のファイル名

図面以外のファイル名については、受発注者協議によるものとする。

なお、参考として、図 5.2 ファイル名の参考例 を示す。



5.7 電子媒体

5.7.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・CD-Rの使用を原則とする。
- ・CD-Rは、ISO9660フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の要領に従う。
- ・納品は、CD-R 3部とする。

- ・納品媒体は、再度書き込みが不可能なCD-Rを原則とする。
- ・本県においては、媒体（CD-R）で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660LEVEL1とするため、写真ファイル名にロングネーム（ファイル名が8文字より多い文字数）の使用はしない。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じて LEVEL 1 ~ 3 が規定されている。最も多くのOSに対応可能な LEVEL1 は、ファイル名8文字 + 拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字（A~Z, 0~9）及び、_（アンダーバー）のみと、制限が厳しくなっている。

5.7.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務名称
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(LEVEL1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 業務委託名称

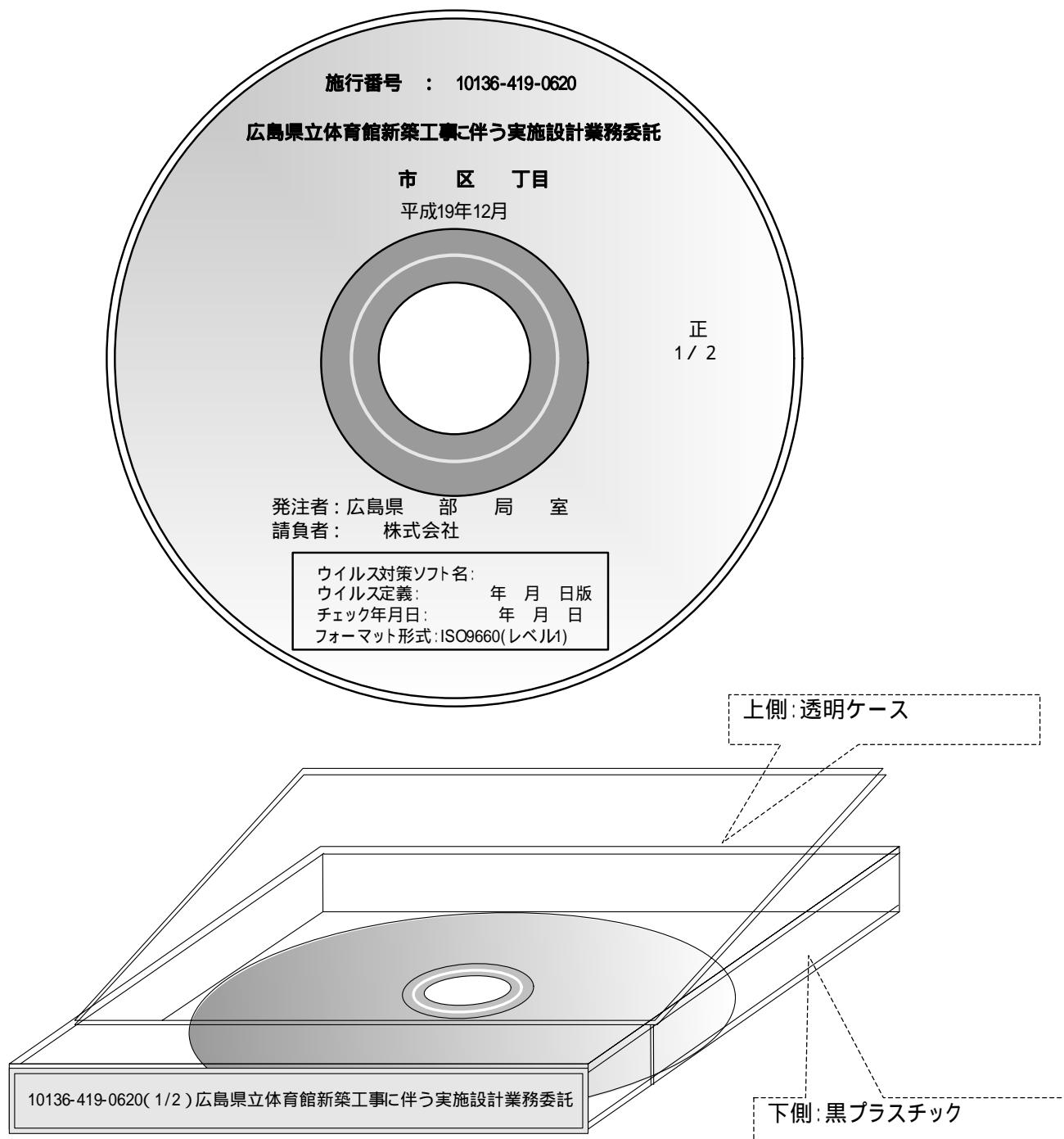
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、業務委託名称が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「委託業務名称」 契約図書に記載されている業務委託の名称を記載
- ・ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
- ・ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「受注者名」 受注者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	10136-419-0620 (1/2) 広島県立総合体育馆新築工事に伴う実施設計業務委託
(長い場合)	10136-419-0620 (1/2) 上屋新築工事に伴う

図 5.3 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.7.3 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日			
電 子 媒 体 納 品 書			
広島県知事 様			
受注者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 丁目	印	株式会社
次のとおり電子媒体を納品します。			
施行番号	10136-419-0620		
委託業務名称	広島県立体育館新築工事に伴う実施設計委託		
業務委託の場所	市 区 丁目		
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日		
電子媒体の総枚数	枚 × 3部		
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日		
備考	1/2 : REPORT, DRAWING を格納 2/2 : DRAWING を格納		
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。			

図 5.4 電子媒体納品書の記載(例)

6 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

完了検査では、業務成果品について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 現況写真

写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 業務報告書等

設計図書等を検査する際には、受注者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

業務計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。

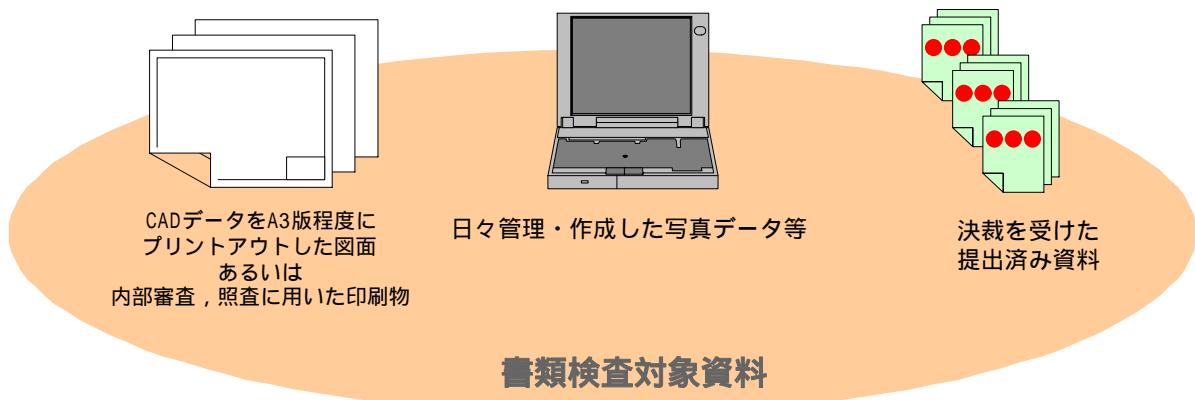


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(業務管理項目、資料管理項目)を表7.1、7.2に示す。

また、各表中における「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

[記入者] : 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

[必要度] : 必須記入項目(必ず記入する)
: 条件付き必須記入項目(データが分かることは必ず記入する)
: 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角1文字に相当する。

また、摘要の記述については、つぎのとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

記入有 = 広島県が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111·····

082 - 228 - 2111 ····· ×

2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町10番52号·····

広島市中区基町10-52······ ×

広島市中区基町10番52号······ ×

3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2008-03-26·····

20080326······ ×

7.1 業務管理項目

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_D.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.1 に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	1	同上	8		
	メディア種別	「CD-R」と記入する。	CD-R	半角英字 大文字	127		
	メディアフォーマット	「ISO9660LEVEL1」と記入する。	ISO9660LEVEL1	同上	127		
	資料フォルダ名	資料を格納フォルダ名称(REPORTで固定)を記入する。	REPORT	同上	127		
	資料オリジナル ファイルフォルダ名	資料オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(REPORT/ORGで固定)を記入する。	REPORT/ORG	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するフォルダ名称(DRAWINGで固定)を記入する。	DRAWING	同上	127		
ソフトウェア情報	図面オリジナル ファイルフォルダ名	図面のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(DRAWING/ORGで固定)を記入する。	DRAWING/ORG	同上	127		
	ソフトウェア名	業務管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	業務管理簡易作成 ツ	全角数字 半角英数字	64		
	バージョン情報	業務管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
業務情報	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
	業務番号	業務カルテの「業務コード番号」を記入する。	契約図書の施行番号(8文字)を記入する	419-0002	半角英数字	8	
	業務名称	契約図書の業務名称を記入する。	契約図書の業務名を記入	施設に係る設計業 務	全角文字 半角英数字	127	
	業務種別	業務カルテの「業務種別」の分類に従い、該当する業務種別を全て記入する。(複数記入可)	建築基本設計、建築設計、構造設計、設備設計、積算、工事監理、耐震診断、その他から選択(複数可)				
	契約金額	契約金額を円単位の数値で記入する。	10000000	半角数字	16		
	履行開始日	業務の履行開始年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2007-10-01	半角英数字	10		
	履行完了日	業務の履行完了年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2008-03-20	同上	10		
発注者情報	業務自由記入欄	業務カルテの「業務自由記入欄」を記入する。	契約図書の工事概要を記入	設計 一式	全角文字 半角英数字	127	
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従って記入する。 3	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401001	半角数字	8	
	発注者名称	発注者の名称を記入する。	広島県 部 局 総室 × × 室	全角文字 半角英数字	127		
受注者情報	受注者コード	業務カルテの「会社コード番号」を記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	8	
	受注者名称	受注者の正式名称を記入する。 (業務カルテの「事務所名称」に対応)	商号又は名称	設計事務所	全角文字 半角英数字	127	
施設情報	施設識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	127	
	施設名称	施設名称を記入する。		施設	全角文字 半角英数字	127	
	施設基準点緯度	施設基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	施設基準点経度	施設基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
	建築物情報 1	建築物識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	0	同上	127	
		建築物名称	建築物の名称を記入する。	本館	全角文字 半角英数字	127	
	所在地	建築物の所在地を記入する。	広島県 市 町 × × 番地	同上	127		
2	建築物基準点緯度	建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
	建築物基準点経度	建築物基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
予備	予備項目があれば記入する。 (複数記入可)		本業務は、…	全角文字 半角英数字	127		

1 業務対象施設の数だけ繰り返し記入する。

2 1の業務対象施設毎に、業務対象建築物の数だけ繰り返し記入する。

3 JASICのホームページより、ダウンロードしてください。

7.2 資料管理項目

電子媒体に格納する資料管理ファイル(REPORT.XML)に記入する資料管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 資料管理項目

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	資料管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		業務管理簡易作成ソフト	全角数字 半角英数字	64	
	バージョン情報	資料管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄	同上	64		
資料情報	資料大分類	表 - の資料大分類を記入する。	基本設計、実施設計、監理業務報告書、総合耐震診断業務、改修基本計画業務のいずれかを記入	基本設計	同上	64	
	資料小分類	表 - を参考に資料小分類を記入する。	建築、電気設備、機械設備、報告書、打合せ簿、その他のいづれかを記入	建築	同上	64	
	資料名称	設計仕様所に規定された資料名称を記入する。		設計計算書	同上	64	
	資料作成日	資料作成日をyyyy-mm-dd形式で記入する。	2007-04-01	半角英数字	10		
	資料副題	資料名が漠然としている場合は内容がわかる程度の副題を記入する。		本館熱負荷計算書	全角文字 半角英数字	64	
	資料ファイル名	資料ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT001.PDF	半角英数 大文字	12	
	資料ファイル作成 ソフトウェア名	資料ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Ver4.0	全角文字 半角英数字	64	
	資料オリジナルファイル 情報	資料オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		RE001_01.XLS	半角英数 大文字	12	
	資料オリジナルファイル 作成ソフトウェア名	資料オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft.Exce_2000	半角英数字 大文字	64	
	その他	受注者説明文	受注者側で資料に付けるコメントを記入する。		同上	127	
	予備	その他予備項目を記入する。 (複数回答可)			同上	127	

1 資料ファイル情報以下は、資料の数だけ繰り返し登録する。

2 資料オリジナルファイル情報は、一つの資料に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

建築設計業務

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名		
施行番号		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

ワープロソフト	(Ver.)
表計算ソフト	(Ver.)
SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
JW_CADファイル	(Ver.)
RIBCファイル	(Ver.)
その他	(Ver.)

建築設計業務

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

		成果品	電子 納品	紙	備考
業務管理ファイル					必須
資料フォルダ(REPORT)					
資料管理ファイル	XML				
設備容量等計算書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
省エネルギー計画書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
建設コスト縮減資料書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工事内訳書	PDF 【 WORD , EXCEL , RIBC , その他()】				
数量積算書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
内訳書単価根拠資料	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
使用機器・材料カタログ資料	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
環境配慮システムチェック表資料	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
透視図・鳥瞰図	PDF , JPEG , その他() 【 使用ソフト名()】				
透視図(写真)	PDF , JPEG 【 使用ソフト名()】				
デフォルメ図	PDF , SXF(SFC) , JW_CAD , その他() 【 使用ソフト名()】				
テレビ電波障害調査報告書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
現況写真現地調査資料	PDF , JPEG形式 【 WORD , EXCEL , その他()】				
官公署手続き書類(計画通知等)	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
図面フォルダ(DRAWING)					
図面管理ファイル	XML				必須
図面	SXF(SFC) , JW_CAD 【 使用ソフト名()】				必須
レイヤリスト	PDF【 PDF】				必須

【 】はオリジナルファイルフォルダ(ORG)に格納するファイルの形式を示す。

他の書類は、紙媒体での納品とする。

建築設計業務

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。

準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領[建築設計業務編]	平成19年	広島県
	建築設計業務等電子納品要領(案)	平成14年11月	国土交通省
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン(案)	平成14年11月	国土交通省
図面	建築CAD図面作成要領(案) 1	平成14年7月	国土交通省
	建築CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県

1 建築CAD面作成要領・建築設備CAD図面作成要領と建築CAD図面作成要領(案)が重複する部分については、建築CAD面作成要領・建築設備CAD図面作成要領を優先する。

5 コンピュータウイルス対策(受注者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(受注者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

建築設計業務

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

業務委託名	
施行番号	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
受注担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()
	受注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

3 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
設備容量等計算書			デフォルメ図		
省エネルギー計画書			テレビ電波障害調査報告書		
建設コスト縮減資料書			現況写真現地調査資料		
工事内訳書			官公署手続き書類(計画通知等)		
数量積算書			図面		
内訳書単価根拠資料			レイヤリスト		
使用機器・材料カタログ資料			その他()		
環境配慮システムチェック表資料			その他()		
透視図・鳥瞰図			その他()		
透視図(写真)					

工事監理業務、耐震診断業務は、設計図書以外の資料について、着手前の事前協議により
対象項目として定めたものとする。

4 その他

--

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参考図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

業務対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

1 境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

広島県電子納品実施要領 [営繕工事編] (案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[営繕工事編]の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 問合せ	1
1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	5
3.1 機器及びソフトウェア	5
3.2 発注時の特記仕様書への記載	5
4 電子納品の手順・事前協議	6
4.1 電子納品手順	6
4.2 事前協議	7
5 電子成果品の作成	8
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	8
5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	9
5.3 データの管理	9
5.4 広島県の標準ファイル形式	10
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	11
5.6 ファイルの命名規則	18
5.7 電子媒体	23
6 検査(中間検査・完成検査)	27
6.1 中間検査の取扱い	27
6.2 書類検査	27
6.3 現場検査	28
7 成果品の管理項目	29
7.1 工事管理項目	30
7.2 工事関係資料管理項目	32
参考資料 1 着手前(変更)協議チェックシート	33
参考資料 2 検査前協議チェックシート	37
参考資料 3 境界座標の記入	39
参考資料 4 電子化対象書類一覧表	40

1 広島県電子納品実施要領[営繕工事編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[営繕工事編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議することとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとること。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書 及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)
公共建築工事標準仕様書(電気設備編)
公共建築工事標準仕様書(機械設備編)
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)
公共建築改修工事標準仕様書(電気設備編)
公共建築改修工事標準仕様書(機械設備編)
木造建築工事共通仕様書

1.3 問合せ

広島県の電子納品運用等に関する問合せ先は、次のとおり。

表 1.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

営繕関係事業
総務部財務局財産管理室 庁舎企画グループ
TEL 082-513-2311
FAX 082-224-1235
E-mail souzaisan@pref.hiroshima.jp

1.4 国土交通省の基準類との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。

しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.3 国土交通省等と広島県との差異

項目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD ファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として SXF(SFC)とするが、JW-CAD も認める	5.1(6)
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・RIBC・ JPEG・PDF	5.4
レイヤリストファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
図面オリジナルファイル	要	要(県の基準による)	5.5.2
CAD ファイル命名規則	受注者が自由に設定してよい	原則として、県の基準による	5.6
図面以外のファイル名	受注者が自由に設定してよい	受発注者協議により決定	5.6.4
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部 ほか特記仕様書による	5.7.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「工事場所」を追加	5.7.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.7.3
管理ファイルの記載内容	'7 成果品の管理項目'記載例参照		7.1 ~ 7.2

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、工事の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、次に示す国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準類	策定年月	備考
全般	営繕工事電子納品要領(案)	平成14年11月	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン(案)	平成14年11月	
図面	建築CAD図面作成要領(案)	平成14年11月	広島県
	建築CAD図面作成要領	平成13年 4月	
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年 4月	
写真	営繕工事写真作成要領	-	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部
	工事写真の撮り方(改訂第二版) - 建築編 -	-	
	工事写真の撮り方(改訂第二版) - 建築設備編 -	-	

国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次のホームページからダウンロードできます。

国土交通省大臣官房官庁営繕部HP

<http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun/cals/cals.htm>

広島県の運用

国土交通省の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD 製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

国の要領・基準等の概要

(1) 官庁営繕事業に係る運用ガイドライン(案)

電子納品対象工事・業務の範囲、適用基準類、電子納品の対象成果物の範囲、受発注者間協議の方法等、官庁営繕事業において電子納品を具体的に実施するにあたって、受発注者双方が留意すべき事項及び当面の措置として守るべき事項を定めたものである。

(2) 営繕工事電子納品要領(案)

工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) 建築 CAD 図面作成要領(案)

CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

(4) 工事写真の撮り方(建築編、建築設備編)

建築工事の現場において、各施工段階における状況を記録写真として撮影するための手引きである。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応) ¹
- ・ P D F 作成ソフト
- ・ ウィルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、別に定める「営繕工事写真作成要領」によるものとする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、S X F ¹対応のものとする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び L Z H とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

1 図面ファイル形式は、5.1(7) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

参考 CAD ソフト

S X F 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

(1) 特記仕様書への明記

電子納品対象工事であることを請負・発注者間で相互に認識する必要があることから、電子納品対象工事であることを特記仕様書に明記する。

表 3.1 特記仕様書記載例

電子納品

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【営繕工事編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

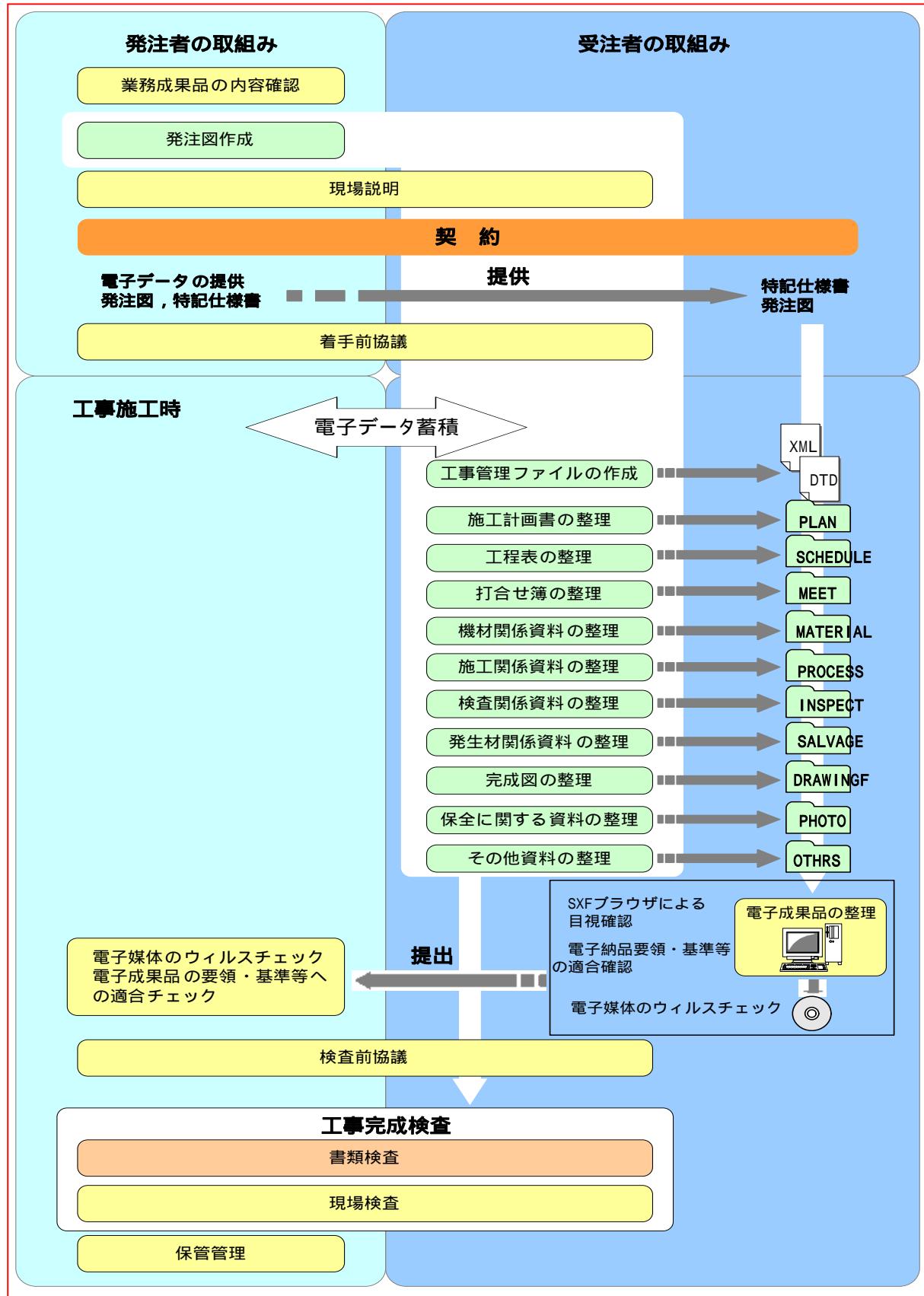
完成時の提出書類等

電子成果品(電子納品) 3部

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事発注から工事完成検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておく(事前協議)ことが必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、施工中等に疑義が生じた場合は、隨時、請負・発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(3) スキャナによる電子化

- (a) スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。
- (b) 電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(4) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画素数	容量 / 枚	備考
120 万画素	1280 × 960	300KB 程度
200 万画素	1600 × 1200	500KB 程度
300 万画素	2048 × 1536	800KB 程度

(5) 特殊ソフト利用の書類の電子化(品質管理・出来型管理資料)

品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word, Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこと。

(6) CAD 図面のファイル形式

CAD 図面のファイル形式の運用については、次のとおりとする。

CAD 図面ファイルの取り扱い

電子納品の図面ファイル形式は、SXF(SFC)形式を基本とする。

ただし、広島県の営繕・設備等部門では、これまで「建築図面 CAD 図面作成要領」及び「建築設備 CAD 図面作成要領」に基づき、ファイル形式を JW-CAD 形式に指定してきたことから、次の取扱いを認めることとし、段階的に SXF(SFC)形式へ移行を図ることとする。

		発注者から提供された図面ファイル形式	納品時の図面ファイル形式
営繕工事	ケース1	SXF (SFC)	SXF (SFC)
	ケース2	JW-CAD	JW-CAD
業務委託		無し	SXF (SFC), JW-CAD

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
工事管理ファイル	請負者	-	必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工程表	請負者	SCHEDULE	協議
打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
機材関係資料	請負者	MATERIAL	協議
施工関係資料	請負者	PROCESS	協議
検査関係資料	請負者	INSPECT	協議
発生材関係資料	請負者	SALVAGE	協議
完成図	請負者	DRAWINGF	必須
保全に関する資料	請負者	MAINT	協議
その他	施工図	請負者 OTHRS	条件付必須
	完成写真		必須
	その他		協議

補足説明

必須 : 電子納品を必須とする書類

条件付必須 : 施工図面のうち主要なものを電子納品対象とし、具体的には請負・発注者協議で定める。

協議 : 電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして、請負者からの申出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るために、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこと。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

図面ファイル以外のファイル

図面ファイル以外のファイル形式については、PDF 形式とする。

例: PLAN(施工計画書フォルダ)内の施工計画書ファイル

SCHEDULE(工程表フォルダ)内の工程表ファイル

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式については、5.1(7) CAD 図面のファイル形式によるものとする。

オリジナルファイル

各オリジナルファイルフォルダに格納するオリジナルファイルは、基本的に Word ファイル・

Excel ファイル、画像ファイル(JPEG)とする。

(1) PDF ファイル

(a) PDF ファイルの作成

- ・用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- ・印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。
- ・フォントの埋め込みは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

(b) PDF ファイルの編集

- ・しおり(ブックマーク)を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料(概ね 30 頁以下)については、しおりを省略してよい。
- ・サムネイル(ページを縮小して一覧表示したもの)を作成する。
- ・セキュリティーの設定は行わない。
- ・初期表示の設定は、次のように表示されるようにする。

最初に表紙のページが表示される。

100% の倍率で表示される。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「PLAN」、「SCHEDULE」、「MEET」、「MATERIAL」、「PROCESS」、「INSPECT」、「SALVAGE」、「DRAWINGF」、「MAINT」、「OTHRs」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また、各フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

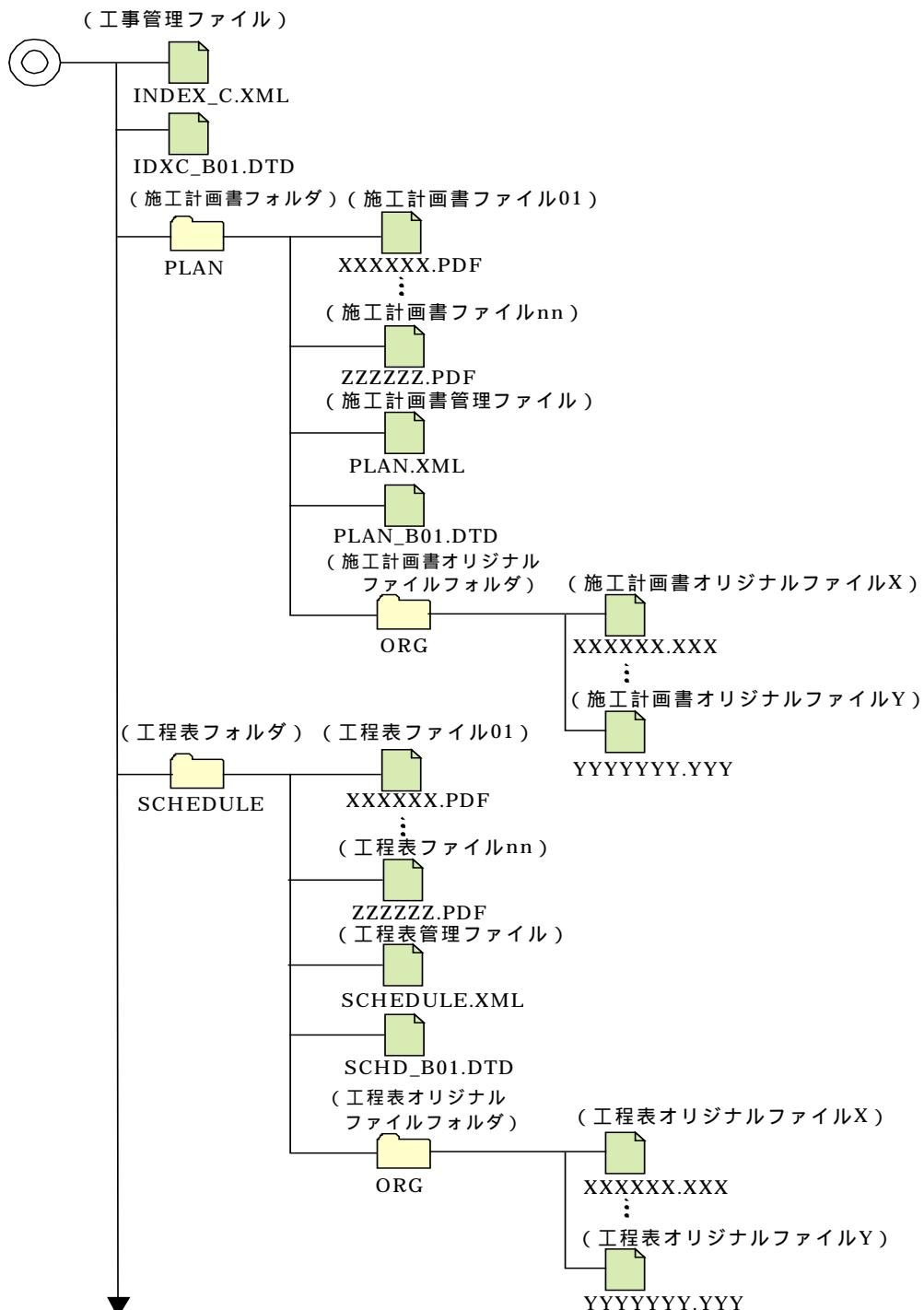


図 5.1 フォルダ構成(1/5)

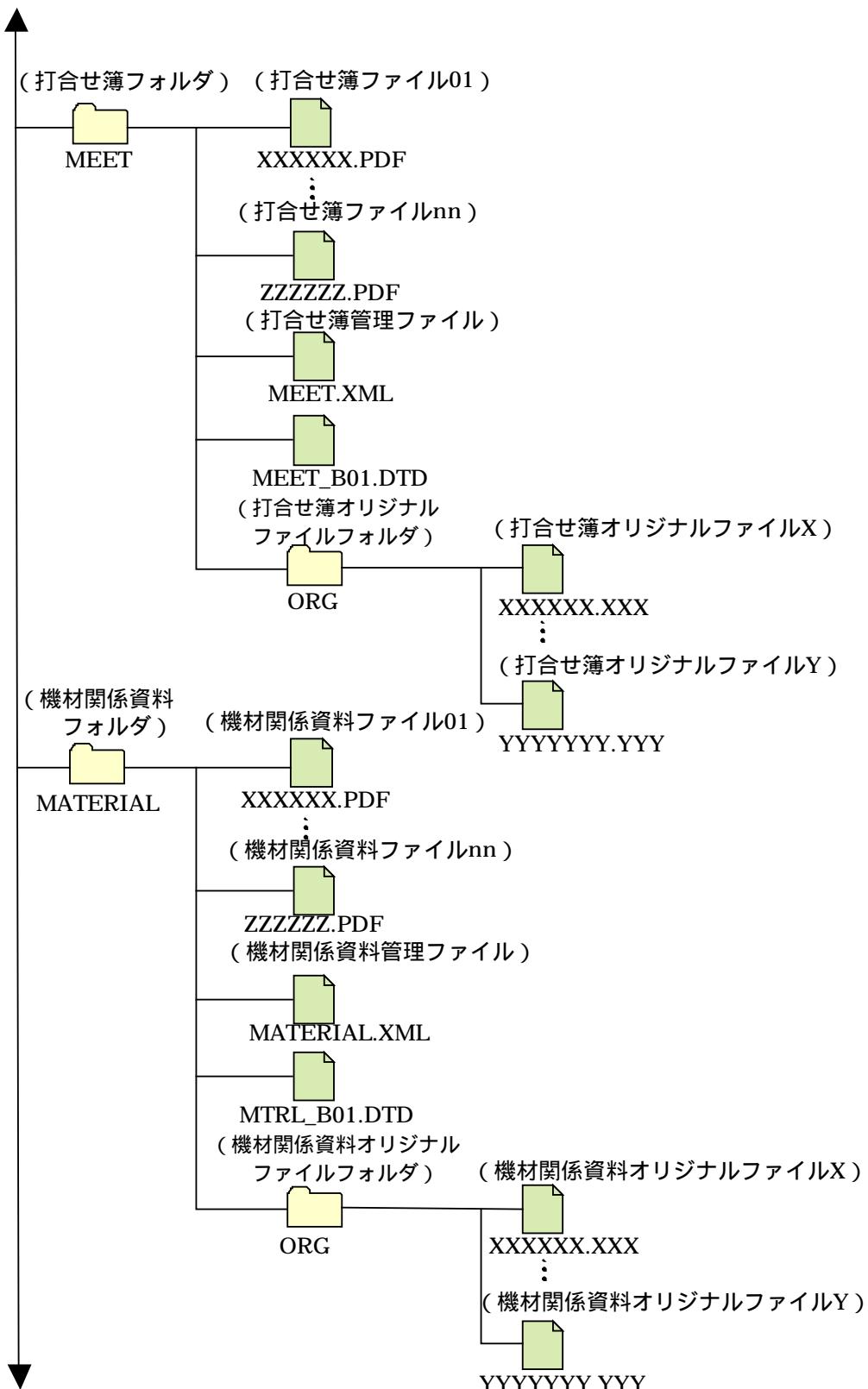


図 5.1 フォルダ構成(2/5)

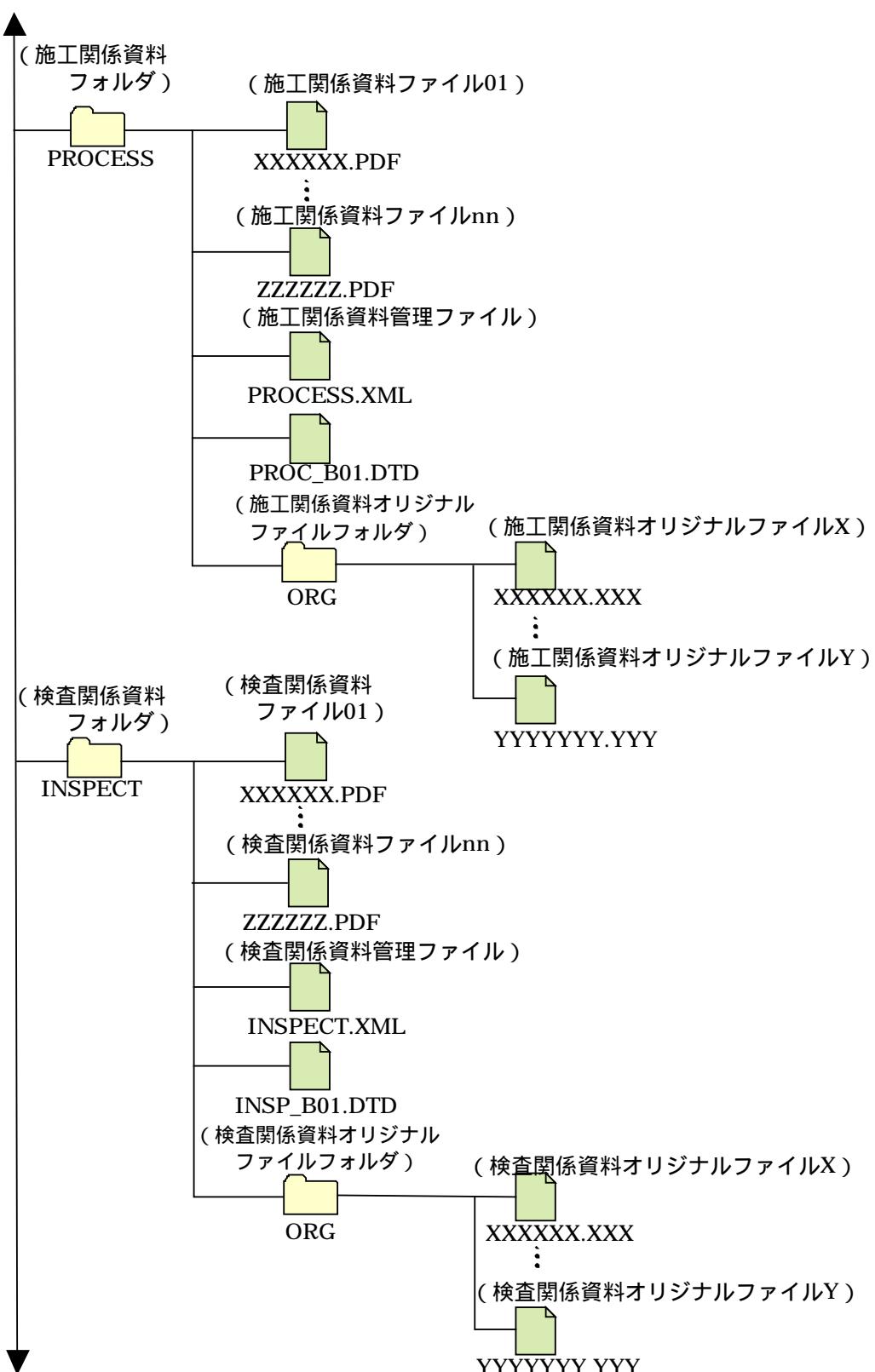


図 5.1 フォルダ構成(3/5)

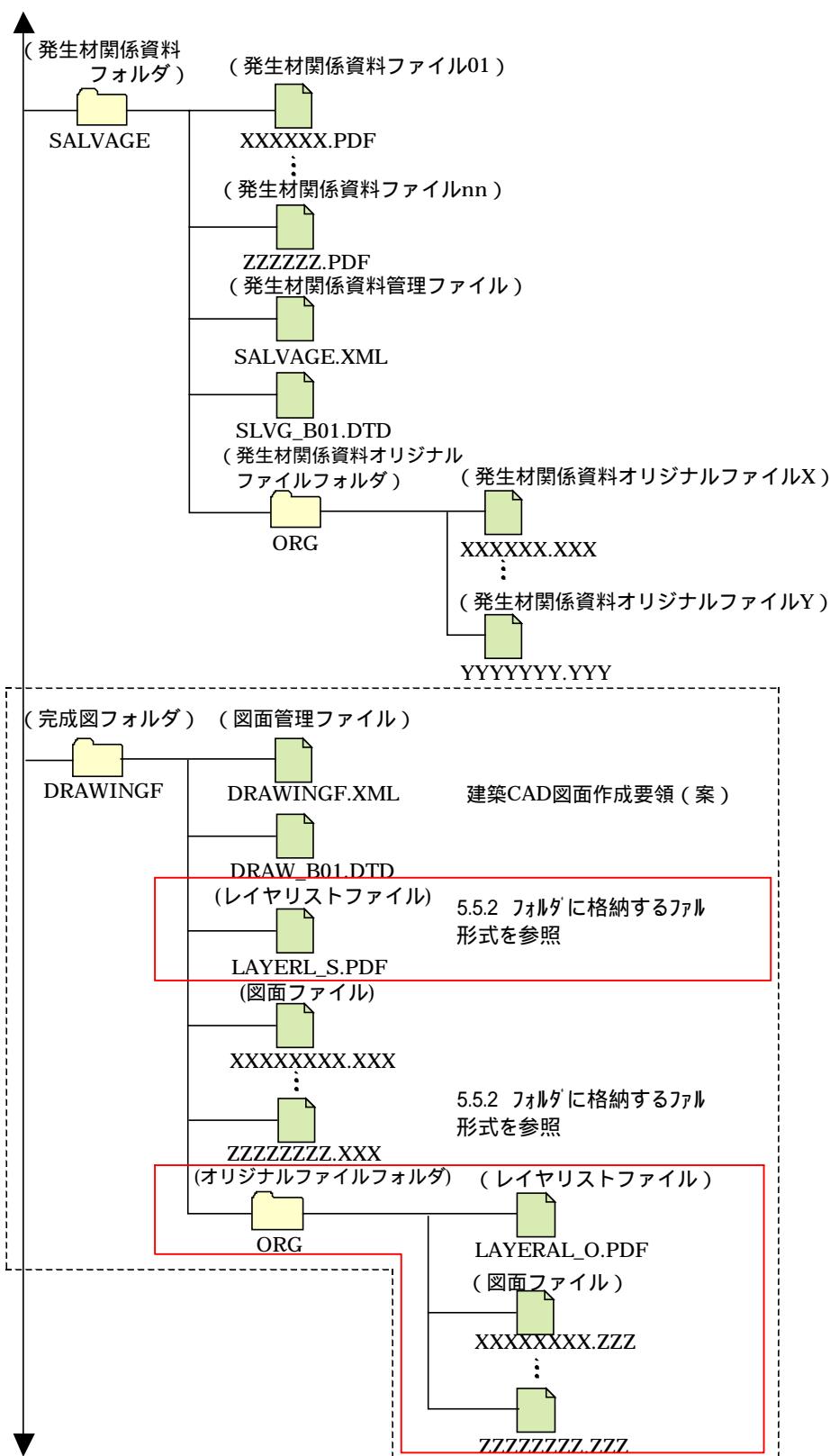


図 5.1 フォルダ構成(4/5)

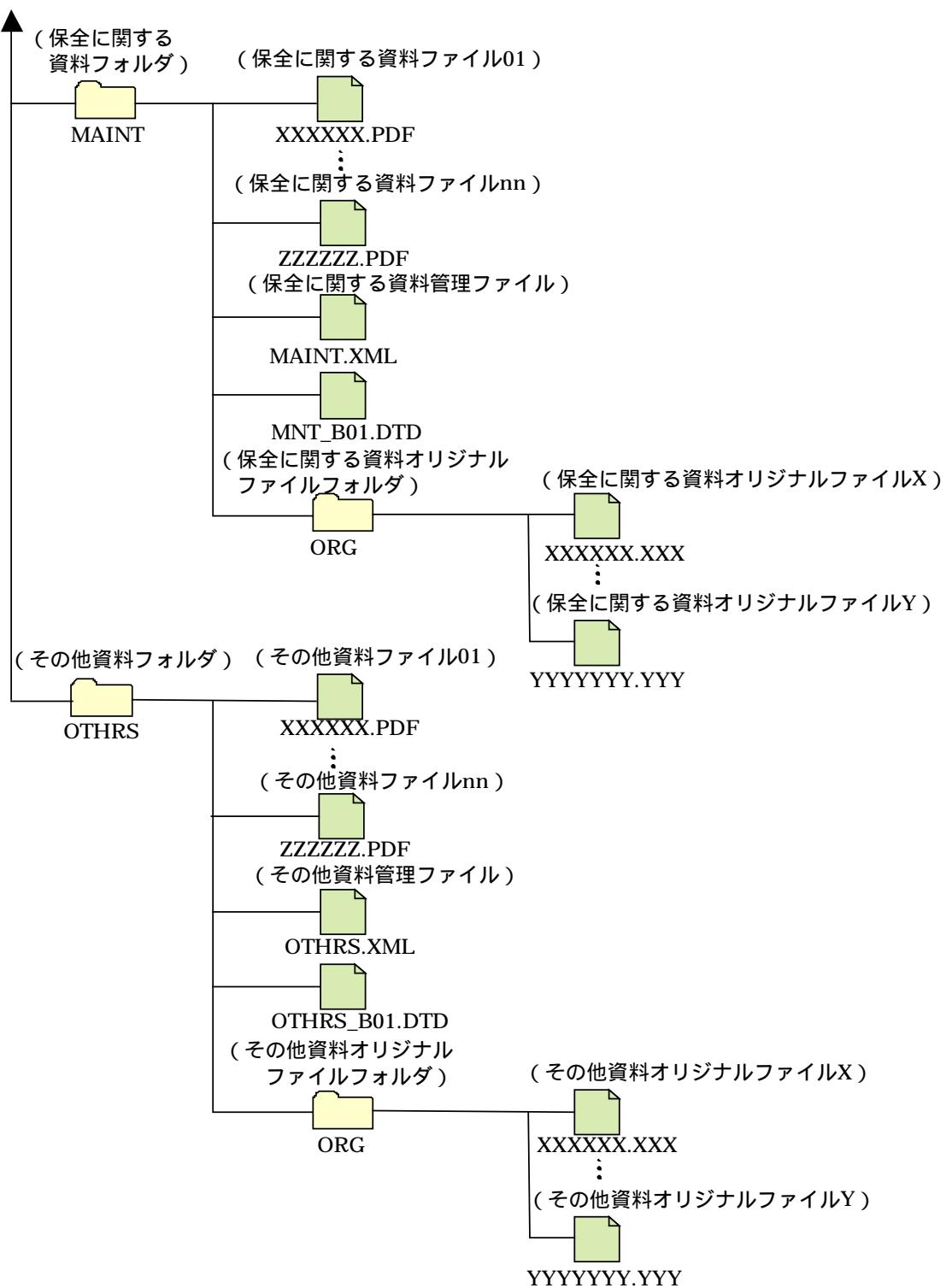


図 5.1 フォルダ構成(5/5)

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

項目	フォルダ名	サブフォルダ名	ファイル名称	ファイル形式
施工計画書	PLAN		工事管理ファイル	XML
			施工計画書管理ファイル	XML
		ORG	施工計画書ファイル	PDF
工程表	SCHEDULE		施工計画書オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			工程表管理ファイル	XML
		ORG	工程表ファイル	PDF
打合せ簿	MEET		工程表オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			打合せ簿管理ファイル	XML
		ORG	打合せ簿ファイル	PDF
機材関係資料	MATERIAL		打合せ簿オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			機材関係資料管理ファイル	XML
		ORG	機材関係資料ファイル	PDF
施工関係資料	PROCESS		機材関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			施工関係資料管理ファイル	XML
		ORG	施工関係資料ファイル	PDF
検査関係資料	INSPECT		施工関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			検査関係資料管理ファイル	XML
		ORG	検査関係資料ファイル	PDF
発生材関係資料	SALVAGE		検査関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			発生材関係資料管理ファイル	XML
		ORG	発生材関係資料ファイル	PDF
完成図	DRAWINGF		発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
			図面管理ファイル	XML
		ORG	レイヤリストファイル 1	PDF
保全に関する資料	MAINT		レイヤリストファイル 2	SXF(SFC) 2
			図面ファイル	PDF
		ORG	オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル 3
その他資料	OTHRS		オリジナルファイル	XML
			保全に関する資料ファイル	PDF
		ORG	保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル
その他資料	OTHRS		その他資料管理ファイル	XML
			その他資料ファイル	PDF
		ORG	その他資料オリジナルファイルフォルダ	オリジナルファイル

1 レイヤリストファイルは、国の「建築 CAD 図面作成要領(案)」に参考例として示されている。

本県の運用としては、県の 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領に基づくこととする。

2 図面ファイル形式は、5.1(7) CAD 図面のファイル形式 参照のこと。

3 完成図フォルダ(DRAWINGF)に、JW-CAD を格納する場合は、オリジナルファイルの作成は不要である。

5.5.3 管理ファイルの種類

各フォルダへ格納する管理ファイル名称は次のとおりとする。

表 5.3 電子納品の各フォルダ及び格納する管理ファイル形式等

管理ファイルの種類	格納するフォルダ	管理ファイル名
工事管理ファイル		INDEX_C.XML
		IDXC_B01.DTD
施工計画書管理ファイル	施工計画書フォルダ (PLAN)	PLAN.XML
		PLAN_B01.DTD
工程表管理ファイル	工程表フォルダ (SCHEDULE)	SCHEDULE.XML
		SCHD_B01.DTD
打合せ簿管理ファイル	打合せ簿フォルダ (MEET)	MEET.XML
		MEET_B01.DTD
機材関係資料管理ファイル	機材関係資料フォルダ (MATERIAL)	MATERIAL.XML
		MTRL_B01.DTD
施工関係資料管理ファイル	施工関係資料フォルダ (PROCESS)	PROCESS.XML
		PROC_B01.DTD
検査関係資料管理ファイル	検査関係資料フォルダ (INSPECT)	INSPECT.XML
		INSP_B01.DTD
発生材関係資料管理ファイル	発生材関係資料フォルダ (SALVAGE)	SALVAGE.XML
		SLVG_B01.DTD
完成図管理ファイル	完成図フォルダ (DRAWINGF)	DRAWINGF.XML
		DRAW_B01.DTD
保全に関する資料管理ファイル	保全に関する資料フォルダ (MAINT)	MAINT.XML
		MNT_B01.DTD
その他資料管理ファイル	その他資料フォルダ (OTHRS)	OTHRS.XML
		OTHR_B01.DTD

5.6 ファイルの命名規則

資料ファイル及びオリジナルファイルのファイル名は、次の各項目に従うものとする。

ファイル名の文字数

ファイル名の文字数は、半角 8 文字以下とする。
(拡張子と “.” を含めて 12 文字以下)

ファイル名に使用する文字

ファイル名に使用する文字は、次に示す半角文字とする。

- ・半角大文字のアルファベット (A~Z)
- ・半角数字 (0~9)
- ・”_” (アンダーライン)

ファイル名

図面のファイル名については、5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 によることとする。

図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名により名称を設定するものとする。

5.6.1 ファイル名等について

(1) ファイル名の文字数、ファイル名に使用する文字

5.7.1 使用媒体仕様等 で記載する CD-R のフォーマット形式 (ISO9660LEVEL1) へ準拠した規定とする。

(2) ファイル名の取扱い

CAD図面のファイル名は、県で策定している 5.6.2 建築 CAD 図面作成要領 及び 5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領 に基づくこととし、現行の基準どおりとする。

図面以外のファイル名については、原則として、5.6.4 図面以外のファイル名 により名称を設定するものとする。

5.6.2 建築 CAD 図面作成要領

(1) 文字数等

・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。

・使用できない文字

「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「、」「。」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」

(2) 命名規則

〔A〕(建築を示す) + [図面種別(3桁)] + [同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)]

(ファイル一覧でみたときファイル名の並び順を設計図書の図面番号と同じにするため)

例) A01001	・・・	表紙	A07002	・・・	2階平面図
A02001	・・・	図面目録	A09001	・・・	A-A'断面図
A05001	・・・	案内図	A09002	・・・	B-B'断面図
A07001	・・・	1階平面図			

(3) 種別記号(建築)

図面名称		ファイル名
意匠	表紙	A010_ _
	図面目録	A020_ _
	仕様書	A030_ _
	仕上表	A040_ _
	案内図	A050_ _
	配置図	A060_ _
	平面図	A070_ _
	立面図	A080_ _
	断面図	A090_ _
	矩計図	A100_ _
	詳細図	A110_ _
	展開図	A120_ _
構造	天井伏図	A130_ _
	建具表	A140_ _
	基礎・基礎梁伏図	A150_ _
	各階伏図	A160_ _
	軸組図	A170_ _
	断面リスト	A180_ _
	基礎配筋図	A190_ _
工作物等	各部配筋図	A200_ _
	鉄骨詳細図	A210_ _
工作物等	工作物等詳細図	A220_ _

_ _には、2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

例) A06101 ・・・ 敷地求積図 , A06201 ・・・ 建物求積図

5.6.3 建築設備 CAD 図面作成要領

(1) 文字数等

・ファイル名はデータの互換性を考慮し、また今後のデータ共有化を考え半角6文字とする。

・使用できない文字

「半角カタカナ」「スペース」「”」「+」「*」「<」「>」「、」「。」「/」「?」「;」「:」「=」「¥」「|」

(2) 命名規則

【E(電気設備)又はM(機械設備)】 + 【図面種別(3桁)】

+ 【同一の図面種別が複数枚ある場合のナンバー(2桁)】

(3) 種別記号(電気設備)

	図面名称	ファイル名
共通事項	表紙、目録	E010_ _
	仕様書	E020_ _
	凡例	E030_ _
	敷地案内図	E040_ _
	配置図	E050_ _
構内設備	構内配電線路	E100_ _
	構内通信線路	E110_ _
受変電等	受変電設備図	E200_ _
	自家発電設備図	E210_ _
	蓄電池設備図	E220_ _
強電設備	強電設備幹線図・系統図	E300_ _
	分電盤回路図・姿図	E310_ _
	照明器具姿図	E320_ _
	電灯設備平面図	E330_ _
	コンセント設備平面図	E340_ _
動力設備	動力設備幹線図・系統図	E400_ _
	動力盤回路図・姿図	E410_ _
	動力設備平面図	E420_ _
弱電設備	弱電設備幹線図・系統図	E500_ _
	弱電設備機器姿図	E510_ _
	電話・テレビ共聴・インターホン設備平面図	E520_ _
	電気時計・放送設備配置図	E530_ _
自火報	自動火災報知設備幹線図・系統図	E600_ _
	自動火災報知設備平面図	E610_ _
その他弱電設備	出退表示設備幹線図・系統図	E700_ _
	出退表示設備平面図	E710_ _
	建物情報通信網(LAN)設備幹線図・系統図	E720_ _
	構内情報通信網(LAN)設備平面図	E730_ _
監視設備	中央監視設備	E800_ _
避雷設備	避雷針設備	E900_ _

(3) 種別記号(機械設備)

図面名称		ファイル名
共 通	表紙, 目録	M010_ _
	仕様書	M020_ _
	工事区分表	M030_ _
	敷地案内図	M040_ _
	配置図	M050_ _
	矩形図	M060_ _
衛 生	系統図	M100_ _
	器具リスト	M110_ _
	平面図	M120_ _
	詳細図	M130_ _
	査リスト	M140_ _
	勾配図	M150_ _
	自動制御図	M160_ _
	機器, 工作物等図	M170_ _
空 調	系統図	M200_ _
	器具リスト	M210_ _
	平面図	M220_ _
	詳細図	M230_ _
	自動制御図	M240_ _
	機器, 工作物等図	M250_ _
淨 化 槽		M300_ _

_には、2桁の番号が入る。

記載のない図面名称について、途中に差し込む場合はその前のファイル名の3桁目に番号を入力する。

例) E01001 … 表紙

E03001 … 凡例

E33001 … 1階電灯設備平面図

E33002 … 2階電灯設備平面図

M01001 … 表紙

M11001 … 器具リスト(衛生)

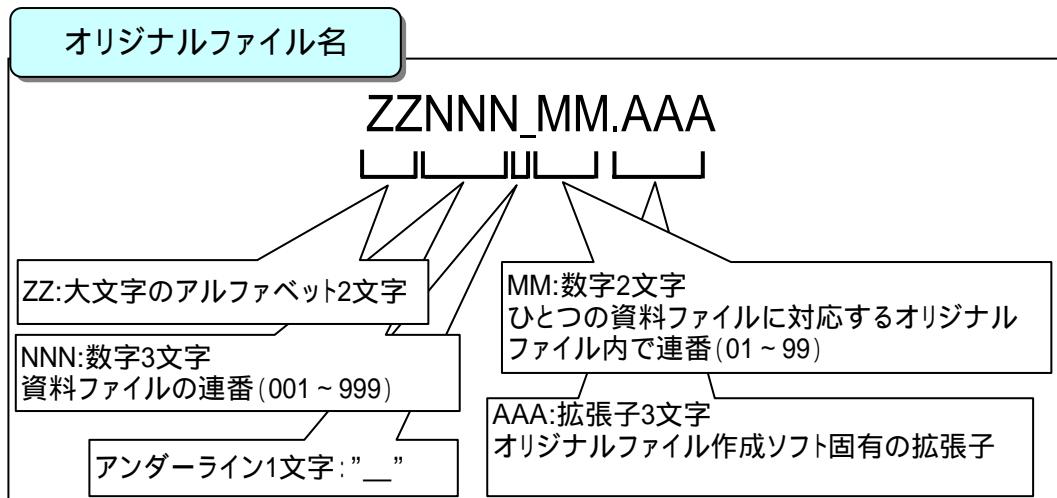
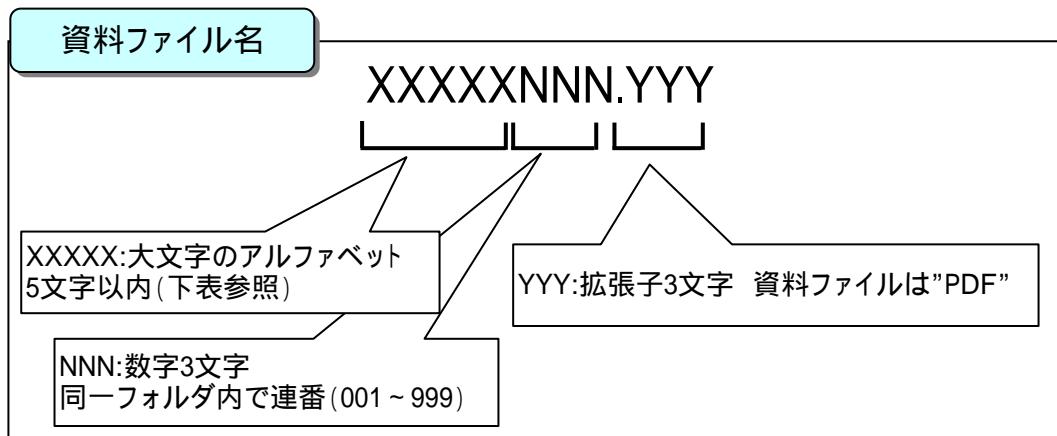
M12001 … 1階平面図(衛生)

M12002 … 2階平面図(衛生)

5.6.4 図面以外のファイル名

図面以外のファイル名については、受発注者協議によるものとする。

なお、参考として、図 5.2 ファイル名の参考例 を示す。



ファイル名のXXXXX部及びZZ部に使用する名称

種別	フォルダ名称	XXXXX	ZZ
営繕工事	PLAN	PLAN	PL
	SCHEDULE	SCHED	SC
	MEET	MEET	ME
	MATERIAL	MATER	MR
	PROCESS	PROCE	PR
	INSPECT	INSPE	IN
	SALVAGE	SALVA	SA
	DRAWINGF	DRAWF	DF
	MAINT	MAINT	MA
	OTHRS	OTHRS	OT
建築設計業務等	REPORT	REPOR	RE
	DRAWING	DRAW	DR

図 5.2 ファイル名の参考例

5.7 電子媒体

5.7.1 使用媒体仕様等

成績品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-R の使用を原則とする。
- ・ CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル 1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1 枚の CD-R に格納する。
- ・ 複数枚の CD-R に格納する場合には、国土交通省の要領に従う。
- ・ 納品は、CD-R 3 部とする。

- ・ 納品媒体は、再度書き込みが不可能な CD-R を原則とする。
- ・ 本県においては、媒体（CD-R）で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-R のフォーマット形式は、ISO9660 LEVEL1 とするため、写真ファイル名にロングネーム（ファイル名が 8 文字より多い文字数）の使用はしない。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じて LEVEL 1 ~ 3 が規定されている。最も多くの OS に対応可能な LEVEL1 は、ファイル名 8 文字 + 拡張子 3 文字、使用できる文字は半角の英数文字（A~Z, 0~9）及び、_（アンダーバー）のみと、制限が厳しくなっている。

5.7.2 電子媒体の表記例

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(LEVEL1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名

(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、工事名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載
- ・ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載
- ・ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	10136-419-0620 (1/2) 広島県立総合体育馆新築工事
------	------------------------------------

(長い場合)	10136-419-0620 (1/2)	建築上屋
--------	----------------------	------

図 5.3 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.7.3 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日			
電 子 媒 体 納 品 書			
広島県知事 様			
請負者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 丁目	印	株式会社
次のとおり電子媒体を納品します。			
施行番号	10136-419-0620		
工事名	広島県立体育館新築工事		
工事場所	市 区 丁目		
工期	着 手 平成 年 月 日	完 成 平成 年 月 日	
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部		
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日		
備考	1/2 : PLAN, SCHEDULE, MEET, MATERIAL, PROCESS を格納 2/2 : INSPECT, SALVAGE, DRAWINGF, MAINT, OTHRS を格納		
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。			

図 5.4 電子媒体納品書の記載(例)

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウイルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、管理状況について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってよいものとする。

(2) 工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図等を検査する際には、請負者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

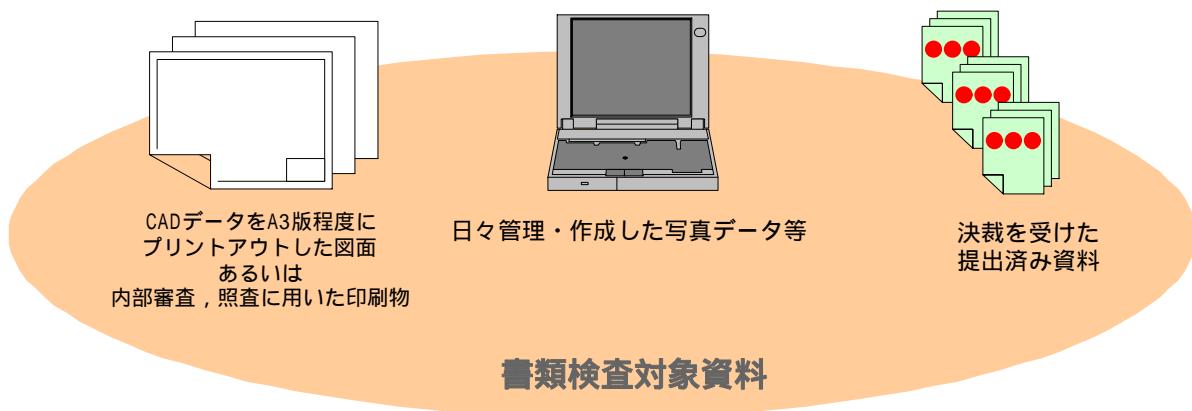


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

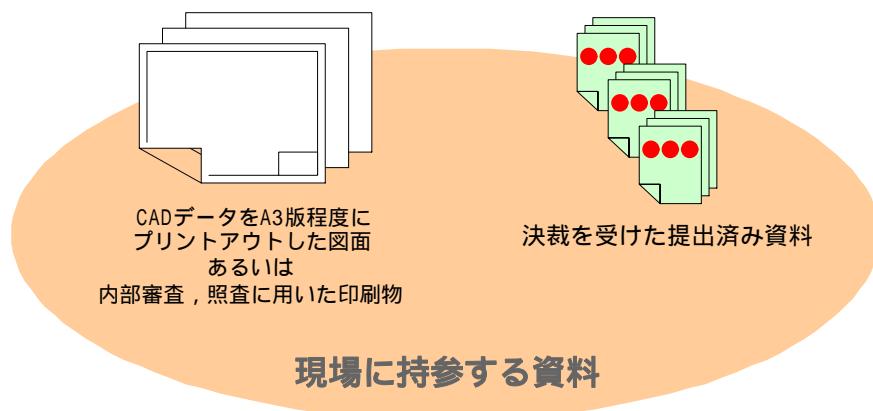


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される工事管理項目、工事関係資料管理項目を記入する。

工事管理項目及び工事関係資料管理項目を表 7.1, 7.2 に示す。

また、各表中における「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

【記入者】 : CORINS から出力される CFD ファイル

(CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット) から取り込むことが可能な項目

: 電子媒体作成者が記入する項目

: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入項目 (必ず記入する)

: 条件付き必須記入項目 (データが分かる場合は必ず記入する)

: 任意記入項目 (原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、つぎのとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

記入有 = 広島県が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては以下のルールに従う。

1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111·····

082 - 228 - 2111 ····· ×

2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町 10 番 52 号·····

広島市中区基町 10-52 ····· ×

広島市中区基町 10 番 52 号 ····· ×

3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2008-03-26 ·····

20080326 ····· ×

7.1 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_C.XML)に記入する工事管理項目は、次のとおりとする。

表 7.1 工事管理項目(1/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	1	同上	8		
	メディア種別	「CD-R」と記入する。	CD-R	半角英字 大文字	127		
	メディアフォーマット	「ISO9660LEVEL1」と記入する。	ISO9660LEVEL1	同上	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納フォルダ名称(PLANで固定)を記入する。	PLAN	同上	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。	PLAN/ORG	同上	127		
	工程表フォルダ名	工程表を格納するフォルダ名称(SCHEDULEで固定)を記入する。	SCHEDULE	同上	127		
	工程表オリジナルファイルフォルダ名	工程表のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(SCHEDULE/ORGで固定)を記入する。	SCHEDULE/ORG	同上	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するフォルダ名称(MEET固定)を記入する。	MEET	同上	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。	MEET/ORG	同上	127		
	機材関係資料フォルダ名	機材関係資料を格納するフォルダ名称(MATERIALで固定)を記入する。	MATERIAL	同上	127		
	機材関係資料オリジナルファイルフォルダ名	機材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MATERIAL/ORGで固定)を記入する。	MATERIAL/ORG	同上	127		
	施工関係資料フォルダ名	施工関係資料を格納するフォルダ名称(PROCESSで固定)を記入する。	PROCESS	同上	127		
	施工関係資料オリジナルファイルフォルダ名	施工関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PROCESS/ORGで固定)を記入する。	PROCESS/ORG	同上	127		
	発注材関係資料フォルダ名	発注材関係資料を格納するフォルダ名称(SALVAGEで固定)を記入する。	SALVAGE	同上	127		
	発生材関係資料オリジナルファイルフォルダ名	発生材関係資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(SALVAGE/ORGで固定)を記入する。	SALVAGE/ORG	同上	127		
	完成図フォルダ名	完成図を格納するフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。	DRAWINGF	同上	127		
	完成図オリジナルファイルフォルダ名	完成図のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(DRAWINGF/ORGで固定)を記入する。	DRAWINGF/ORG	同上	127		
	保全に関する資料フォルダ名	保全に関する資料を格納するフォルダ名称(MAINTで固定)を記入する。	MAINT	同上	127		
	保全に関する資料オリジナルファイルフォルダ名	保全に関する資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MAINT/ORGで固定)を記入する。	MAINT/ORG	同上	127		
	その他資料フォルダ名	その他資料を格納するフォルダ名称(OTHRSで固定)を記入する。	OTHRS	同上	127		
	その他資料オリジナルファイルフォルダ名	その他資料のオリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHRS/ORGで固定)を記入する。	OTHRS/ORG	同上	127		

表 7.1 工事管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		工事管理簡易作成 ソフト	全角数字 半角英数字	64		
	バージョン情報	工事管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。		Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカ名	ソフトウェアメーカ名を記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカ連絡先	メーカ連絡先(住所、電話番号等)を記入する。		広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄		同上	64		
工事情報	工事番号	発注者が定める工事番号を記入する。	契約図書の施工番号 (14文字)を記入	10136-419-0620	半角数字	127		
	工事名称	契約図書の工事名称を記入する。	契約図書の工事名を記入	排水機場上屋 新築工事	全角文字 半角英数字	127		
	工事分野	CORINSの「工事の分野」に従って記入する。 3			同上	16		
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。 3		建築一式工事	同上	16		
	工種	CORINSの「工種、工法・型式」の工種を記入する。 (複数記入可)		建築一式工事	同上	64		
	工法型式	CORINSの「工種、工法・型式」の工法・型式を記入する。 (複数記入可) 3		建築一式工	同上	64		
	契約金額	契約金額を円単位の数値で記入する。		12344850	半角数字	16		
	工期開始日	工期の開始年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。		2007-10-01	半角英数字	10		
	工期終了日	工期の終了年月日をyyyy-mm-dd形式で記入する。		2008-03-20	同上	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入	新営 , RC-4 , 200m2	全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従って記入する。 3	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401001	半角数字	8		
	発注者名称	発注者の名称を記入する。		広島県 部 局 総室 × × 室	全角文字 半角英数字	127		
請負者情報	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。	建設業許可番号を記入	34012345	半角数字	127		
	請負者名称	請負者の正式名称を記入する。 (CORINSの「請負会社名」に対応) 3		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
施設情報	施設識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	半角数字	127		
	施設名称	施設名称を記入する。		施設	全角文字 半角英数字	127		
	施設基準点緯度	施設基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。		38.123456	半角数字	9		
	施設基準点経度	施設基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。		135.123456	同上	10		
	建築物情報 1	建築物識別コード	発注者より提示されたコードを記入する。	原則として「0」を記入	0	同上	127	
		建築物名称	建築物の名称を記入する。	本館	全角文字 半角英数字	127		
		所在地	建築物の所在地を記入する。	広島県 市 町 × × 番地	同上	127		
		建築物基準点緯度	建築物基準点の緯度を小数点以下6桁で記入する。	38.123456	半角数字	9		
		建築物基準点経度	建築物基準点の経度を小数点以下6桁で記入する。	135.123456	同上	10		
予備	予備項目があれば記入する。 (複数記入可)				全角文字 半角英数字	127		

1 工事対象施設の数だけ繰り返し記入する。

2 1の工事対象施設毎に、工事対象建築物の数だけ繰り返し記入する。

3 JASICのホームページより、ダウンロードしてください。

7.2 工事関係資料管理項目

工事関係資料管理項目は、次に示すとおりとする。

表 7.2 工事関係資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	工事関係資料管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。		工事管理簡易作成 ソフト	全角数字 半角英数字	64		
	バージョン情報	工事関係資料管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。		Ver1.5	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカ名を記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。		広島県 市 町 300-254 TEL:082 000 1111	同上	127		
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	原則として空欄		同上	64		
資料情報 1	資料大分類	表 - の資料大分類を記入する。	参考資料4電子化対象書類一覧表により記入する	保全に関する資料	同上	64		
	資料小分類	表 - を参考に資料小分類を記入する。	参考資料4電子化対象書類一覧表により記入する	鍵・備品・工具リスト	同上	64		
	資料名称	資料の標題を記入する。		鍵リスト	同上	64		
	資料作成日	資料作成日をyyyy-mm-dd形式で記入する。		2006-08-01	同上	10		
	資料副題	資料名が漠然としている場合は内容がわかる程度の副題を記入する。		本館、車庫棟	全角文字 半角英数字	64		
	資料ファイル名	資料ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		MAINT001.PDF	半角英数 大文字	12		
	資料ファイル作成 ソフトウェア名	資料ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Ver4.0	全角文字 半角英数字	64		
	資料オリジナルファイル情報 2	資料オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		MA001_01.XLS	半角英数 大文字	12		
	資料オリジナルファイル作成ソフトウェア名	資料オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft_Exce_2000	半角英数字 大文字	64		
	その他 受注者説明文	受注者側で資料に付けるコメントを記入する。			半角数字	9		
	予備	その他予備項目を記入する。 (複数回答可)			同上	10		

1 資料ファイル情報以下は、資料の数だけ繰り返し登録する。

2 資料オリジナルファイル情報は、一つの資料に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

営繕工事

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

工事名		
施行番号		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

ワープロソフト	(Ver.)
表計算ソフト	(Ver.)
SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
JW_CADファイル	(Ver.)
その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

営繕工事

3 電子納品対象項目

1/2

		成果品	電子 納品	紙	備考
工事管理ファイル					必須
施工計画書フォルダ(PLAN)					
施工計画書管理ファイル	XML				
総合施工計画書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工種別施工計画書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工程表フォルダ(SCHEDULE)					
工程表管理ファイル	XML				
実施工程表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
週間工程表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
月間工程表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工種別工程表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
打合せ簿フォルダ(MEET)					
打合せ簿管理ファイル	XML				
工事打合せ記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
機材関係資料フォルダ(MATERIAL)					
機材関係資料管理ファイル	XML				
試験計画書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
試験成績表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
監督職員検査記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
品質証明書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
調合表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
規格証明書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
機材搬入報告書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
施工関係資料フォルダ(PROCESS)					
施工関係資料管理ファイル	XML				
試験計画書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
試験成績表	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
監督職員検査記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
施工報告書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工事実施状況報告書(月報)	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
立会請求書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工法提案資料	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
検査関係資料フォルダ(INSPPECT)					
検査関係資料管理ファイル	XML				
社内最終検査記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
工事完成記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
完成通知書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
指定部分完成通知書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
既済部分確認請求書	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
技術検査記録	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				
その他()	PDF【 WORD , EXCEL , その他()】				

【 】はオリジナルファイルフォルダ(ORG)に格納するファイルの形式を示す。

		成果品	電子納品	紙	備考
発生材関係資料フォルダ(SALVAGE)					
発生材関係資料管理ファイル	XML				
発生材調査	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
処理報告書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
その他()	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
完成図フォルダ(DRAWINGF)					
完成図管理ファイル	XML				必須
完成図面	SXF(SFC), JW-CAD 【 使用ソフト名()】				必須
レイヤリスト	PDF【PDF】				必須
保全に関する資料フォルダ(MAINT)					
保全に関する資料管理ファイル	XML				
主要材料機器一覧表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
保全に関する説明書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
官公署届出書類一覧表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
保全の手引き	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
機器取扱説明書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
機器性能試験成績表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
官公署届出書類	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
予備品等引渡し通知書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
鍵・備品・工具リスト	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
その他()	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
その他フォルダ(0THRS)					
その他管理ファイル	XML				必須
(契約関係書類)					
工事請負契約書の写し	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
契約時の工程表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
現場代理人等通知書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
疑義等の協議記録	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
(施工図)					
施工図	PDF, SXF(SFC), JW_CAD 【 使用ソフト名()】				必須
(完成写真)					
完成写真	PDF, JPEG, その他() 【 WORD, EXCEL, JPEG, その他()】				必須
(工事実績情報)					
工事実績情報登録内容	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
工事実績情報受領書の写し	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
(工事の一時中止)					
状況調査及び理由書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
(工期変更)					
変更工程表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
契約時の工程表	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
変更理由書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
工期算出根拠	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
(文化財その他埋蔵物)					
状況調査報告書	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				
(その他)					
その他の資料	PDF【WORD, EXCEL, その他()】				

【 】はオリジナルファイルフォルダ(ORG)に格納するファイルの形式を示す。

他の書類は、紙媒体での納品とする。

着手前(変更)協議チェックシート

営繕工事

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	広島県電子納品実施要領[営繕工事編]	平成19年	広島県
	営繕工事電子納品要領(案)	平成14年11月	国土交通省
	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン(案)	平成14年11月	国土交通省
図面	建築CAD図面作成要領(案) 1	平成14年7月	国土交通省
	建築CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
	建築設備CAD図面作成要領	平成13年4月	広島県
写真	営繕工事写真作成要領	-	広島県
	工事写真の撮り方(改訂第二版) - 建築編 -	-	国土交通省
	工事写真の撮り方(改訂第二版) - 建築設備編 -	-	国土交通省

1 建築CAD面作成要領・建築設備CAD図面作成要領と建築CAD図面作成要領(案)が重複する部分については、建築CAD面作成要領・建築設備CAD図面作成要領を優先する。

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

検査前協議チェックシート

営繕工事

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

工事名	
施行番号	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他()
	請負者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他()

2 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)			
表計算ファイル(表計算ソフト)			
図面ファイル(CADソフト)			
写真ファイル			
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)			
その他			
その他			
その他			

検査前協議チェックシート

営繕工事

3 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
施工計画書			発生材関係資料		
総合施工計画書			発生材調査		
工種別施工計画書			処理報告書		
その他()			その他()		
工程表			完成図		
実施工程表			完成図面		
週間工程表			レイヤリスト		
月間工程表			保全に関する資料		
工種別工程表			主要材料機器一覧表		
その他()			保全に関する説明書		
打合せ簿			官公署届出書類一覧表		
工事打合せ記録			保全の手引き		
その他()			機器取扱説明書		
機材関係資料			機器性能試験成績表		
試験計画書			官公署届出書類		
試験成績表			予備品等引渡し通知書		
監督職員検査記録			鍵・備品・工具リスト		
品質証明書			その他()		
調合表			契約関係書類		
規格証明書			工事請負契約書の写し		
機材搬入報告書			契約時の工程表		
その他()			現場代理人等通知書		
施工関係資料			疑義等の協議記録		
試験計画書			施工図		
試験成績表			施工図		
監督職員検査記録			完成写真		
施工報告書			完成写真		
工事実施状況報告書(月報)			工事実績情報		
立会請求書			工事実績情報登録内容		
工法提案資料			工事実績情報受領書の写し		
その他()			工事の一時中止		
検査関係資料			状況調査及び理由書		
社内最終検査記録			工期変更		
工事完成記録			変更工程表		
完成通知書			契約時の工程表		
指定部分完成通知書			変更理由書		
既済部分確認請求書			工期算出根拠		
技術検査記録			文化財その他埋蔵物		
その他()			状況調査報告書		
			その他		
			その他の資料		

4 その他

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 4 電子化対象書類一覧表

分類	成果品種別(資料大分類)	各ファイル格納例(資料小分類)
施工計画書 (PLAN)	施工計画書	総合施工計画書, 工種別施工計画書
工定表 (SCHEDULE)	工定表	実施工程表, 週間工程表, 月間工程表, 工種別工程表
打合せ簿 (MEET)	打合せ簿	工事打合せ記録
機材関係資料 (MATERIAL)	機材関係資料	試験計画書, 試験成績表, 監督職員検査記録, 品質証明書, 調合表, 規格証明書, 機材搬入報告書
施工関係資料 (PROSESS)	施工関係資料	試験計画書, 試験成績表, 監督職員検査記録, 施工報告書, 工事実施状況報告書(月報) 立会請求書, 工法提案資料
検査関係資料 (INSPECT)	検査関係資料	社内最終検査記録, 工事完成記録, 完成通知書 指定部分完成通知書 既済部分確認請求書 技術検査記録
発生材関係資料 (SALVAGE)	発生材関係資料	発生材調書 処理報告書
完成図 (DRAWINGF)	完成図	完成図
保全に関する資料 (MAINT)	保全に関する資料	主要材料機器一覧表 保全に関する説明書 官公署届出書類一覧表 保全の手引き, 機器取扱説明書, 機器性能試験成績表, 官公署届出書類, 予備品等引渡し通知書, 鍵・備品・工具リスト
その他 (OTHRs)	契約関係書類	工事請負契約書の写し, 契約時の工程表, 現場代理人等通知書, 疑義等の協議記録
	施工図	施工図
	完成写真	完成写真
	工事実績情報	工事実績情報登録内容 工事実績情報受領書の写し
	工事の一時中止	状況調査及び理由書
	工期変更	変更工程表, 変更理由書, 工期算出根拠
	文化財その他埋蔵物	状況調査報告書
管理ファイル	その他資料	
	工事管理ファイル	
	その他ファイル等	

太字下線は、電子納品必須項目

広島県電子納品実施要領

[電気通信・機械設備業務委託編]

(案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編]の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い	1
1.4 問合せ	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	3
3 電子納品実施に必要な環境・準備	7
3.1 機器及びソフトウェア	7
3.2 発注時の特記仕様書への記載	7
4 電子納品の手順・事前協議	8
4.1 電子納品手順	8
4.2 事前協議	9
5 電子成果品の作成	10
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	10
5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類	11
5.3 データの管理	11
5.4 広島県の標準ファイル形式	12
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	13
5.6 ファイルの命名規則	20
5.7 CAD ファイルに関する運用	24
5.8 電子媒体	25
6 完了検査	29
6.1 完了検査	29
7 成果品の管理項目	30
7.1 業務管理項目 電気通信設備	31
7.2 報告書管理項目 電気通信設備	33
7.3 業務管理項目 機械設備工事	34
7.4 報告書管理項目 機械設備工事	36
参考資料 1 着手前協議チェックシート	37
参考資料 2 検査前協議チェックシート	42
参考資料 3 境界座標の記入	43
参考資料 4 CD-R が複数枚になる場合の処置	44

1 広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する業務委託における電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが受発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、受発注者間において協議するものとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、受発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては受注者に過度の負担を強いることなく、受注者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
測量業務共通仕様書 広島県	
地質及び土質調査共通仕様書 広島県	
設計業務委託共通仕様書 広島県	

1.3 国土交通省の要領・基準等との差異とその取扱い

本要領は、受注者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省等が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・CAD 製図基準(案) 電気通信設備編 ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案)	・CAD 製図基準(案) 電気通信設備編 ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案) ・電子化図面データの作成要領(案)	2.3
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(4)

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2)

項目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面のファイルの形式	原則として, SXF(P21)	原則として, SXF(SFC)	5.1(6)
測量成果の図面ファイル以外の取り扱い	報告書フォルダと測量データフォルダにそれぞれに格納する。	報告書フォルダに格納し, 測量データフォルダには格納しない。	5.2
オリジナルファイルの形式	受発注者間で協議し決定	原則, 次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.4
CAD ファイル命名規則の整理番号	受発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数の数値を記入 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は整理番号を設定	5.6.5
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部 簡易製本版 1部	5.8.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「業務委託場所」を追加 受発注者の署名欄は不要	5.8.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.8.3
管理ファイルの記載内容	'7 成果品の管理項目'記載例参照		7.1 ~ 7.4

1.4 問合せ

1.4.1 電子納品に関する問合せ

電子納品に関する問合せは, 事前に国土交通省国土技術政策総合研究所の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
(これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載)

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト

<http://www.nilim-ed.jp/>

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

1.4.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ

本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は, 次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

電子納品全般に係る事項	電気通信・機械設備に係る事項
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ TEL 082-513-3861 FAX 082-223-3593 E-mail dogishidou@pref.hiroshima.jp	都市部都市事業局下水道室 特殊設備グループ TEL 082-513-4141 FAX 082-228-2397 E-mail togesui@pref.hiroshima.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

委託成果品の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、業務委託の成果品を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成16年6月	国土交通省
	土木設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成16年6月	
	土木設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
	地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成16年6月	
	測量成果電子納品要領(案)	平成16年6月	
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	
図面	CAD製図基準(案)	平成16年6月	国土交通省
	CAD製図基準(案) 電気通信設備編	平成16年6月	
	CAD製図基準(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
	CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	
	電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省

国土交通省等がまとめたガイドラインを次に示す。

表 2.1 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成17年8月	国土交通省
電子納品運用ガイドライン(案) 電気通信設備編	平成16年5月	
電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編【業務】	平成18年3月	
電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】	平成18年9月	
電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】	平成18年9月	
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成18年3月	国土交通省 港湾局
地方整備局(港湾空港関係)の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成18年3月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
電子化図面データ作成運用ガイドライン(案)(業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省 農村振興局

国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。

国土交通省国土技術政策総合研究所 H P <http://www.nilim-ed.jp>
国土交通省港湾局 H P <http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/index.htm>
農林水産省 H P <http://www.nncals.jp/>

広島県の運用

国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等の CAD 製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD 製図基準(案)処理施設編(H17.3.)

解説 適用基準

(1) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ 電気通信設備

広島県における電子納品の取組

広島県電子納品実施要領【電気通信・機械設備業務委託編】

本要領は、国土交通省等が策定した要領・基準及びガイドラインから電子納品の基本事項を抜粋し、広島県の取組の考え方・運用を示したものである。

広島県における電子納品は本要領に基づき実施することとし、記載する内容を確認のうえ、次に示す要領・基準及びガイドラインに準拠して電子納品を作成すること。

電子納品の運用 電子納品運用ガイドライン(案)【電気通信設備編】

電子成果品の仕様

土木設計業務等の
電子納品要領(案)
電気通信設備編

XML
DTD

REPORT

DRAWING

PHOTO

SURVEY

BORING

CAD製図基準(案)電気通信設備編

CAD図面作成要領(案)

電子化図面データの作成要領(案)

デジタル写真管理情報基準(案)

測量成果電子納品要領(案)

地質・土質調査成果電子納品要領(案)

CAD製図基準に関する
運用ガイドライン(案)
電子化図面データ作成
運用ガイドライン(案)

電子納品運用ガイドライン【測量編】

電子納品運用ガイドライン
【地質・土質調査編】

図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図(電気通信設備)

国の要領・基準等の概要

(1) 電子納品運用ガイドライン(案)

業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)

(2) 土木設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編

業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。

(3) CAD 製図基準(案)電気通信設備編等

CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。

(4) デジタル写真管理情報基準(案)

写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

(2) 要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ 機械設備工事

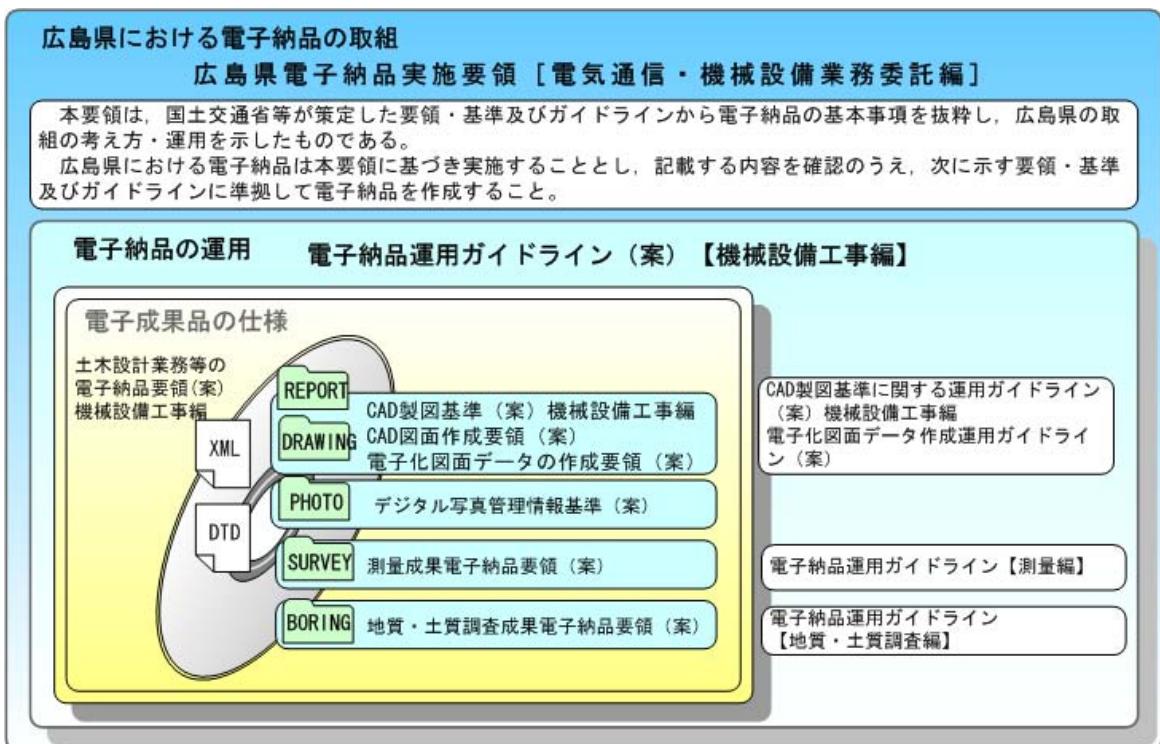


図 2.2 要領・基準等の関係イメージ図(機械設備工事)

要領・基準等の概要

- (1) 電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編【業務】
業務委託の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(受発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- (2) 土木設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編
業務委託の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- (3) CAD 製図基準(案)機械設備工事編等
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- (4) デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。
- (5) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編
CAD データの取扱いについて、発注者及び受注者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応)
- ・ PDF 作成ソフト
- ・ ウィルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、100万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ・ PDF 作成ソフトのバージョンは、PDF1.2 以上(= 日本語版)とする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

参考 CAD ソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする業務委託の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

第 一 条 (電子納品)

本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【電気通信・機械設備業務委託編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

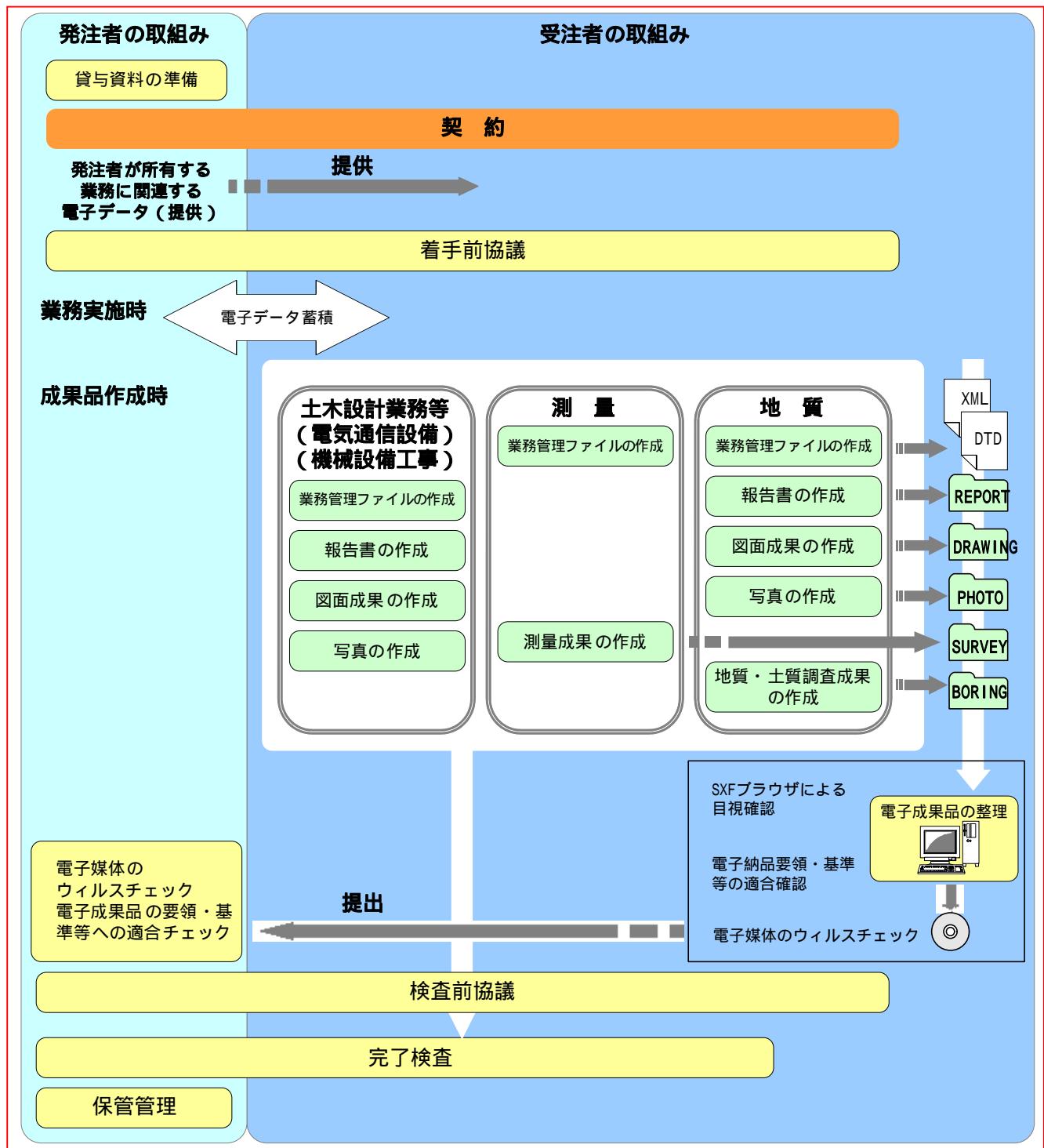
第 二 条 (成果品の提出)

委託成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 3 部提出する。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
なお、「紙」による報告書の提出は調査職員と協議の上、決定する。
また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

業務委託の発注準備から完了検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

委託期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、受発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、業務打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ受発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、業務履行中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、業務履行中等に疑義が生じた場合は、隨時、受発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種
(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・受注者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(3) スキャナによる電子化

スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(4) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

ただし、地質のコア写真は、200万画素以上とする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容量 / 枚	備 考	
		通常写真	地質コア写真
80万画素	1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120万画素	1280 × 960	300KB 程度	× 不可
200万画素	1600 × 1200	500KB 程度	
300万画素	2048 × 1536	800KB 程度	

(5) 特殊ソフト利用の書類の電子化

特殊アプリケーションを用いたものは、原則として紙での提出とする。しかし、PDF に変換できるものは、PDF による提出も可とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこととする。

(6) CAD 図面のファイル形式

SXF(SFC)形式とする。

SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

5.2 業務委託成果品の電子化(電子納品)対象書類

平成19年度の委託成果品の電子化範囲は、確定測量(農林水産部所管)を除くすべてとする。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
業務管理ファイル	受注者	-	必須
報告書	受注者・発注者	REPORT	必須
図面	受注者	DRAWING	必須
写真	受注者	PHOTO	必須
測量	図面ファイル(SXF 形式・DM) 上記以外(TXT・PDF)	受注者	SURVEY 必須 × 対象外
地質調査	受注者	BORING	必須

補足説明

〈測量について〉

測量(SURVEY)フォルダに格納するファイルは、SXF(SFC)形式である CAD データと、DM データの図面のみとする。
これらの図面を含め、全て報告書(REPORT)フォルダに PDF 形式で格納すること。

(例)

- ・基準点網図、線形図、縦横断面図等…SURVEY(CAD・DM)及び REPORT(PDF)に格納
- ・成果表、観測手簿、計算簿…REPORT(PDF)に格納

測量成果電子納品要領(案)によると SURVEY にも格納することとなるが、平成 19 年度は重複して格納しないこととする。

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、業務着手から納品までの長期間にわたり、受注者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るため、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

業務管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

・ 報告書ファイル

報告書ファイルのファイル形式は、PDF 形式とする。

・ 報告書オリジナルファイル

報告書オリジナルファイルのファイル形式は、基本的に、Word ファイル・Excel ファイル、
画像ファイル(JPEG, TIFF)とする。

図面ファイル

図面ファイルのファイル形式は、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

写真ファイルのファイル形式は、JPEG とする。

ただし、参考図ファイルのファイル形式は、JPEG 又は TIFF 形式とする。

地質データファイル

地質データファイルのファイル形式は、「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」に従う。

測量データファイル

測量データファイルのファイル形式は、「測量成果電子納品要領(案)」に従う。

(1) 写真ファイル等

設計業務に含まれている現地踏査等の写真は、デジタル写真管理情報基準(案)の適用外
とし、報告書としてとりまとめる。

(2) PDF ファイルの作成等

・ 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。

・ フォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。

・ PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を報告書の目次と同じ章、節、項(見出しレベル 1~3)を基本として作成する。また、当該ファイル以外の別のファイルへのリンクとなるしおりに
関しては、大項目(章)に関してのみ作成する。

・ セキュリティの設定は行わない。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「REPORT」、「DRAWING」、「PHOTO」、「SURVEY」、「BORING」のフォルダ及び業務管理ファイルを置く。
 また「REPORT」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。
 ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

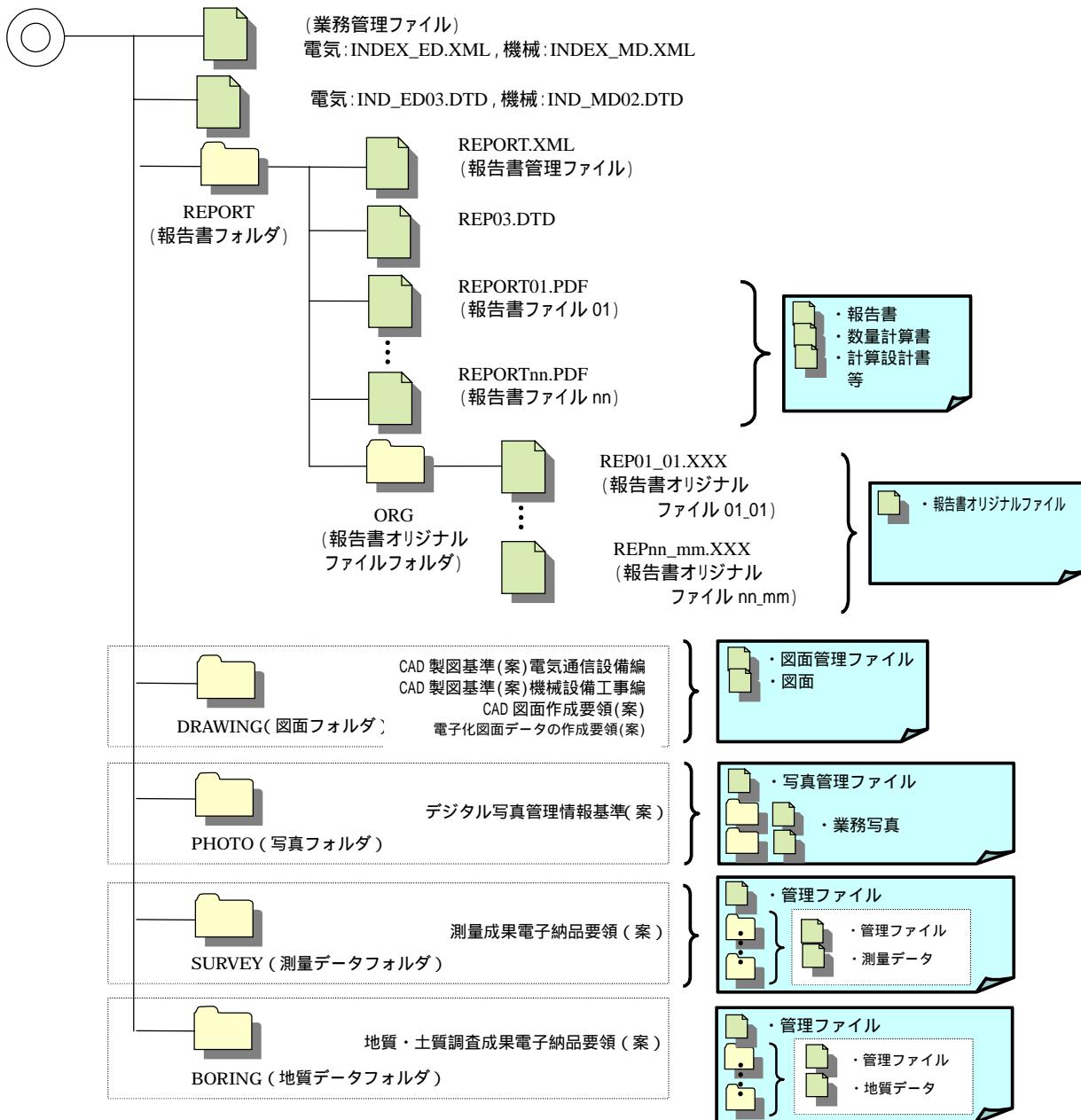


図 5.1 フォルダ構成

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

- (1) 電気通信設備の設計業務委託に係る「報告書フォルダ」「図面フォルダ」「写真フォルダ」

表 5.2 電子納品の電気通信設備におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
(ROOT)		業務管理ファイル	XML,DTD	XML DTD INDEX.ED.XML IND.ED03.DTD
報告書 (REPORT)	REPORT	報告書管理ファイル	XML,DTD	XML DTD REPORT.XML REP03.DTD
	(ORG)	・ 報告書	PDF	PDF PDF ファイル
	ORG	・ 報告書	Word,Excel	オリジナルファイル
図面 (DRAWING)	DRAWING	図面管理ファイル	XML,DTD	XML DTD DRAWING.XML DRAW_E03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	SXF(SFC) ファイル
写真 (PHOTO)	PHOTO	写真情報管理ファイル	XML,DTD	XML DTD PHOTO.XML PHOTO04.DTD
	(PIC)	・ 写真	JPEG	JPG JPEG ファイル
	PIC	・ 参考図	JPEG,TIFF	JPEG・TIFF ファイル
	(DRA)			
	DRA			

(2) 機械設備工事の設計業務委託に係る「報告書フォルダ」「図面フォルダ」「写真フォルダ」

表 5.3 電子納品の機械設備工事におけるフォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
(ROOT)		業務管理ファイル	XML,DTD	INDEX_MD.XML IND_MD02.DTD
報告書 (REPORT)		報告書管理ファイル	XML,DTD	REPORT.XML REP02.DTD
		・ 報告書	PDF	PDF ファイル
		・ 報告書	Word,Excel	オリジナルファイル
図面 (DRAWING)		図面管理ファイル	XML,DTD	DRAWING.XML DRAW_M02.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	SXF(SFC) ファイル
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML,DTD	PHOTO.XML PHOTO04.DTD
		・ 写真	JPEG	JPEG ファイル
		・ 参考図	JPEG,TIFF	JPEG・TIFF ファイル

(3) 電気通信設備・機械設備工事設計業務委託に係る共通項目「測量データフォルダ」・「地質データフォルダ」

表 5.4 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(1/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
{ROOT}				
測量データ (SURVEY)	(KITEN) KITEN	測量情報管理ファイル	XML,DTD	XML SURVEY.XML DTD SURVEY02.DTD
	(SUIJUN) SUIJUN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	XML SURV.SJN.XML DTD SURV.D02.DTD
	(CHIKEI) CHIKEI	測量成果管理ファイル	XML,DTD	XML SURV.CHI.XML DTD SURV.D02.DTD
	(ROSEN) ROSEN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	XML SURV.RSN.XML DTD SURV.D02.DTD
	(KASEN) KASEN	測量成果管理ファイル	XML,DTD	XML SURV.KSN.XML DTD SURV.D02.DTD
	(YOUTI) YOUCHI	測量成果管理ファイル	XML,DTD	XML SURV.YCH.XML DTD SURV.D02.DTD
	(DOC) DOC	・ 特記仕様書 ・ 協議書 ・ 実施報告書	PDF Word,Excel	PDF ファイル オリジナルファイル

WORK : 測量記録を格納

DATA : 測量成果を格納

OTHR : 各種証明書、説明書等その他データを格納

表 5.4 測量及び地質調査におけるフォルダ及び格納するファイル形式等(2/2)

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
{ROOT}				
地質データ (BORING)		地質情報管理ファイル	XML,DTD	 BORING.XML BRG0150.DTD
BORING	(DATA) DATA	ボーリング交換用 データファイル	XML , DTD	 BED0001.XML~BEDNNNN.XML BED0210.DTD
	(LOG) LOG	・ 電子柱状図	PDF	PDF ファイル
	(DRA) DRA	・ 電子簡略柱状図	SXF(SFC)	CAD(SXF(SFC)) ファイル
	(PIC) PIC	コア写真管理ファイル	XML,DTD	 COREPIC.XML CPIC0110.DTD
		・ デジタルコア写真 ・ デジタルコア写真整理結果	JPEG	画像(JPEG) ファイル
	(TEST) TEST	土質試験及び 地盤調査管理ファイル	XML,DTD	 GRNDTST.XML GTST0120.DTD
		土質試験結果一覧表 管理ファイル	XML,DTD	 STLIST.XML ST0210.DTD
		・ 電子土質試験結果一覧表	PDF	PDF ファイル
	BRGNNNNN SITNNNN BRGNNNNN	サブフォルダを作成し、土質試験及び地盤調査データを格納する。		
	(OTHRS) OTHRS	その他の地質・土質調査 成果フォルダ	XML,DTD	 OTHRFLS.XML OTHR0110.DTD

: ボーリング孔を利用した原位置試験、または、ボーリング孔を利用した資料による室内試験の電子データシート・データ交換用データを格納

: 当該調査以外のボーリング孔（既設孔）を利用した試験による電子データシート・データ交換用データを格納

: 上記以外（サイト）による電子データシート・データ交換用データを格納

5.5.3 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

(1) 電気通信設備

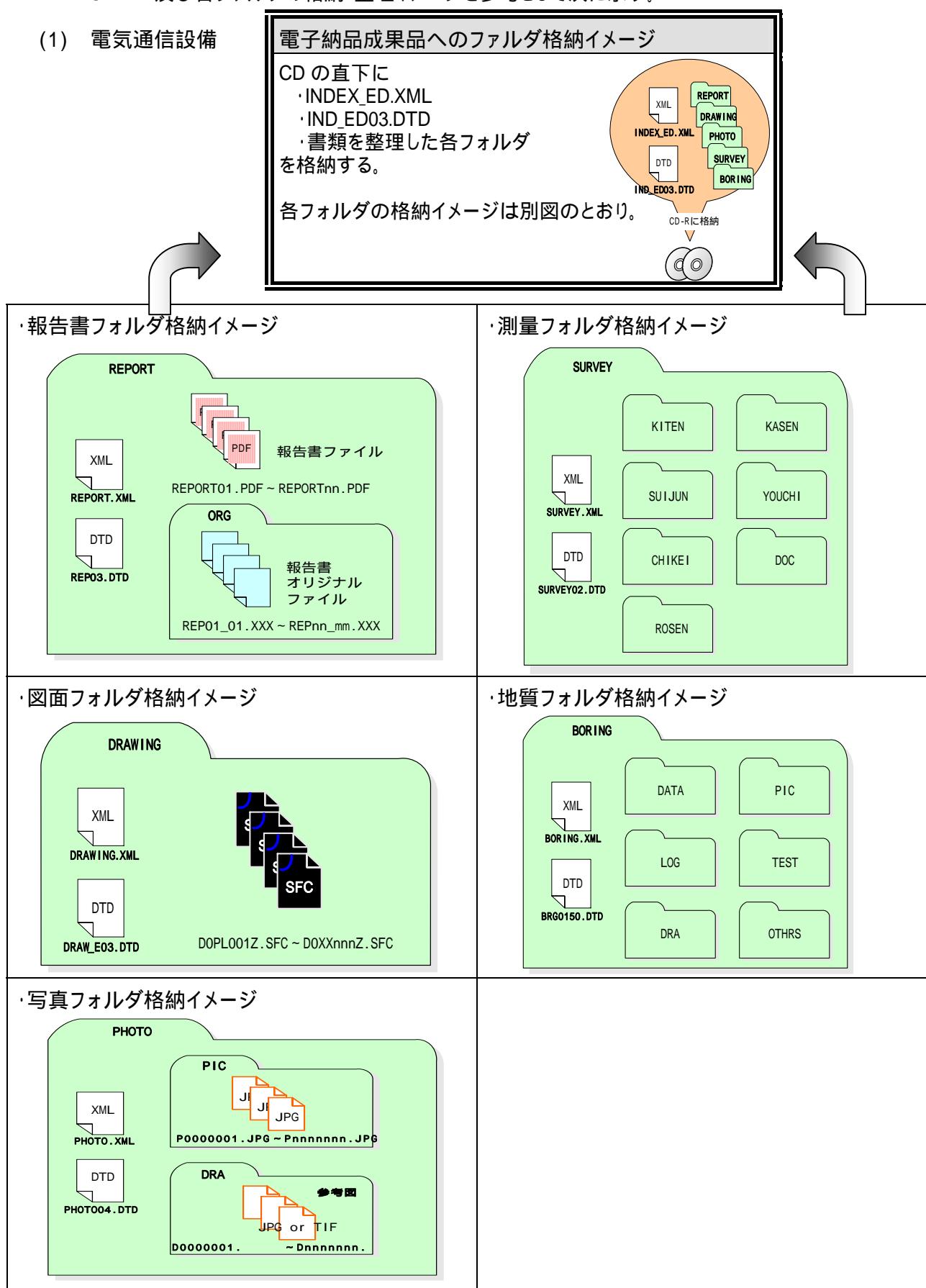


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ 電気通信設備

(2) 機械設備工事

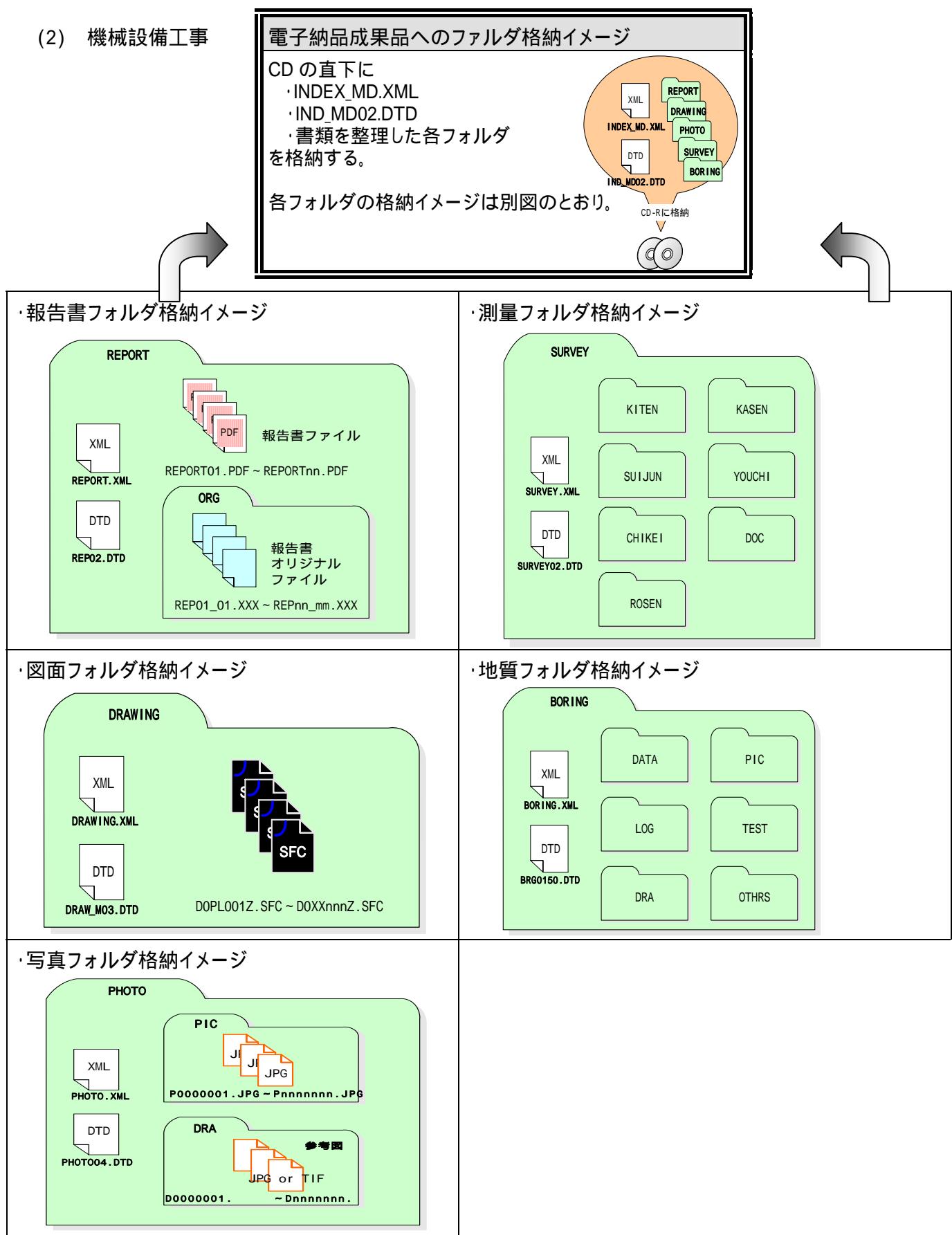


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ 機械設備工事

5.6 ファイルの命名規則

5.6.1 共通規則

- (1) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- (2) ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

5.6.2 管理ファイル

- (1) 業務管理ファイルは、電気通信設備「INDEX_ED.XML」、機械設備工事「INDEX_MD.XML」、業務管理ファイルの DTD は電気通信設備が、「IND_ED03.DTD」(03 は版番号)、電気設備工事は「IND_MD02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (2) 報告書管理ファイルは「REPORT.XML」とし、電気通信設備の DTD は「REP03.DTD」(03 は版番号)とし、機械設備工事の DTD は「REP02.DTD」(02 は版番号)する。
- (3) 図面管理ファイルは「DRAWING.XML」とし、電気通信設備の DTD は「DRAW03.DTD」(03 は版番号)とし、機械設備工事の DTD は「DRAW02.DTD」(02 は版番号)する。
- (4) 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
ただし、「PHOTO04.DTD」が公開されるまでは「デジタル写真管理情報基準(案)平成 18 年 1 月」に記載される暫定的な取扱いに準じ、「PHOTO03.DTD」とする。
- (5) 測量管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、DTD は「SURVEY02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (6) 地質情報管理ファイルは「BORING.XML」とし、DTD は「BRGO150.DTD」(150 は版番号)とする。

5.6.3 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイル

- (1) 報告書ファイル及び報告書オリジナルファイルの命名規則を次に示す。

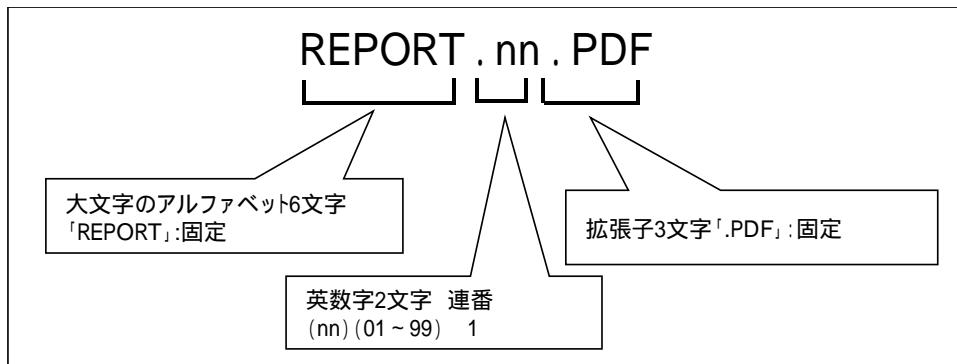


図 5.3 報告書ファイルの命名規則

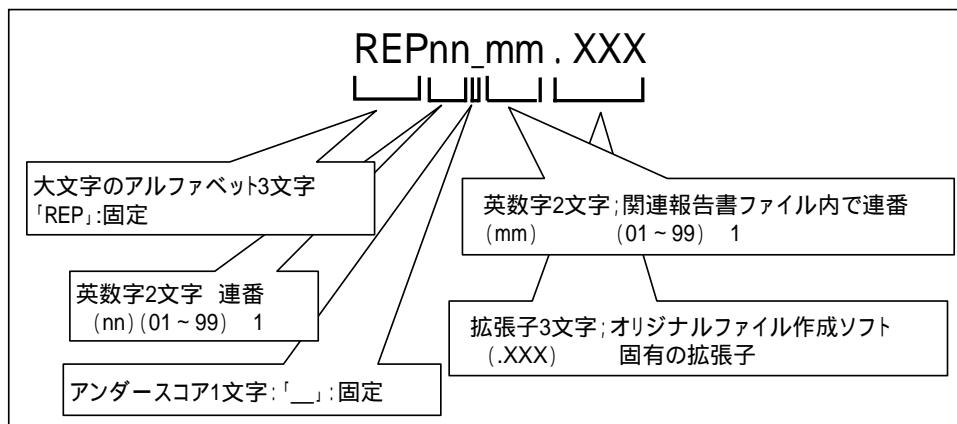


図 5.4 報告書オリジナルファイルの命名規則

5.6.4 写真ファイル

(1) 写真ファイルの命名規則を次に示す。

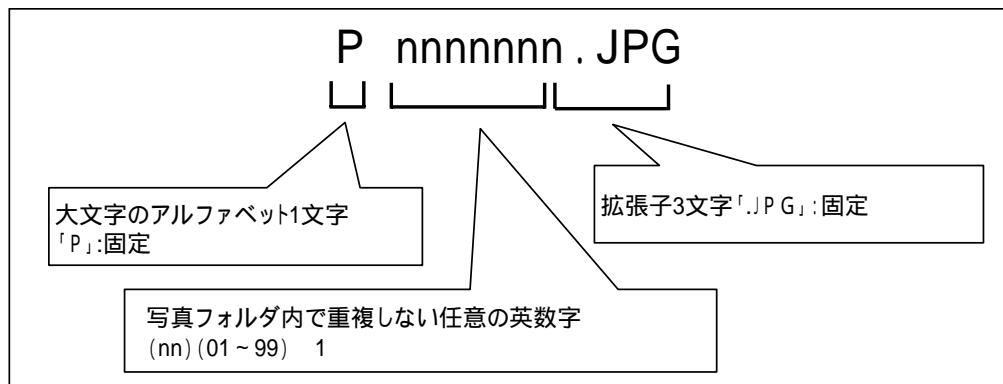


図 5.5 写真ファイルの命名規則

(2) 参考図ファイルの命名規則を次に示す。

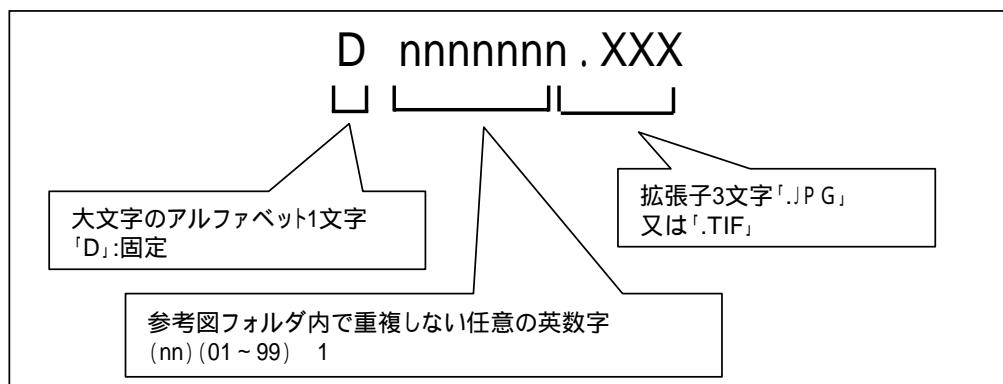


図 5.6 参考図ファイルの命名規則

5.6.5 CAD データファイル

(1) CAD データのファイルの命名規則を次に示す。

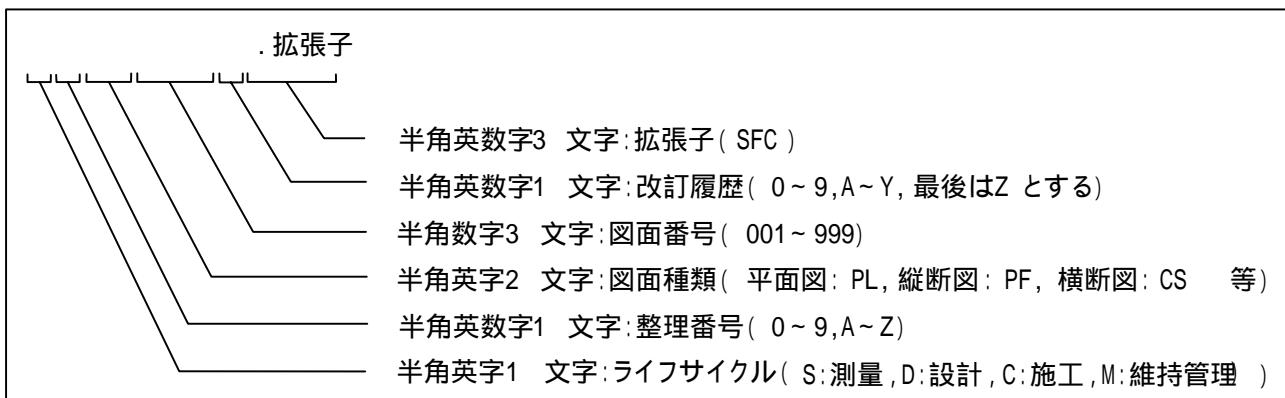


図 5.7 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案))電気通信設備・機械設備工事

参考 CAD ファイルの命名規則

(例) 第1回設計変更の平面図の場合

D 1 PL 003 0 .SFC

拡張子: 原則 SFC とする

改訂履歴: 0 から順に履歴をつける (Z は最後を意味する)

図面番号 (表題の図面番号を記入)

図面の種類をアルファベットで記入

整理番号 (変更設計回数の数値を記入)

ライフサイクル (測量: S, 設計: D) を記入

拡張子は、広島県のCAD図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

成果品の提出時は、最後を意味する「Z」となる。

また、受発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。
表題の図面番号を記入する。

通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。

(平面図: PL, 縦断図: PF, 横断図: CS 等)

変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計
(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。

ただし、電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合は別途、整理番号を規定
(表5.5 参照)

ライフサイクルを表す半角英字1文字を記入する。業務委託の場合は、「測量: S」,
「設計: D」のいずれかとなる。

(2) 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合のファイル命名規則

電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合、CAD ファイルの命名規則の整理番号を次表のとおりとする。

表 5.5 電子化図面データの作成要領(案)を適用する CAD ファイル命名規則(整理番号)

番号	適用	番号	適用
0	区分の必要がない場合	C	詳細設計(実施設計)の電気工事
1	設計過程の構想設計	D	同上の 建築工事
2	同上の 基本設計	E	同上の 建築付帯設備工事
3~9	同上の 協議により区分を別途決定するもの	F	同上の 建築付帯電気工事
A	詳細設計(実施設計)の一般土木工事	G ~ Z	同上の 協議により別途区分するもの
B	同上の 機械工事		

補足説明

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、業務委託の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6.3 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) オリジナルファイル

報告書の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。

この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.4 報告書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。ただし、欠番があっても構わない。

- 例) ワープロソフトファイル:REP01_01.doc
ワープロソフトファイル:REP01_02.doc
表計算ソフトファイル :REP01_03.xls

(3) 連番の扱い (1について)

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

- 例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

5.7 CAD ファイルに関する運用

5.7.1 工種の選定

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。

また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

表 5.6 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)、 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの 作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路トンネル、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は次によることとする。

表 5.7 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
林道事業	電子化図面データの 作成要領(案)	農道、農道橋

また、下水道事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.8 を示す。

5.8 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 処理施設編	下水道処理施設

5.7.2 受発注者間での CAD ファイルの交換

受発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.9 CAD ファイルの命名参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

表 5.9 CAD ファイル命名参考例

ファイル名	状況	ファイル名	状況
D0PL0030.SFC	当初契約発注図面	D1PL0030.SFC	第 1 回変更契約図面
D0PL0031.SFC	受注者・発注者変更図面共有(1)	...	
D0PL0032.SFC	受注者・発注者変更図面共有(2)	D4PL003Z.SFC	完成図面(第 4 回変更)

5.8 電子媒体

5.8.1 使用媒体仕様等

委託成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-R の使用を原則とする。
- ・ CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1枚のCD-R に格納する。
- ・ 複数枚のCD-R に格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン（案）【業務委託編】に従う。
- ・ 納品時には、CD-R 3部を納品するほか、CD-R に格納された書類データを紙に印刷したものを1部（簡易製本とする）併せて納品する。

- ・ 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-R を原則とする。
- ・ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-R のフォーマット形式は、ISO9660(レベル1)とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。
- ・ 簡易製本版は市販のチューブファイル等に綴じたものとし、金文字黒表紙様式の製本は行わない。
- ・ チューブファイルの背表紙には、年度、委託名及び受注業者名を明記し、報告書等の書類は両面刷り（A4版）、図面は縮小版（A3版）を基本とする。
- ・ その他、特に紙による納品の必要があるものについては、受発注者で協議するものとする。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字（A～Z, 0～9）及び、_（アンダースコア）のみと、制限が厳しくなっている。

5.8.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 委託業務名称
- ・ 委託業務の場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 受注者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 委託業務名称

(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、業務委託名が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「委託業務名称」 契約図書に記載されている業務委託の名称を記載
- ・ 「委託業務の場所」 契約図書に記載されている委託業務の場所を記載
- ・ 「作成年月」 履行期間の至の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「受注者名」 受注者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	27601-419-0006 (1/2) 芦田川浄化センター水処理設備設計業務委託
(長い場合)	27601-419-0006 (1/2) 川 水処理設備設計

図 5.8 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.8.3 電子媒体の原本性の確保

受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

受注者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日			
電 子 媒 体 納 品 書			
地域事務所長 様			
受注者 (所在地) (商号又は名称)		市 区	丁目 株式会社 印
次のとおり電子媒体を納品します。			
施行番号	27601-419-0006		
委託業務の名称	芦田川浄化センター水処理設備設計業務委託		
路線河川名等 (地区名)	-		
委託業務の場所	市 区 丁目		
履行期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日		
電子媒体の全体枚数	枚 × 3部		
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日		
備考	1/2 : REPORT, DRAWING を格納 2/2 : PHOTO, SURVEY, BORING を格納		
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。			

図 5.9 電子媒体納品書の記載(例)

6 完了検査

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、受発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 完了検査

業務完了検査では、業務成果品について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 記録写真

写真データは、受注者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 業務報告書等

図面等を検査する際には、受注者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

業務計画書、協議簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために受注者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を調査職員との協議により準備する。



図 6.1 対象資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、ソフトウェア情報、業務情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(基礎情報, 業務情報)を次頁以降に示す。

また、次項以降に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

- [記入者] : TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目
(TECRIS 情報の記入に当たって、TECRIS の規則に従うこと)
 - : 電子媒体作成者が記入する項目
 - : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

- 【必要度】
 - 必須記入項目
 - 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
 - 任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、次のとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島県が定めた事項

記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

- (1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111 ······

0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1 · · · x

- (2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書: 広島市中区墓町 10 番 52 号……

広島市中区基町 10-52

広島市中区基町10番52号……………×

- (3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること

(例) 2007-03-26: · · · · ·

20070326.....x

7.1 業務管理項目 電気通信設備

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_ED.XML)に記入する業務管理項目は、表7.1に示すとおりとする。

表 7.1 業務管理項目 電気通信設備(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。		2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「電通200406-01」で固定)を記入する。(分野:電通, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)		電通200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(REPORTで固定)を記入する。		REPORT	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(REPORT/ORGで固定)を記入する。		REPORT/ORG	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGで固定)を記入する。		DRAWING	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。		PHOTO	同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(SURVEYで固定)を記入する。		SURVEY	同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(BORINGで固定)を記入する。		BORING	同上	127		
	業務実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		4.0	半角数字	12		
業務件名等	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は、「0」を記入する。		3000306287	半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	契約図書の施行番号 (14桁)を記入	10136-417-0620	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。		電気通信設備設計業務	全角文字 半角英数字	127		
	住所コード	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	TECRISのコード表に示される34102~34385の数字(5桁)を記入(複数入力可)	34203	半角数字	5		
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の業務場所を記入	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年1月1日 2004-01-01		2007-10-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年12月3日 2004-12-03		2008-02-28	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 業務管理項目 電気通信設備(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
水系 - 路線 情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系(日本測地系2000)は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は'99999'とする。		99999	同上	5		
	対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	'現道:1'、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれかを記入する。			半角数字	1		
	対象河川コード	'河川コード仕様書(案)'に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。	0015 008 0018 005	0015 008 0018 005	同上	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄 原則として空欄 原則として空欄 原則として空欄		同上	3 3 3 3		
場所 情報	西側境界座標経度	対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	1323510	同上	8		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	0342400	同上	8		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	0342000	同上	8		
施設 情報	施設名称	施設名称を記入する。		トンネル	全角文字 半角英数字	127		
発注者 情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択して記入する。		12345678	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関・事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
受注者 情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。		設計株式会社	同上	127		
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない受注者は'0'を記入する。		12345678	半角英数字	10		
業務 情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」、「2.地質調査」、「3.測量」、「4.その他」より選択して記入する。	'1.調査設計', '2.地質調査', '3.測量', '4.その他'より選択して記入	1	半角数字	1		
	業務分類コード	業務分野コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)		1234567	半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)		非常用設備	全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。		本業務は、……	同上	300		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.2 報告書管理項目 電気通信設備

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 報告書管理項目 電気通信設備

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。	報告書名を記入	電気通信設備設計業務	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		非常用設備新設設計	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01.PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(非常用設備新設設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成 ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル名	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	報告書オリジナル ファイル日本 語名	報告書オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		電気通信設備設計業務_設計 報告書	全角文字 半角英数字	127		
	報告書 オリジナル ファイル作成 ウェア名	報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft_Word_98	同上	127		
その他	受注者説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)	原則として空欄		同上	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)			同上	127		

1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰り返し登録する。

2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも両方に記入する。

3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

7.3 業務管理項目 機械設備工事

電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_MD.XML)に記入する業務管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 業務管理項目 機械設備工事(1/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。		1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。		2	同上	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「機械200603-01」で固定)を記入する。(分野: 機械, 西暦年: 2006, 月: 03, 版: 01)		機械200603-01	全角文字 半角英数字	30		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するために「REPORT」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(REPORTで固定)を記入する。		REPORT	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナルファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(REPORT/ORGで固定)を記入する。		REPORT/ORG	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するために「DRAWING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGで固定)を記入する。		DRAWING	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。		PHOTO	同上	127		
	測量データフォルダ名	測量データを格納するために「SURVEY」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(SURVEYで固定)を記入する。		SURVEY	同上	127		
	地質データフォルダ名	地質データを格納するために「BORING」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(BORINGで固定)を記入する。		BORING	同上	127		
業務件名等	業務実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているTECRISのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		4.0	半角数字	12		
	業務実績システム登録番号	TECRISセンターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS登録番号がない業務は、「0」を記入する。		3000306287	半角英数字	11		
	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	<u>契約図書の施行番号 (14桁)を記入</u>	10136-417-0620	同上	30		
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。		浄化センター水処理第15,16 池	全角文字 半角英数字	127		
	住所コード	該当地域の住所コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	TECRISのコード表に示される34102~34385の数字(5桁)を記入(複数入力可)	34203	半角数字	5		
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	<u>必ず「広島県」を記入後、契約図書の業務場所を記入</u>	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127		
	履行期間・着手	契約上の履行期間の着手年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例) 平成16年1月1日 2004-01-01		2007-10-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	履行期間・完了	契約上の履行期間の完了年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例) 平成16年12月3日 2004-12-03		2008-02-28	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.3 業務管理項目 機械設備工事(2/2)

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
水系 -路線 情報	測地系	日本測地系,世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は'00',世界測地系(日本測地系2000)は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線コード	水系・路線コードをTECRISの表より選択し記入する。該当がない場合は'99999'とする。		99999	同上	5		
	対象水系路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	現道-旧道区分	「現道:1」,「旧道:2」,「新道:3」,「未調査:0」のいずれかを記入する。			半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		同上	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。		0015 008 0018 005	同上	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄		同上	3 3 3 3		
場所 情報	西側境界座標経度	対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に- (HYPHEN-MINUS) を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。		1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に- (HYPHEN-MINUS) を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。		1323510	同上	8		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に- (HYPHEN-MINUS) を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。		0342400	同上	8		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に- (HYPHEN-MINUS) を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。		0342000	同上	8		
施設 情報	施設名称	施設名称を記入する。		水処理第15,16池	全角文字 半角英数字	127		
発注 者 情報	発注者機関コード	発注者機関コードをTECRISコード表から選択して記入する。		12345678	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注機関・事務所の名称を記入する。	広島県 地域事務所建設局		全角文字 半角英数字	127		
受注 者 情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。		設計株式会社	同上	127		
	受注者コード	TECRISセンターから通知されるコードを記入する。受注者コードを持たない受注者は'0'を記入する。		12345678	半角英数字	10		
業務 情報	主な業務の内容	TECRISコード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。	「1.調査設計」,「2.地質調査」,「3.測量」,「4.その他」より選択して記入	1	半角数字	1		
	業務分類コード	業務分野コードをTECRISコード表より選択し記入する。(複数記入可)		0714070	半角英数字	7		
	業務キーワード	TECRIS業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可)		下水道処理場	全角文字 半角英数字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。		本業務は、浄化センター水処理第15,16池の設備の詳細設計である。	同上	300		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		
	ソフトメーク用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		同上	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

7.4 報告書管理項目 機械設備工事

電子媒体に格納する報告書管理ファイル(REPORT.XML)に記入する報告書管理項目は、表 7.4 に示すとおりとする。

表 7.4 報告書管理項目 機械設備工事

分類	項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
報告書 ファイル 情報	報告書名	報告書ファイルの内容が分かるよう報告書名を記入する。	報告書名を記入	浄化センター水処理第15,16池 詳細設計委託	全角文字 半角英数字	127		
	報告書副題	報告書名が漠然としている場合は内容が分かる程度の副題を記入する。		水処理第15,16池機械設備設計計算書	同上	127		
	報告書ファイル名	報告書ファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REPORT01.PDF	半角英数 大文字	12		
	報告書ファイル日本語名	報告書ファイルに関する日本語名を記入する。		報告書(水処理第15,16池機械設備設計計算書)	全角文字 半角英数字	127		
	報告書ファイル作成 ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Adobe Acrobat6.0	同上	64		
	設計項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	成果品項目 2	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する。)		計算書	同上	16		
	報告書 オリジナル ファイル名	報告書オリジナルファイルのファイル名を拡張子を含めて記入する。		REP01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	報告書オリジナル ファイル日本 語名	報告書オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		浄化センター水処理第15,16池 詳細設計委託_報告書01	全角文字 半角英数字	127		
	報告書 オリジナル ファイル作成 ウェア名	報告書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。		Microsoft_Word_98	同上	127		
その他	受注者説明文	受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		同上	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数入力可)	原則として空欄		同上	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)			同上	127		

1 報告書ファイル情報は、報告書の数分を複数繰り返し登録する。

2 設計項目と成果品項目は、重複する場合でも両方に記入する。

3 報告書オリジナルファイル情報は一つの報告書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

電気通信・機械設備
業務委託編

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

業務委託名		
施行番号		
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
受注者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> PDFファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> DMファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

(1/3)

	成果品	電子納品	紙	備考
業務管理ファイル				
報告書フォルダ(REPORT)				
報告書管理ファイル	XML形式			
報告書ファイル	PDF形式			
報告書オリジナルファイルフォルダ				
報告書オリジナルファイル	WORD, EXCEL その他()			
図面フォルダ(DRAWING)				
図面管理ファイル	XML形式			
図面ファイル	SXF(SFC)形式			
写真フォルダ(PHOTO)				
写真属性情報ファイル				
写真ファイル	JPEG形式			
参考図ファイル	JPEG形式, TIFF(G4)形式			
地質データフォルダ(BORING)				
地質情報管理ファイル	XML形式			
ボーリング交換用データ	XML形式			
電子柱状図	PDF形式			
電子簡略柱状図	SXF(SFC)形式			
コア写真管理ファイル	XML形式			
コア写真ファイル	JPEG形式			
土質試験及び地盤調査管理ファイル	XML形式			
土質試験結果一覧表データファイル	XML形式			
電子データシート	PDF形式			
データシート交換用データ				
測量フォルダ(SURVEY)				
測量情報管理ファイル	XML形式			
基準点測量サブフォルダ(KITEN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
成果表	PDF形式			
成果表(数値データ)	TXT形式			
基準点網図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
平均図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
観測図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
観測記録	PDF形式, TXT形式			
計算簿	PDF形式			
点の記	PDF形式			
点の記(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
精度管理表	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
埋標手簿	PDF形式			
測量標の地上写真	PDF形式			
基準点現況調査報告書	PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
GPS観測スケジュール表	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			
水準測量サブフォルダ(SUIJUN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
観測成果表	PDF形式			
観測成果表(数値データ)	TXT形式			
平均成果表	PDF形式			
平均成果表(数値データ)	TXT形式			
水準路線図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
平均図	PDF形式, SXF(SFC)形式			
計算簿	PDF形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
点の記	PDF形式			
点の記(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
精度管理表	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
測量標の地上写真	PDF形式			
基準点現況調査報告書	PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
GPS観測スケジュール表	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			

着手前(変更)協議チェックシート

(2/3)

	成果品	電子納品	紙	備考
測量フォルダ(SURVEY)				
地形測量サブフォルダ(CHIKEI)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
平板測量精度管理表	PDF形式			
TS地形測量DMデータ	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" DMデータインデックス	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" DMデータファイル説明書	PDF形式			
精度管理表	PDF形式			
空中写真測量標定点成果表	TXT形式			
" 標定点配置図・水準路線図	PDF形式			
" 空中写真測量標定点観測簿・同明細簿等	PDF形式			
" 精度管理表	PDF形式			
" 対空標識点明細票	PDF形式			
" 対空標識点一覧図	PDF形式			
" 標定図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" 撮影記録	PDF形式			
" 刺針点一覧図	PDF形式			
" 空中三角測量成果表	TXT形式			
" 空中三角測量実施一覧図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" 基準点残差表	TXT形式			
" 座標測定簿	TXT形式			
" 計算簿	TXT形式			
" 標定記録簿	PDF形式			
デジタルレマッピングDMデータ	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" DMデータインデックス	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
" DMデータファイル説明書	PDF形式			
" 精度管理表	PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			
路線測量サブフォルダ(ROSEN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
線形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
線形地形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
計算簿	PDF形式			
計算簿(数値データ)	TXT形式			
観測手簿	PDF形式			
精度管理表	PDF形式			
点の記	PDF形式			
引照点図	PDF形式			
縦・横断面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
詳細平面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
杭打図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			
河川測量サブフォルダ(KASEN)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
成果表	PDF形式			
成果表(数値データ)	TXT形式			
点の記	PDF形式			
距離標位置情報整理表	PDF形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
計算簿	PDF形式			
精度管理表	PDF形式			
業務報告書	PDF形式			
縦・横断面図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
線形図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
等高・等深線図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
汀線図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
測量機器検定証明書	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			

着手前(変更)協議チェックシート

(3/3)

	成果品	電子納品	紙	備考
測量フォルダ(SURVEY)				
用地測量サブフォルダ(YOUCHI)				
測量成果管理ファイル	XML形式			
公図等転写連続図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
土地調査表	PDF形式			
建物登記簿調査表	PDF形式			
地積測量図転写図	PDF形式			
権利者調査表	PDF形式			
復元測量箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
観測手簿	PDF形式			
観測手簿(数値データ)	協議による(TXT形式等)			
土地境界立会確認書	PDF形式			
成果表	PDF形式			
成果表(数値データ)	TXT形式			
計算簿	PDF形式			
基準点網図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
精度管理表	PDF形式			
精度管理図	PDF形式			
用地境界板杭設置箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
用地境界杭設置箇所位置図	SXF(SFC)形式, DM形式, PDF形式			
面積計算書	PDF形式			
面積計算書(数値データ)	TXT形式			
用地実測データ	SFC形式, オリジナル			
用地平面データ	SFC形式, オリジナル			
測量機器検定証明書	PDF形式			
点検測量簿	PDF形式			
ファイル説明書	PDF形式			

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。

準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領[電気通信・機械設備業務委託編]	平成19年	広島県
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案)	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案) 電気通信設備編	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案) 機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	国土交通省港湾局
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省農村振興局
写真	<input type="checkbox"/> デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案)[業務編]	平成17年8月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案) 電気通信設備編	平成16年5月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編[業務]	平成18年3月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案)[地質・土質調査編]	平成19年9月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案)[測量編]	平成18年9月	国土交通省
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	平成17年8月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データ作成運用ガイドライン(案) (業務工事共通)	平成14年11月	農林水産省農村振興局

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

電気通信・機械設備
業務委託編

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

業務委託名	
施行番号	
履行期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
受注担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他() 受注者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(測量成果)		
<input type="checkbox"/> 図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基準点測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水準測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> (地質調査資料)			地形測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ポーリング交換用データ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路線測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子柱状図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	河川測量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子簡略柱状図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該測量事業に関する書類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 地質平面図・断面図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> コア写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 土質試験及び地盤調査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> その他の地質調査資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	受注者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

--

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

業務委託対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、受発注者間で協議し、[場所情報]を業務範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、業務範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 4 CD-R が複数枚になる場合の処置

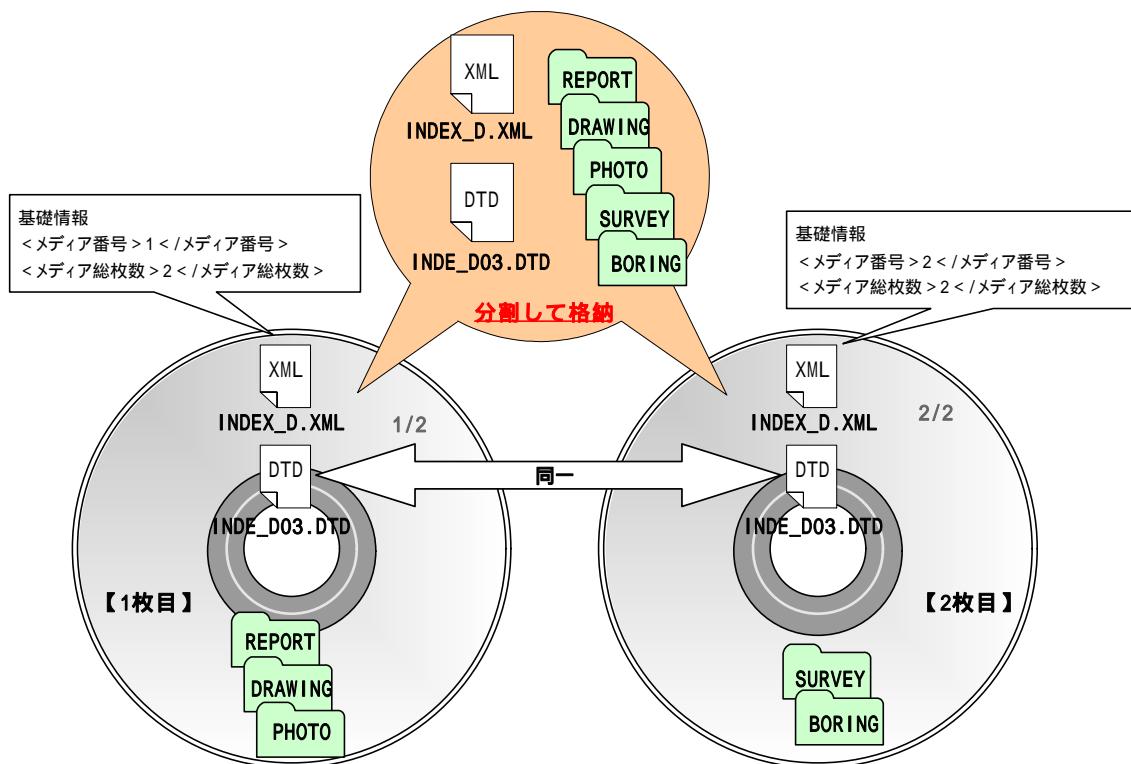
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の業務管理ファイル (INDEX_D.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

また、業務管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 3.1 に示す。



参資図 3.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

広島県電子納品実施要領 [電気通信設備編] (案)

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領[電気通信設備工事編]の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い	1
1.4 問合せ	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	4
3 電子納品実施に必要な環境・準備	6
3.1 機器及びソフトウェア	6
3.2 発注時の特記仕様書への記載	6
4 電子納品の手順・事前協議	7
4.1 電子納品手順	7
4.2 事前協議	8
5 電子成果品の作成	9
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	9
5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類	10
5.3 データの管理	10
5.4 広島県の標準ファイル形式	11
5.5 ファルダ構成及びファイル形式	12
5.6 ファイルの命名規則	17
5.7 CAD ファイルに関する運用	21
5.8 電子媒体	22
6 検査(中間検査・完成検査)	26
6.1 中間検査の取扱い	26
6.2 書類検査	26
6.3 現場検査	27
7 成果品の管理項目	28
参考資料 1 着手前協議チェックシート	39
参考資料 2 検査前協議チェックシート	42
参考資料 3 境界座標の記入	43
参考資料 4 CD-R が複数枚になる場合の処置	44
参考資料 5 電子化対象書類一覧表	46

1 広島県電子納品実施要領[電気通信設備編]の位置付け

1.1 はじめに

「広島県電子納品実施要領[電気通信設備編]」(以下、「本要領」という。)は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。

広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省
電気設備工事必携	日本下水道事業団

1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・CAD 製図基準(案) ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案)	・CAD 製図基準(案) ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案) ・電子化図面データの作成要領(案)	2.3
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(5)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(7)

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2)

項目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.4
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数の数値を記入 電子化図面データの作成要領(案)を適用する場合の整理番号を設定	5.6.5
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部 押印書類等の紙納品 1部 完成写真帳 1部	5.8.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.8.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.8.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7.1 ~ 7.4

1.4 問合せ

1.4.1 電子納品に関する問合せ

電子納品に関する問合せは、事前に国土交通省国土技術政策総合研究所の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
(これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載)

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト
<http://www.nilim-ed.jp/>
 「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ
http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

1.4.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ

本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

電子納品全般に係る事項	電気通信設備に係る事項
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ TEL 082-513-3861 FAX 082-223-3593 E-mail dogishidou@pref.hiroshima.jp	都市部都市事業局下水道室 特殊設備グループ TEL 082-513-4141 FAX 082-228-2397 E-mail togesui@pref.hiroshima.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、工事の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成16年6月	国土交通省
図面	CAD製図基準(案) 電気通信設備編	平成16年6月	
	CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	
	電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	農林水産省

国土交通省がまとめたガイドラインを次に示す。

表 2.1 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案) 電気通信設備	平成16年5月	国土交通省

国土交通省等の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。

国土交通省国土技術政策総合研究所 H P <http://www.nilim-ed.jp>

広島県の運用

国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂されることがあるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等のCAD製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

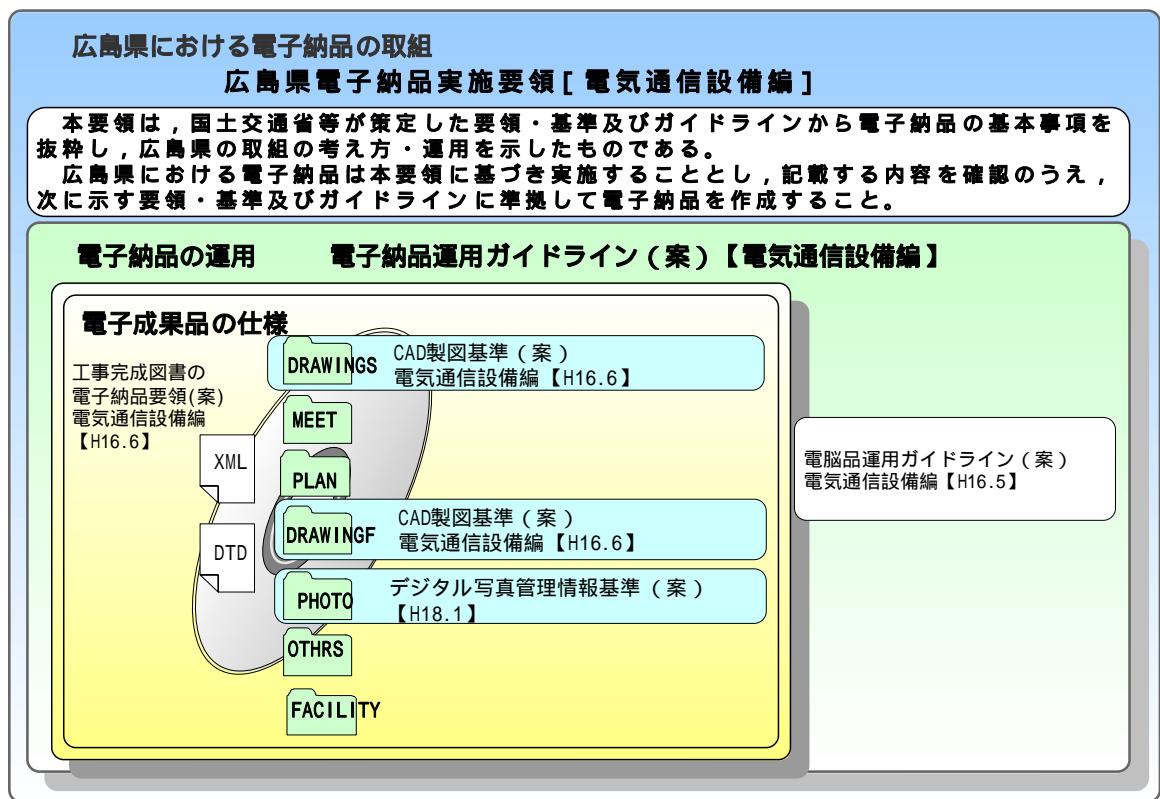


図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

要領・基準等の概要

- (1) 国の電子納品運用ガイドライン(案)【電気通信設備編】
公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- (2) 工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編
工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- (3) CAD 製図基準(案)電気通信設備編
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- (4) デジタル写真管理情報基準(案)
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CAD ソフト (S X F 対応)
- ・ PDF 作成ソフト
- ・ ウィルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、100万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ・ PDF 作成ソフトのバージョンは、PDF1.2 以上(= 日本語版)とする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

参考 CAD ソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープン CAD フォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

第 一 条 (電子納品)

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【電気通信設備編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

第 二 条 (工事完成図書の提出)

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で 3 部提出する。
「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

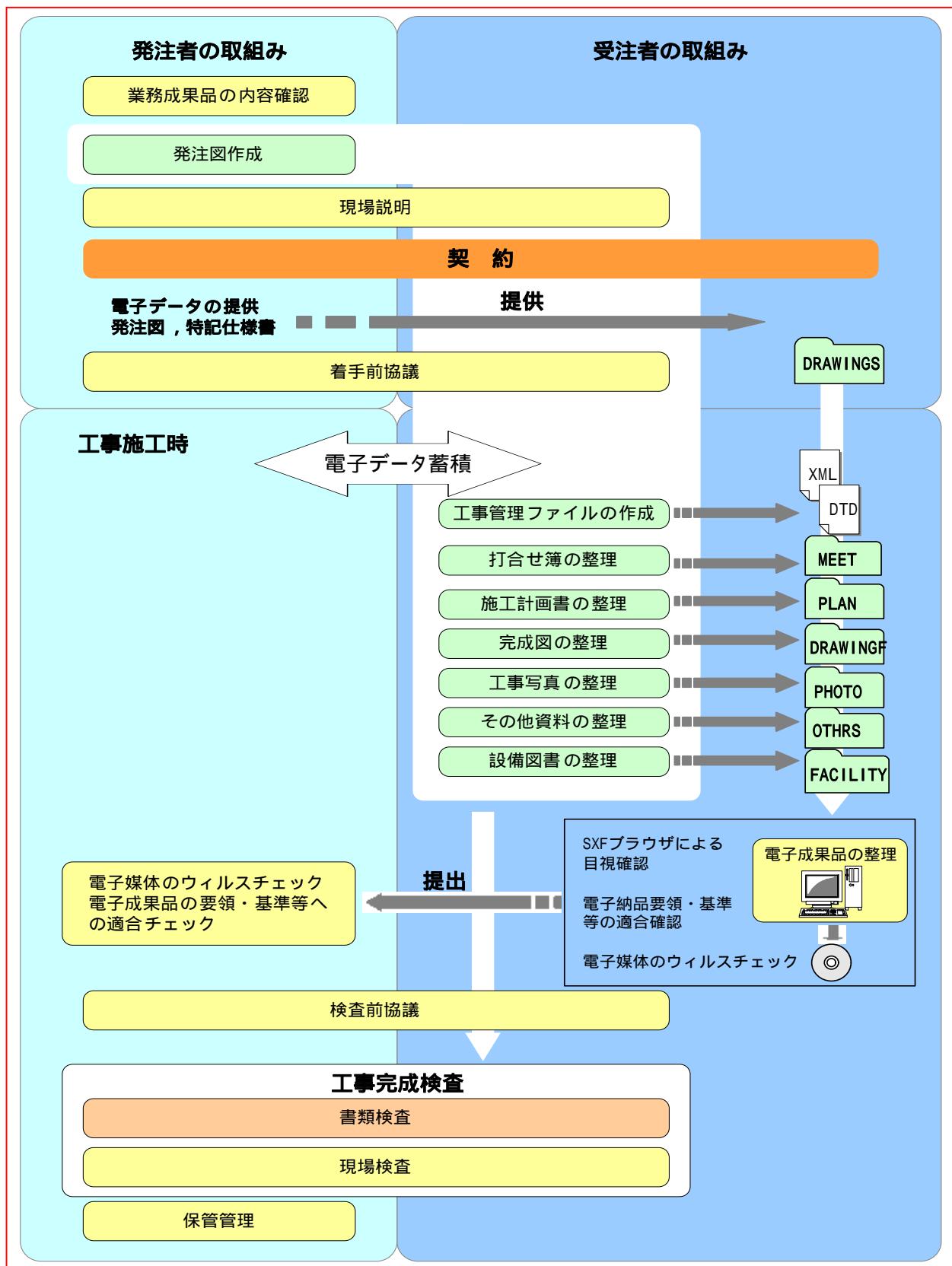
また、成果品の提出の際には、ウイルス対策を実施した上で提出する。

なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事発注準備から工事完成検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期でもあることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、施工中等に疑義が生じた場合は、隨時、請負・発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(工事)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種
(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 発注者からのデータ提供の有無

- (a) 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ対象とする。
- (b) 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(3) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(4) スキャナによる電子化

スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

(5) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容 量 / 枚	備 考
80 万画素 1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

(6) 特殊ソフト利用の書類の電子化(品質管理・出来型管理資料)

品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこととする。

(7) CAD 図面のファイル形式

SXF(SFC)形式とする。

SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
完成図面	請負者	DRAWINGF	条件付必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	OTHRS	協議
段階確認書	請負者	OTHRS	協議
施設台帳	請負者	OTHRS	必須
完成図面	請負者	OTHRS	必須
その他	請負者	OTHRS	協議
設備図書	請負者	FACILITY	必須

1 完成写真含む

補足説明

必須：電子納品を必須とする書類

条件付必須：発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類

協議：電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るために、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- 打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。

- 施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF) とする。

- その他のオリジナルファイル

その他のオリジナルファイルは、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル(JPEG, TIFF)とする。

設計図 / 完成図ファイル

図面ファイルのファイル形式については、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

写真ファイルのファイル形式については、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

(1) PDF ファイルの作成

- 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- フォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。
- PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料については、しおりを省略してよい。
- セキュリティの設定は行わない。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「PHOTO」、「OTHRS」、「FACILITY」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHRS」、「FACILITY」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを置く。ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

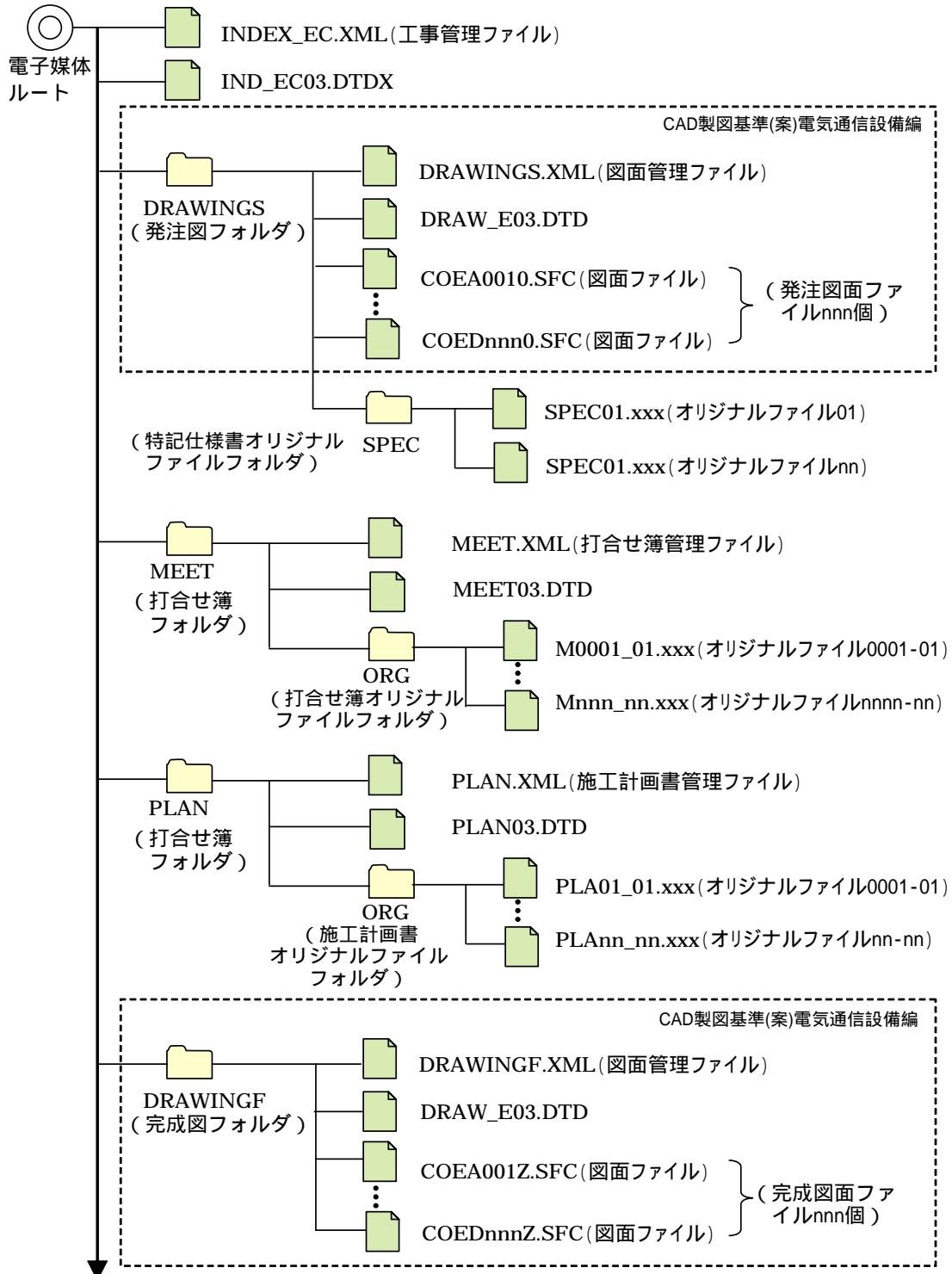


図 5.1 フォルダ構成(1/2)

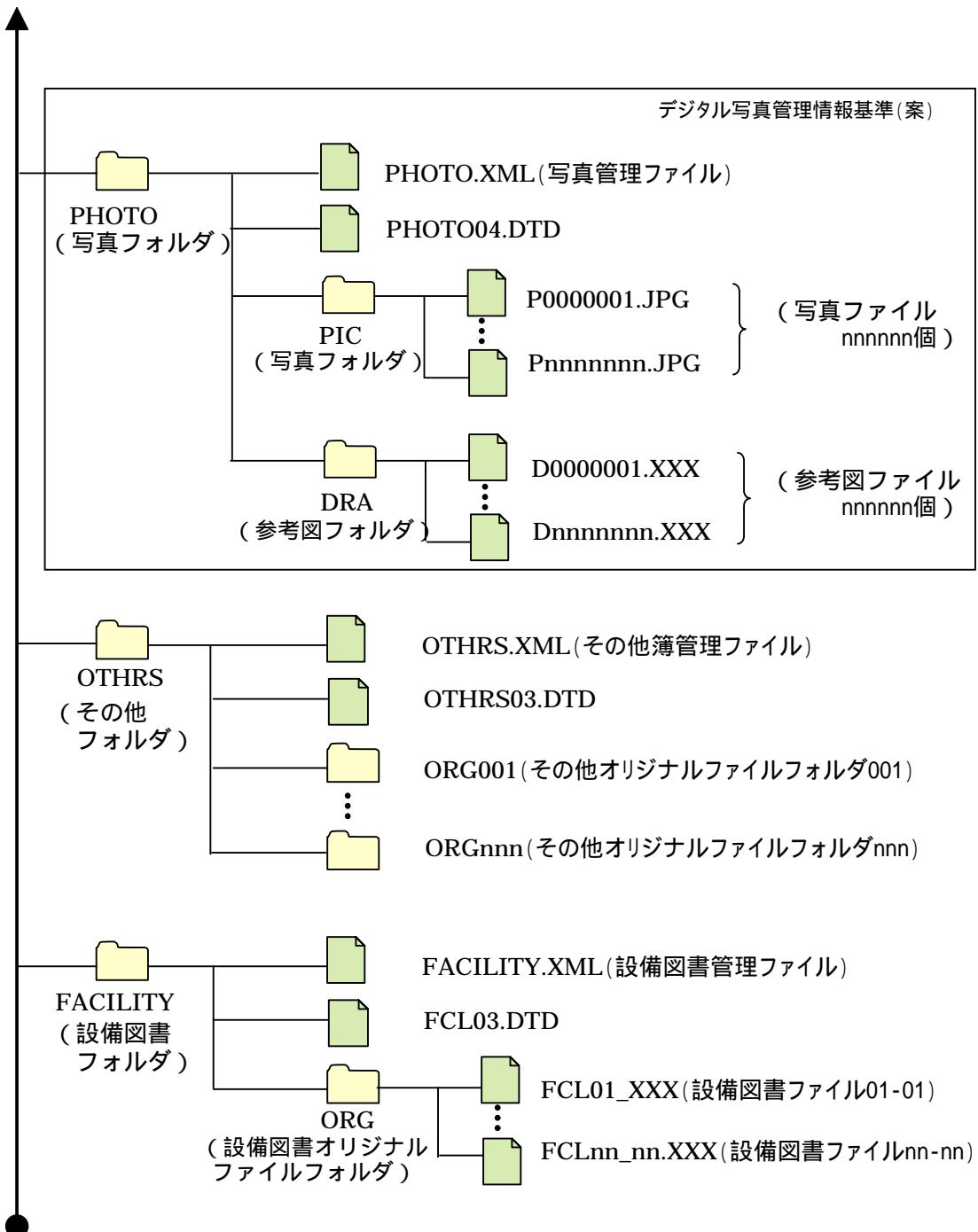


図 5.2 フォルダ構成(2/2)

5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
(ROOT)		工事管理ファイル	XML,DTD	 INDEX_EC.XML IND_EC03.DTD
発注図 (DRAWINGS)		図面管理ファイル	XML,DTD	 DRAWINGS.XML DRAW_E03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
		・ 特記仕様書	Word,Excel	オリジナルファイル
打合せ簿 (MEET)		打合せ簿管理ファイル	XML,DTD	 MEET.XML MEET03.DTD
		・ 工事打合せ簿	Word,Excel	オリジナルファイル
		・ 品質管理資料	Word,Excel PDF	オリジナルファイル
		・ 出来形管理資料	Word,Excel PDF	オリジナルファイル
		・ 安全管理資料	Word,Excel	オリジナルファイル
		・ その他の資料	Word,Excel	オリジナルファイル
施工計画書 (PLAN)		施工計画書管理ファイル	XML,DTD	 PLAN.XML PLAN03.DTD
		・ 施工計画書	Word,Excel	オリジナルファイル
完成図 (DRAWINGF)		図面管理ファイル	XML,DTD	 DRAWINGF.XML DRAW_E03.DTD
		・ 図面	SXF(SFC)	
写真 (PHOTO)		写真情報管理ファイル	XML,DTD	 PHOTO.XML PHOTO04.DTD
		・ 写真	JPEG	オリジナルファイル
		・ 参考図	JPEG,TIFF	オリジナルファイル
その他 (OTHRs)		その他管理ファイル	XML,DTD	 OTHRs.XML OTHR03.DTD
		・ 工事履行報告書	Word,Excel	オリジナルファイル
		・ 段階確認書	Word,Excel	オリジナルファイル
		・ その他の資料	Word,Excel	オリジナルファイル

フォルダ名	サブフォルダ	分類	ファイル形式	ファイルイメージ
設備図書 (FACILITY)		設備図書管理ファイル	XML,DTD	 XML FACILITY.XML  DTD FCL03.DTD
 FACILITY	 ORG  ORG	・ 設備図書	Word,Excel	 オリジナルファイル

5.5.3 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

CD - R 内の各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

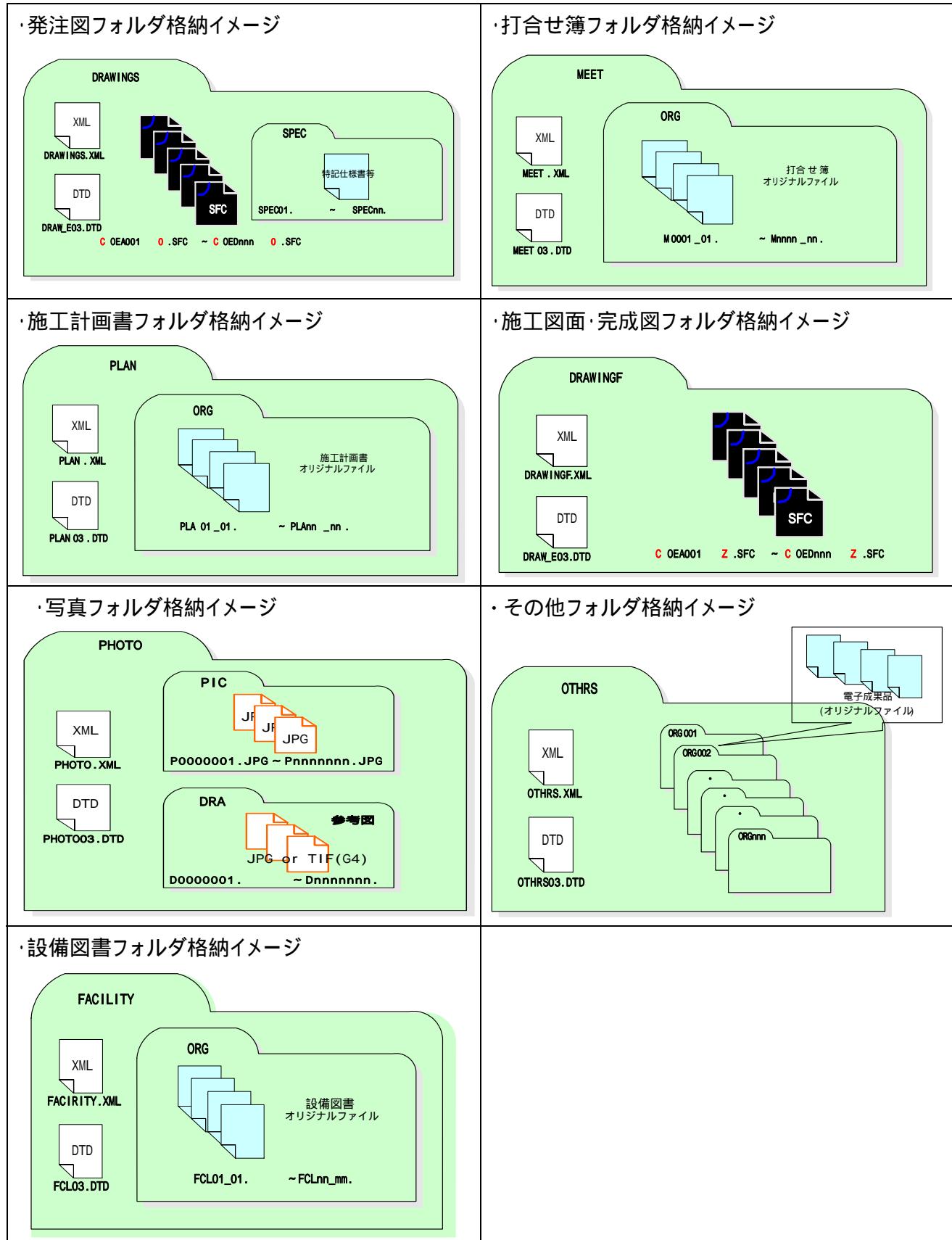


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

5.6.1 共通規則

- (1) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- (2) ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

5.6.2 管理ファイル

- (1) 工事管理ファイルは「INDEX_EC.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「IND_EC03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (2) 打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (3) 施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (4) その他管理ファイルは「OTHR.S.XML」とし、DTD は「OTHR.S03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (5) 設備図書管理ファイルは「FACILITY.XML」とし、DTD は「FCL03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (6) 図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWINGF.XML」(完成図フォルダ)とし、DTD は「DRAW_E03.DTD」(03 は版番号)とする。
- (7) 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
ただし、「PHOTO04.DTD」が公開されるまでは、「デジタル写真管理情報基準(案)平成 18 年 1 月」に記載される暫定的な取扱いに準じ、「PHOTO03.DTD」とする。
- (7) 各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。
なお、作成する場合のファイル名は、「INDEX_EC.XSL」、「MEET.XSL」、「PLAN.XSL」、「OTHR.S.XSL」、「DRAW03.XSL」、「PHOTO04.XSL」とする。

5.6.3 オリジナルファイル

- (1) 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

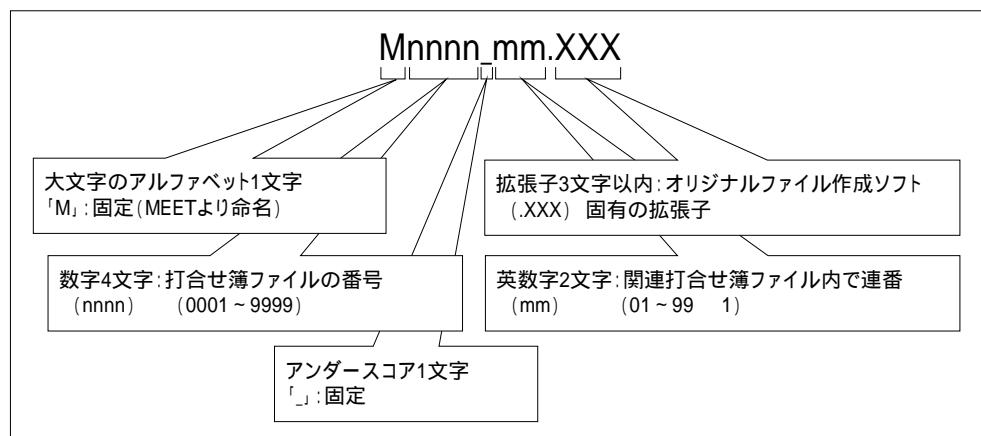


図 5.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則

(2) 施工計画書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

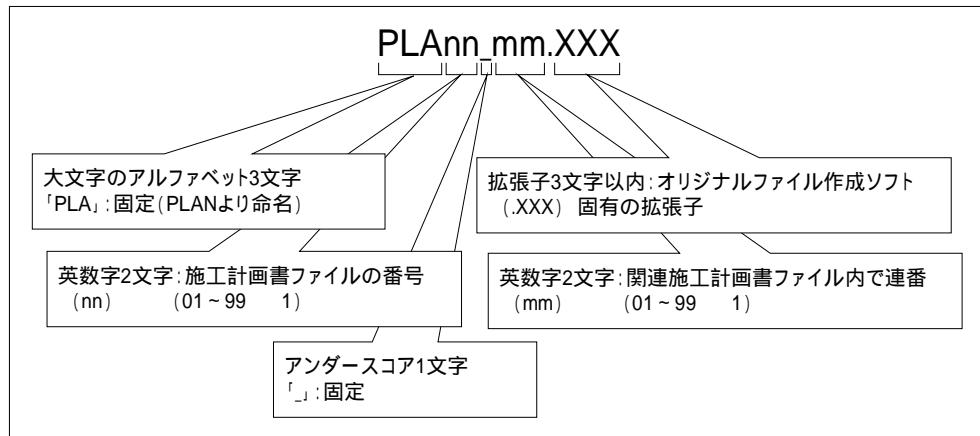


図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則

(3) 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

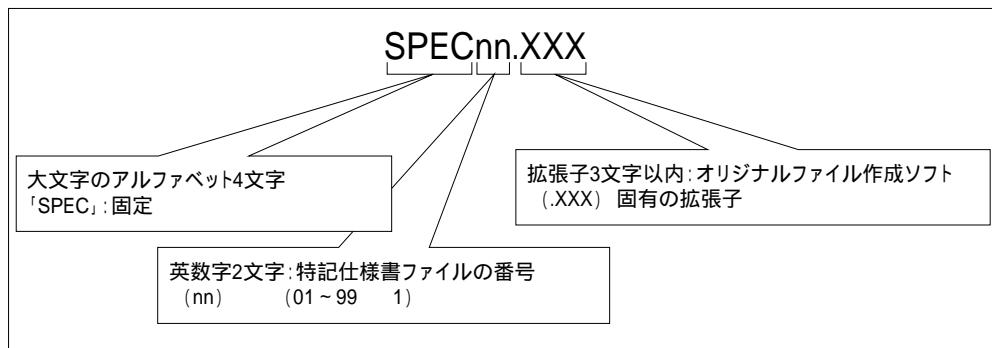


図 5.5 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則

(4) 設備図書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

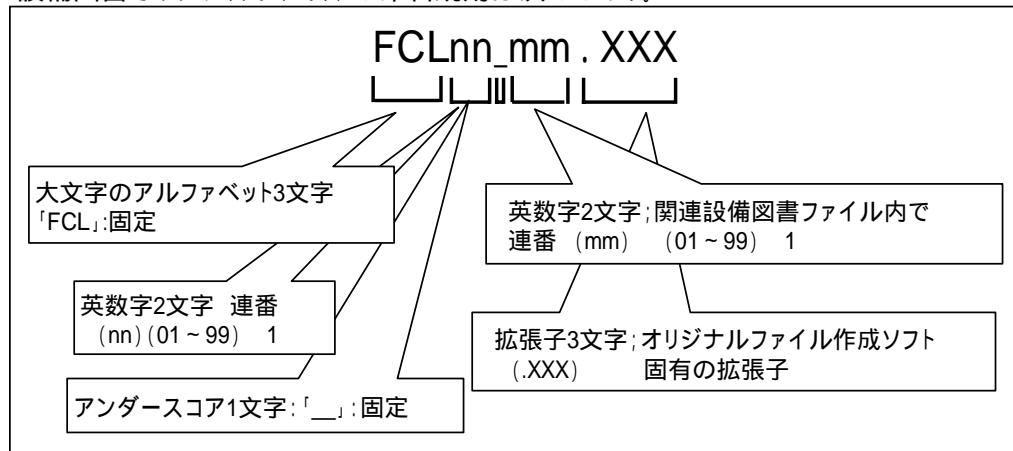


図 5.4 設備図書オリジナルファイルの命名規則

5.6.4 写真ファイル

- (1) 写真ファイルの命名規則は次のとおり。

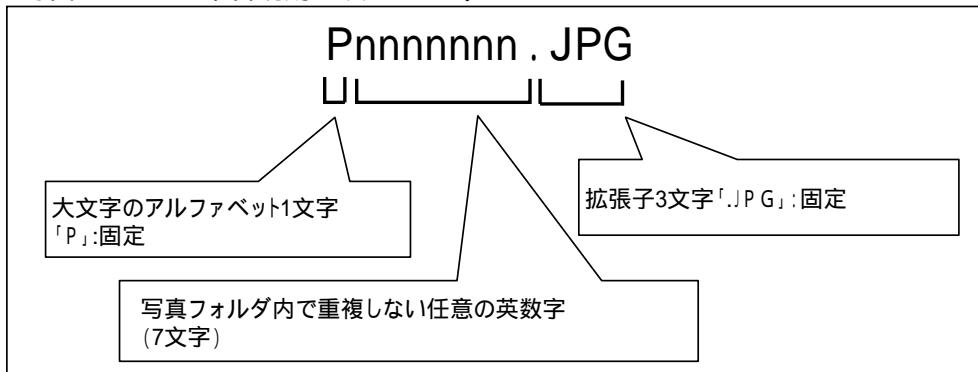


図 5.6 写真ファイルの命名規則

- (2) 参考図ファイルの命名規則は次のとおり。

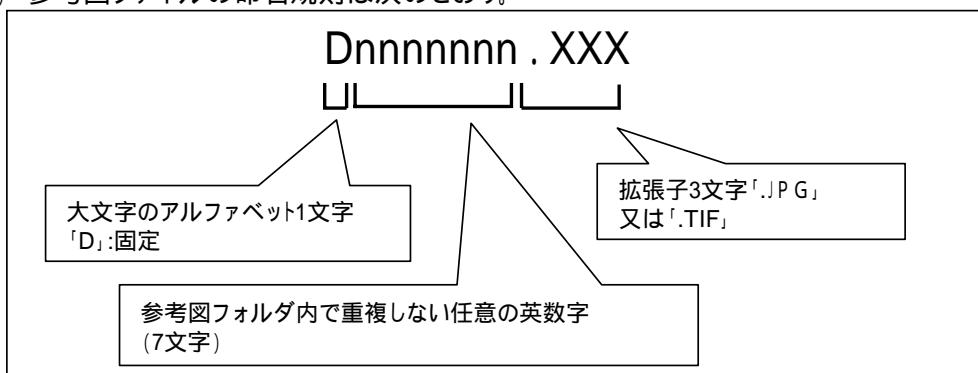


図 5.13 参考図ファイルの命名規則

補足説明

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6.3 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) オリジナルファイル

施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。ただし、欠番があっても構わない。

- 例) ワープロソフトファイル: M0001_01.doc
ワープロソフトファイル: M0001_02.doc
表計算ソフトファイル :M0001_03.xls

(3) 連番の扱い (1について)

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

- 例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

5.6.5 CAD データファイル

(1) CAD データのファイルの命名規則は次によるものとする。

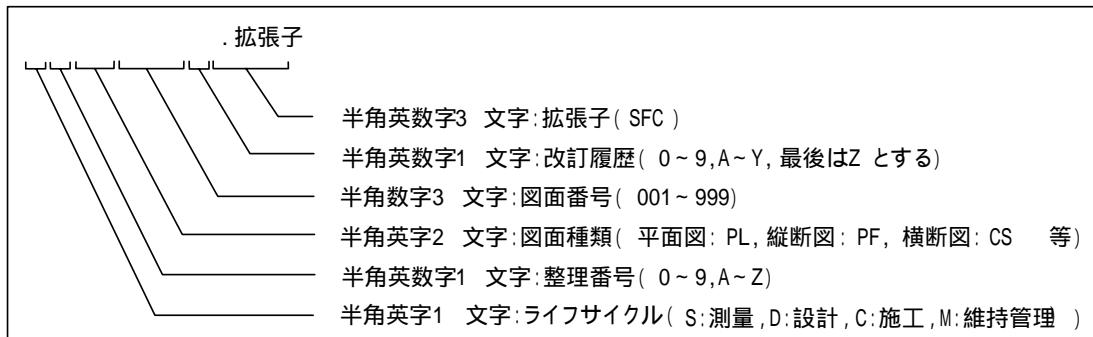


図 5.14 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案)電気通信設備編)

参考 CAD ファイルの命名規則

(例) 第1回設計変更の平面図の場合

C 1 PL 003 0 .SFC
| | | |
| | | | 拡張子 : 原則 SFC とする
| | | | 改訂履歴 : 0 から順に履歴をつける (Z は最後を意味する)
| | | | 図面番号 (表題の図面番号を記入)
| | | | 図面の種類をアルファベットで記入
| | | | 整理番号 (変更設計回数の数値を記入)
| | | | ライフサイクル (施工 : C, 維持管理 : M) を記入

拡張子は、広島県のCAD図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

完成図(DRAWINGF フォルダ)は、最後を意味する「Z」となる。発注図(変更設計を含む(DRAWINGS フォルダ))及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。

発注図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。) 通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

CAD 製図基準(案)に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。(平面図: PL, 縦断図: PF, 横断図: CS 等)

変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計(第1回変更の場合は、「1」となる)を意味する。ライフサイクルを表す半角英字1文字を記入する。工事の場合は、「施工:C」、「維持管理:M」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

5.7.1 工種の選定

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

表 5.4 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)、 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの 作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路トンネル、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は表 5.5 によることとする。

表 5.5 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
林道事業	電子化図面データの 作成要領(案)	農道、農道橋

また、下水事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 処理施設編	下水道処理施設

5.7.2 請負・発注者間での CAD ファイルの交換

請負・発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.7 CAD ファイル命名の参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

表 5.7 CAD ファイル命名 参考例

ファイル名	状況	ファイル名	状況
COPL0030.SFC	当初契約発注図面	C1PL0030.SFC	第 1 回変更契約図面
COPL0031.SFC	請負・発注者変更図面共有(1)	...	
COPL0032.SFC	請負・発注者変更図面共有(2)	C4PL003Z.SFC	完成図面(第 4 回変更)

5.8 電子媒体

5.8.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-Rの使用を原則とする。
- ・ CD-Rは、ISO9660フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・ 複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の電子納品運用ガイドライン（案）
【電気通信設備編】に従う。
- ・ 納品時には、CD-R 3部納品するほか、次の書類も提出する。
 - ・ 押印書類等の紙納品 1部
 - ・ 完成写真帳 1部

- ・ 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-Rを原則とする。
- ・ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660(レベル1)とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高いCD-R/RW用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字+拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字(A～Z, 0～9)及び、_（アンダースコア）のみと、制限が厳しくなっている。

5.8.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名

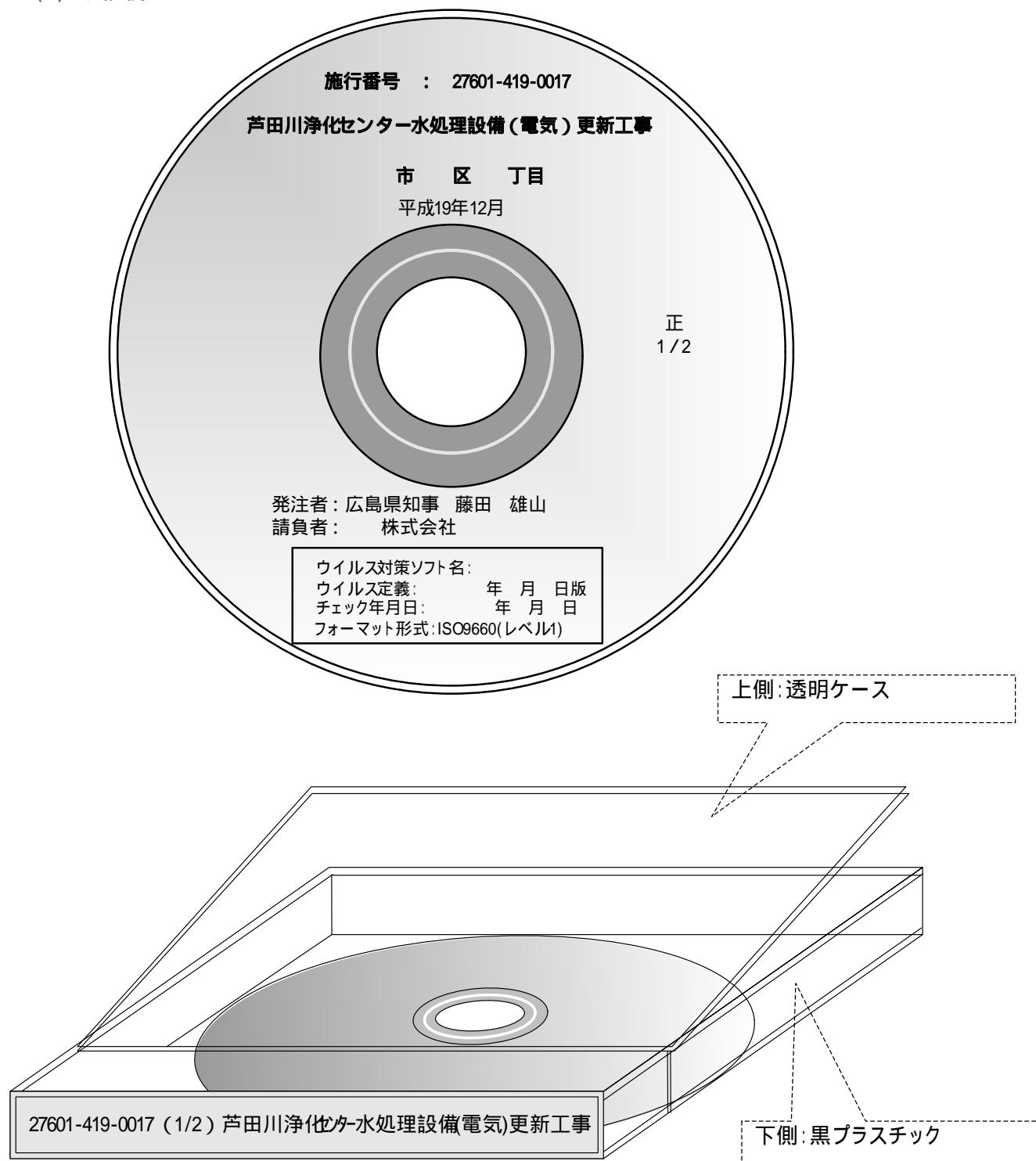
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、路線河川名等が長く書ききれないので、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載
- ・ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載
- ・ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	27601-419-0017 (1/2) 芦田川浄化センター水処理設備(機械)更新工事
(長い場合)	27601-419-0017 (1/2) 川 水処理設備(機械)

図 5.9 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.8.3 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日	
電 子 媒 体 納 品 書	
広島県知事 藤田 雄山 様	
請負者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 丁目 株式会社 印
次のとおり電子媒体を納品します。	
施行番号	27601-419-0017
工事名	芦田川浄化センター水処理設備(電気)更新工事
路河川名称 (地区名)	-
工事場所	市 区 丁目
工期	着手 平成 年 月 日 完成 平成 年 月 日
電子媒体の総枚数	枚 × 3部
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET を格納 2/2 : DRAWINGF, PHOTO, OTHRS, FACILITY を格納
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。	

図 5.10 電子媒体納品書の記載(例)

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウイルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、管理状況について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

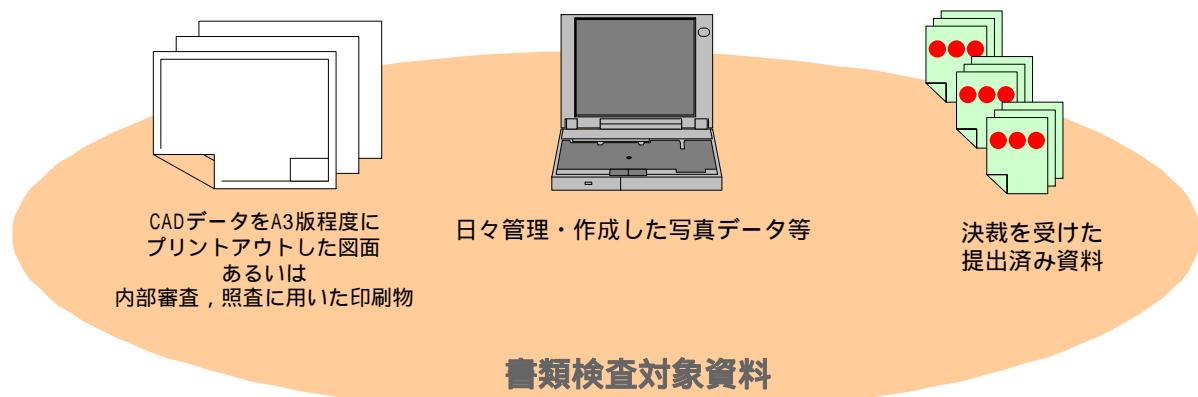


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

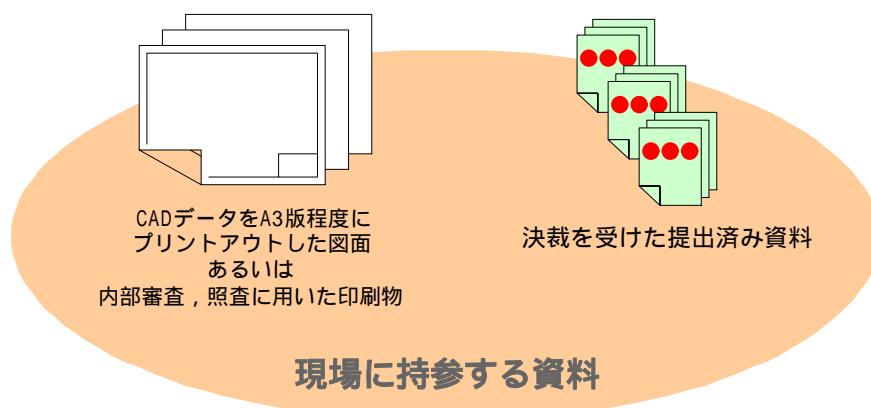


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(基礎情報,工事情報)を次頁以降に示す。

また、次項以降に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

【記入者】 : CORINS から出力される CFD ファイル

(CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット)から取り込むことが可能な項目

:電子媒体作成者が記入する項目

：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入項目(必ず記入する)

: 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)

:任意記入項目(原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、次のとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島県が定めた事項



記入上の注意

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

- (1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111 ······

0 8 2 - 2 2 8 - 2 1 1 1 · · · ×

- (2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書:広島市中区基町 10 番 52 号……

広島市中区基町 10-52 ······ x

広島市中区基町10番52号……………×

- (3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2004-03-26 ······

20040326 · · · · · x

(1) 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_EC.XML)に記入する工事管理項目は、表7.1に示すとおりとする。

表7.1 工事管理項目(1/2)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	2	半角数字	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版('電通200406-01'で固定)を記入する。 (分野:電通, 西暦年:2004, 月:06, 版:01)	電通200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために'DRAWINGS'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGSで固定)を記入する。	DRAWINGS	半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために「SPEC」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGS/SPECで固定)を記入する。	DRAWINGS/SPEC	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために「MEET」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(MEETで固定)を記入する。	MEET	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。	MEET/ORG	半角英数 大文字	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために「PLAN」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PLANで固定)を記入する。	PLAN	半角英数 大文字	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。	PLAN/ORG	半角英数 大文字	127		
	完成図フォルダ名	完成図を格納するために'DRAWINGF'フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。	DRAWINGF	半角英数 大文字	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。	PHOTO	半角英数 大文字	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために「OTHRs」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(OTHRsで固定)を記入する。	OTHRs	半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHRs/ORG001~nnn)を記入する(nnnは連番を示す)。その他オリジナルフォルダがある場合は必ず記入する。	OTHRs/ORG001	半角英数 大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。	完成図	全角文字 半角英数字	127		
工事件名等	設備図書フォルダ名	設備図書管理ファイルと設備図書オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称(FACILITYで固定)を記入する。	FACILITY	半角英数 大文字	127		
	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	設備図書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(FACILITY/ORGで固定)を記入する。	FACILITY/ORG	半角英数 大文字	127		
	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	2007	半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号を記入する。	契約図書の施行番号(14文字)を記入	27601-419-0017	半角英数字	127	
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。		施設	設備(電気)工事	127	
	工事実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	5.0	半角数字	12		
	工事分野	CORINSの「工事の分類」に従って記入する。	電気	全角文字 半角英数字	16		
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。	電気工事	全角文字 半角英数字	16		
	工種	CORINSの「工種、工法、型式」の「工種」を記入する。(複数記入可)	電気設備工事	全角文字 半角英数字	127		
	工法型式	CORINSの「工種、工法、型式」の「工法・型式」を記入する(複数記入可)。	建設電気設備工	全角文字 半角英数字	127		
住所情報	住所コード	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は'99999'とする。(複数記入可)	CORINSのコード表に示される34101~34605の数字(5桁)を記入(複数記入可)	34223	半角数字	5	
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)		広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127	
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年1月1日 2004-01-01	2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成16年12月3日 2004-12-03	2007-12-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入	受変電設備:1500kVA 自家発電設備:500kVA	全角文字 半角英数字	127	

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 工事管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
水系・路線情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系(日本測地系2000)は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。		太田川流域	全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	'現道:1'、'旧道:2'、'新道:3'、'未調査:0'のいずれかを記入する。		1	半角数字	1		
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。	原則として空欄		半角数字	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		半角数字	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。		0015 008 0016 005	半角数字	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄		半角数字	3 3 3 3		
	境界座標情報	西側境界座標経度 対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。該当がない場合は'99999999'とする。	参考資料4により記入	0342000	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
施設情報	施設名称	施設名称を記入する。		東部浄化センター	全角文字 半角英数字	127		
発注者情報	発注者 - 大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の官庁名、団体名等を記入する。	「広島県」と記入	広島県	全角文字 半角英数字	16		
	発注者 - 中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	32		
	発注者 - 小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせ、8桁で取り扱う。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401007	半角数字	8		
請負者情報	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを整備している。	建設業許可番号を記入△	34012345	半角数字	127		
予備	特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)	原則として空欄			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)				全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

(2) 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
打合せ簿情報	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。連番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中抜け(欠番)してもよい。12番目を、「00012」の様に0を付けて表現してはいけない。		1	半角数字	15		
	上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		3	半角英数字	15		
	下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		2	半角英数字	15		
	打合せ簿種類	打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)		指示	全角文字 半角英数字	16		
	打合せ簿名称	打合せ簿の標題もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。		工程に関する打合せ	全角文字 半角英数字	127		
	管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。		施工管理	全角文字 半角英数字	127		
	関連資料	関連する図面がある場合は、図面管理項目の[図面ファイル名]を記入する。(複数記入可)		C0PL00300.SFC	半角英数字大文字	12		
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目の[シリアル番号]を記入する。(複数記入可)		100	半角数字	7		
	作成者	打合せ簿の作成者を記入する。(請負者:現場代理人、請負者:主任技術者、発注者:現場監督員など)	作成者が請負者の場合 請負者名:作成者氏名 作成者が発注者の場合 発注者名:作成者氏名	建設株式会社 :広島一郎	全角文字 半角英数字	127		
	提出先	打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	提出先が発注者の場合 事務所名 提出先が請負者の場合 請負業者名	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	127		
1	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年1月1日 2004-01-01		2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	受理日付	提出先担当者が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年4月20日 2004-04-20		2007-10-02	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	完了日付	発注者又は請負者が処理・回答した年月日がある場合はCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成16年6月9日 2004-06-09		2007-10-05	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
2 オリジナルファイル情報	打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿のファイル名を記入する。(拡張子を含む)		M0001_01.DOC	半角英数字大文字	12		
	打合せ簿オリジナルファイル日本語名	打合せ簿ファイルに関する日本語名を記入する。		に関する打合せ簿 0001_01.DOC	全角文字 半角英数字	127		
	打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	打合せ簿オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョンを記入する。		Microsoft_Word_98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		の協議に関する事項の 鏡	全角文字 半角英数字	127		
その他	請負者説明文	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェーブルが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(3) 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 施工計画書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
施工 計 画 書 情 報	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通じて、一連のまとまった施工計画書についてユニークであれば、中抜けしてもよい。 12番目を，“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。		1	半角数字	15		
	施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。		施工計画書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	施工計画書の文書、図面等オリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	施工計画書オリジナルファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名を記入する。		施工計画書.DOC	全角文字 半角英数字	127		
	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	施工計画書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word .98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工計画書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		工事概要、現場組織図、安全管理	全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。 説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		紙資料：施工手順書	全角文字 半角英数字	127		
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェーブマークが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(4) その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHRS.XML)に記入する管理項目は、表7.4に示すとおりとする。

表7.4 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
サブフォルダ情報 1	その他サブフォルダ名	作成したその他サブフォルダ名(ORG001～nnn)を記入する。		ORG002	半角英数 大文字	6		
	その他サブフォルダ日本語名	格納している資料の内容がわかるようフォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	資料名		その他サブフォルダ名に格納している資料名を記入する。	に関する段階確認書	同上	127		
	オリジナルファイル情報 1	シリアル番号	シリアル番号は1より開始する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった資料についてユニークであれば、中抜けしても良い。2番目を，“00002”の様に0を付けて表現してはいけない。	1	半角数字	15		
		オリジナルファイル名	オリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)	CHK01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		オリジナルファイル日本語名	オリジナルファイルの日本語名を記入する。	20071109段階確認書.DOC	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。	Microsoft_Word_2000	同上	127		
		オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくはオリジナルファイルに示されていることを記入する。	に関する段階確認書	同上	127		
	その他	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		同上	127		
		請負者説明文	請負者側で特記すべき事項がある場合は記入する。		同上	127		
	発注者説明文	発注者側で特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。		段階確認書が重要書類であることから格納する	同上	127		
ソフトメーカー用TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)		同上	127		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(5) 設備図書管理項目

電子媒体に格納する設備図書管理情報ファイル(FACILITY.XML)に記入する管理項目は、表7.5に示すとおりとする。

表7.5 設備図書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
設備図書情報	シリアル番号	設備図書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとった設備図書についてユニークであれば、中抜けしても良い。12番目を，“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。		1	半角数字	15		
	設備図書名称	設備図書の標題を記入する。		施工図	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	設備図書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		FCL01_01.DWG	半角英数 大文字	12		
	設備図書オリジナルファイル日本語名	設備図書ファイルに関する日本語名を記入する。		設備据付詳細図.DWG	全角文字 半角英数字	127		
	設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	設備図書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		CAD Ver2005	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは設備図書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		設備据付詳細図	全角文字 半角英数字	127		
	請負者説明文	請負者側で設備図書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で設備図書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		紙資料: 図	全角文字 半角英数字	127		
	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(6) 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理情報ファイル(DRAWING.XML)に記入する管理項目は、表7.6に示すとおりとする。

表7.6 図面管理項目(1/2)

分類・項目名			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
共通情報	1	適用要領基準 A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を土木2004.06.01等の記入例に従い記入する。(分野:土木、西暦年:2004、月:06、版:01)		電通200406-01	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値) B)	「本基準(案)」で対象とする24工種と地質を001~025の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値で記入する。なお、100~999の数値を記入した場合には、3、4を必ず記入する。		001	半角数字	3		
	3	追加工種 ·1)	追加対象工種(数値) 「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100~999の数値を記入する。			半角数字	3		
	4	サブフォルダ ·1)	追加対象工種(概要) 上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ 名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。		半角英数字	8		
	6	サブフォルダ 名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。 (5とセットで複数入力可)			全角文字 半角英数字	127		
図面情報 ·2)	7	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		系統図	全角文字 半角英数字	64		
	8	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。		D0EB001Z.SFC	半角英数 大文字	12		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。		電気株式会社	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。		CAD Ver2005	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	1/		半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	1		半角数字	3		
	13	対象工種 B) (数値)	「本基準(案)」で対象とする24工種と地質を001~025の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値を昇順で記入する。	001		半角数字	3		
	14	格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。			半角英数字	8		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

表 7.6 図面管理項目(1/2)

図面情報	分類・項目名			国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
					概要	記入例				
2)	15	基準点情報	測地系	日本測地系(旧測地系)、世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	16			図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		1384115	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		()
	17		緯度経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		352250	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		()
	18			図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。			半角英数字	2		()
	19		平面直角座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。			半角英数字	11		()
	20			図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。			半角英数字	11		
	21			「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。		D-ELC-FRAM	半角英数字	11		
	22	その他	新規 レイヤ (*C)	上記23で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。		系統図の凡例図枠	全角文字 半角英数字	127		
	23			受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。		全角文字 半角英数字	127		
	24		発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。			全角文字 半角英数字	127		
	25			予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)		全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG				ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

(7) 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理情報ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表7.7に示すとおりとする。

表7.7 写真管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		POTO/PIC	半角英大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。		POTO/DRA	半角英大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)		電通200601-01	全角文字 半角英数字	30		
写真情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。123枚目を、「000123」と様に0を付けて記入してはいけない。		1	半角数字	7		
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		P0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名簿を記入する。		出来形0001.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。		1	半角数字	8		
	写真・大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。		工事	全角文字 半角英数字	8		
	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		出来形管理写真	全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの自安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		運転操作設備工	全角文字 半角英数字	127		
	撮影工種区分	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの自安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		盤据付工	全角文字 半角英数字	127		
	種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの自安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		架台据付工	全角文字 半角英数字	127		
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの自安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		架台据付工	全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。		盤架台出来形測定	全角文字 半角英数字	127		
	工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.7 写真管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
写 真 情 報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		D0000001.JPG	半角英数 大文字	12		
	参考図ファイル 日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。		位置平面図00001.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		位置平面図	全角文字 半角英数字	127		
	付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特殊事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
撮 影 情 報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		棟　室	全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合、「0」を附加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年02月26日 2006-02-06		2007-11-30	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
代表写真		工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。		1	半角数字	1		
施工管理値		黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
請負者説明文		請負者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

電気通信設備

着手前(変更)協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施行番号		
工事名		
工事場所		
工期	平成 年 月 日	~ 平成 年 月 日
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> CADソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

		成果品	電子納品	紙	備考
<input type="checkbox"/> 工事管理情報ファイル		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
発注図面フォルダ(DRAWINGS)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 特記仕様書 オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)					
<input type="checkbox"/> 打合せ簿管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施工計画書フォルダ(PLAN)					
<input type="checkbox"/> 施工計画書管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施工計画書 オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
完成図面フォルダ(DRAWINGF)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面ファイル	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
写真フォルダ(PHOTO)					必須
<input type="checkbox"/> 写真情報管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 写真ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 参考図ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式 <input type="checkbox"/> TIFF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
その他フォルダ(OTHR)					
<input type="checkbox"/> その他管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施設台帳	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 完成図	<input type="checkbox"/> CAD形式()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> その他オリジナル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
設備図書フォルダ(FACILITY)					必須
<input type="checkbox"/> 設備図書管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 設備図書 オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD, <input type="checkbox"/> EXCEL, <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須

他の書類は、紙媒体での納品とする。

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守するべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領[機械通信設備編]	平成19年	広島県
	<input type="checkbox"/> 工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成16年6月	
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) 電気通信設備編	平成16年6月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省
	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) 処理施設編	平成17年3月	社団法人全国上下水道コンサルタント協会
写真	<input type="checkbox"/> デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案) 電気通信設備編	平成16年5月	

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク)
	CD-RW(追記可能コンパクトディスク)
	外付けハードディスク
	その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

電気通信設備

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

施行番号	
工事名	
工事場所	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他() 請負者 機器：パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体系図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果総括表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 安全管理資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 材料確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 立会書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 工事写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 施工台帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

--

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参資図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合は、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 4 CD-R が複数枚になる場合の処置

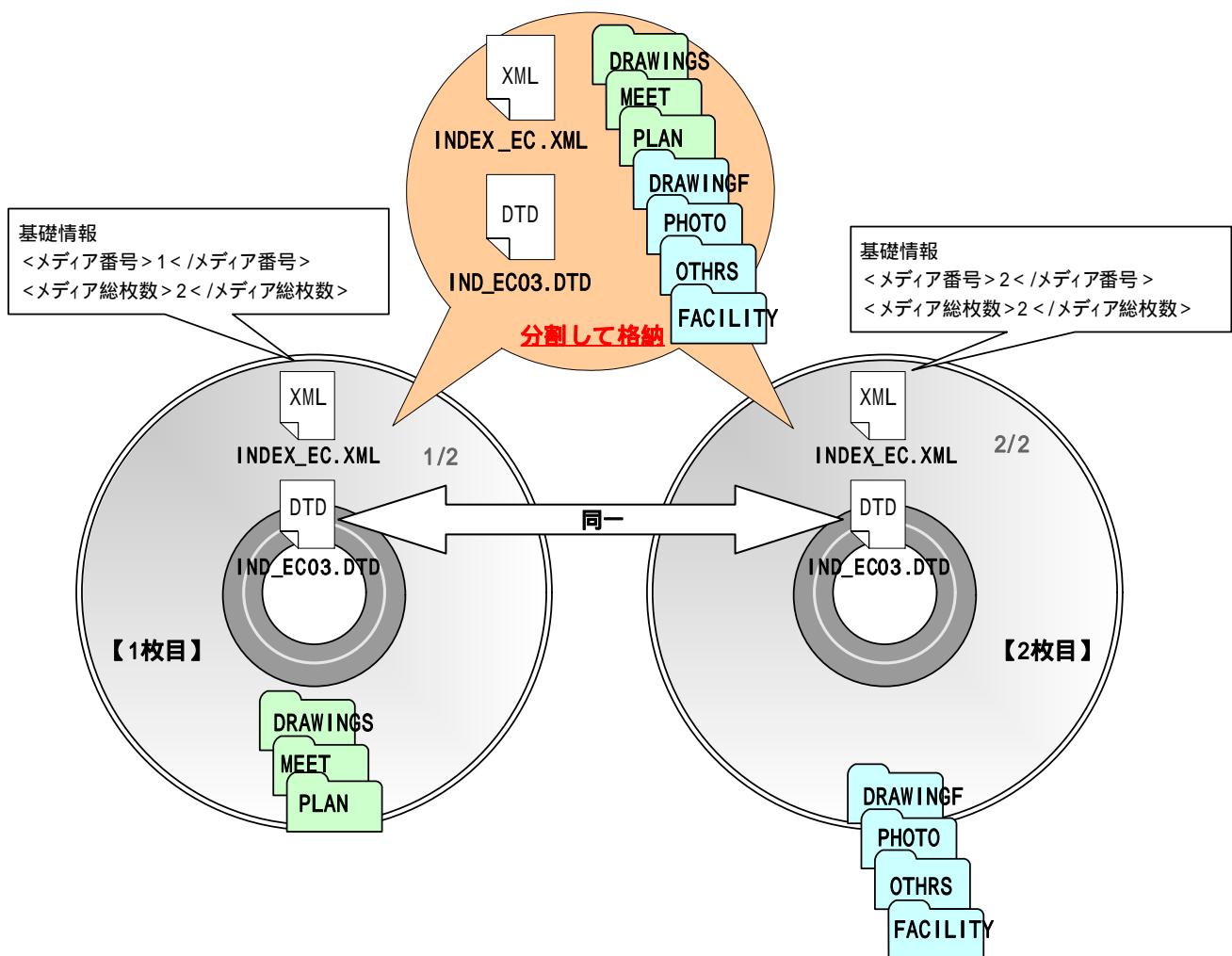
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_C.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

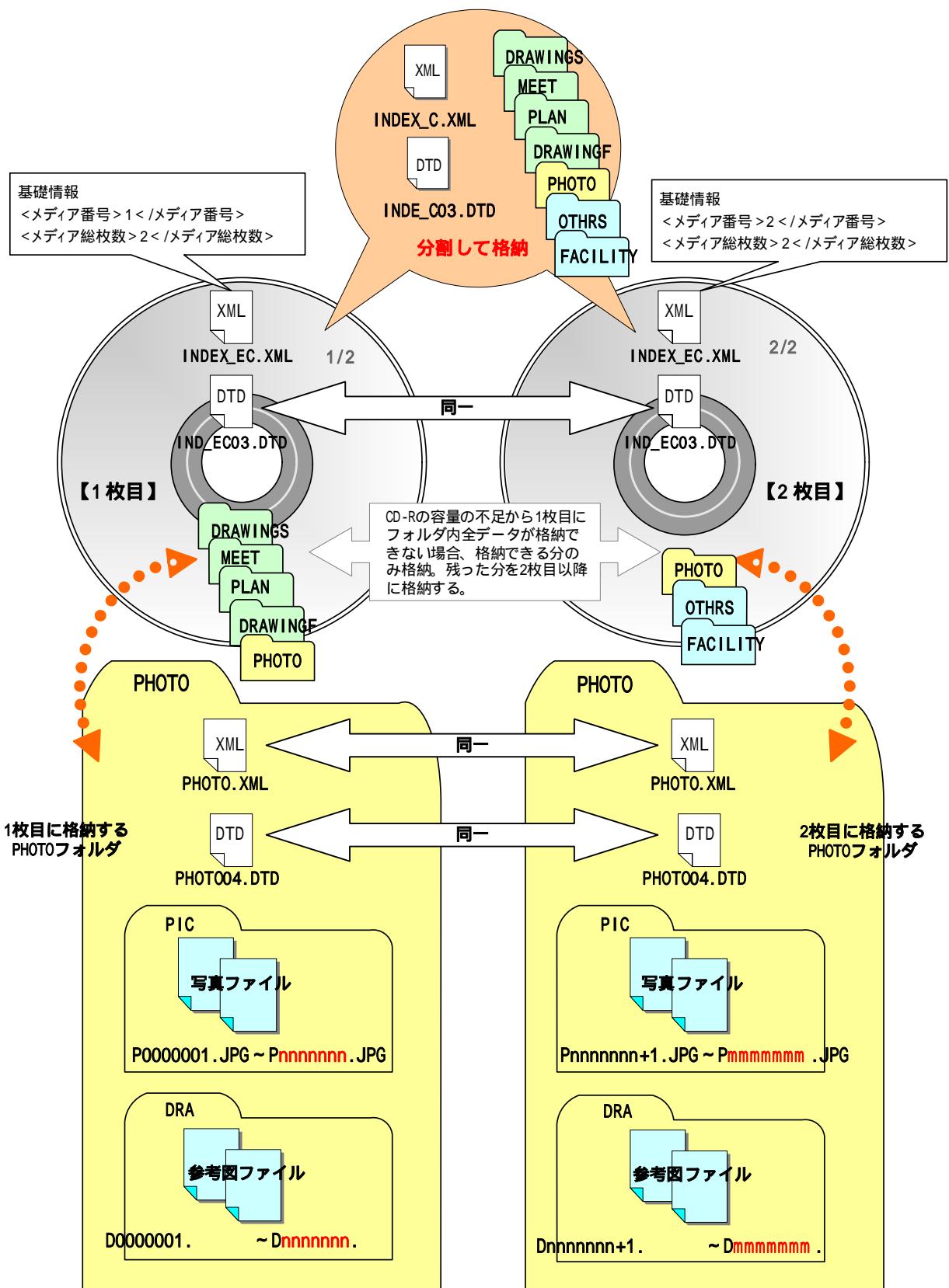
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 3.1 に示す。



参資図 3.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 3.2 CD-R が2枚になる場合の作成例 によるものとする。



参資図 3.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内も分割する必要がある場合】¹

1 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一致するものではありません。

参考資料 5 電子化対象書類一覧表

成果品の種類	フォルダ名	ファイル形式	関係する要領・基準類等		格納書類例
工事情報	電子媒体ルート	XML	工事管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	·INDEX_EC.XML ·IND_EC03DTD
発注図	DRAWINGS	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)電気通信設備編	·DRAWINGS.XML ·DRAW_E03DTD
		SXF(SFC)	発注図ファイル		·発注図
	DRAWINGS/SPEC	オリジナル	特記仕様書オリジナルファイル		·現場説明書(技術的事項)
打合せ簿	MEET	XML	打合せ簿管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)電気通信設備編	·MEET.XML ·MEET03DTD
	MEET/ORG	オリジナル	打合せ簿オリジナルファイル		·工事打合せ簿 (指示、承諾、協議等の文書 (鏡)及び添付資料(文書、図 面、写真) ·品質管理資料 (承諾仕様比較表、機器材料 搬入検査(簿)、材料確認書、 検査試験成績表、各種計算 書、品質管理図等) ·出来形管理資料 (測定結果総括表、一覧表、出 来形管理図表等)
施工計画書	PLAN	XML	施工計画書管理ファイル		·PLAN.XML ·PRAN03DTD
	PLAN/ORG	オリジナル	施工計画書オリジナルファイル		·施工計画書
完成図	DRAWINGF	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)電 気通信設備編	·DRAWINGF.XML ·DRAW_E03DTD
		SXF(SFC)	完成図ファイル		·完成図
写真	PHOTO	XML	写真管理ファイル	デジタル写真管理情 報基準(案)	·PHOTO.XML ·PHOTO04DTD
	PHOTO/PIC	JPEG	写真ファイル		·完成写真 ·工事写真 (施工前・中・後、施工状況、安 全管理、品質管理、出来形管 理等)
	PHOTO/DRA	JPEG又は TIFF	参考図ファイル		·撮影場所・方向図 等
その他	OTHRS	XML	その他管理ファイル	工事完成図書の電子 納品要領(案)電気通信 設備編	·OTHRS.XML ·OTHRS_03DTD
	OTHRS/ORGnnn	オリジナル	その他オリジナルファイル		·完成図 ·期間別工事工程報告書 ·段階確認書 等
設備図書	FACILITY	XML	設備図書管理ファイル	工事完成図書の電子 納品要領(案)電気通信 設備編	·FACILITY.XML ·FCL_03DTD
	FACILITY/ORG	オリジナル	設備図書オリジナルファイル		·諸官庁届出書類 ·機器製作図 ·取扱説明書 ·試験成績書 ·施工図 ·設備台帳 等

**広島県電子納品実施要領
[機械設備工事編]
(案)**

平成 19 年 月

広 島 県

- 目 次 -

1 広島県電子納品実施要領 [機械設備工事編] の位置付け	1
1.1 はじめに	1
1.2 適用	1
1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い	1
1.4 問合せ	2
2 電子納品の定義と適用	3
2.1 電子納品の定義	3
2.2 広島県の電子納品適用範囲	3
2.3 適用基準	4
3 電子納品実施に必要な環境・準備	6
3.1 機器及びソフトウェア	6
3.2 発注時の特記仕様書への記載	6
4 電子納品の手順・事前協議	7
4.1 電子納品手順	7
4.2 事前協議	8
5 電子成果品の作成	9
5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方	9
5.2 工事完成図書の電子化（電子納品）対象書類	10
5.3 データの管理	10
5.4 広島県の標準ファイル形式	11
5.5 フォルダ構成及びファイル形式	12
5.6 ファイルの命名規則	21
5.7 C A D ファイルに関する運用	27
5.8 電子媒体	28
6 検査（中間検査・完成検査）	32
6.1 中間検査の取扱い	32
6.2 書類検査	32
6.3 現場検査	33
7 成果品の管理項目	34
参考資料 1 着手前協議チェックシート	51
参考資料 2 検査前協議チェックシート	54
参考資料 3 境界座標の記入	55
参考資料 4 C D - R が複数枚になる場合の処置	56
参考資料 5 電子化対象書類一覧表	58

1 広島県電子納品実施要領[機械設備工事編]の位置付け

1.1 はじめに

広島県電子納品実施要領[機械設備工事編]（以下、「本要領」という。）は、広島県が実施する工事において、電子納品を円滑に実施するために電子納品全般の基本事項について明記したものであり、既存の国土交通省等の電子納品関係要領(案)及び基準(案)等に準拠しつつ、電子化範囲の明確化、県の実態反映、担当者の理解促進を念頭におき、本県版の電子納品実施要領として策定したものである。広島県が実施する電子納品は、本要領に基づき実施することとする。

また、本要領どおりに電子納品が行えず、電子化対応が特に困難である場合や、逆に電子化することが請負・発注者双方にとって非効率的である場合については、適宜、請負・発注者間において協議するものとする。

最後に、電子納品の実施にあたっては、請負・発注者ともに新たな取組であることを十分に認識したうえ、発注者としては請負者に過度の負担を強いることなく、請負者としては途中段階でのデータ破壊等を招かぬよう、ウィルス対策やデータのバックアップなどを必要に応じて行うなど、それぞれの立場において必要な対応をとることとする。

1.2 適用

本要領は、表 1.1 共通仕様書及び特記仕様書において規定される成果品に適用する。

表 1.1 共通仕様書

名 称	備 考
機械工事共通仕様書(案)	国土交通省
機械工事完成図書作成要領(案)	国土交通省
機械設備 標準仕様書	日本下水道事業団

1.3 国土交通省の要領・基準との差異とその取扱い

本要領は、請負者の混乱を防ぐため、原則、国土交通省が策定した要領・基準等を準拠している。しかし、部分的に広島県が定めた取扱いもあることから、その部分については、本要領を優先することとする。なお、本要領と国土交通省が策定した要領・基準等の差異を次に示す。

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(1/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
CAD 図面に関する基準類	・CAD 製図基準(案) ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案)	・CAD 製図基準(案) ・CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 ・CAD 図面作成要領(案) ・電子化図面データの作成要領(案)	2.3
有効画素数(デジタル写真)	100 万画素程度	100 万画素以上かつ、CD 枚数が増えないように、協議して決定する。	5.1(5)
CAD 図面のファイルの形式	原則として、SXF(P21)	原則として、SXF(SFC)	5.1(7)

表 1.2 国土交通省と広島県との差異(2/2)

項 目	内 容		参照章
	国土交通省	広島県	
オリジナルファイルの形式	請負・発注者間で協議し決定	原則、次の形式による Word・Excel・JPEG・TIFF・PDF	5.4
CAD ファイル命名規則の整理番号	請負・発注者間で協議し決定	整理番号は設計変更回数の数値を記入	5.6.5
納品物	CD-R 2部	CD-R 3部 押印書類等の紙納品 1部 完成写真帳 1部	5.8.1
電子媒体等の表記	8 項目について記載	9 項目について記載 「工事場所」を追加 請負・発注者の署名欄は不要	5.8.2
電子媒体納品書	要	要(広島県様式)	5.8.3
管理ファイルの記載内容	「7 成果品の管理項目」記載例参照		7(1) ~ (12)

1.4 問合せ

1.4.1 電子納品に関する問合せ

電子納品に関する問合せは、事前に国土交通省国土技術政策総合研究所の Web サイト「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」の Q&A ページを参照すること。
(これまでに寄せられた電子納品に関する質問・回答が掲載)

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト

<http://www.nilim-ed.jp/>

「CALS/EC 電子納品に関する要領・基準」Web サイト Q&A ページ

http://www.nilim-ed.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm

1.4.2 広島県の電子納品運用等に関する問合せ

本要領及び電子納品実施上の運用等に関する問い合わせ先は、次のとおり。

表 1.3 広島県の電子納品運用等に関する問合せ先

電子納品全般に係る事項	機械設備工事に係る事項
土木部総務管理局技術指導室 IT 推進グループ TEL 082-513-3861 FAX 082-223-3593 E-mail dogishidou@pref.hiroshima.jp	都市部都市事業局下水道室 特殊設備グループ TEL 082-513-4141 FAX 082-228-2397 E-mail togesui@pref.hiroshima.jp

2 電子納品の定義と適用

2.1 電子納品の定義

工事完成図書の電子納品(以下、「電子納品」という。)とは、工事の各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、本要領及び国土交通省等が策定している各種の電子納品要領(案)、基準(案)に基づいて作成されたものを指す。

2.2 広島県の電子納品適用範囲

広島県の電子納品の適用範囲は、これまで段階的に拡大してきているが、本要領の適用範囲については、別途通知する。

ただし、次の事項に該当するものについては、原則、電子納品を行うこととする。

発注者が発注図を CAD ファイル(SXF(SFC))で保有しているもの。

受注者より電子納品の申し出があったもの(部分的な電子納品含む)及び受発注者間で協議が整ったもの。

電子納品適用範囲については、別途ホームページ等により、お知らせします。

2.3 適用基準

電子納品にあたっては、国土交通省が策定した要領・基準等に準拠することとする。ただし、本要領と差異が生じた場合は、本要領を優先するものとする。

種別	要領・基準等	策定年月	策定者
全般	工事完成図書の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
図面	CAD製図基準(案) 機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	
	電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省
写真	デジタル写真管理情報基準(案)	平成17年4月	国土交通省
その他	電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	平成18年3月	

国土交通省がまとめたガイドラインを次に示す。

表 2.1 電子納品関連ガイドライン

名 称	策定年月	策定者
電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編【工事】	平成18年3月	
CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編	平成17年8月	国土交通省
電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	平成18年3月	

国土交通省の要領・基準及びガイドラインは、次の各ホームページからダウンロードできます。

国土交通省国土技術政策総合研究所HP <http://www.nilim-ed.jp>

広島県の運用

国土交通省等の要領・基準等の改訂の取扱い

本要領が準拠する国土交通省等の要領・基準等が年度途中に改訂があるが、別途通知等があるまでは、本要領に記載する策定年月のものを適用する。

下水道事業の取扱い

国土交通省が策定している要領・基準等のCAD製図に関する項目について、下水道事業の適用が困難であり、受発注者協議により、その取り扱いを定めるものとする。

(参考) CAD製図基準(案)処理施設編(H17.3)

解説 適用基準

要領・基準等及び電子納品成果(フォルダ)等の関連イメージ

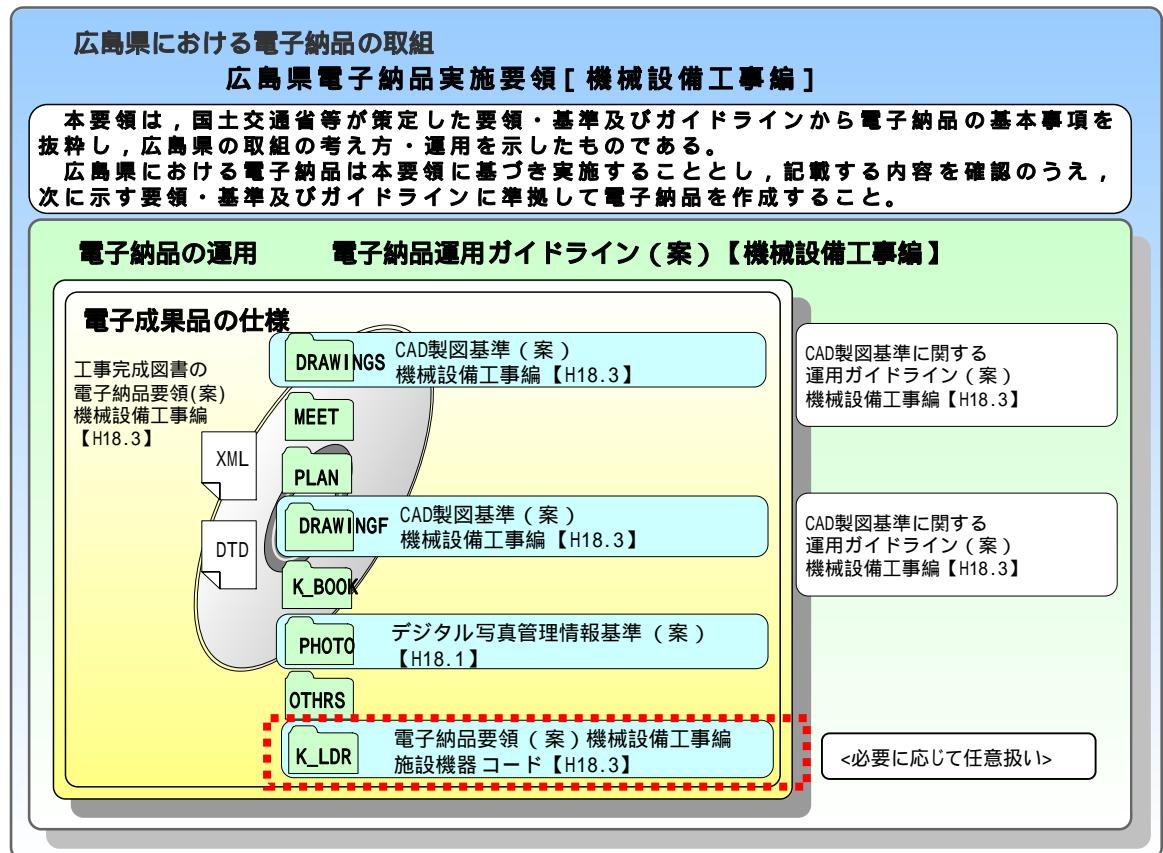


図 2.1 要領・基準等の関係イメージ図

国の要領・基準等の概要

- (1) **電子納品運用ガイドライン(案)【機械設備工事編】**
公共工事の発注準備段階から保管管理全般にわたり、電子納品の運用に係わる事項について記載したもの。(請負・発注者間の協議、電子成果品作成、検査等)
- (2) **工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編**
工事の電子成果品を作成する際のフォルダ構成やファイル形式等、電子成果品の仕様等について記載したもの。
- (3) **CAD 製図基準(案)機械設備工事編**
CAD データ作成に当たり必要となる属性情報(ファイル名、レイヤ名等)、フォルダ構成、ファイル形式等の標準仕様を定めたもの。
- (4) **デジタル写真管理情報基準(案)**
写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたもの。
- (5) **電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード**
(2)において必要に応じて任意扱いとする「K_LDR」(台帳)フォルダに格納する台帳管理ファイルや施設台帳ファイルに関する電子データ形式の標準を定めている。
- (6) **CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)機械設備工事編**
CAD データの取扱いについて、発注者及び請負者が留意すべき事項及び参考となる事項を示し、統一的な運用を図ることを目的に作成したもの。

3 電子納品実施に必要な環境・準備

3.1 機器及びソフトウェア

電子納品に必要な機器及びソフトウェア等は、次のとおりである。

機器類

- ・ パソコン
- ・ プリンタ
- ・ C D - R ドライブ
- ・ デジタルカメラ

ソフト類

- ・ ワープロソフト
- ・ 表計算ソフト
- ・ CADソフト（SXF 対応）
- ・ PDF 作成ソフト
- ・ ウィルスチェックソフト
- ・ 電子納品作成支援ソフト
- ・ 圧縮解凍ソフト

(1) 機器類

- ・ デジタルカメラについては、100万画素以上とすること。
(黒板の文字が確認できることを指標とする。)
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

(2) ソフト類

- ・ ワープロ及び表計算ソフトは、Word・Excel とする。
- ・ CAD ソフトは、SXF 対応のものとする。
- ・ PDF 作成ソフトのバージョンは、PDF1.2 以上(= 日本語版)とする。
- ・ 圧縮解凍ソフトは、ZIP 及び LZH とする。
- ・ その他は、特に仕様を設けない。

参考 CADソフト

SXF 対応の CAD ソフトは、オープンCADフォーマット評議会のホームページを参照

<http://www.ocf.or.jp/index.shtml>

3.2 発注時の特記仕様書への記載

発注者は、対象とする工事の特記仕様書に電子納品に関する事項を記載することとする。

第一 条（電子納品）

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「広島県電子納品実施要領【機械設備工事編】平成 19 年 月版(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

第二 条(工事完成図書の提出)

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で3部提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

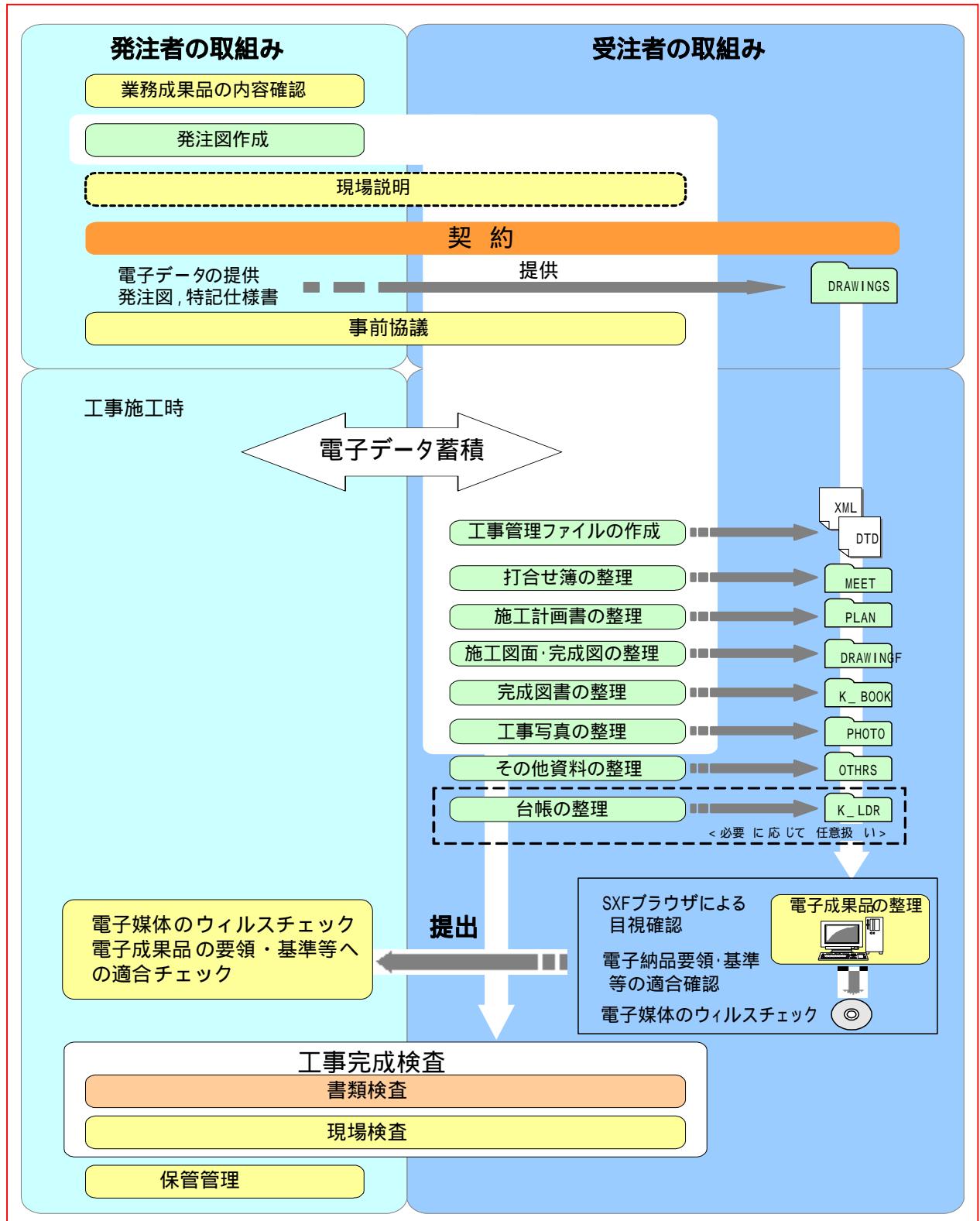
また、成果品の提出の際には、ウイルス対策を実施した上で提出する。

なお、「紙」による報告書の提出は監督員と協議の上、決定する。

4 電子納品の手順・事前協議

4.1 電子納品手順

工事発注準備から工事完成検査にいたる電子納品の流れを次に示す。



4.2 事前協議

施工期間中の混乱を避けるため、着手時には本要領をもとに、請負・発注者間で着手前に協議し、双方の合意を図るものとする。

また、検査の円滑な進行及び納品データの適正な保管管理の観点から、検査前にも再度協議するものとする。

なお、事前協議については、工事打合せ簿により協議すること。

本要領及び準拠する要領・基準等は、電子納品にかかる全ての事項を明確に規定しているものではなく、また紙から電子化への過渡期であることから、双方の思い込みや前例などから無用な混乱をきたす可能性がある。そのため、不確定要素を含めた各事項について、あらかじめ請負・発注者間で取り決めておくこと(事前協議)が必要である。

事前協議は、工事施工中の手戻りの防止や検査事務の円滑化のため、着手前及び検査前に行うこととする。

なお、施工中等に疑義が生じた場合は、隨時、請負・発注者間で確認・協議を行うこととする。

(1) 着手前協議

着手前協議は、参考資料1 着手前(変更)協議チェックシートに基づいて協議を行うものとする。

なお、着手前協議で取り決めておくべき主な事項は次のとおりとする。

- ・ 電子納品の対象範囲
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 電子化が困難な書類の取扱い
- ・ CAD 作図の工種に関する作図基準及び適用工種
(サブフォルダの有無及びファイル命名等含む)
- ・ 基準にない項目の取扱い

(2) 検査前協議

検査事務の効率化及び納品されたデータの後の工程への利活用を図るため、納品物の内容をあらかじめ確認する事が重要である。これも着手前協議同様、参考資料2 検査前協議チェックシートに基づき協議を行うものとし、主な事項は次のとおりとする。

- ・ 検査日時・場所
- ・ 検査に使用する機器の準備
- ・ 書類作成用のソフトウェア及びファイル形式
- ・ 書類毎の検査形態(紙・電子)の確認

5 電子成果品の作成

5.1 広島県の電子データ作成の基本的な考え方

(1) 電子ファイルの作成

新規に作成するものは、5.4 広島県の標準ファイル形式により電子化する。

(2) 発注者からのデータ提供の有無

- (a) 特記仕様書・発注図・完成図は、発注者からデータ受領した場合のみ対象とする。
- (b) 工事着手時に電子データを発注者から受領していないもの、電子化の難しいもの及び紙での流通が主な書類一式(カタログ等)は電子納品を行わない。

(3) 押印書類

- (a) 従来どおり押印された書類を紙納品する。
- (b) 発注者・請負者の協議が整った場合は、積極的な電子納品への取組として押印前の書類を、別途、電子データで提出する。(ファイル形式等は各フォルダの規定に従う。)
- (c) 印刷・押印後の書類を、スキャナにより電子化し電子納品をする必要はない。

(4) スキャナによる電子化

スキャナによるアナログからデジタルへの変換は原則行わない。

(5) デジタルカメラによる写真撮影

黒板の文字等が確認できることを指標とし、100万画素以上とする。参考として、表 5.1 に画素数等を示すので、デジタルカメラ等の設定の指標とすることとする。

また、CD-R の枚数が増えないように協議のうえ、適正な画素数を決定すること。

なお、写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

表 5.1 デジタルカメラの有効画素数参考例

画 素 数	容 量 / 枚	備 考
80 万画素 1024 × 768	200KB 程度	× 不可
120 万画素 1280 × 960	300KB 程度	
200 万画素 1600 × 1200	500KB 程度	
300 万画素 2048 × 1536	800KB 程度	

(6) 特殊ソフト利用の書類の電子化(品質管理・出来型管理資料)

品質・出来形管理資料を電子納品する場合は、Word、Excel 及び PDF ファイルにより提出することとし、請負者等の押印は不要とする。

なお、印刷・押印後の書類をスキャンしたものによる電子納品は行わないこととする。

(7) CAD 図面のファイル形式

SXF(SFC)形式とする。

SXF 形式とは、CAD データ交換仕様に基づくファイル形式で、P21 形式と SFC 形式があるが、広島県では SFC 形式を採用する。

各種 CAD ソフトで作成された図面を SXF(SFC)形式に変換して納品する場合、SXF ブラウザにて必ず図面チェックし、文字化けがないか等の確認行為を行うこと。

5.2 工事完成図書の電子化(電子納品)対象書類

電子納品対象データは、次の図書を基本とし、契約に係る書類(特記仕様書を除く)については対象外とし、次のとおり実施する。

項目	作成者	フォルダ	電子納品対象
管理ファイル	請負者	-	必須
発注図面	発注者	DRAWINGS	条件付必須
特記仕様書	発注者	DRAWINGS SPEC	条件付必須
施工計画書	請負者	PLAN	協議
工事打合せ簿	発注者・請負者	MEET	協議
施工図面・完成図	請負者	DRAWINGF	条件付必須
完成図書	請負者	K_BOOK	必須
写真 ¹	請負者	PHOTO	必須
工事履行報告書	請負者	0THRS	協議
段階確認書	請負者	0THRS	協議
完成図	請負者	0THRS	必須
その他	請負者	0THRS	協議
台帳	請負者	K_LDR	必須

1 完成写真含む

補足説明

必須：電子納品を必須とする書類

条件付必須：発注者が請負者へ電子データを提供した場合に電子納品を必須とする書類

協議：電子納品必須書類ではないが、積極的な電子化の取組みとして請負者からの申し出及び請負・発注者間で着手前協議が整った場合に対象とする書類

5.3 データの管理

電子納品対象の電子データは、工事着手から納品までの長期間にわたり、請負者が管理するコンピュータ等に保管されることとなる。これらのデータは、機器の故障や誤作動(停電・落雷など)による破損等により消失する可能性がある。また、過失による誤操作、あるいは故意の妨害行為により書き換えられたり消去されたりする可能性もある。

このようなトラブルからデータを守るために、定期的に電子媒体等(MO, CD-RW, DVD-RAM etc.)にバックアップを行っておくこととする。

5.4 広島県の標準ファイル形式

成果品の電子データのファイル形式については、次のとおりとする。

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイル

工事管理ファイル及び各フォルダの管理情報ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。

オリジナルファイル

- 打合せ簿オリジナルファイル

打合せ簿オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF)、図面ファイル(SXF(SFC)形式)、PDF 形式とする。

- 施工計画書オリジナルファイル

施工計画書オリジナルファイルは、基本的には、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル (JPEG, TIFF) とする。

- その他のオリジナルファイル

その他のオリジナルファイルは、Word ファイル・Excel ファイル、画像ファイル(JPEG, TIFF)とする。

設計図 / 完成図ファイル

図面ファイルのファイル形式については、SXF(SFC)形式とする。

写真ファイル

写真ファイルのファイル形式については、JPEG とする。ただし、参考図ファイルは、JPEG 又は TIFF 形式とする。

(1) PDF ファイルの作成

- 用紙サイズは、A4 縦を基本とする。
- フォントの埋めこみは行わない。また、特殊なフォントは用いない。
- PDF 形式の目次である「しおり(ブックマーク)」を該当ページへリンクするように作成する。ただし、頁数の少ない資料については、しおりを省略してよい。
- セキュリティの設定は行わない。

5.5 フォルダ構成及びファイル形式

5.5.1 フォルダ構成

国土交通省の要領に定められているとおり、電子媒体のルート直下に「DRAWINGS」、「MEET」、「PLAN」、「DRAWINGF」、「B_BOOK」、「PHOTO」、「OTHRS」、「K_LDR」のフォルダ及び工事管理ファイルを置く。また「MEET」、「PLAN」、「OTHRS」フォルダの下に「ORG」サブフォルダを、「B_BOOK」フォルダの下に「B_SPC」、「B_CHECK」、「B_INST」、「B_DEVICE」、「B_EXAM」、「B_MANUAL」サブフォルダを置く。ただし、格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

国土交通省の要領に示されるとおり、各フォルダ及びサブフォルダの構成は図 5.1 のとおりとする。

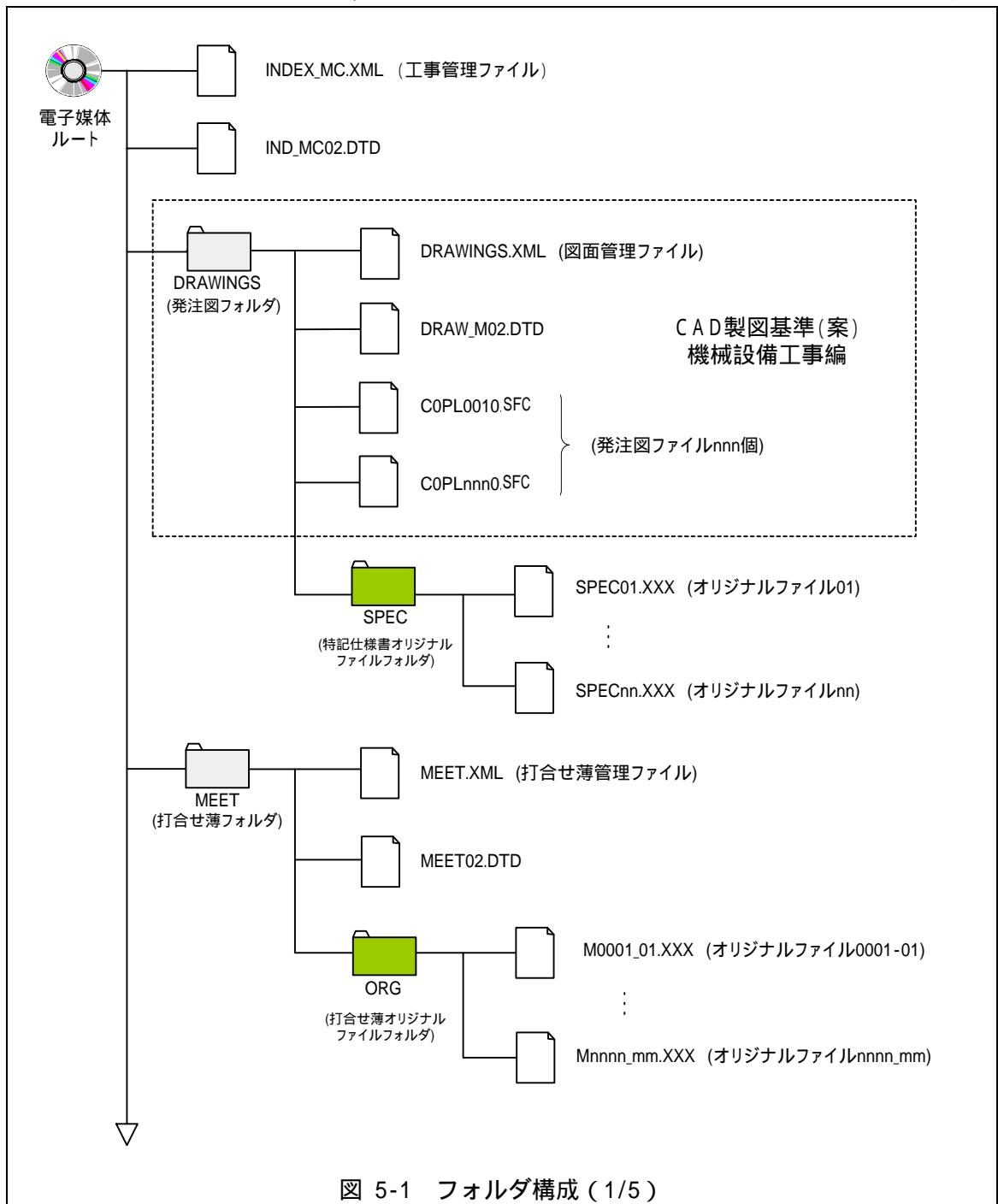
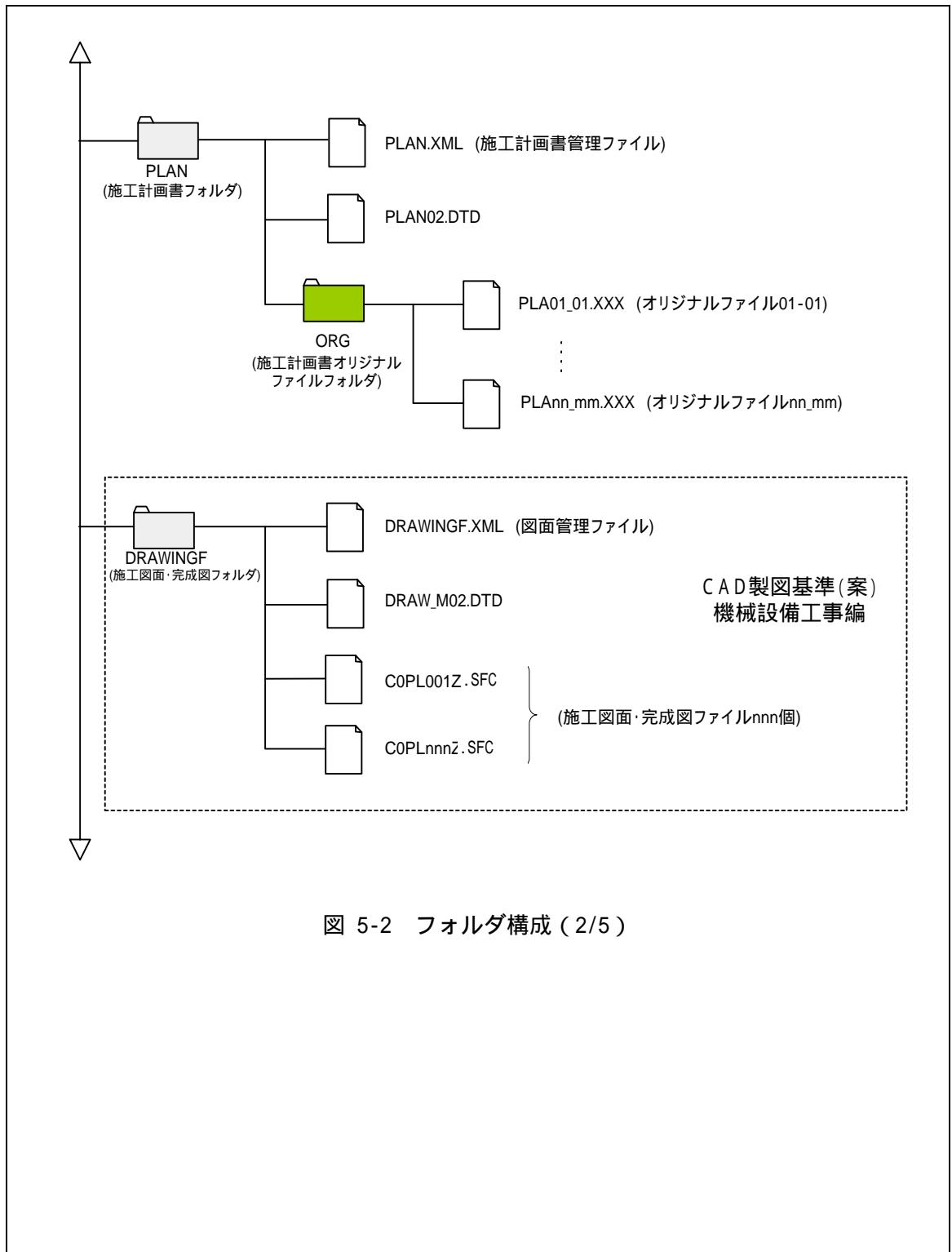


図 5-1 フォルダ構成 (1/5)



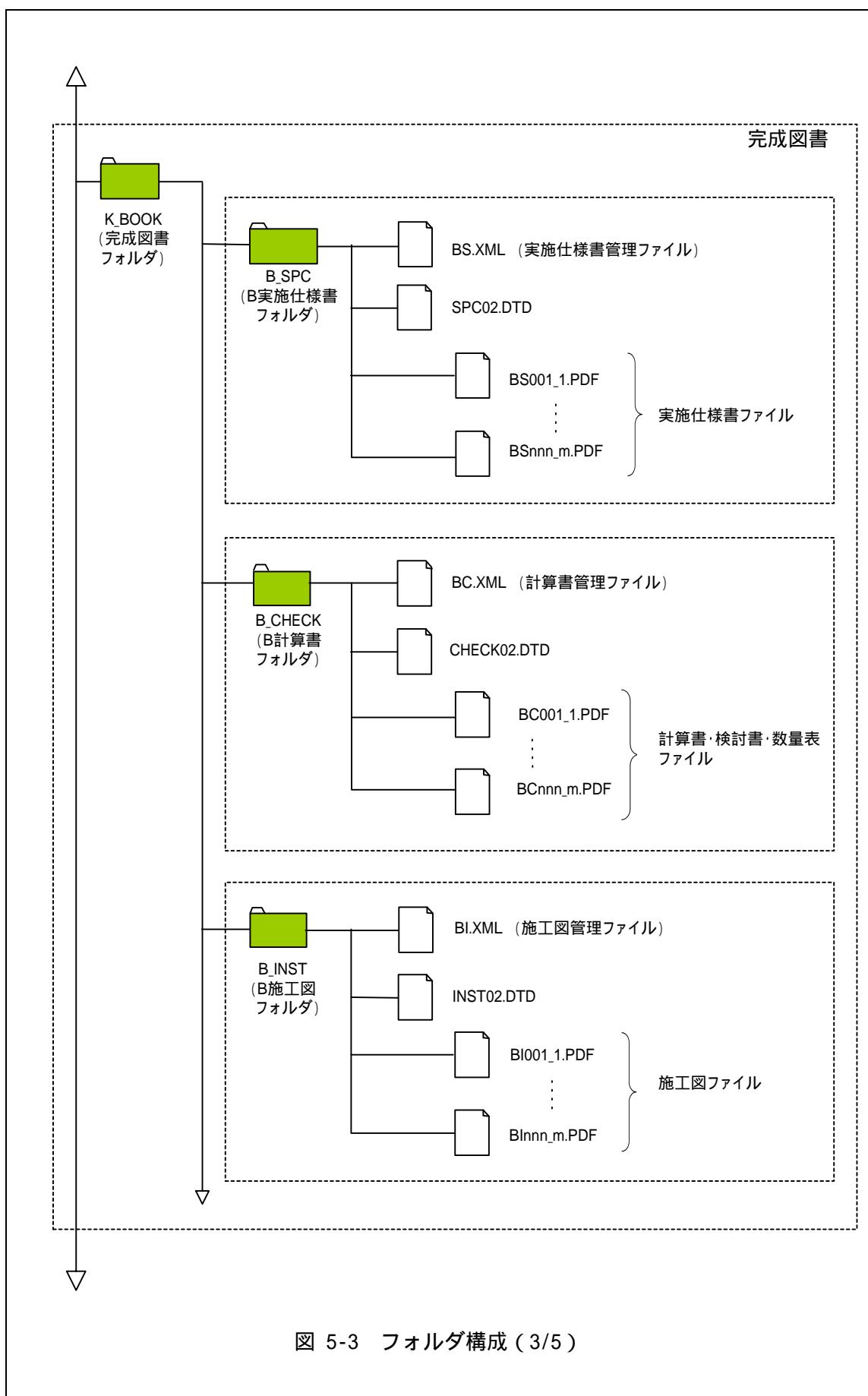


図 5-3 フォルダ構成 (3/5)

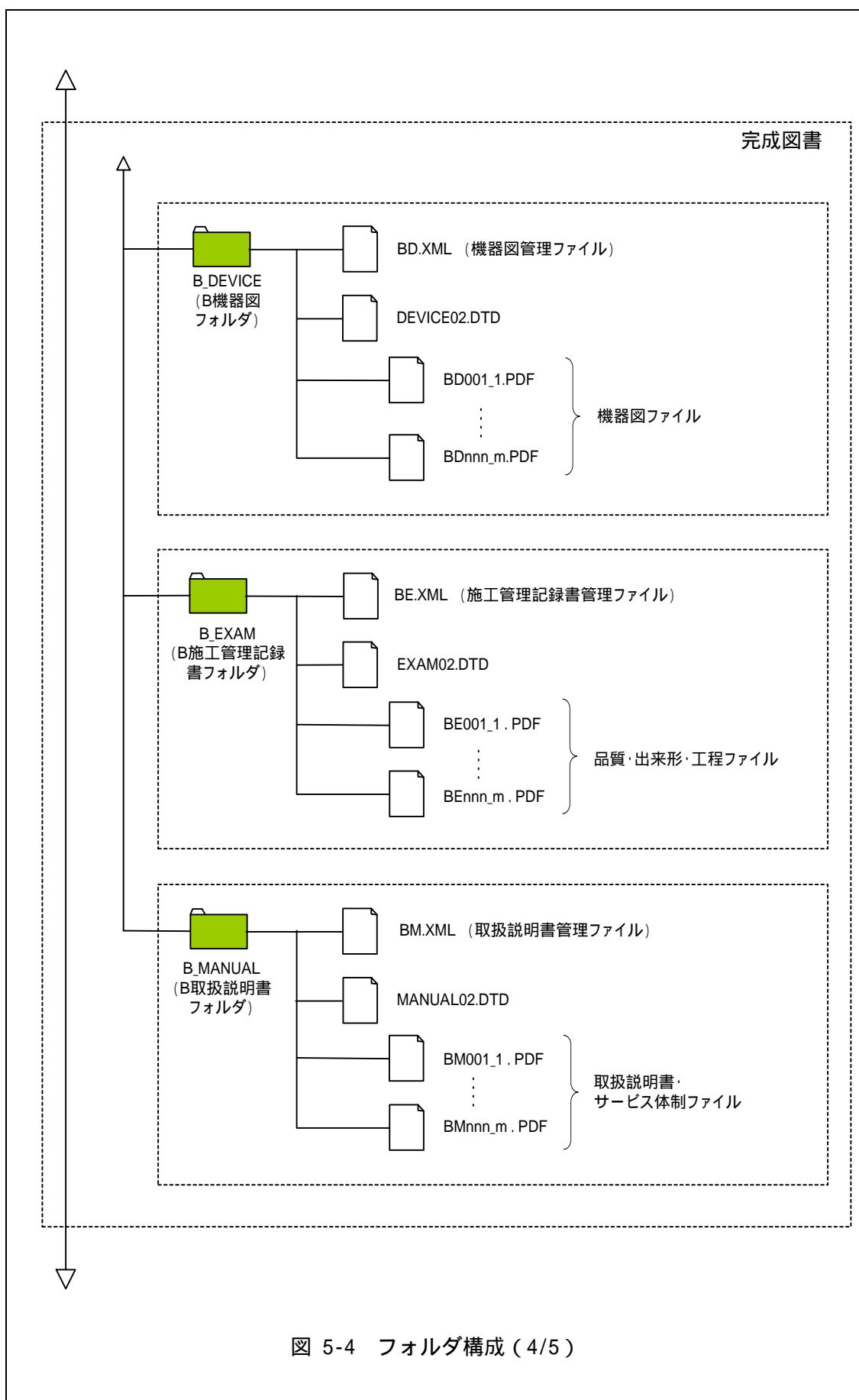
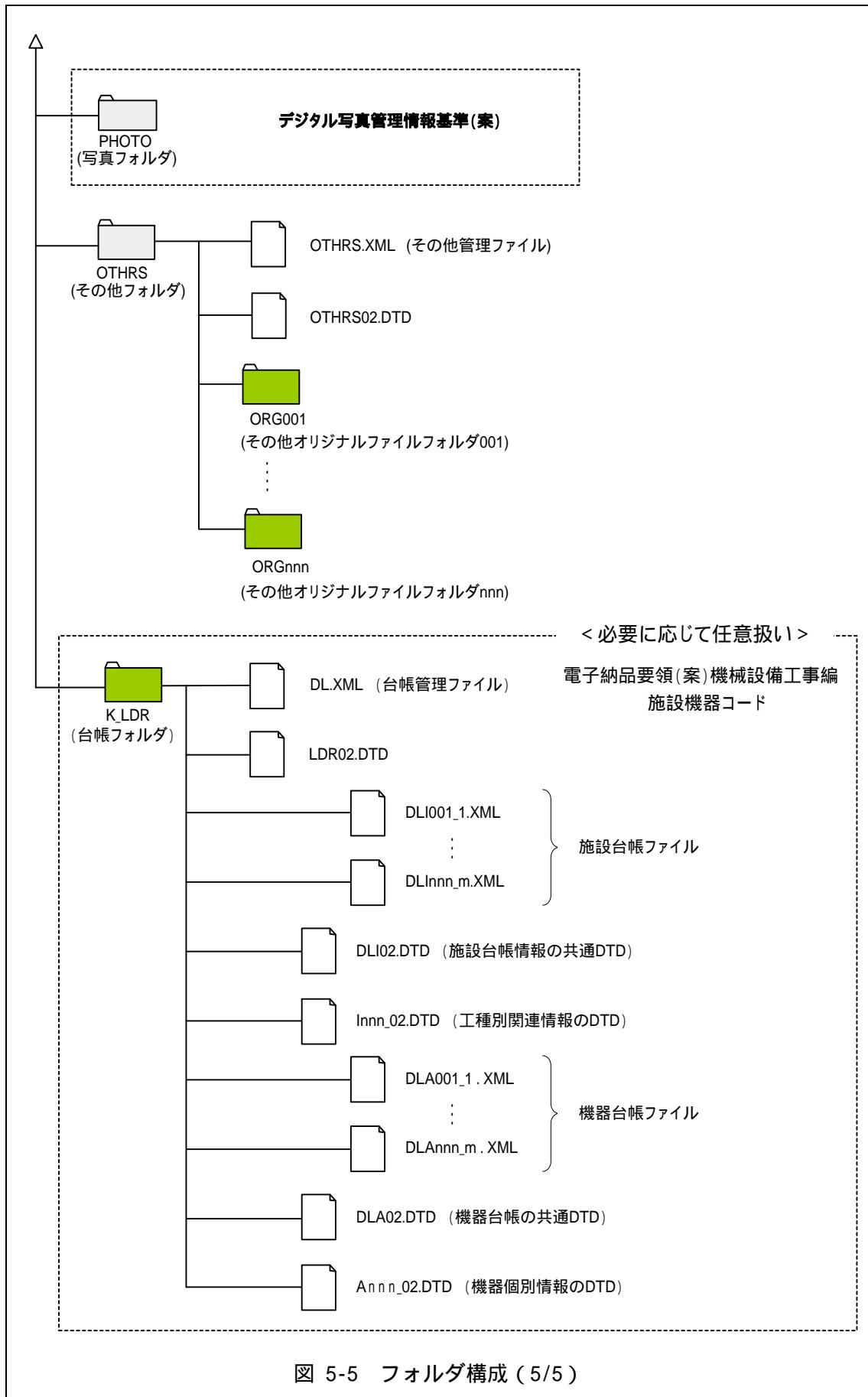


図 5-4 フォルダ構成 (4/5)

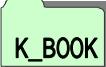
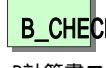
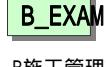
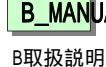


5.5.2 フォルダへ格納するファイル形式

電子納品の各フォルダへ格納する書類のファイル形式は次のとおりとする。

表 5.2 電子納品の各フォルダ及び格納するファイル形式等

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 DRAWINGS 発注図フォルダ 契約関係に関する電子成果品を格納します。		図面管理ファイル DTD 発注図・変更図CADデータ	 XML DRAWINGS.XML  DTD DRAW_M02.DTD  SFCファイル (図面管理ファイル) (発注図等)
 SPEC 特記仕様書オリジナルファイルフォルダ		特記仕様書等	 (オリジナルファイル)
 MEET 打合せ簿フォルダ 工事打合せ簿に関する電子成果品を格納します。		打合せ簿管理ファイル DTD	 XML MEET.XML  DTD MEET02.DTD (打合せ簿管理ファイル)
 ORG 打合せ簿オリジナルファイルフォルダ		打合せ簿	 (オリジナルファイル)
 PLAN 施工計画書フォルダ 施工計画書に関する電子成果品を格納します。		施工計画書管理ファイル DTD	 XML PLAN.XML  DTD PLAN 02.DTD (施工計画書ファイル)
 ORG 施工計画書オリジナルファイルフォルダ		施工計画書	 (オリジナルファイル)
 DRAWINGF 施工図面・完成図フォルダ 施工図面・完成図に関する電子成果品を格納します。		図面管理ファイル DTD 施工図面・完成図CADデータ	 XML DRAWINGF.XML  DTD DRAW_M02.DTD  SFCファイル (図面管理ファイル) (完成図)

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 K_BOOK 完成図書フォルダ 完成図書に関する電子成果品を格納します。			
 B_SPC B実施仕様書フォルダ	実施仕様書管理ファイル DTD 実施仕様書ファイル	 BS.XML  SPC02.DTD  PDFファイル	(実施仕様書管理ファイル) (実施仕様書ファイル)
 B_CHECK B計算書フォルダ	計算書管理ファイル DTD 計算書・検討書・数量表ファイル	 BC.XML  CHECK02.DTD  PDFファイル	(計算書管理ファイル) (計算書・検討書・数量表ファイル)
 B_INST B施工図フォルダ	施工図管理ファイル DTD 施工図ファイル	 BI.XML  INST02.DTD  PDFファイル	(施工図管理ファイル) (施工図ファイル)
 B_DEVICE B機器図フォルダ	機器図管理ファイル DTD 機器図ファイル	 BD.XML  DEVICE02.DTD  PDFファイル	(機器図管理ファイル) (機器図ファイル)
 B_EXAM B施工管理記録書フォルダ	施工管理記録書 管理ファイル DTD 品質・出来形・工程 ファイル	 BE.XML  EXAM02.DTD  PDFファイル	(施工管理記録書管理ファイル) (品質・出来形・工程ファイル)
 B_MANUAL B取扱説明書フォルダ	取扱説明書管理ファイル DTD 取扱説明書・サービス体制 ファイル	 BM.XML  MANUAL02.DTD  PDFファイル	(取扱説明書管理ファイル) (取扱説明書・サービス体制ファイル)

フォルダ	サブフォルダ	格納する電子成果品	ファイル形式
 写真フォルダ 写真に関する電子成果品を格納します。		写真管理ファイル DTD	 PHOTO.XML  PHOTO04.DTD (写真管理ファイル)
	 写真フォルダ	写真ファイル	 JPEG ファイル(デジタル写真)
	 参考図フォルダ	参考図ファイル	 JPEGまたはTIFF ファイル(参考図)
 その他フォルダ その他、工事に関する電子成果品を格納します。		その他管理ファイル DTD	 OTHRS.XML  OTHRS02.DTD (その他管理ファイル)
	 その他オリジナル ファイルフォルダ	その他データ	 (オリジナルファイル)
 台帳フォルダ <必要に応じて任意扱い> 施設台帳・機器台帳に関する電子成果品を格納します。		台帳管理ファイル 台帳管理ファイルのDTD 施設台帳ファイル 施設台帳情報の共通DTD 工種別関連情報のDTD 機器台帳ファイル 機器台帳の共通DTD 機器個別情報のDTD	 DL.XML  LDR02.DTD (台帳管理ファイル)  (施設台帳ファイル)  (施設台帳情報の 共通DTD)  (工種別関連情 報のDTD)  (機器台帳ファイル)  (機器台帳の 共通DTD)  (機器個別情報 のDTD)

5.5.3 CD - R 内の各ファルダの格納・整理イメージ

CD - R 内の各ファルダの格納・整理イメージを参考として次に示す。

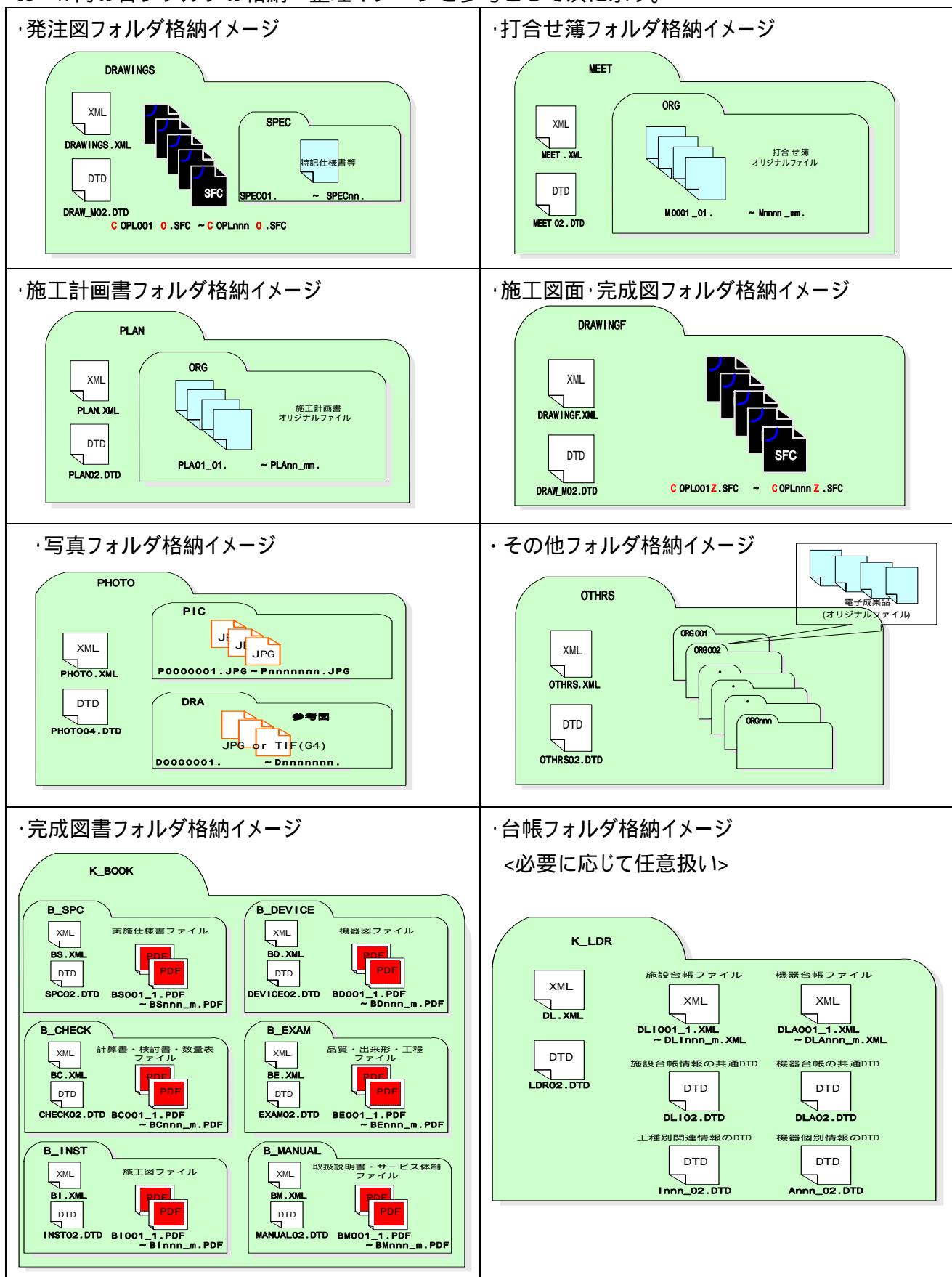


図 5.2 フォルダ構成 CD - R 及び各ファルダの格納・整理イメージ

5.6 ファイルの命名規則

5.6.1 共通規則

- (1) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- (2) ファイル名 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。

5.6.2 管理ファイル

- (1) 工事管理ファイルは「INDEX_MC.XML」とし、工事管理ファイルの DTD は「INDE_MC02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (2) 打合せ簿管理ファイルは「MEET.XML」とし、DTD は「MEET02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (3) 施工計画書管理ファイルは「PLAN.XML」とし、DTD は「PLAN02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (4) 完成図書フォルダのサブフォルダに格納する管理ファイルは次のとおり。
 - * B 実施仕様書管理ファイルは「BS.XML」とし、DTD は「SPC02.DTD」(02 は版番号)とする。
 - * B 計算書管理ファイルは「BC.XML」とし、DTD は「CHECK02.DTD」(02 は版番号)とする。
 - * B 施工図管理ファイルは「BI.XML」とし、DTD は「INST02.DTD」(02 は版番号)とする。
 - * B 機器図管理ファイルは「BD.XML」とし、DTD は「DEVICE02.DTD」(02 は版番号)とする。
 - * B 施工管理記録書管理ファイルは「BE.XML」とし、DTD は「EXAM02.DTD」(02 は版番号)とする。
 - * B 取扱説明書管理ファイルは「BM.XML」とし、DTD は「MANUAL02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (5) その他管理ファイルは「OTHRS.XML」とし、DTD は「OTHRS02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (6) 図面管理ファイルは「DRAWINGS.XML」(発注図フォルダ)・「DRAWINGF.XML」(完成図フォルダ)とし、DTD は「DRAW_M02.DTD」(02 は版番号)とする。
- (7) 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、DTD は「PHOTO04.DTD」(04 は版番号)とする。
ただし、「PHOTO04.DTD」が公開されるまでは、「デジタル写真管理情報基準(案)平成 18 年 1 月」に記載される暫定的な取扱いに準じ、「PHOTO03.DTD」とする。
- (8) 各管理ファイルのスタイルシート作成は任意とする。
なお、作成する場合のファイル名は、「IND_MC02.XSL」、「MEET02.XSL」、「PLAN02.XSL」、「SPC02.XSL」、「CHECK02.XSL」、「INST02.XSL」、「DEVICE02.XSL」、「EXAM02.XSL」、「MANUAL02.XSL」、「LDR02.XSL」、「OTHRS02.XSL」、「DRAW02.XSL」、「PHOTO04.XSL」とする。

5.6.3 オリジナルファイル

- (1) 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

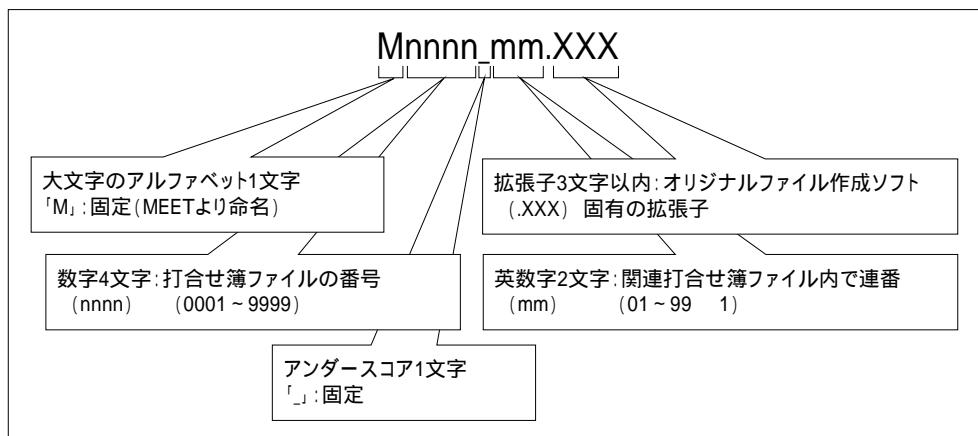


図 5.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名規則

(2) 施工計画書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

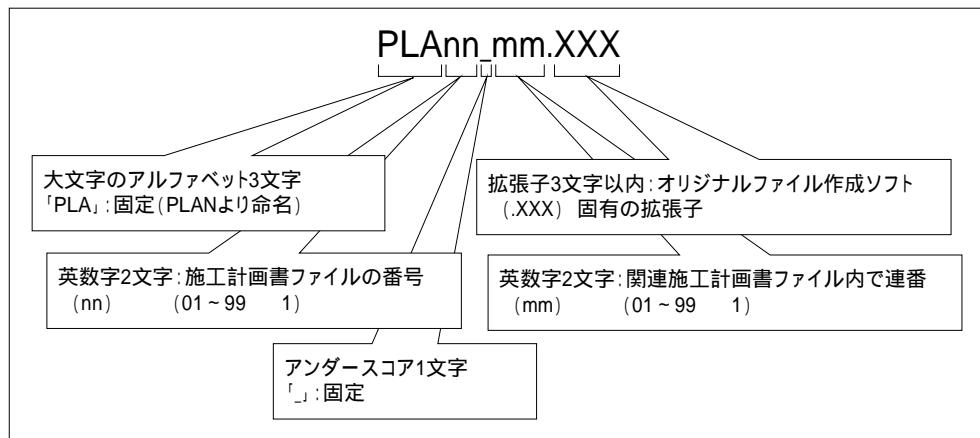


図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則

(3) 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則は次のとおり。

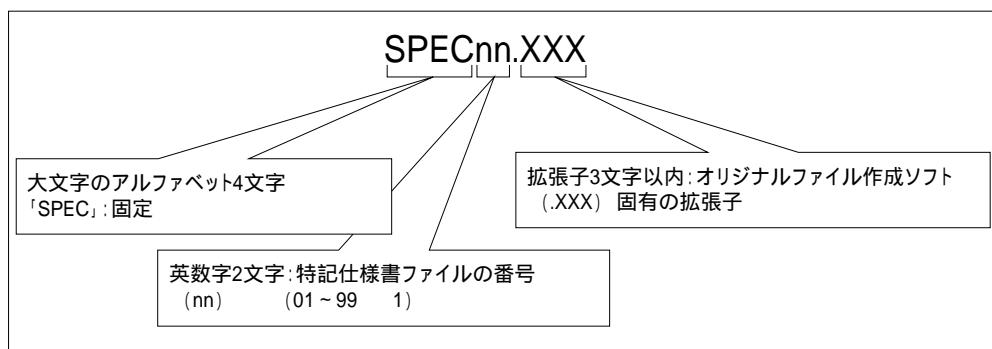


図 5.5 特記仕様書オリジナルファイルの命名規則

(4) 完成図書ファイルの命名規則は次のとおり。

B 実施仕様書フォルダに格納する B 実施仕様書ファイル

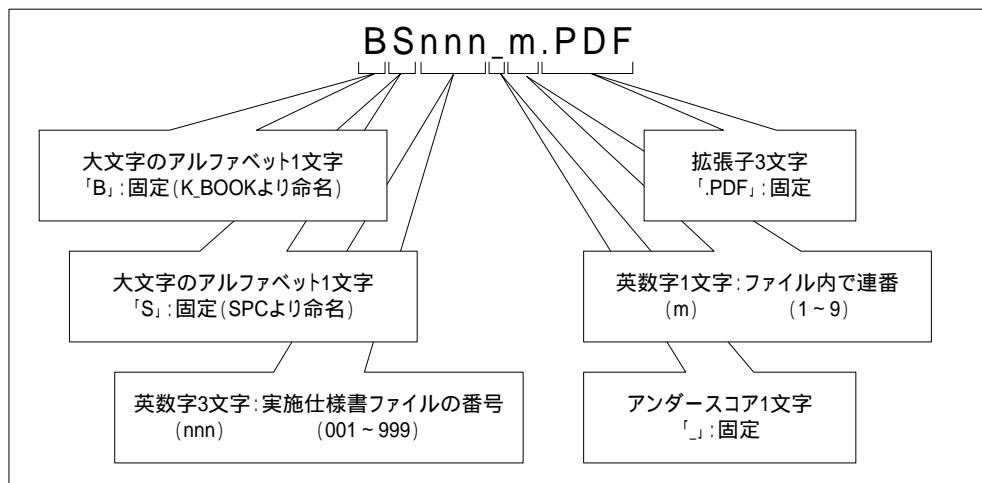


図 5.6 B 実施仕様書ファイルの命名規則

B 計算書フォルダに格納する B 計算書・検討書・数量表ファイル

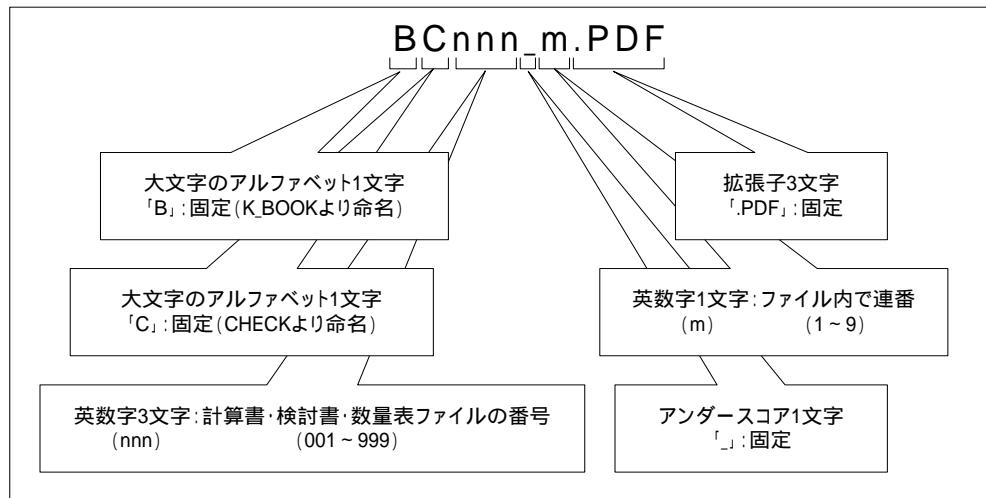


図 5.7 B 計算書・検討書・数量表ファイルの命名規則

B 施工図フォルダに格納する B 施工図ファイル

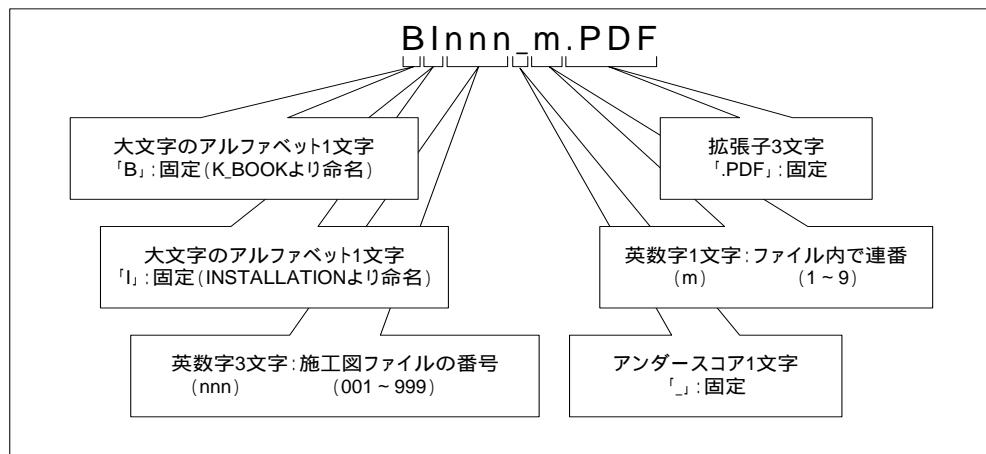


図 5.8 B 施工図ファイルの命名規則

B 機器図フォルダに格納する B 機器図ファイル

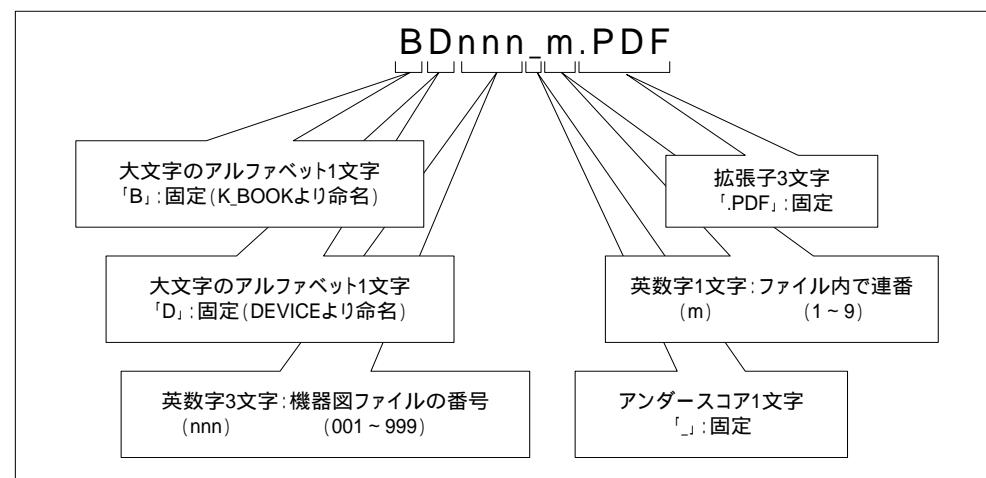


図 5.9 B 機器図ファイルの命名規則

B 施工管理記録フォルダに格納する B 施工管理記録書(品質管理, 出来高管理, 工程管理)ファイル

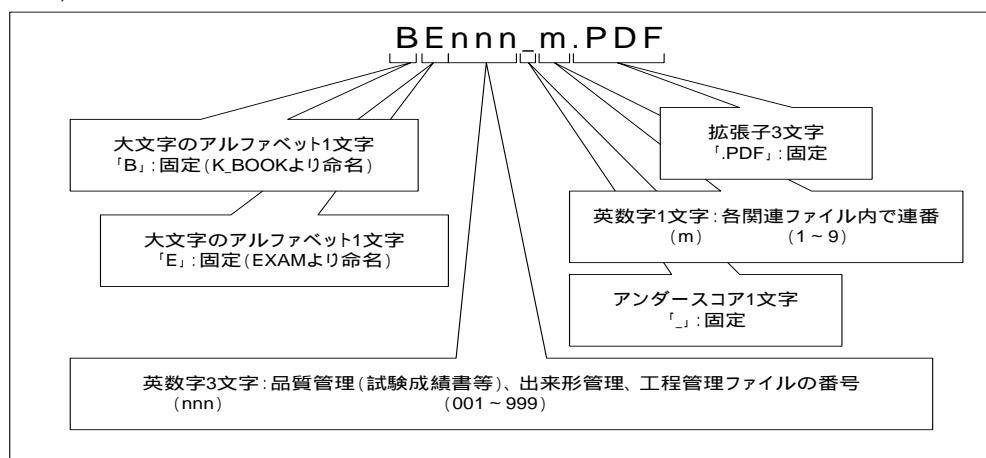


図 5.10 B 施工管理記録書ファイルの命名規則

B 取扱説明書フォルダに格納する B 取扱説明書(全体設備取扱説明書, 機器取扱説明書, サービス体制等)ファイル

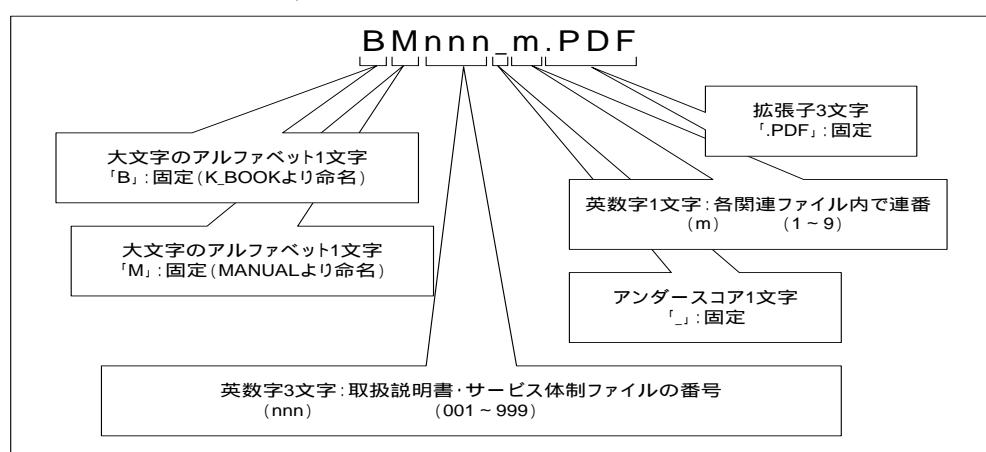


図 5.11 B 取扱説明書ファイルの命名規則

5.6.4 写真ファイル

(1) 写真ファイルの命名規則は次のとおり。

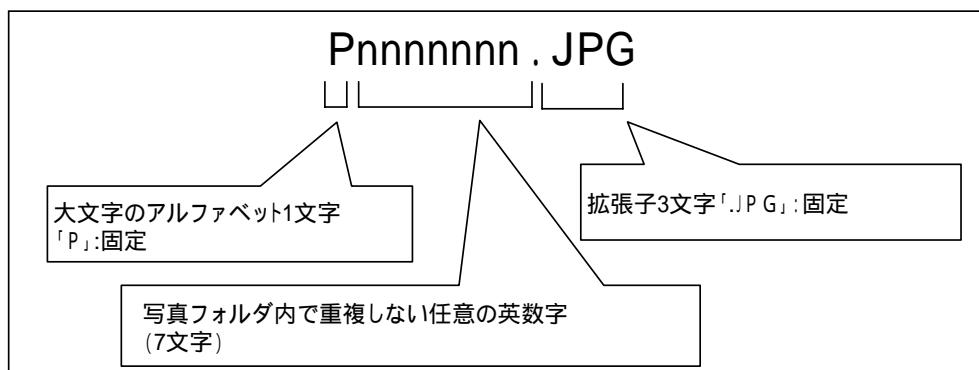


図 5.12 写真ファイルの命名規則

(2) 参考図ファイルの命名規則は次のとおり。

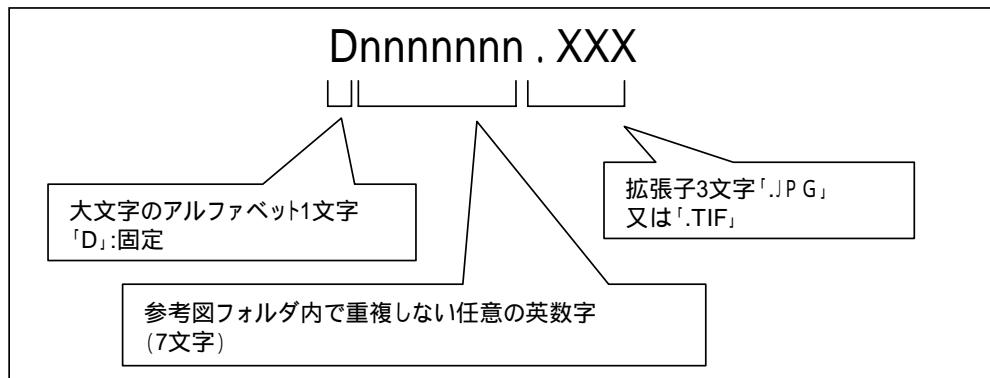


図 5.13 参考図ファイルの命名規則

補足説明

(1) 共通規則

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で 8 文字以内、拡張子 3 文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番号することを基本とする。

「ORGnnn」サブフォルダに格納するファイル名は、5.6.3 オリジナルファイルの規則に準じ、発注者と協議する。

(2) オリジナルファイル

施工計画書等の文書は、複数のオリジナルファイルから構成されることがある。この場合、文書の構成が想定できるように、オリジナルファイルの 01(例: 図 5.4 施工計画書オリジナルファイルの命名規則「mm」)からの連番により、ファイルを区別することを基本とする。ただし、欠番があっても構わない。

例) ワープロソフトファイル: M0001_01.doc
ワープロソフトファイル: M0001_02.doc
表計算ソフトファイル :M0001_03.xls

(3) 連番の扱い（1について）

連番が 100 を超える場合は、以下のようにアルファベットを用いる。

例) 100～109 の場合...A0～A9 110～119 の場合...B0～B9
120～129 の場合...C0～C9

5.6.5 CAD データファイル

(1) CAD データのファイルの命名規則は次によるものとする。

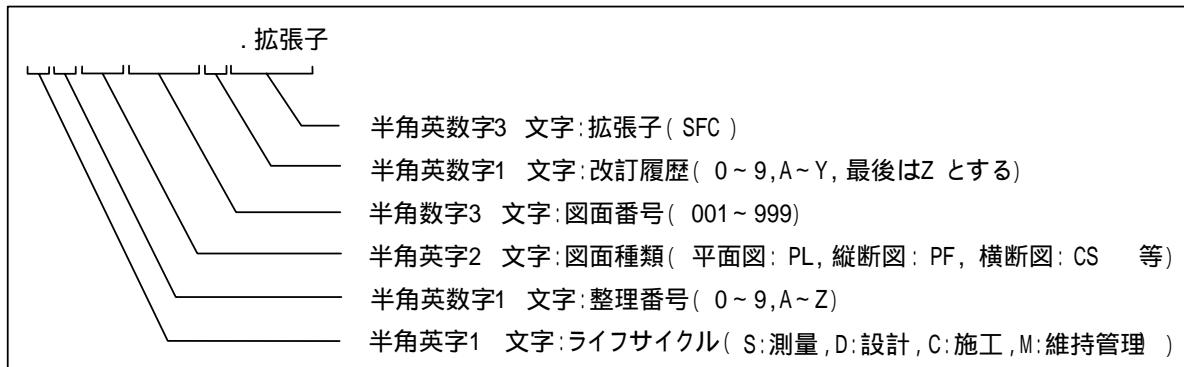


図 5.14 CAD ファイルの命名規則(CAD 製図基準(案)機械設備工事編)

参考 CAD ファイルの命名規則

(例)第1回設計変更の平面図の場合

C 1 PL 003 0 .SFC

拡張子 : 原則 SFC とする

改訂履歴 : 0 から順に履歴をつける (Z は最後を意味する)

図面番号 (表題の図面番号を記入)

図面の種類をアルファベットで記入

整理番号 (変更設計回数の数値を記入)

ライフサイクル (施工 : C , 維持管理 : M) を記入

拡張子は、広島県の CAD 図面のフォーマット形式である「SFC」となる。

完成図 (DRAWINGF フォルダ) は、最後を意味する「Z」となる。発注図 (変更設計を含む (DRAWINGS フォルダ)) 及び工事途中に請負・発注者間でファイルのやりとりをする場合は、「0」から順に履歴をつけて行うこと。ちなみに、「0」は、実施設計、変更設計時に請負者に提示する図面を意味する。

発注図面の通し番号を記入する。(表題の図面番号ではないので注意のこと。) 通し番号「葉之内 3」であれば、半角数字3文字「003」の記入となる。

CAD 製図基準 (案) に記載されているとおり、半角英字2文字で記入する。

(平面図 : PL , 縦断図 : PF , 横断図 : CS 等)

変更設計の回数を半角英数字で1文字を記入する。変更設計とは、契約上の変更設計 (第1回変更の場合は、「1」となる) を意味する。

ライフサイクルを表す半角英字1文字を記入する。

工事の場合は、「施工 : C , 「維持管理 : M 」のいずれかとなる。

5.7 CAD ファイルに関する運用

5.7.1 工種の選定

工種の選定については、原則として次の要領・基準等の工種から該当するものを選定する。
また、該当工種がない場合は、類似した工種を準用することとし、準用する要領・基準および工種を事前協議において決定するものとする。

表 5.4 CAD ファイルに関する要領・基準とその工種一覧

要領・基準名称	対象工種
CAD 製図基準(案)	道路(道路・地下構造物・地下駐車場)、 構造(トンネル構造物・橋梁) 河川海岸砂防(河川構造物・海岸構造物・砂防構造物・ダム本体構造物) 都市施設(宅地開発・公園・下水道)
CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
電子化図面データの 作成要領(案)	農林水産部所管事業【農業農村整備関係事業】 (頭首工・ポンプ場、用水路(開水路)、水路トンネル、排水路、パイプライン、農道、農道橋、ほ場整備、地すべり、ため池改修)

上記以外の農林水産部所管事業が準用する工種は表 5.5 によることとする。

表 5.5 農林水産部所管事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
農業農村整備事業(農地海岸)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(海岸構造物)
治山事業(森林整備を除く)	CAD 製図基準(案)	河川海岸砂防(砂防構造物)
漁港・漁場整備事業	CAD 図面作成要領(案)	港湾構造物
林道事業	電子化図面データの 作成要領(案)	農道、農道橋

また、下水道事業の取扱いは、受発注者協議により定めるものとするが、参考として表 5.6 を示す。

表 5.6 下水道事業が準用する工種

事業(工種)種別	適用	
	要領・基準等	工種
下水道事業	CAD 製図基準(案) 処理施設編	下水道処理施設

5.7.2 請負・発注者間での CAD ファイルの交換

請負・発注者間で CAD ファイルの交換・共有を行う場合等は、表 5.7 CAD ファイル命名の参考例を参考にして、履歴管理を適切に行うこと。

表 5.7 CAD ファイル命名 参考例

ファイル名	状況	ファイル名	状況
COPL0030.SFC	当初契約発注図面	C1PL0030.SFC	第 1 回変更契約図面
COPL0031.SFC	請負・発注者変更図面共有(1)	...	
COPL0032.SFC	請負・発注者変更図面共有(2)	C4PL003Z.SFC	完成図面(第 4 回変更)

5.8 電子媒体

5.8.1 使用媒体仕様等

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、次の各項目に従うものとする。

- ・ CD-R の使用を原則とする。
- ・ CD-R は、ISO9660 フォーマット（レベル1）を標準とする。
- ・ 基本的には、1枚のCD-Rに格納する。
- ・ 複数枚のCD-Rに格納する場合には、国土交通省の「電子納品運用ガイドライン（案）機械設備工事編【工事】」に従う。
- ・ 納品時には、CD-R 3部納品するほか、次の書類も提出する。
 - ・ 押印書類等の紙納品 1部
 - ・ 完成写真帳 1部

- ・ 電子媒体に格納する成果品の真正性、見読性及び保存性を確保するため、CD-Rを原則とする。
- ・ 本県においては、媒体(CD-R)で保管するため粗悪品の使用がないように留意すること。
- ・ CD-Rのフォーマット形式は、ISO9660(レベル1)とするため、写真ファイル名にロングネーム(ファイル名が8文字より多い文字数)の使用はしない。

参考 CD-R のフォーマット

「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。この規格はファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル1～3が規定されている。最も多くのOSに対応可能なレベル1は、ファイル名8文字 + 拡張子3文字、使用できる文字は半角の英数文字（A～Z, 0～9）及び、_（アンダースコア）のみと、制限が厳しくなっている。

5.8.2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品使用媒体へ用いるラベルについては、次の各項目に従うものとする。

媒体のラベルには、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 作成年月
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 発注者名
- ・ 請負者名
- ・ ウィルスチェックソフト名
- ・ ウィルス定義年月日又はパターンファイル名
- ・ チェック年月日
- ・ フォーマット形式:ISO9660(レベル1)

媒体を入れるプラスチックケースの背表紙には、次の情報を横書きで明記する。

- ・ 施行番号
- ・ 何枚目 / 全体枚数
- ・ 工事名

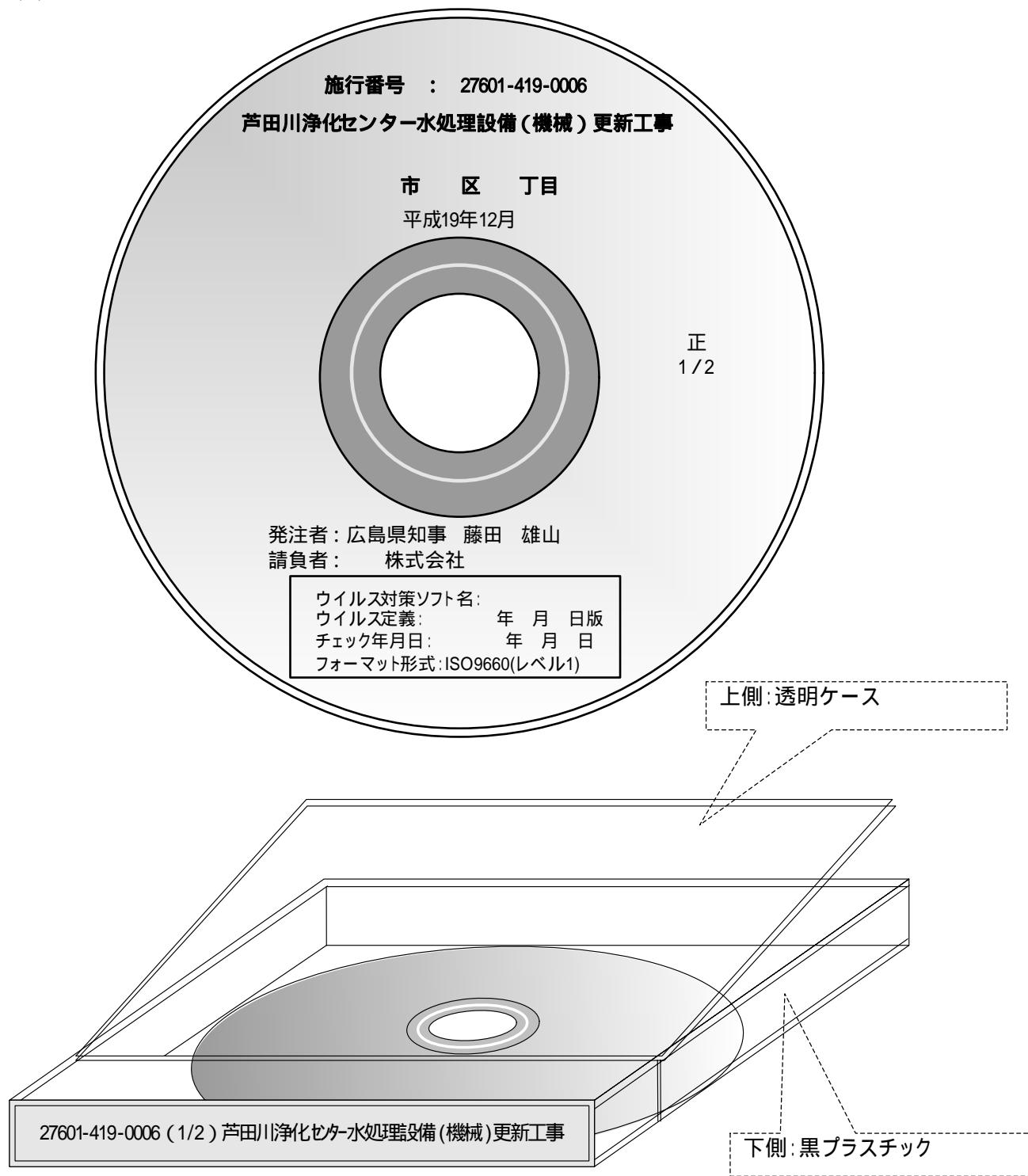
(1) 留意事項

- ・ CD-R 表面へのプリンタ直接印字により作成する。
- ・ CD-R は、表面が白でインクジェット印字対応のものとする。
- ・ CD-R へ印刷したシールを貼り付ける方法は、温度差の変化でシールが伸縮し、CD-R に損傷を与えることがあるので使用しないこと。
- ・ CD-R ケースは、薄型ケースは使用しないこと。(標準厚さのケースを使用すること)
- ・ CD-R ケースの底面は、CD-R を光から保護するため、原則、黒色のものを使用すること。
- ・ CD-R ケースの背表紙には、1行で書けるところまで記入し、工事名等が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

(2) 項目の説明

- ・ 「施行番号」 県の内部システムで自動採番される施行番号を記載(発注者から通知)
- ・ 「工事名」 契約書に記載されている工事名を記載
- ・ 「工事場所」 契約図書に記載されている工事場所を記載
- ・ 「作成年月」 工期の完成の年月を記載
- ・ 「何枚目 / 全体枚数」 全体枚数及びそのうちの何枚目であるかを記載
- ・ 「発注者名」 発注者の名称を記載(表記例参照)
- ・ 「請負者名」 請負者の名称を記載(表記例参照)

(3) 表記例



CD-R ケースへの表記(例)

(通常)	27601-419-0006 (1/2) 芦田川浄化センター水処理設備(機械)更新工事
(長い場合)	27601-419-0006 (1/2) 川 水処理設備(機械)

図 5.9 CD-R 表面及び CD-R ケースへの表記(例)

5.8.3 電子媒体の原本性の確保

請負者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために別に定める様式(電子媒体納品書)に署名・押印の上、電子媒体と共に提出するものとする。

請負者の所在地及び商号等を記載し、契約者(代表者等)印を押印すること。

平成 年 月 日			
電 子 媒 体 納 品 書			
広島県知事 藤田 雄山 様			
請負者 (所在地) (商号又は名称)	市 区 株式会社	丁目 印	
次のとおり電子媒体を納品します。			
施行番号	27601-419-0006		
工事名	芦田川浄化センター水処理設備(機械)更新工事		
路河川名称 (地区名)	-		
工事場所	市 区 丁目		
工期	着 手 平成 年 月 日	完 成 平成 年 月 日	
電子媒体の総枚数	枚 × 3部		
電子媒体作成年月日	平成 年 月 日		
備考	1/2 : DRAWINGS, PLAN, MEET, DRAWINGF を格納 2/2 : B_BOOK, PHOTO, OTHRS, K_LDR を格納		
電子媒体は、CD-R(フォーマット「ISO9660」)のみとする。			

図 5.10 電子媒体納品書の記載(例)

6 検査(中間検査・完成検査)

電子納品された成果物の書類検査は、発注者が電子データで検査することを原則とするが、検査を効率的に行うために次のように定める。

- ・電子成果物により検査を行う書類の範囲は、検査を効率的に行う観点から、請負・発注者間の協議により取り決めるものとする。
- ・書類検査を行うための準備(検査用機器・閲覧用ソフト等)は、原則として発注者が行う。

6.1 中間検査の取扱い

中間検査の検査書類については、施工途中で電子納品作成段階であることも考慮し、請負者がどのように書類整理するかを判断し、検査前に監督員に報告することとする。

中間検査を電子データで行う際は、セキュリティの観点から請負・発注者双方において事前にウイルスチェックを行っておくこと。

6.2 書類検査

工事完成検査では、工事目的物を対象に工事の出来形、管理状況について、設計図書に義務付けられた書類を参考に検査を行う。電子成果品も検査のための書類のひとつとなる。

(1) 工事記録写真

写真データは、請負者の持つデータで検査を行ってもよいものとする。

(2) 出来形管理資料、工事関係図及び工事報告書等

発注図・完成図・出来形管理図等を検査する際には、請負者が CAD データを A3 版程度に印刷したもの、あるいは内部審査、照査に利用した印刷物を事前に準備し受検すること。

施工計画書、打合せ簿等双方で決裁等確認されたものは、それを利用して受検すること。

(3) 機器の操作

検査員が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器の操作は、原則として請負者が行う。請負者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知するものを、操作補助員としてつけても良い。また、検査を効率的に行うために請負者は、余分に電子納品媒体(CD-R)、パソコン等を監督員との協議により準備する。

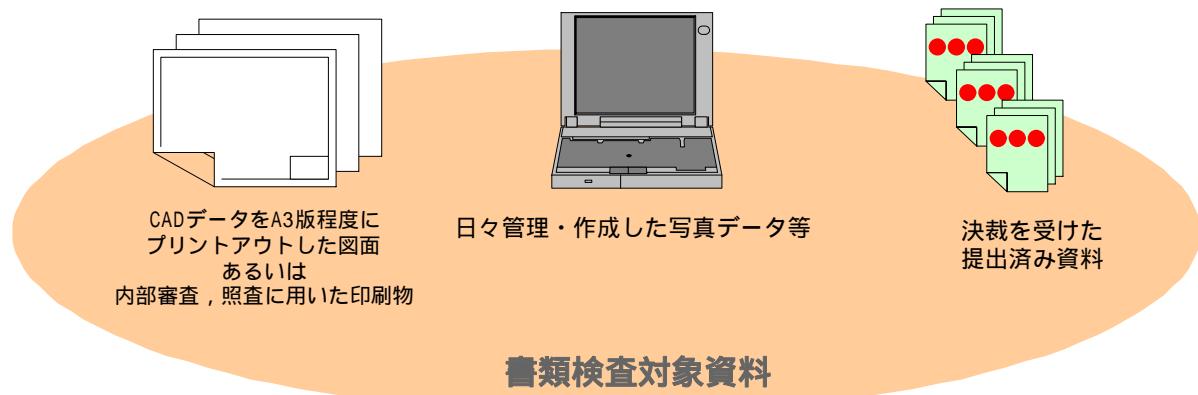


図 6.1 対象資料のイメージ(例)

6.3 現場検査

現場検査では、書類検査で利用した資料を基に受検すること。

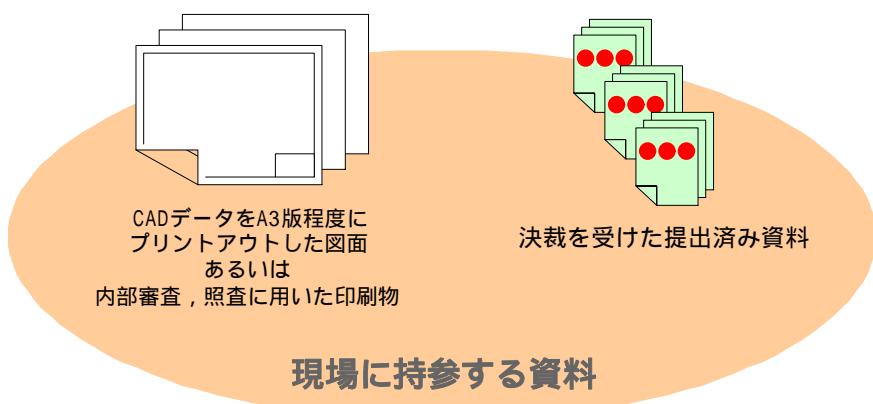


図 6.2 現場に持参する資料のイメージ(例)

7 成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する各管理ファイルには、国土交通省の要領に示される基礎情報、工事情報からなる各管理項目を記入する。

各管理項目(基礎情報,工事情報)を次頁以降に示す。

また、次項以降に示す「記入者」及び「必要度」に示す凡例は、次のとおりである。

- 【記入者】 : CORINS から出力される CFD ファイル
(CORINS2000 提出用フロッピーディスクのファイルフォーマット) から取り込むことが可能な項目
: 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入項目 (必ず記入する)
: 条件付き必須記入項目 (データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目 (原則として空欄・特記すべき事項があれば記入する)

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角 1 文字に相当する。

また、摘要の記述については、次のとおりとする。

空欄 = 国土交通省と同じ見解

斜字 = 国土交通省の記載事項の具体的な説明

太字下線 = 広島県が定めた事項



記入上の注意点

データ保管及び下流工程における効果的な検索、再利用のため、各項目の記入に際しては次のルールに従う。

- (1) 英字及び数字(ハイフン等記号含む)はすべて半角文字とすること。

(例) 082-228-2111 ······

082-228-2111 ··· x

- (2) 住所は契約図書の正式な表示を記入すること。また、数字は半角とすること。

(例) 契約図書: 広島市中区墓町 10 番 52 号……

広島市中区基町 10-52

広島市中区基町10番52号……………×

- (3) 年月日の間にハイフン()を挿入すること。

(例) 2004-03-26 ······

20040326 · · · · · x

(1) 工事管理項目

電子媒体に格納する工事管理ファイル(INDEX_MC.XML)に記入する工事管理項目は、表 7.1 に示すとおりとする。

表 7.1 工事管理項目(1/3)

分類・項目名	国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
		摘要	記入例				
基礎情報	メディア番号	提出した電子媒体の通し番号を記入する。単一の電子媒体であれば1となる。	1	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した電子媒体の総枚数を記入する。	2	半角数字	8		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版('機械200603-01'で固定)を記入する。 (分野:機械, 西暦年:2006, 月:03, 版:01)	機械200603-01	全角文字 半角英数字	30		
	発注図フォルダ名	発注図を格納するために「DRAWINGS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGSで固定)を記入する。	DRAWINGS	半角英数 大文字	127		
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	特記仕様書を格納するために「SPEC」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGS/SPECで固定)を記入する。	DRAWINGS/SPEC	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿を格納するために「MEET」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(MEETで固定)を記入する。	MEET	半角英数 大文字	127		
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(MEET/ORGで固定)を記入する。	MEET/ORG	半角英数 大文字	127		
	施工計画書フォルダ名	施工計画書を格納するために「PLAN」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PLANで固定)を記入する。	PLAN	半角英数 大文字	127		
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(PLAN/ORGで固定)を記入する。	PLAN/ORG	半角英数 大文字	127		
	施工図面・完成図フォルダ名	施工図面・完成図を格納するために「DRAWINGF」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(DRAWINGFで固定)を記入する。	DRAWINGF	半角英数 大文字	127		
	完成図書フォルダ名	完成図書を格納するために「K_BOOK」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(K_BOOKで固定)を記入する。	K_BOOK	半角英数 大文字	127		
	B実施仕様書フォルダ名	B実施仕様書ファイルと実施仕様書ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_SPCで固定)を記入する。	K_BOOK/B_SPC	半角英数 大文字	127		
	B計算書フォルダ名	B計算書ファイルと計算書・検討書・数量表ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_CHECKで固定)を記入する。	K_BOOK/B_CHECK	半角英数 大文字	127		
	B施工図フォルダ名	B施工図書管理ファイルと施工図ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_INSTで固定)を記入する。	K_BOOK/B_INST	半角英数 大文字	127		
	B機器図フォルダ名	B機器図書管理ファイルと機器図ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_DEVICEで固定)を記入する。	K_BOOK/B_DEVICE	半角英数 大文字	127		
	B施工管理記録書フォルダ名	B施工管理記録書管理ファイルと施工管理記録書ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_EXAMで固定)を記入する。	K_BOOK/B_EXAM	半角英数 大文字	127		
	B取扱説明書フォルダ名	B取扱説明書管理ファイルと取扱説明書・サービス体制ファイルを格納するフォルダ名称(K_BOOK/B_MANUALで固定)を記入する。	K_BOOK/B_MANUAL	半角英数 大文字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 工事管理項目(2/3)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真を格納するために「PHOTO」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTOで固定)を記入する。		PHOTO	半角英数大文字	127		
	その他フォルダ名	その他資料を格納するために「OTHRS」フォルダを作成した場合はフォルダ名称(OTHRSで固定)を記入する。		OTHRS	半角英数大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダ名称(OTHRS/ORG001～nnn)を記入する(nnnは連番を示す)。その他オリジナルフォルダがある場合は必ず記入する。		OTHRS/ORG001～nnn	半角英数大文字	127		
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称を記入する。		構造計算書	全角文字 半角英数字	127		
	台帳フォルダ名	台帳管理ファイルと施設台帳、機器台帳ファイルを格納するフォルダ名称(K_LDRで固定)を記入する。		K_LDR	半角英数大文字	127		
工事件名等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。		2007	半角数字	4		
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号を記入する。	契約図書の旅行番号(14文字)を記入	27601-418-0006	半角英数字	127		
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。	契約図書の工事名を記入	施設設備(機械)工事	全角文字 半角英数字	127		
	施工金額	CORINSの「請負金額」に従って記入する。		152340000	半角数字	16		
	工事実績システムバージョン番号	管理項目の記入で参照しているCORINSのマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。		5.0	半角数字	12		
	工事分野	CORINSの「工事の分野」に従って記入する。		下水道	全角文字 半角英数字	16		
	工事業種	CORINSの「工事の業種」に従って記入する。		機械器具設置工事	全角文字 半角英数字	16		
	工種・工法	CORINSの「工種、工法・型式」の「工種」を記入する。(複数記入可)		下水道処理施設工	全角文字 半角英数字	127		
	工法型式	CORINSの「工種、工法・型式」の「工法・型式」を記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
	住所情報	該当地域の住所コードをCORINSの表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	CORINSのコード表に示される34101～34605の数字(5桁)を記入(複数記入可)	34223	半角数字	5		
	住所	該当地域の住所を記入する。(複数記入可)	必ず「広島県」を記入後、契約図書の工事場所を記入	広島県広島市中区基町10番52号	全角文字 半角英数字	127		
	工期開始日	工期の開始日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成18年4月1日 2006-04-01		2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工期終了日	工期の終了日の年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日) 例)平成18年12月3日 2006-12-03		2007-12-20	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入する。	契約図書の工事概要を記入	汚泥濃縮タンク(内径14m)	全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.1 工事管理項目(3/3)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
水系・路線情報	測地系	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は'00'、世界測地系(日本測地系2000)は'01'を記入する。		01	半角数字	2		
	対象水系路線名	CORINSの路線・水系名等に従って記入する。複数の路線水系にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。			全角文字 半角英数字	127		
	現道・旧道区分	'現道:1', '旧道:2', '新道:3', '未調査:0'のいずれかを記入する。			半角数字	1		
	対象河川コード	'河川コード仕様書(案)'に準拠し発注者が指示する河川コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		半角数字	10		
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コードを記入する。(複数記入可)	原則として空欄		半角数字	2		
	測点情報	起点側測点-n (自)n+m nを4桁で記入する。 起点側測点-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側測点-n (至)n+m nを4桁で記入する。 終点側測点-m (至)n+m mを3桁で記入する。		0015 008 0016 005	半角数字	4 3 4 3		
	距離標情報	起点側距離標-n (自)n+m nを3桁で記入する。 起点側距離標-m (自)n+m mを3桁で記入する。 終点側距離標-n (至)n+m nを3桁で記入する。 終点側距離標-m (至)n+m mを3桁で記入する。	原則として空欄		半角数字	3 3 3 3		
	境界座標情報	西側境界座標経度 対象領域の最西端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	1322710	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	東側境界座標経度	対象領域の最東端の外側境界の経度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	1323510	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	北側境界座標緯度	対象領域の最北端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	0342400	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
	南側境界座標緯度	対象領域の最南端の外側境界の緯度を記入する。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に-(HYPHEN-MINUS)を記入する。	参考資料4により記入	0342000	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8		
施設情報	台帳フォルダ	台帳フォルダ(施設機器コード)の有無について記入する。(0なし 1:あり) (1あり)と記入した場合の詳細の記入は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」を参照する。		0	半角数字	1		
発注者情報	発注者 - 大分類	CORINSの「発注機関名・中分類」に従い、発注者の官庁名、団体名等を記入する。	CORINSの「広島県」と記入	広島県	全角文字 半角英数字	16		
	発注者 - 中分類	CORINSの「発注機関名・小分類」に従い、発注者の局名、支社名等を記入する。	CORINSの「発注機関名・小分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	32		
	発注者 - 小分類	CORINSの「発注機関名・細分類」に従い、記入する。	CORINSの「発注機関名・細分類」より該当する名称を記入	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	30		
	発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従い、発注者のコードを記入する。大分類(1桁), 中分類(2桁), 小分類(2桁), 細分類(3桁)あわせ、8桁で取り扱う。	334XXXXX (CORINSのコード8桁)	33401999	半角数字	8		
請負者情報	請負者名	請負者の正式名称を記入する。請負者名の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。		株式会社	全角文字 半角英数字	127		
	請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入する。国土交通省では、各地方整備局で請負者コードを整備している。	建設業許可番号を記入△	34012345	半角数字	127		
予備		特記事項がある場合に記入する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

(2) 打合せ簿管理項目

電子媒体に格納する打合せ簿管理ファイル(MEET.XML)に記入する管理項目は、表 7.2 に示すとおりとする。

表 7.2 打合せ簿管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
打合せ簿情報	シリアル番号	打合せ簿の通し番号を記入する。連番を原則とするが、やむを得ない理由である場合は中抜け(欠番)してもよい。12番目を、“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。		1	半角数字	15		
	上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		3	半角英数字	15		
	下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号を記入する。(本項目はシリアル番号の属性として保持)		2	半角英数字	15		
	打合せ簿種類	打合せ簿の種類を記入する。 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)		指示	全角文字 半角英数字	16		
	打合せ簿名称	打合せ簿の標題もしくは打合せ簿の内容を簡潔に記入する。		工程に関する打合せ	全角文字 半角英数字	127		
	管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」等の管理区分を記入する。		施工管理	全角文字 半角英数字	127		
	関連資料	関連する図面がある場合は、図面管理項目の[図面ファイル名]を記入する。(複数記入可)		C0PL003Z.SFC	半角英数 大文字	12		
	シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目の[シリアル番号]を記入する。(複数記入可)		100	半角数字	7		
	作成者	打合せ簿の作成者を記入する。(請負者:現場代理人、請負者:主任技術者、発注者:現場監督員など)	作成者が請負者の場合 請負者名:作成者氏名 作成者が発注者の場合 発注者名:作成者氏名	建設株式会社 :広島一郎	全角文字 半角英数字	127		
	提出先	打合せ簿の提出先(発注者、請負者)を記入する。	提出先が発注者の場合 事務所名 提出先が請負者の場合 請負業者名	都市部都市事業局下水道室	全角文字 半角英数字	127		
1	発行日付	発行元が打合せ簿を発行した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年4月1日 2006-04-01		2007-10-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	受理日付	提出先担当者が打合せ簿を受理した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年4月20日 2006-04-20		2007-10-02	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	完了日付	発注者又は請負者が処理・回答した年月日がある場合はCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合'0'を付加して、必ず10桁で記入する。 (CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年6月9日 2006-06-09		2007-10-05	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	10		
	オリジナルファイル	打合せ簿のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		M0001_01.DOC	半角英数 大文字	12		
2	オリジナルファイル情報	打合せ簿オリジナルファイル日本語名			全角文字 半角英数字	127		
	ファイルバージョン情報	打合せ簿オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョンを記入する。		Microsoft_Word_98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは打合せ簿オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		工程表	全角文字 半角英数字	127		
	その他	請負者説明文 発注者説明文 予備	請負者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合は記入する。 発注者側で打合せ簿に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。 電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	原則として空欄 原則として空欄 原則として空欄	全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーク用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 打合せ簿情報以下は、打合せ簿の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの打合せ簿に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(3) 施工計画書管理項目

電子媒体に格納する施工計画書管理ファイル(PLAN.XML)に記入する管理項目は、表 7.3 に示すとおりとする。

表 7.3 施工計画書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
施工 計 画 書 情 報	シリアル番号	施工計画書の通し番号を記入する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった施工計画書について、やむを得ない理由である場合は、中抜けしてもよい。 12番目を，“00012”の様に0を付けて表現してはいけない。		1	半角数字	15		
		施工計画書名称	施工計画書の標題を記入する。		機械用基礎施工計画書	全角文字 半角英数字	127	
	オリジナルファイル情報	施工計画書 オリジナル ファイル名	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12	
		施工計画書 オリジナル ファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名を記入する。		機械用基礎施工計画書	全角文字 半角英数字	127	
	1	施工計画書 オリジナル ファイル作成ソフト バージョン情報	施工計画書オリジナルファイルの作成ソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word 98	全角文字 半角英数字	127	
		オリジナル ファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工計画書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		機械用基礎施工計画	全角文字 半角英数字	127	
	その他	請負者説明文	請負者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127	
		発注者説明文	発注者側で施工計画書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127	
		予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		ケミカルアンカ - カタログ	全角文字 半角英数字	127	
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄			全角文字 半角英数字	127	

1 施工計画書情報以下は、施工計画書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの施工計画書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(4) その他資料管理項目

電子媒体に格納するその他管理情報ファイル(OTHRS.XML)に記入する管理項目は、表7.4に示すとおりとする。

表7.4 その他資料管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
サブフォルダ情報	その他サブフォルダ名	作成したその他サブフォルダ名(ORG001～nnn)を記入する。		ORG002	半角英数 大文字	6		
	その他サブフォルダ 日本語名	格納している資料の内容がわかるようフォルダの日本語名を記入する。		段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
	その他資料名称	その他サブフォルダ名に格納している資料名を記入する。		機械基礎に関する段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
		シリアル番号 シリアル番号は1より開始する。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった資料についてユニークであれば、中抜けても良い。2番目を、“00002”の様に0を付けて表現してはいけない。	1		半角数字	15		
	オリジナルファイル情報	オリジナル ファイル名 その他の資料のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		CHK01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
		オリジナル ファイル日本語名 オリジナルファイルに関する日本語名を記入する。		機械基礎に関する段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
		オリジナル ファイル作成ソフト バージョン情報 オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word_98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル内容 予備	オリジナル ファイル内容 オリジナルファイルの内容、もしくはその他の資料のオリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		機械基礎に関する段階確認書	全角文字 半角英数字	127		
		予備 電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
	その他	請負者説明文 請負者側で特記すべき事項がある場合は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
		発注者説明文 発注者側で特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカ用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(5) 実施仕様書管理項目

電子媒体に格納する実施仕様書管理ファイル(BS.XML)に記入する管理項目は、表7.5に示すとおりとする。

表7.5 実施仕様書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
実施仕様書情報	実施仕様書名称	実施仕様書の標題を記入する。		実施仕様書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	実施仕様書のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		BS001_01.PDF	半角英数 大文字	12		
	実施仕様書オリジナルファイル日本語名	実施仕様書ファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ実施仕様書	全角文字 半角英数字	127		
	実施仕様書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	実施仕様書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word _98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは実施仕様書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ実施仕様書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	請負者説明文	請負者側で実施仕様書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で実施仕様書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。 説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		水中汚泥ポンプ能力線図	全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 実施仕様書情報以下は、実施仕様書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの実施仕様書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(6) 計算書管理項目

電子媒体に格納する計算書管理ファイル(BC.XML)に記入する管理項目は、表7.6に示すとおりとする。

表7.6 計算書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
計算書情報	計算書名称	計算書・検討書・数量表の標題を記入する。		水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	計算書・検討書・数量表のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	計算書オリジナルファイル日本語名	計算書・検討書・数量表のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127		
	計算書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	計算書・検討書・数量表を作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word _98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは計算書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ能力計算書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	請負者説明文	請負者側で計算書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で計算書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。 説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)		水中汚泥ポンプ系統配管スケルトン図	全角文字 半角英数字	127		
	ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 計算書情報以下は、計算書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの計算書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(7) 施工図管理項目

電子媒体に格納する施工図管理ファイル(BI.XML)に記入する管理項目は、表7.7に示すとおりとする。

表7.7 施工図管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
施工図情報	施工図名称		施工図の標題を記入する。		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127	
	オリジナルファイル情報	施工図オリジナルファイル名	施工図のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12	
		施工図オリジナルファイル日本語名	施工図ファイルに関する日本語名を記入する。		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127	
		施工図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	施工図オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word _98	全角文字 半角英数字	127	
	2	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工図オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		機器用点検歩廊施工図	全角文字 半角英数字	127	
		施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「Z」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17	
		請負者説明文	請負者側で施工図に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127	
	その他	発注者説明文	発注者側で施工図に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127	
		予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。 説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127	
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄			全角文字 半角英数字	127	

1 施工図情報以下は、施工図の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの施工図に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(8) 機器図管理項目

電子媒体に格納する機器図管理ファイル(BD.XML)に記入する管理項目は、表7.8に示すとおりとする。

表7.8 機器図管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
機器図情報	機器図名称	機器図の標題を記入する。		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	機器図のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	機器図オリジナルファイル日本語名	機器図のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
	機器図オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	機器図オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft Word .98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは機器図オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ機器図	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	機器コード 3	機器コードの記入は任意扱いとするため、機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 機器コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	14		
	請負者説明文	請負者側で機器図に関して特記すべき事項がある場合は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	発注者説明文	発注者側で機器図に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	予備	電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。 説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカ用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 機器図情報以下は、機器図の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの機器図に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(9) 施工管理記録書管理項目

電子媒体に格納する施工管理記録書管理ファイル(BE.XML)に記入する管理項目は、表7.9に示すとおりとする。

表7.9 施工管理記録書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
施工管理記録書情報	施工管理記録書名称	品質管理(試験成績書等)、出来形管理、工程管理の標題を記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル名	施工管理記録書種のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	施工管理記録書 オリジナルファイル 日本語名	施工管理記録書のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	施工管理記録書 オリジナルファイル 作成ソフトバージョン 情報	施工管理記録書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word .98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは施工管理記録書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ試験成績書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	機器コード 3	機器コードの記入は任意扱いとするため、機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 機器コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	14		
	その他	請負者側で施工管理記録書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。 発注者側で施工管理記録書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。 予備	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		
	ソフトメーカ用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 施工管理記録書情報以下は、施工管理記録書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの施工管理記録書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(10) 取扱説明書管理項目

電子媒体に格納する取扱説明書管理ファイル(BM.XML)に記入する管理項目は、表 7.10 に示すとおりとする。

表 7.10 取扱説明書管理項目

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
取扱説明書情報	取扱説明書名称	取扱説明書、サービス体制ファイルの標題を記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナルファイル情報	取扱説明書のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む)		PLA01_01.DOC	半角英数 大文字	12		
	取扱説明書 オリジナルファイル 日本語名	取扱説明書のファイルに関する日本語名を記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	取扱説明書 オリジナルファイル 作成ソフトバージョン 情報	取扱説明書オリジナルファイルを作成したソフトウェア名とバージョン情報を記入する。		Microsoft_Word .98	全角文字 半角英数字	127		
	オリジナル ファイル内容	オリジナルファイルの内容、もしくは取扱説明書オリジナルファイルに記載されている内容を簡潔に記入する。		水中汚泥ポンプ取扱説明書	全角文字 半角英数字	127		
	施設コード 3	施設コードの記入は任意扱いとするため、施設コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。 施設コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	17		
	機器コード 3	機器コードの記入は任意扱いとするため、機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。機器コードを記入する場合は、「電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード」の付属資料3による。			半角英数字	14		
	その他	請負者説明文 発注者説明文 予備	請負者側で取扱説明書に関して特記すべき事項がある場合は記入する。 発注者側で取扱説明書に関して特記すべき事項がある場合(発注者から指示を受けた場合)は記入する。 電子化が困難等の理由により受発注者で協議した結果、紙で納品する添付資料がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。(複数記入可)	原則として空欄 原則として空欄	全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカ用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	原則として空欄		全角文字 半角英数字	127		

1 取扱説明書情報以下は、取扱説明書の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの取扱説明書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

(11) 図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル (DRAWINGS.XML 及び DRAWINGF.XML) に記入する管理項目は、表 7.11 に示すとおりとする。

表 7.11 図面管理項目(1/2)

			国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
				摘要	記入例				
1	共通情報	適用要領基準 ¹⁾ A)	図面作成時に適用した「本基準(案)」を機械2006 03-01等の記入例に従い記入する。(分野:機械, 西暦年:2006, 月:03, 版:01)		機械200603-01	全角文字 半角英数字	30		
2		対象工種(数値) ¹⁾ B)	「本基準(案)」で対象とする10工種と地質を001~011の数値で記入する。その他の追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値で記入する。なお、100~999の数値を記入した場合には、3, 4を必ず記入する。	001	半角数字	3			
3		追加工種 ¹⁾ 追加対象工種(数値)	「本基準(案)」で定義していない工種を追加する場合は、100~999の数値を記入する。		半角数字	3			
4		追加工種 ¹⁾ 追加対象工種(概要)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127			
5		サブフォルダ名称	サブフォルダを作成したときのサブフォルダ名称を、記入する。重複名称は不可。		半角英数字	8			
6		追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5とセットで複数入力可)		全角文字 半角英数字	127			
7	図面情報 ²⁾	図面名	表題欄に記述する図面名を記入する。		機械棟1階機器据付図	全角文字 半角英数字	64		
8		図面ファイル名	図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。	D0PL001Z.SFC	半角英数 大文字	12			
9		作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。	株式会社 機械設備設計事務所	全角文字 半角英数字	32			
10		図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	CADVer6.3	全角文字 半角英数字	64			
11		縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	1:100	半角英数字	16			
12		図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	1	半角数字	3			
13		施設コード ³⁾	施設コードを記入する。施設コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。	0210500511000D001	半角英数字	17			
14		機器コード ³⁾	機器コードを記入する。機器コードが発生しない場合は「ZZ」を記入する。	DD010101010000	半角英数字	14	*3		
15		工期終了日	工期の終了年月日をCC-YY-MM-DD方式(西暦年月日)で記入する。月日が1桁の数の場合は"0"を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数, MM:月, DD:日)	2008-3-10	半角英数字	10			
16		対象工種 ¹⁾ B) (数値)	「本基準(案)」で対象とする10工種と地質を001~011の数値で記入する。その他追加工種があるときは、追加工種を100~999の数値を昇順で記入する。	001	半角数字	3			
17		追加図面種類 追加図面種類(略語)	「本基準(案)」で定義していない図面種類を追加する場合に、基準(案)に準じた半角英数字2文字の略語で記入する。(ただし、同一工種による略語の重複は認めていません。)		半角英数字 大文字	2			
18		追加図面種類 (概要)	上記の追加図面種類の概要を具体的に記入する。		全角文字 半角英数字	127			
19		格納サブフォルダ	図面を格納した追加サブフォルダ名を記入する。		半角英数字	8			

1 その他資料情報以下は、その他資料情報の数分を複数繰り返し登録する。

2 オリジナルファイル情報は一つの工事履行報告書又は段階確認書に対して管理するオリジナルファイルを複数繰り返し登録する。

表 7.11 図面管理項目(2/2)

記入内容	広島県	データ表現	文字数	記入者	必要度
20 図面情報 ・2 基準点情報 ・4 測地系 緯度 経度	日本測地系(旧測地系),世界測地系(新測地系)の区分コードを記入する。日本測地系は'00',世界測地系は'01'を記入する。	0	半角数字	2	
21 基準点情報 ・4 緯度 経度	図面中の1点の緯度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が南緯の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	
22 基準点情報 ・4 緯度 経度	図面中の1点の経度を記入する。 度(4桁) 分(2桁) 秒(2桁) 対象領域が西経の場合は頭文字に「-」(HYPHEN-MINUS)を記入する。		半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	() 3)
23 平面直角座標 系番号	図面中の1点の平面直角座標(19系)の系番号で記入する。		半角英数字	2	
24 平面直角座標 X座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をX座標で記入する。		半角英数字	11	
25 平面直角座標 Y座標	図面中の1点の平面直角座標(19系)をY座標で記入する。		半角英数字	11	
26 その他 新規 レイヤ (略語) C)	「本基準(案)」で定義していないレイヤを追加する場合に、基準(案)に準じたレイヤ名称11文字以内の半角英数字で記入する。	D-MCH-XXXX	半角英数字	11	
27 新規 レイヤ 5 (概要)	上記26で追加した新規レイヤに関する内容を記入する。	設計図面背景の社章に関するレイヤ	全角文字 半角英数字	127	
28 受注者説明文	受注者側で図面に付けるコメントを記入する。	制御システムのシステム図をシステムFLに追加した	全角文字 半角英数字	127	
29 発注者説明文	発注者側で図面に付けるコメントを記入する。		全角文字 半角英数字	127	
30 予備	その他予備項目を記入する。 (複数入力可)		全角文字 半角英数字	127	
ソフトメーカー用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)		全角文字 半角英数字	127	

(12) 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する管理項目は、表 7.12 に示すとおりとする。

表 7.12 写真管理項目(1/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			摘要	記入例				
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。		PHOTO/PIC	半角英大文字	127		
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。			半角英大文字	127		
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)		土木200601-01	全角文字 半角英数字	30		
写真情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。 123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはいけない。		1	半角数字	7		
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。		P0000001.JPG	半角英数大文字	12		
	写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。		塗装品質管理0001.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。		1	半角数字	8		
	写真-大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。		工事	全角文字 半角英数字	8		
撮影工種区分	写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」でない場合は、自由記入とする。		品質管理写真	全角文字 半角英数字	127		
	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:」「使用材料写真:」「品質管理写真:」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		下水道処理施設工	全角文字 半角英数字	127		
	種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。			全角文字 半角英数字	127		
	細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:」「安全管理写真:×」「使用材料写真:」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:」「災害写真:×」「その他:×」とする。(「記入:」「記入可能な場合は記入:」「記入は不要とし、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。			全角文字 半角英数字	127		
	写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。			全角文字 半角英数字	127		
工種区分予備	工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

表 7.12 写真管理項目(2/2)

分類・項目名		国土交通省 記入内容	広島県		データ 表現	文字数	記入者	必要度
			概要	記入例				
写 真 情 報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		D0000001.JPG	半角英数 大文字	12		
	参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。		機械棟1階平面図.JPG	全角文字 半角英数字	127		
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		機械棟1階平面図	全角文字 半角英数字	127		
	付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		
撮 影 情 報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		点検歩廊A 測点2	全角文字 半角英数字	127		
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY:西暦の年数、MM:月、DD:日) 例)平成18年02月26日 2006-02-06		2007-09-01	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)-	10		
代表写真		工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。			半角数字	1		
施工管理値		黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。		中塗り(第1層):設計厚 40 μm・実測厚:45 μm	全角文字 半角英数字	127		
請負者説明文		請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。		検査立会者:主任 監督員	全角文字 半角英数字	127		
ソフトメーカー用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)			全角文字 半角英数字	127		

複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

参考資料 1 着手前協議チェックシート

機械設備工事

着手前(変更)協議チェックシート

実 施 日	平成 年 月 日
-------	----------

1 電子納品担当者及び連絡先等の確認

施工番号		
工事名		
工事場所		
工 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
発注者	事務所名・課名	
	職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	
請負者	会社名	
	部署名	
	役職名	
	担当者氏名	
	連絡先(電話番号)	
	連絡先(FAX)	
	連絡先(e-mail)	

2 電子納品データ作成ソフトの確認

<input type="checkbox"/> ワープロソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> 表計算ソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> SXF(SFC)ファイル	(Ver.)
<input type="checkbox"/> CADソフト	(Ver.)
<input type="checkbox"/> その他	(Ver.)

着手前(変更)協議チェックシート

3 電子納品対象項目

		成果品	電子納品	紙	備考
<input type="checkbox"/> 工事管理情報ファイル		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
発注図面フォルダ(DRAWINGS)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 特記仕様書オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
打合せ簿フォルダ(MEET)					
<input type="checkbox"/> 打合せ簿管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施工計画書フォルダ(PLAN)					
<input type="checkbox"/> 施工計画書管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 施工計画書オリジナルファイル	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
完成図面フォルダ(DRAWINGF)					条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
<input type="checkbox"/> 図面ファイル	<input type="checkbox"/> SXF(SFC)形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	条件付必須
完成図書フォルダ(K_BOOK)					必須
<input type="checkbox"/> B_SPC実施仕様書	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> B_CHECK計算書	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> B_INST施工図	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> B_DEVICE機器図	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> B_EXAM施工管理記録書	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> B_MANUAL取扱説明書	<input type="checkbox"/> XML形式 <input type="checkbox"/> PDF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
写真フォルダ(PHOTO)					必須
<input type="checkbox"/> 写真情報管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 写真ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 参考図ファイル	<input type="checkbox"/> JPEG形式 <input type="checkbox"/> TIFF形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
その他フォルダ(OTHRS)					
<input type="checkbox"/> その他管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 完成図	<input type="checkbox"/> CAD形式()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> その他オリジナル	<input type="checkbox"/> WORD , <input type="checkbox"/> EXCEL , <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
台帳フォルダ(K_LDR)					必須
<input type="checkbox"/> 台帳管理ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 施設台帳ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須
<input type="checkbox"/> 機器台帳ファイル	<input type="checkbox"/> XML形式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必須

他の書類は、紙媒体での納品とする。

着手前(変更)協議チェックシート

4 遵守るべき要領・基準類

電子納品にあたっては、国土交通省等が策定した基準等に準拠する。ただし、広島県電子納品実施要領と差異が生じた場合は、広島県電子納品実施要領を優先する。
準拠すべき要領・基準等については、次のとおり。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 広島県電子納品実施要領[機械設備工事編]	平成19年	広島県
	<input type="checkbox"/> 工事完成図書の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
図面	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) 機械設備工事編	平成18年3月	国土交通省
	<input type="checkbox"/> CAD図面作成要領(案)	平成17年3月	
	<input type="checkbox"/> 電子化図面データの作成要領(案)	平成17年4月	農林水産省
	<input type="checkbox"/> CAD製図基準(案) 処理施設編	平成17年3月	社団法人全国上下水道コンサルタント協会
写真	<input type="checkbox"/> デジタル写真管理情報基準(案)	平成18年1月	国土交通省

なお、次に国土交通省等がまとめた要領・ガイドラインを参考として示す。

種別	名 称	策定年月	策定者
全般	<input type="checkbox"/> 電子納品運用ガイドライン(案) 機械設備工事編[工事]	平成18年3月	
	<input type="checkbox"/> CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案) 機械設備工事編	平成18年3月	
その他	<input type="checkbox"/> 電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード	平成18年3月	

5 コンピュータウイルス対策(請負者側)

使用ソフトウェア名	Norton AntiVirus (Ver.) ウイルスバスター (Ver.) Virus Scan (Ver.) その他 ()
ワクチンソフトの常駐	インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルスワクチンソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引き渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	管理責任者は、パソコン起動時または1日に1回以上は定義データを最新に更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除するとともに、被害拡大の防止のための対策を講じる。

6 データバックアップ体制(請負者側)

バックアップ頻度	バックアップ作業を1日1回以上行う その他()
バックアップ媒体	MO(光磁気ディスク) CD-RW(追記可能コンパクトディスク) 外付けハードディスク その他()
媒体保管場所	
バックアップ担当者	
バックアップ作業記録	バックアップ担当者は、バックアップ作業ごとにその日時、媒体識別番号、作業者名等をバックアップ記録簿に記録する。

7 その他

--

参考資料 2 検査前協議チェックシート

機械設備工事

検査前協議チェックシート

実施日	平成 年 月 日
-----	----------

施工番号	
工事名	
工事場所	
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
発注担当者	
請負担当者	

1 検査実施予定場所・日時

検査実施予定場所	
検査実施予定日時	
検査機器準備担当	発注者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他() 請負者 機器 : パソコン・ディスプレイ・その他()

2 電子納品の検査方法

書類名	印刷物による検査	電子データによる検査	書類名	印刷物による検査	電子データによる検査
<input type="checkbox"/> 発注図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体系図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 打合せ簿	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画書(実施書)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果総括表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 安全管理資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 材料確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 立会書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 品質管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 段階確認書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 測定結果一覧表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事履行報告書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図表	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工計画書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 出来形管理図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 工事写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 施工台帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

3 検査用ソフトウェア

検査対象	ソフト準備		使用ソフトウェア名
	発注者	請負者	
文書ファイル(ワープロ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
表計算ファイル(表計算ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
図面ファイル(CADソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
写真ファイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
PDFファイル(PDF閲覧ソフト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

4 その他

--

参考資料 3 境界座標の記入

「境界座標」の測地系は、世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトのサービスを利用する方法がある。

「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ¹

<http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html>

境界座標を取得する方法は次のとおりである。



参考図 2 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス

境界座標情報は、電子地図上での検索を目的として規定しているものである。

工事対象が離れた地点に数箇所点在する場合または広域の場合には、請負・発注者間で協議し、[場所情報]を工事範囲全体とするか代表地点とするか決定してください。一般的には、工事範囲を包括する外側境界で境界座標をとることが望ましい。

¹境界座標を取得する画面で、図面管理ファイルの管理項目である平面直角座標の値の取得が可能。

参考資料 4 CD-R が複数枚になる場合の処置

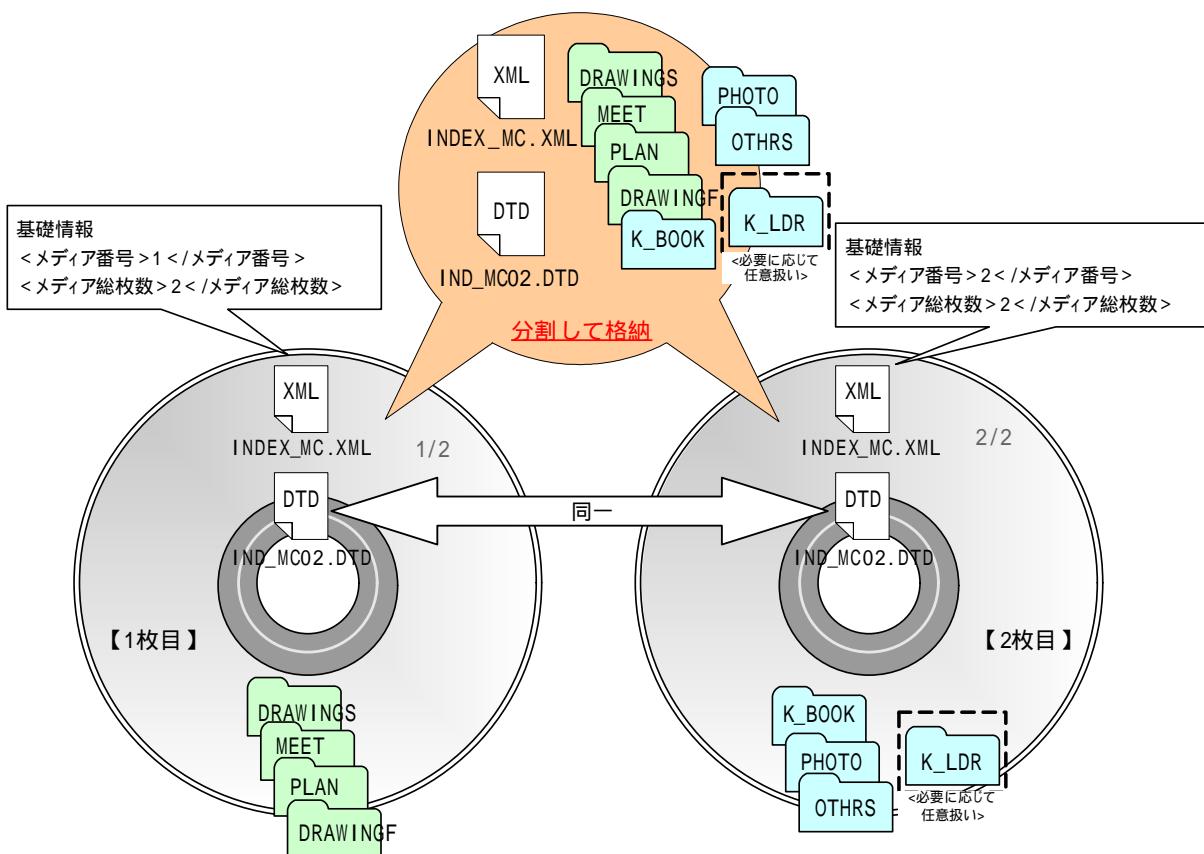
格納するデータの容量が大きく、1 枚の CD-R に納まらず複数枚になる場合は、同一の工事管理ファイル (INDEX_C.XML) を各 CD-R に格納する。

この場合、基礎情報の「メディア番号」には、各 CD-R に該当する番号を記入すること。

各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各 CD-R に格納する。

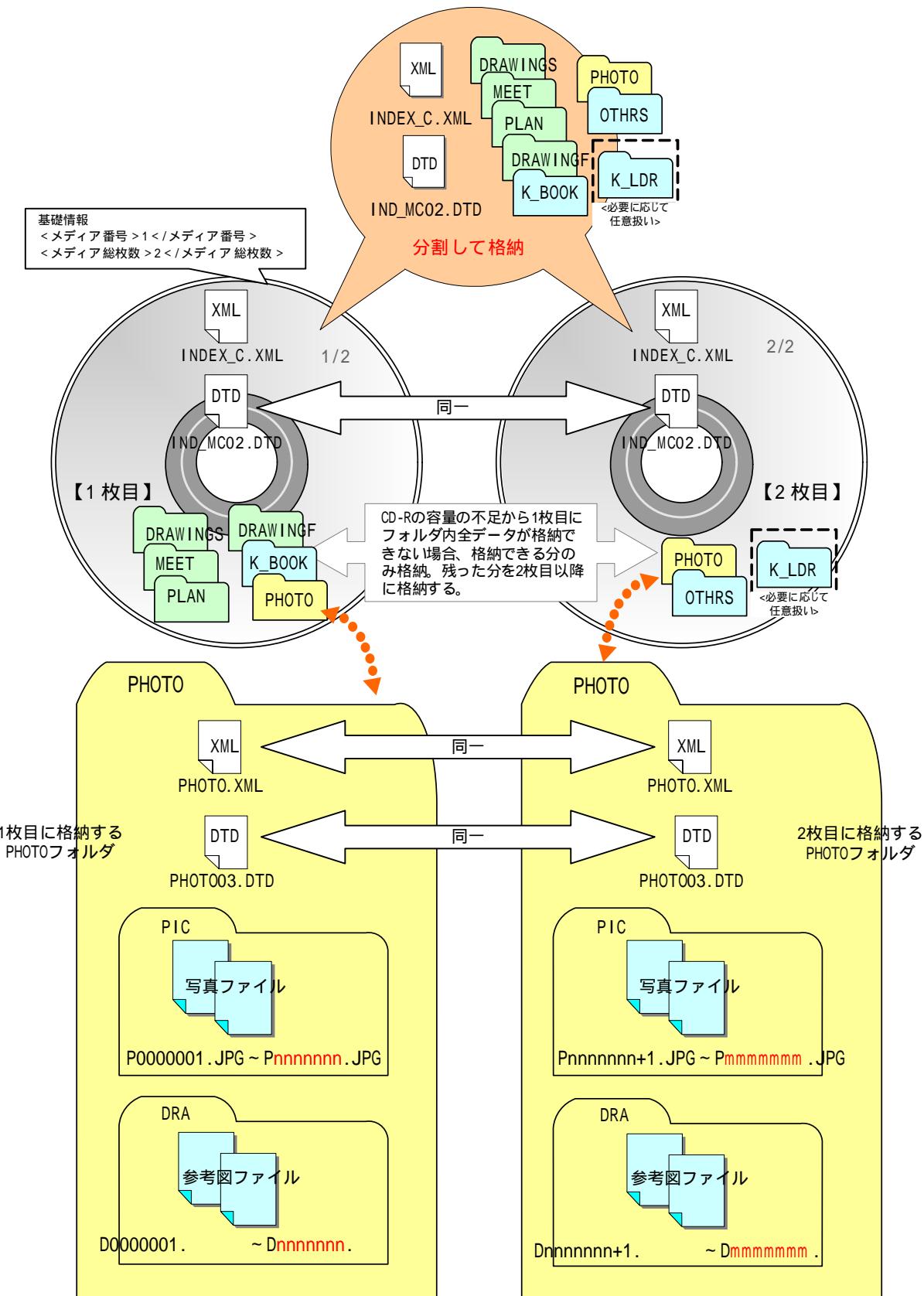
また、工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、ラベルに明記してある何枚目 / 全体枚数と整合を図ること。

CD-R が 2 枚になる場合の例を参資図 3.1 に示す。



参資図 3.1 CD-R が 2 枚になる場合の作成例

なお、各フォルダで分割できず、やむを得ない場合は、参資図 3.2 CD-R が2枚になる場合の作成例 によるものとする。



参考図 3.2 CD-R が 2 枚になる場合の作成例【フォルダ内も分割する必要がある場合】¹

1 「PIC」フォルダに格納される写真ファイルと「DRA」フォルダに格納される参考図ファイルとも、最後のファイル添え字が「mmmmmmmm」となっていますが、あくまで例示であり一貫するものではありません。

参考資料 5 電子化対象書類一覧表

成果品の種類	フォルダ名	ファイル形式	関係する要領・基準類等	格納書類例
工事情報	電子媒体ルート	XML	工事管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編 · INDEX_MC.XML · IND_MC02.DTD
発注図	DRAWINGS	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)機械設備工事編 · DRAWINGS.XML · DRAW_M02.DTD · 発注図 · 特記仕様書 · 現場説明書(技術的事項)
		SXF (SFC)	発注図ファイル	
	DRAWINGS/SPEC	オリジナル	特記仕様書オリジナルファイル	
打合せ簿	MEET	XML	打合せ簿管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編 · MEET.XML · MEET02.DTD · 工事打合せ簿 (指示、承諾、協議等の文書(鏡)及び添付資料(文書、図面、写真) · 品質管理資料 (承諾仕様比較表、機器材料搬入検査(簿)、材料確認書、検査試験成績表、各種計算書、品質管理図等) · 出来形管理資料 (測定結果総括表、一覧表、出来形管理図表等)
	MEET/ORG	オリジナル	打合せ簿オリジナルファイル	
施工計画書	PLAN	XML	施工計画書管理ファイル	
	PLAN/ORG	オリジナル	施工計画書オリジナルファイル	
施工図面・完成図	DRAWINGF	XML	図面管理ファイル	CAD製図基準(案)機械設備工事編 · DRAWINGF.XML · DRAW_M02.DTD · 施工図面 · 完成図
		SXF (SFC)	施工図面・完成図ファイル	
完成図書	K_BOOK/B_SPC	XML	実施仕様書管理ファイル	工事完成図書の電子納品要領(案)機械設備工事編 · BS.XML · SPC02.DTD · 実施仕様書 · BC.XML · CHECK_02DTD · 實施計算書 · 實施検討書 · 實施数量表 · BI.XML · INST02.DTD · 施工図 · BD.XML · DEVICE02.DTD · 機器図 · BE.XML · EXAM02.DTD · 品質管理書 (機器材料搬入検査(簿)、材料確認書、検査試験成績表、品質管理図等) · 出来形管理書 (測定結果総括表、一覧表、出来形管理図表等) · 工程表 · BM.XML · MANUAL02.DTD · 取扱説明書 · 取扱説明書ファイル · サ - ビス体制表 · 緊急連絡先表
		PDF	実施仕様書ファイル	
	K_BOOK/B_CHECK	XML	計算書管理ファイル	
		PDF	計算書ファイル 検討書ファイル 数量表ファイル	
	K_BOOK/B_INST	XML	施工図管理ファイル	
		PDF	施工図ファイル	
	K_BOOK/B_DEVICE	XML	機器図管理ファイル	
		PDF	機器図ファイル	
	K_BOOK/B_EXAM	XML	施工管理記録書管理ファイル	
		PDF	品質ファイル(試験成績書等) 出来形ファイル 工程ファイル 等	
	K_BOOK/B_MANUAL	XML	取扱説明書管理ファイル	
		PDF	取扱説明書ファイル サ - ビス体制ファイル	
写真	PHOTO	XML	写真管理ファイル	デジタル写真管理情報基準(案) · PHOTO.XML · PHOTO04.DTD · 完成写真 · 工事写真 (施工前・中・後、施工状況、安全管理、品質管理、出来形管理等) · 撮影場所・方向図 等
	PHOTO/PIC	JPEG	写真ファイル	
	PHOTO/DRA	JPEG又はTIFF	参考図ファイル	
その他	OTHRS	XML	その他管理ファイル	OTHRS.XML · OTHRS02.DTD · 期間別工事工程報告書 · 段階確認書 等
	OTHRS/ORGnnn	オリジナル	その他オリジナルファイル	
台帳	K_LDR	XML	台帳管理ファイル	電子納品要領(案)機械設備工事編 施設機器コード · DL.XML · LDR02.DTD